

省エネルギー計算サポートソフトウェア  
A-repo4

---

操作マニュアル

2025 年 11 月  
株式会社イズミコンサルティング

## 目 次

<b>1 取扱説明 .....</b>	<b>1</b>
1.1 プログラムの概要.....	2
1.2 プログラムの起動方法.....	3
1.3 メイン画面（建築用）.....	4
1.4 メイン画面（住宅用）.....	9
1.5 ファイルの作成と保存 .....	11
1.5.1 物件ファイルの新規作成 .....	11
1.5.2 物件ファイルを開く.....	12
1.5.3 物件ファイルを保存する.....	14
1.6 インポート.....	15
1.6.1 A-repo4 の住宅共用部のみを建築へインポート .....	15
1.7 オプション .....	16
1.7.1 全般 .....	16
1.7.2 接続情報 .....	18
1.8 最新版の更新情報 .....	19
1.9 バージョン情報 .....	20
1.10 お知らせ .....	21
<b>2 『建築』基本情報、届出書入力.....</b>	<b>22</b>
2.1 基本情報（建築用）.....	23
2.1.1 [省エネルギー基準地域区分の参照] ウィンドウ .....	26
2.1.2 [日射地域区分の参照] ウィンドウ .....	27
2.1.3 様式 2-9.(空調)全熱交換器の入力を行う .....	27
2.2 届出書（建築用）.....	28
2.2.1 届出書（第一面）.....	28
2.2.2 変更届出書 .....	30
2.2.3 届出書(通知書)（第二面）.....	31
2.2.4 届出書(通知書)（第三面(1)）.....	33
2.2.5 届出書(通知書)（第三面(2)）.....	35
2.3 計画書(計画通知書)令和7年3月以前（建築用）.....	37
2.3.1 計画書(計画通知書)（第一面、変更計画書）.....	37
2.3.2 変更計画書(計画通知書) .....	39
2.3.3 計画書(計画通知書)（第二面）.....	40
2.3.4 計画書(計画通知書)（第三面）.....	43
2.3.5 計画書(計画通知書)（第五面）.....	45
2.4 計画書(計画通知書)令和7年4月以降（建築用）.....	47
2.4.1 計画書(計画通知書)（第一面、変更計画書）.....	47
2.4.2 変更計画書(計画通知書) .....	49
2.4.3 計画書(計画通知書)（第二面）.....	50
2.4.4 計画書(計画通知書)（第三面）.....	53
2.4.5 計画書(計画通知書)（第四面）.....	55

<b>3 室・空調ゾーン登録</b>	<b>57</b>
3.1 建築物の名前	58
3.2 室・空調ゾーン登録	59
<b>4 建築外皮</b>	<b>62</b>
4.1 外皮構成	63
4.1.1 外壁、屋根、外床、接地壁(壁)、接地壁(床)	63
4.1.2 開口部	68
4.1.3 日除け(「日よけ効果係数算出ツール」((独)建築研究所)で別途計算する)	73
4.2 外皮面積(空調室)	74
4.3 外皮面積(非空調室)	76
<b>5 『建築』一次エネルギー消費量算定</b>	<b>77</b>
5.1 空調設備	78
5.1.1 パッケージ方式	78
5.1.2 セントラル方式	91
5.2 換気設備	111
5.2.1 換気機器登録	111
5.2.2 換気設備	113
5.3 照明設備	117
5.3.1 照明器具登録	117
5.3.2 照明設備	119
5.4 給湯設備	123
5.4.1 給湯機器登録	123
5.4.2 給湯設備	125
5.5 昇降機	128
5.6 エネルギー効率化設備	130
5.6.1 太陽光発電システム	130
5.6.2 コージェネレーションシステム	131
5.7 エラー一覧ウィンドウ(建築用)	133
<b>6 『建築』WEB 計算支援</b>	<b>134</b>
6.1 Web 計算支援(建築用)	135
6.1.1 入力シートのExcel出力	136
6.1.2 エネルギー消費性能計算プログラム(非住宅版)サイト	137
6.1.3 計算結果登録システム	141
6.1.4 Web 計算結果の確認	141
<b>7 レポート出力</b>	<b>143</b>
7.1 結果レポート	144
7.2 比較レポート	147
<b>8 『建築』印刷・Excel 出力</b>	<b>150</b>
8.1 届出書/計画書出力	151
8.2 入力チェックシート	152
8.3 補足資料印刷	153

8.3.1 印刷プレビュー.....	155
<b>9 『住宅』基本情報、届出書入力.....</b>	<b>156</b>
9.1 基本情報（住宅用）.....	157
9.1.1 [省エネルギー基準地域区分の参照] ウィンドウ .....	161
9.1.2 [日射地域区分の参照] ウィンドウ .....	162
9.2 届出書(通知書)（住宅用）.....	163
9.2.1 届出書（第一面）.....	163
9.2.2 変更届出書(通知書).....	166
9.2.3 届出書(通知書)（第二面）.....	167
9.2.4 届出書(通知書)（第三面(1)）.....	169
9.2.5 届出書(通知書)（第三面(2)）.....	171
9.2.6 別紙 .....	176
9.3 計画書(計画通知書)令和7年3月以前（住宅用）.....	179
9.3.1 計画書(計画通知書)（第一面）.....	179
9.3.2 変更計画書(計画通知書) .....	181
9.3.3 計画書(計画通知書)（第二面）.....	182
9.3.4 計画書(計画通知書)（第三面）.....	184
9.3.5 計画書(計画通知書)（第五面）.....	186
9.3.6 計画書(計画通知書)（第六面）.....	188
9.3.7 別紙 .....	190
9.4 計画書(計画通知書)令和7年4月以降（住宅用）.....	193
9.4.1 計画書(計画通知書)（第一面）.....	193
9.4.2 変更計画書(計画通知書) .....	195
9.4.3 計画書(計画通知書)（第二面）.....	196
9.4.4 計画書(計画通知書)（第三面）.....	198
9.4.5 計画書(計画通知書)（第四面）.....	200
9.4.6 別紙 .....	205
9.5 住戸タイプ登録.....	208
9.6 住戸構成図 .....	209
9.6.1 階の作成 .....	210
9.6.2 階の設定 .....	211
9.6.3 セルの結合・分割.....	212
9.6.4 住戸以外の選択.....	213
9.6.5 住戸タイプの設定 .....	214
9.6.6 住戸番号の設定.....	215
9.6.7 エキスパンション・ジョイントの設定 .....	216
9.6.8 住戸情報 .....	217
9.7 計算住戸の設定 .....	218
9.7.1 計算住戸に設定 .....	222
9.7.2 計算住戸自動生成 .....	224
9.7.3 計算住戸(グループ)の並べ替え .....	225
9.8 メニュー住戸に設定 .....	226

9.8.1 メニュー住戸に設定 .....	226
9.8.2 メニュー住戸(グループ)の並べ替え .....	228
9.9 外皮仕様基準の設定 .....	229
<b>10 『住宅』UA・η A値計算 .....</b>	<b>230</b>
10.1 構造体登録 .....	231
10.1.1 開口部の登録 .....	231
10.1.2 屋根、天井、外壁、床(外気に接する)、床(その他)、界壁、界床の登録 .....	246
10.1.3 構造体登録ウインドウ(RC 造等、断面構成同一) .....	248
10.1.4 FL 基礎等の登録 .....	259
10.1.5 熱橋部の登録 .....	267
10.2 部位面積等登録 .....	278
10.3 計算値確認 .....	283
<b>11 『住宅』一次エネルギー消費量算定 .....</b>	<b>284</b>
11.1 外皮 .....	285
11.2 暖房設備 .....	287
11.3 冷房設備 .....	291
11.4 換気・熱交換設備 .....	294
11.5 給湯設備 .....	296
11.5.1 ヒートポンプ・ガス併用型給湯機選択 .....	300
11.5.2 電気ヒートポンプ給湯機選択 .....	301
11.6 照明設備 .....	302
11.7 太陽光発電設備 .....	303
11.8 太陽熱(液体集熱式)設備 .....	306
11.8.1 ソーラーシステム選択 .....	309
11.9 太陽熱(空気集熱式)設備 .....	310
11.10 コージェネレーション設備 .....	313
11.10.1 コージェネレーション機器選択 .....	314
11.11 Web 計算支援(住宅用) .....	315
11.11.1 アップロード方法の選択 .....	316
11.11.2 アップロード方法の選択 .....	317
11.11.3 自動計算 .....	318
11.11.4 XML ファイルのアップロード .....	322
11.11.5 共同住宅等の計算結果集計プログラム .....	328
11.11.6 計算結果登録システム .....	329
11.12 入力エラー一覧(住宅用) .....	330
11.13 一次エネルギー消費量集計 .....	331
11.14 レポート出力 .....	335
11.14.1 消費量集計 .....	335
<b>12 『住宅』印刷・Excel 出力 .....</b>	<b>339</b>
12.1 届出書/計画書(通知書/計画通知書)出力 .....	340
12.2 UA・□AC 計算書印刷 .....	342

12.2.1 印刷プレビュー .....	344
12.2.2 住戸タイプから選択 .....	345
12.3 その他計算書の出力 .....	346
12.4 入力チェックシート・補足資料印刷 .....	347
<b>奥付 .....</b>	<b>348</b>

# 1 取扱説明

基本的な操作方法について説明します。

---

- 1.1 プログラムの概要
- 1.2 プログラムの起動方法
- 1.3 メイン画面（建築用）
- 1.4 メイン画面（住宅用）
- 1.5 ファイルの作成と保存
- 1.6 インポート
- 1.7 オプション
- 1.8 最新版の更新情報
- 1.9 バージョン情報
- 1.10 お知らせ

## 1.1 プログラムの概要

本プログラム A-repo（エイレポ）4 は、平成 28 年省エネルギー基準に準拠した省エネルギー計算サポートソフトウェアです。

外皮および設備の省エネルギー性能の評価については、独立行政法人建築研究所のホームページにある Web プログラム「エネルギー消費性能計算プログラム」を利用して計算する必要があります。本プログラムにおいては、Web プログラム入力用データとして Excel 形式のファイルを生成し、そのファイル内のマクロ機能により CSV 形式のファイルがアップロード用に生成されますので、入力処理の分かりやすさと変更時の省力化を図ることができます。

## 1.2 プログラムの起動方法

このシステムは、ハードディスクにインストールして運用します。

別紙「セットアップガイド」を参照して、ハードディスクにインストール後、以下の手順で起動してください。

### 1) デスクトップ上のショートカットアイコン

《建築》 《住宅》



### 2) Windows の「スタート」メニュー

- 「すべてのプログラム」
- 「A-repo4 建築」 または 「A-repo4 住宅」

《建築》



《住宅》



## 1.3 メイン画面（建築用）

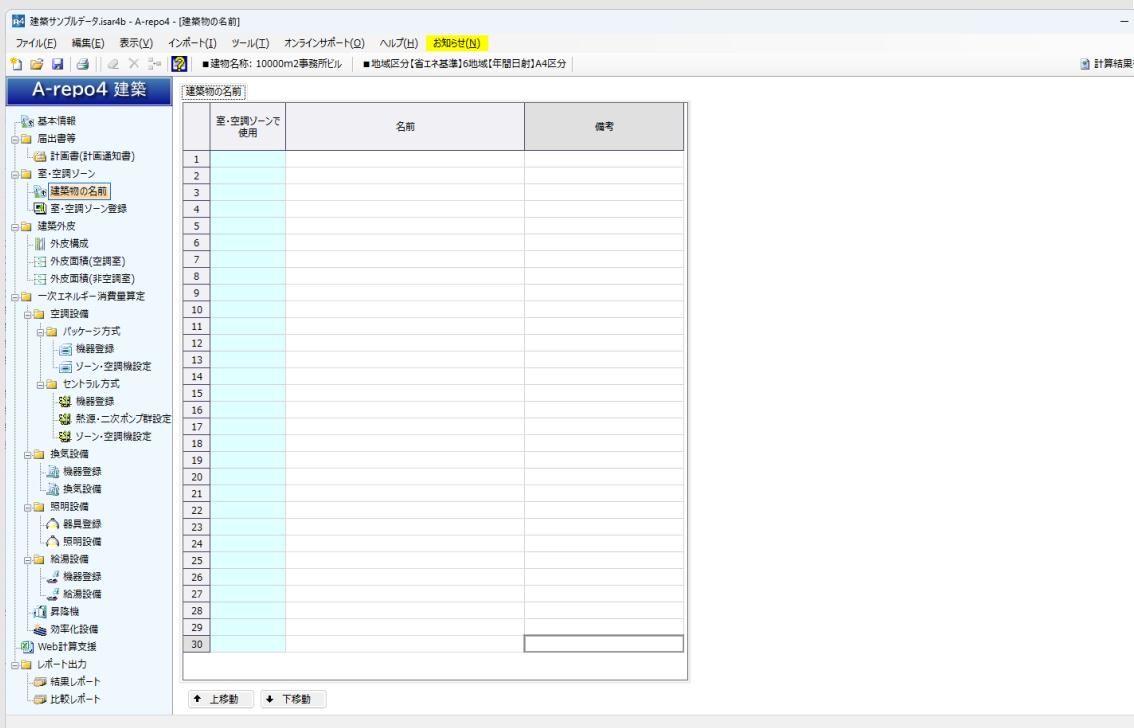
The screenshot shows the A-repo4 Building main interface. On the left is a navigation tree with categories like 基本情報, 届出書等, 計画書(計画通知書), 室・空調ソース, 建築物の名前, 室・空調ソーン登録, 建築外皮, 外皮構成, 外皮面積(空調室), 外皮面積(非空調室), 一次エネルギー消費量算定, 空調設備, 換気設備, 照明設備, 梯子・昇降機, 効率化設備, Web計算支援, レポート出力, 結果レポート, and 比較レポート. The main area has tabs for 建物概要, 構造, 建築物省エネ法の様式(届出書・計画書), 建築評価対象, 建築一次エネルギー消費量(設備), and 建築一次エネルギー消費量算定(機器登録). Various input fields and checkboxes are visible across these tabs.

「建築」処理メニュー

項目	説明
基本情報	建築物の概要について入力します。（「2.1 基本情報（建築用）」を参照）
届出書	省エネルギー届出書について入力します。（「2.2 届出書（建築用）」を参照）
計画書	省エネルギー計画書について入力します。（「2.3 計画書（計画通知書）令和7年3月以前（建築用）」を参照）

室  
・  
空  
調  
ゾ  
ー  
ン  
登  
録

全ての室を登録します。室内に空調や換気の系統が複数存在する場合は、その組合せが異なるごとに分割し、別室（ゾーン）として登録します。  
(「3.1 建築物の名前」)



建築物の名前を登録します。最大 30 行まで登録できます。

#### 項目の説明

項目	説明
室・空調ゾーンで使用	室・空調ゾーン登録の建築物の名称に設定されている場合は、「○」されます。
名前	建築物の名前を 40 文字以内で入力します。
備考	必要に応じてメモを入力することができます。
↑ 上移動	選択されている行を、1 行前に移動します。
↓ 下移動	選択されている行を、1 行後に移動します。

「室・空調ゾーン登録」を参照)

#### 建築外皮

外  
皮  
構  
成

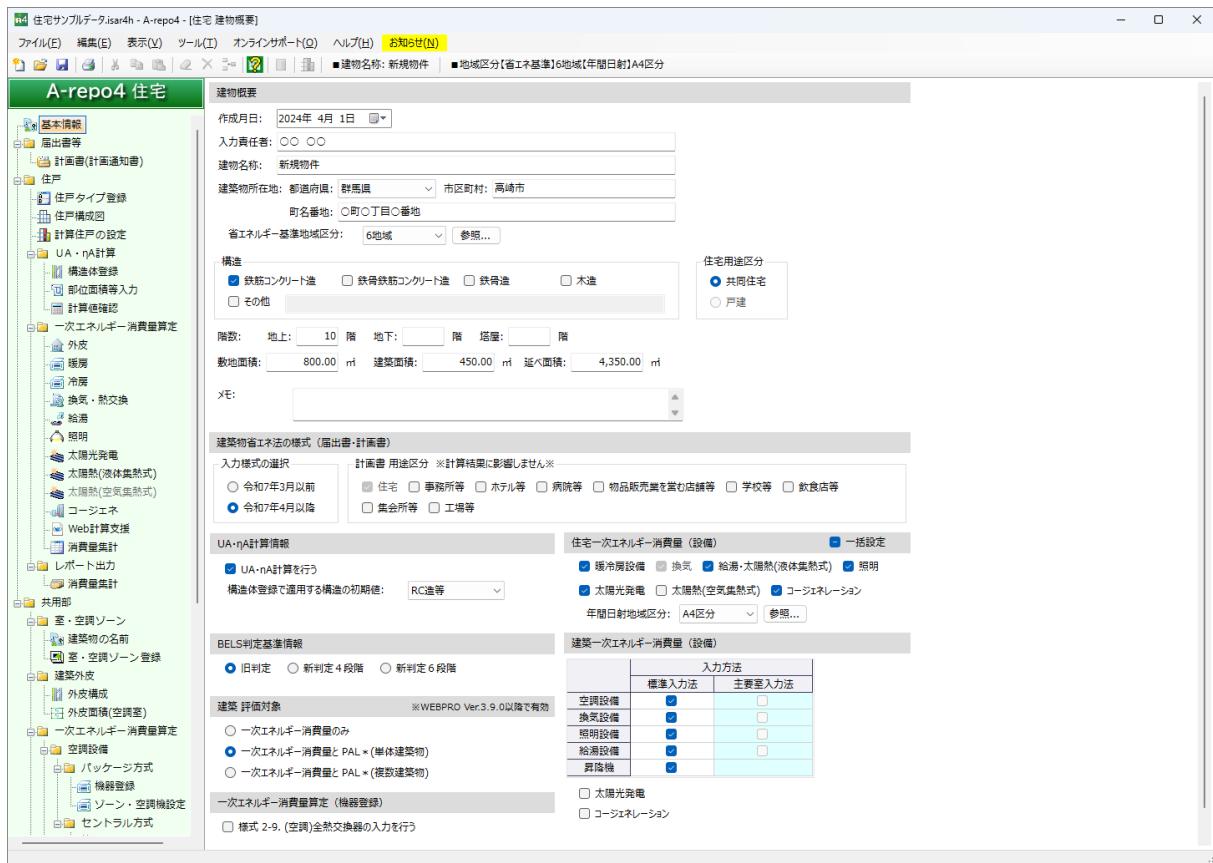
外皮（外壁や窓等）の構成材料を登録します。（「4.1 外皮構成」を参照）

外皮面積（空調室）	空調対象室について、構成する外皮（外壁および窓等）の面積を入力します。（「4.2 外皮面積（空調室）」を参照）
外皮面積（非空調室）	非空調の室について、構成する外皮（外壁および窓等）の面積を入力します。（「4.3 外皮面積（非空調室）」を参照）
一次エネルギー消費量算定	
空調設備	
空調設備（パッケージ方式）	
機器登録	機器表にある全ての空調機器を登録します。 （「5.1.1.1 機器登録」を参照）
ゾーン・空調機設定	全ての室に対し、どの空調系統で負荷を処理するかを設定します。 （「5.1.1.2 ゾーン・空調機設定」を参照）
空調設備（セントラル方式）	

機器登録	機器表にある全ての空調機器を登録します。 (「5.1.2.1 機器登録」を参照)
熱源・二次ポンプ群設定	熱源システムの構成を登録します。 (「5.1.2.2 热源・二次ポンプ群設定」を参照)
ゾーン・空調機設定	全ての室に対し、どの空調系統で負荷を処理するかを設定します。 (「5.1.2.3 ゾーン・空調機設定」を参照)
換気設備	換気設備機器を登録し、各室の系統を設定します。 (「5.2 換気設備」を参照)
照明設備	照明器具を登録し、各室の設置状況を設定します。 (「5.3 照明設備」を参照)
給湯設備	給湯設備機器を登録し、各室の系統を設定します。 (「5.4 給湯設備」を参照)
昇降機	昇降機設備を登録し、利用する室を設定します。 (「5.5 昇降機」を参照)

効率化設備	太陽光発電等の効率化設備について登録します。 (「5.6 エネルギー効率化設備」を参照)
Web 計算支援	本プログラムで入力したデータを、Web プログラムで計算処理する方法を説明します。
レポート出力	
結果レポート	結果レポートを出力します。 (「7.1 結果レポート」を参照)
比較レポート	比較レポートを出力します。 (「7.2 比較レポート」を参照)

## 1.4 メイン画面（住宅用）



### 「住宅」処理メニュー

項目	説明
基本情報	住宅の概要について入力します。（「9.1 基本情報（住宅用）」を参照）
届出書	
届出書	届出書または変更届出書について登録します。（「9.2 届出書(通知書)（住宅用）」を参照）
計画書	計画書または変更計画書について登録します。（「9.3 計画書(計画通知書)（住宅用）」を参照）
住戸	
住戸タイプ登録	住戸の設計タイプ名を登録します。（「9.5 住戸タイプ登録」を参照）
住戸構成図	住戸セル図を作成し、タイプ名と住戸番号を設定します。（「9.6 住戸構成図」を参照）
計算住戸の設定	計算の対象となる住戸と、建物内での位置を指定します。（「9.7 計算住戸の設定」を参照）
UA・ηA 計算	

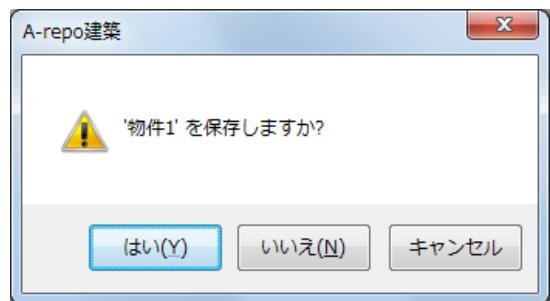
構造体登録	計算に用いる構造体を登録します。（「10.1 構造体登録」を参照）
部位面積入力	計算対象住戸の部位面積を入力します。（「10.2 部位面積等登録」を参照）
計算値確認	UA・ $\eta$ A の計算結果を確認します。（「10.3 計算値確認」を参照）
一次エネルギー消費量算定	
外皮	一次エネルギー消費量計算に用いる外皮の設定（自然図の利用・蓄熱等）を登録します。（「11.1 外皮」を参照）
暖房	一次エネルギー消費量計算に用いる暖房設備を登録します。（「11.2 暖房設備」を参照）
冷房	一次エネルギー消費量計算に用いる冷房設備を登録します。（「11.3 冷房設備」を参照）
換気・熱交換	一次エネルギー消費量計算に用いる換気設備を登録します。（「11.4 換気・熱交換設備」を参照）
給湯	一次エネルギー消費量計算に用いる給湯設備を登録します。（「11.5 給湯設備」を参照）
照明設備	一次エネルギー消費量計算に用いる照明器具を登録し、各室の設置状況を設定します。（「11.6 照明設備」を参照）
太陽光発電	一次エネルギー消費量計算に用いる太陽光発電設備を登録します。（「11.7 太陽光発電設備」を参照）
太陽熱 (液体集熱式)	一次エネルギー消費量計算に用いる太陽熱（液体集熱式）設備を登録します。（「11.8 太陽熱（液体集熱式）設備」を参照）
太陽熱 (空気集熱式)	一次エネルギー消費量計算に用いる太陽熱（空気集熱式）設備を登録します。（「11.9 太陽熱（空気集熱式）設備」を参照）
コージェネ	一次エネルギー消費量計算に用いるコージェネレーション設備を登録します。
消費量集計	Web プログラムによる各住戸の計算結果を一覧表に入力して集計します。（「11.13 一次エネルギー消費量集計」を参照）
レポート出力	
消費量集計	Web プログラムによる各住戸の計算結果を入力して結果レポートを出力します。（「11.14.1 消費量集計」を参照）
共用部 「建築」処理メニューの「室・空調ゾーン登録」以下の項目と同じ。（「1.3 メイン画面（建築用）」を参照）	

## 1.5 ファイルの作成と保存

### 1.5.1 物件ファイルの新規作成

本プログラムを起動すると、初期値として“物件 1”が用意されます。

「1.5.3 物件ファイルを保存する」を行うまで、仮の物件名で処理を進めることになります。



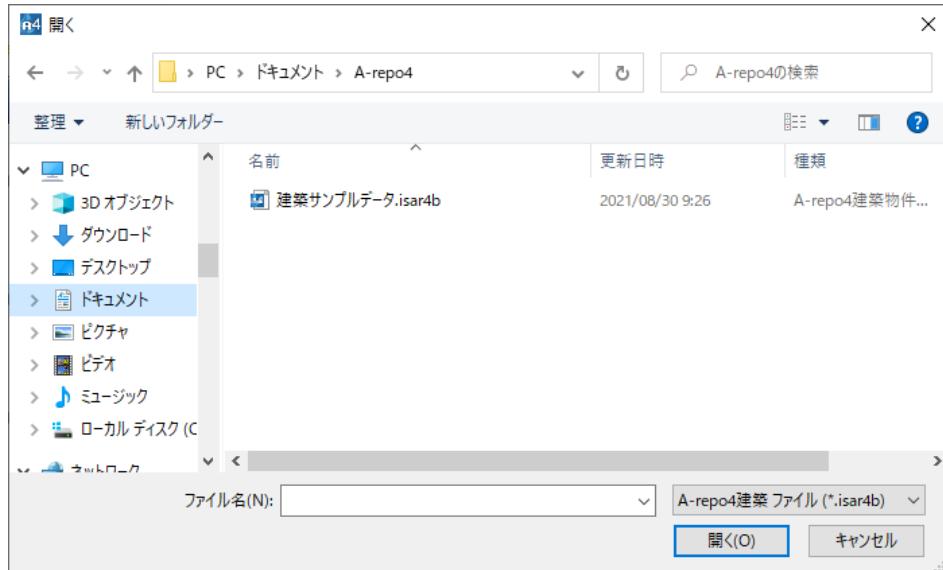
ファイルメニューの「新規作成」や「開く」「閉じる」などを行うとこの画面が表示されます。

はい(Y)	「1.5.3 物件ファイルを保存する」のウィンドウを表示します。
いいえ(N)	保存せずにこのウィンドウを閉じ、次の処理に移ります。
キャンセル	何もせずにこのウィンドウを閉じます。

## 1.5.2 物件ファイルを開く

作成バージョンごとの操作方法で物件ファイルを開きます。

### 1.5.2.1 A-repo4 で作成したファイルを開く場合

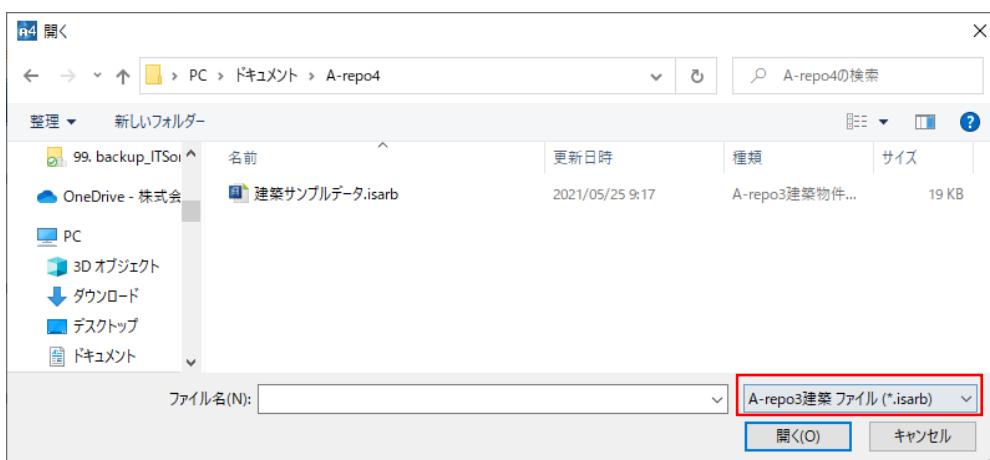


ファイルメニューの「開く」を選択すると、表示されます。

建築の場合「A-repo4 建築ファイル(\*.isar4b)」、住宅の場合「A-repo4 住宅ファイル(\*.isar4h)」のファイルが表示されますので、ファイルを指定して **開く(O)** ボタンをクリックしてください。

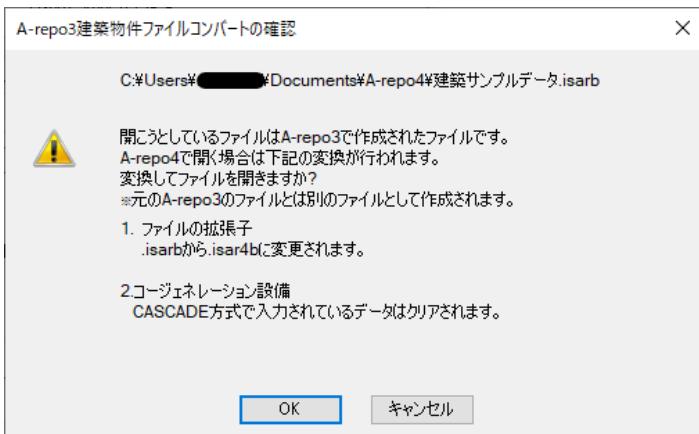
※ 物件データをダブルクリックまたは起動した A-repo4 の各プログラム画面に物件ファイルをドラッグ & ドロップの操作でも同様に開けます。

### 1.5.2.2 A-repo3 で作成したファイルを開く場合



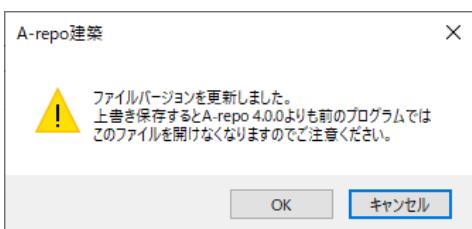
ファイルの種類（画像赤枠部分）で、建築の場合「A-repo3 建築ファイル(\*.isarb)」を、住宅の場合「A-repo3 住宅ファイル(\*.isarh)」選択すると、A-repo3 の各プログラム物件ファイルが選択可能になります。ファイルを指定して **開く(O)** ボタンをクリックしてください。

ファイルコンバートの確認画面が表示されるので内容を確認し、[OK]で進めてください。 ([キャンセル]すると読み込み処理を中止します。)



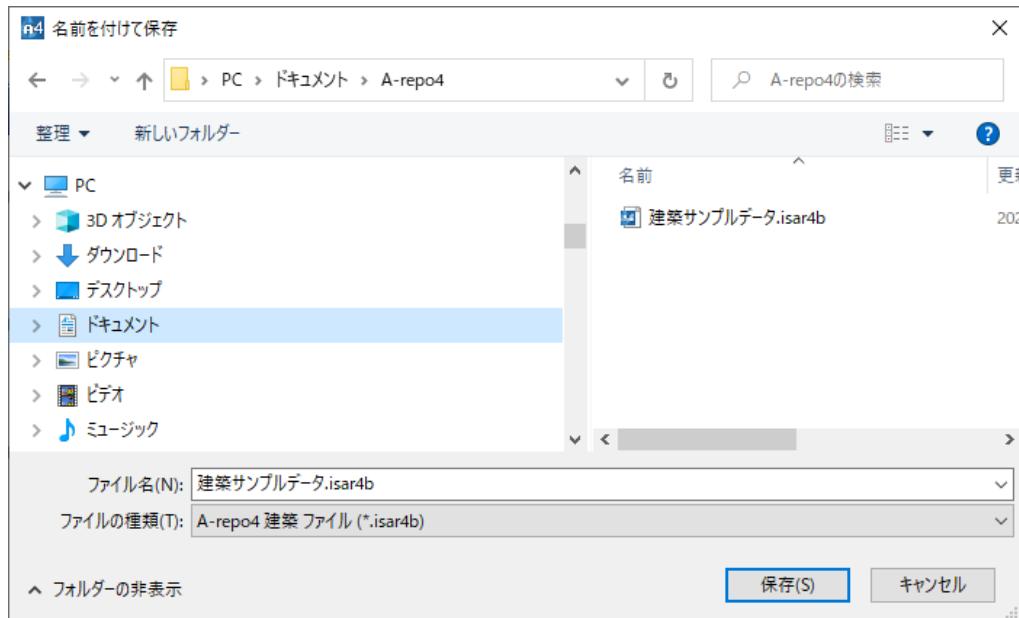
メッセージを確認して[OK]で閉じると、A-repo3 のデータを A-repo4 で開くことができます。  
([キャンセル]すると読み込み処理を中止します。)

以降 A-repo4 のデータとして編集することができます。



- ※ 保存時は A-repo4 のデータ (.isar4b および .isar4h) として保存されます。A-repo3 のデータはそのまま残りますが、A-repo4 で開いた後に編集した内容は反映されません。
- ※ 起動した A-repo4 の各プログラム画面に物件ファイルをドラッグ & ドロップの操作でも同様に開けます。
- ※ A-repo3 がインストールされた状態で物件データをダブルクリックした場合、A-repo3 の対応するプログラムで起動します。

### 1.5.3 物件ファイルを保存する



ファイルメニューの「名前を付けて保存」またはファイル名が決まっていない状態でプログラムを終了しようとした時等に表示されます。

必要に応じてファイル名を変更し、**保存(S)** ボタンをクリックしてください。

ファイル名に拡張子を含めなくても、自動的に「.isar4b」が末尾に付加されます。

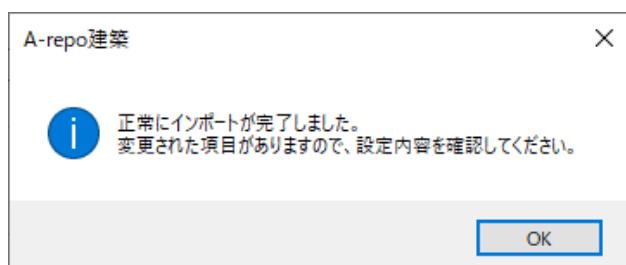
## 1.6 インポート

### 1.6.1 A-repo4 の住宅共用部のみを建築へインポート

A-repo4 の住宅物件データから住宅共用部のみの情報をインポートする機能です。インポートメニューの「A-repo4 の住宅共用部のみを建築へインポート」を選択すると、「開く」ダイアログが表示されます。



拡張子が「.isar4h」となっているファイルが表示されますので、ファイルを指定して **開く(O)** ボタンをクリックします。



インポート後、設定内容を確認してください。

※ A-repo3 住宅で作成したファイル (.isarh) の住宅共用部をインポートする場合

A-repo3 住宅で作成したファイルの住宅共用部をインポートする場合は、A-repo3 住宅データを A-repo4 のデータに変換してからインポートする必要があります。（.isarh を直接インポートすることはできません）

「1.5.2.2 A-repo3 で作成したファイルを開く場合」の手順で A-repo3 データを A-repo4 で開き直し、

「1.5.3 物件ファイルを保存する」の手順で A-repo4 住宅データ (.isar4h) として保存してからインポートしてください。

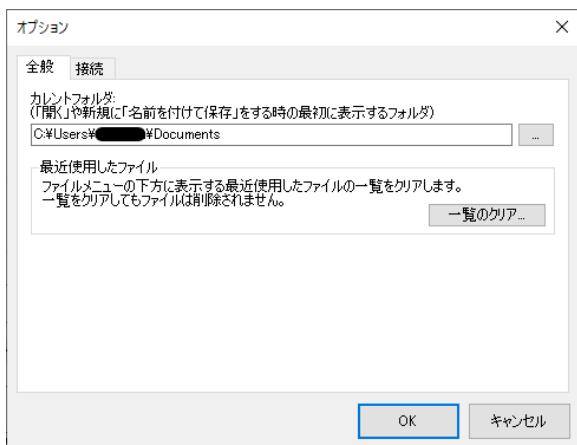
## 1.7 オプション

システム全体に関わる設定を行います。ここで設定した内容は、次回以降に新規作成する物件データの初期値となります。

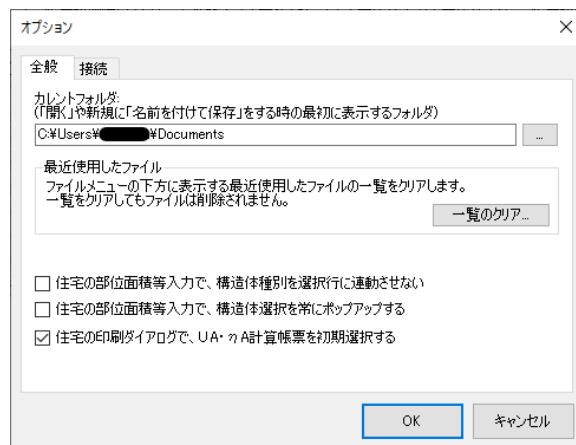
### 1.7.1 全般

プログラム全般に関する設定をします。

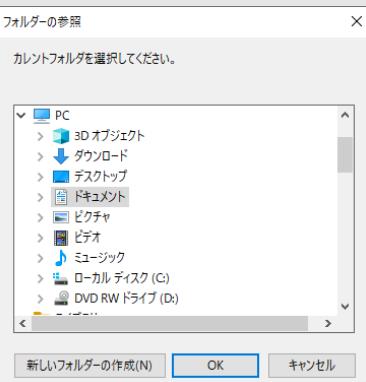
《建築》



《住宅》



#### 項目の説明

項目	説明
カレントフォルダ	物件ファイルを保存するフォルダを指定します。 物件ファイルを開く場合には、最初に表示されるカレントフォルダとなります。 初期値は“マイドキュメント”が設定されています。 [...]ボタンを押すと、フォルダを選択変更することができます。 
最近使用したファイル	[ファイル(F)]メニューの中の最近使用したファイルの一覧をクリアする場合、[一覧のクリア...]ボタンをクリックします。
起動時に本プログラムの最新情報をチェックする	本プログラムの起動時にプログラムの更新情報があれば表示します。 (「1.8 最新版の更新情報」を参照)

以下の項目は、A-repo4 住宅のオプションでのみ表示されます。

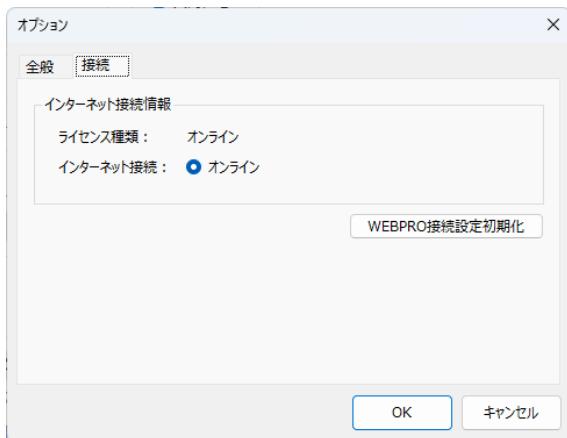
住宅の部位面積等入力で構造体種別を選択行に連動させない	部位面積等入力で、既存の部位面積の行を選択した際、画面左端の構造体選択一覧の区分（開口部・外壁等・熱橋部）を、選択行の内容に連動しない設定にします。通常は、「開口部」の行を選ぶと、構造体選択一覧の区分も開口部になりますが、このチェックボックスを On になると、連動しなくなります。
住宅の部位面積等入力で構造体選択を常にポップアップする	部位面積等入力で、構造体選択一覧を、画面右端への配置ではなく、パレットとして表示するように設定します。
住宅の印刷ダイアログで、UA・ $\eta A$ 計算帳票を初期選択する	印刷ダイアログを開いたとき、タブの初期選択位置が「UA・ $\eta A$ 計算帳票」となるように設定します。

OK	設定内容を確定し、ウィンドウを閉じます。
キャンセル	何もせずにウィンドウを閉じます。

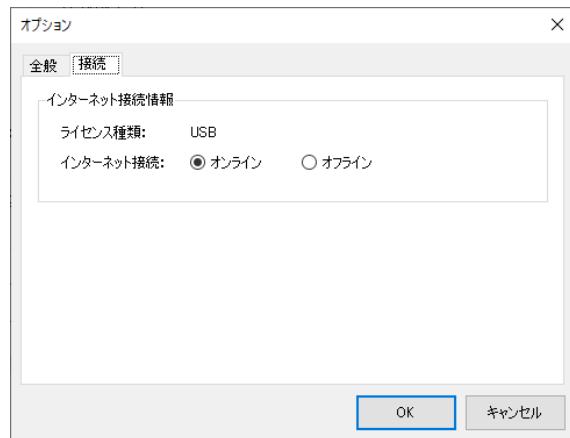
## 1.7.2 接続情報

インターネット接続情報を設定・確認します。（建築・住宅それぞれで起動。内容は共通。）

《オンライン版》



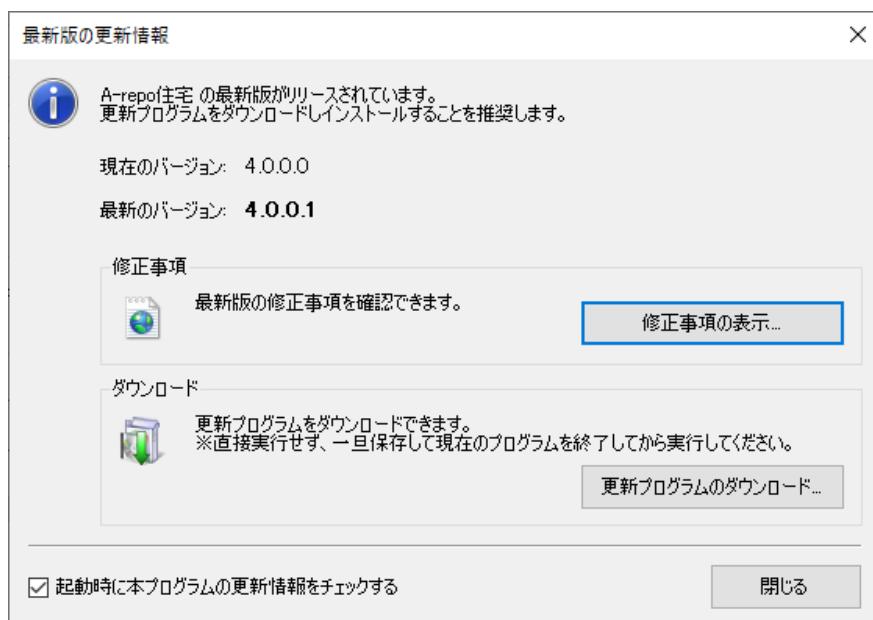
《U S B 版》



### 項目の説明

項目	説明
ライセンス種類	ライセンスの種類を表示します。
インターネット接続	ライセンス種類がオンラインの場合は、オンラインのみ選択、表示されます。 ライセンス種類がUSBの場合、オンラインまたはオフラインの選択が可能です。 デフォルトはオンラインです。
WEBPRO 接続設定初期化	WEBPROへの接続設定を初期化します。 A-repoが終了され、未保存の内容は失われますので注意してください。

## 1.8 最新版の更新情報



弊社にて本プログラムが更新され、ユーザーが起動したバージョンと異なる場合にこの画面が表示されます。

最新版のバージョンおよび修正事項の確認、更新プログラムのダウンロードが行えます。

### 項目の説明

項目	説明
改善事項	改善事項を表示し、確認することができます。
ダウンロード	最新版に更新するための「更新プログラム」をダウンロードできます。 適当なフォルダにダウンロードし、実行すると最新版に更新します。
起動時に本プログラムの更新情報をチェックする	プログラム起動時に更新プログラムのリリース状況をチェックします。 「1.7 オプション」にある同名のチェックボックスと同じ機能です。

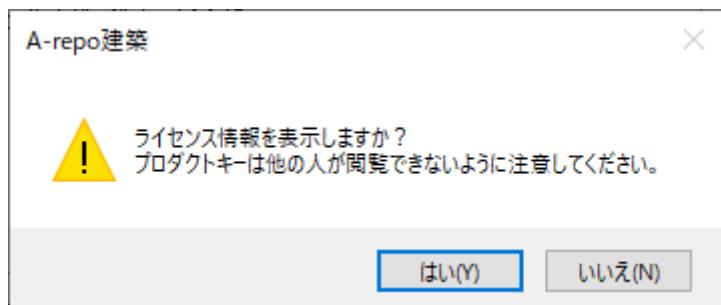
## 1.9 バージョン情報



メイン画面で[ヘルプ(H)]-[バージョン情報(A)...]メニューを選択すると、本プログラムのバージョン情報が表示されます。

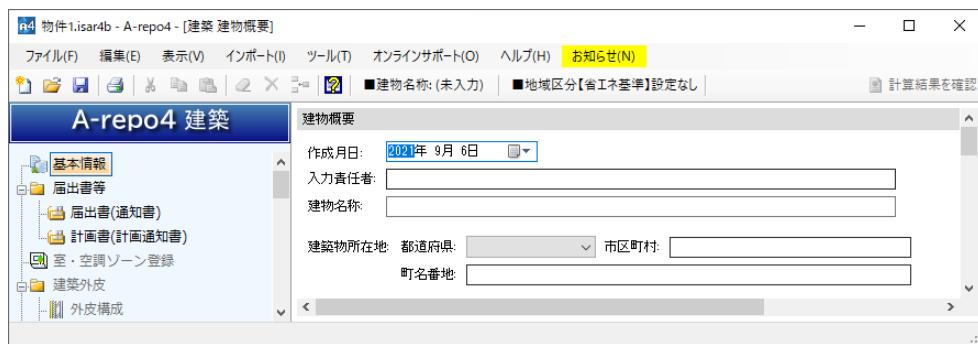


「ライセンス情報を表示する」を選択すると、ライセンス情報を表示の確認メッセージが表示されます。

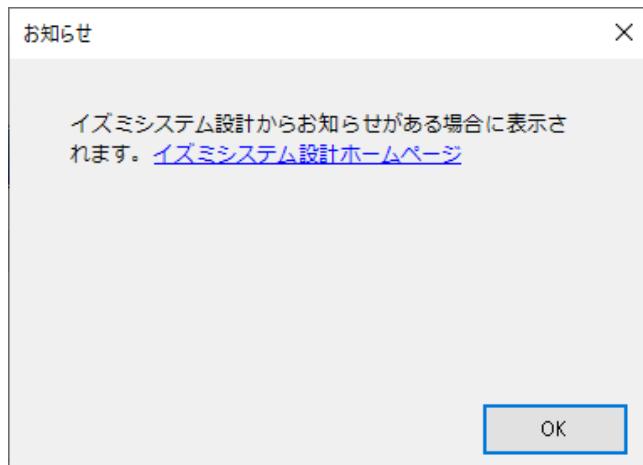
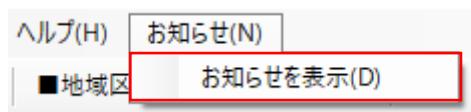


「はい」を選択でプロダクトキーが表示されます。

## 1.10 お知らせ



弊社からのお知らせがある場合、メイン画面で[お知らせ(N)]メニューが表示されます。



[お知らせ(N)] - [お知らせを表示(D)]を選択すると、お知らせ画面が表示されます。

## 2 『建築』 基本情報、届出書入力

非住宅建築物の届出書を作成します。

---

- 2.1 基本情報（建築用）
- 2.2 届出書（建築用）
- 2.3 計画書（計画通知書）令和7年3月以前（建築用）
- 2.4 計画書（計画通知書）令和7年4月以降（建築用）

## 2.1 基本情報（建築用）

『建築』メイン画面で、建物の基本情報等について入力します。

建築サンプルデータ.isar4b - A-repo4 - [建築 建物概要]

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) インポート(I) ツール(T) オンラインサポート(Q) ヘルプ(H) お知らせ(N)

■建物名称: 10000m<sup>2</sup>事務所ビル ■地域区分【省エネ基準】6地域 | 計算結果を確認 (Ver.3.9.0)

## A-repo4 建築

**基本情報**

- 届出書等
- 計画書(計画通知書)
- 室・空調ゾーン
  - 建築物の名前
  - 室・空調ゾーン登録
- 建築外皮
  - 外皮構成
  - 外皮面積(空調室)
  - 外皮面積(非空調室)
- 一次エネルギー消費量算定
- 空調設備
  - パッケージ方式
    - 機器登録
    - ゾーン・空調機設定
  - セントラル方式
    - 機器登録
    - 熱源・二次ポンプ群設定
    - ゾーン・空調機設定
- 換気設備
  - 機器登録
  - 換気設備
- 照明設備
  - 器具登録
  - 照明設備
- 給湯設備
  - 機器登録
  - 給湯設備
  - 昇降機
- 効率化設備
- Web計算支援
- レポート出力
  - 結果レポート
  - 比較レポート

**建物概要**

作成日: 2024年 1月 1日

入力責任者: ○○ ○○

建物名称: 10000m<sup>2</sup>事務所ビル

建築物所在地: 都道府県: 群馬県 市区町村: 高崎市  
町名番地: ○○町○○番地

省エネルギー基準地域区分 6地域

**構造**

鉄筋コンクリート造  鉄骨鉄筋コンクリート造  鉄骨造  木造  
 その他

階数: 地上: 4 階 地下: 1 階 塔屋: 階

敷地面積: 3,000.00 m<sup>2</sup> 建築面積: 1,500.00 m<sup>2</sup> 延べ面積: 3,800.00 m<sup>2</sup>

既存部分の評価

メモ:

**建築物省エネ法の様式 (届出書・計画書)**

入力様式の選択

令和7年3月以前  令和7年4月以降

計画書 用途区分 ※計算結果に影響しません※

事務所等  ホテル等  病院等  物品販売を営む店舗等  学校等  飲食店等  集会所等  
 工場等

**建築 評価対象** ※WEBPRO Ver.3.9.0以降有効

一次エネルギー消費量のみ  一次エネルギー消費量と PAL\*(単体建築物)  一次エネルギー消費量と PAL\*(複数建築物)

**建築第一次エネルギー消費量 (設備)**

	入力方法	主要室入力法
空調設備	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
換気設備	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
照明設備	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
給湯設備	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
昇降機	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

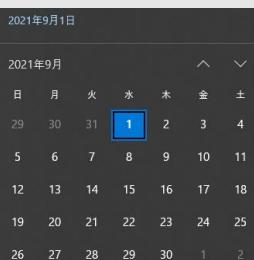
太陽光発電 年間日射地域区分:

コージネレーション

**一次エネルギー消費量算定 (機器登録)**

様式 2-9. (空調)全熱交換器の入力を行う

#### ・建物概要の入力項目

項目	説明
作成月日	物件データの作成日を入力またはプルダウンで表示されるカレンダーから選択します。初期値としてシステム日付が表示されますが、変更可能です。
	 A screenshot of a calendar interface for September 2021. The date "2021年9月 1日" is at the top. The days of the week are labeled from Sunday (日) to Saturday (土). The dates are arranged in five rows: Row 1: 29, 30, 31 (with 31 highlighted in blue), 1, 2, 3, 4; Row 2: 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11; Row 3: 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18; Row 4: 19, 20, 21, 22, 23, 24, 25; Row 5: 26, 27, 28, 29, 30, 1, 2. The date "1" is highlighted with a blue box.
入力責任者	入力責任者の会社名と氏名を入力します。
建物名称	建築物の名称を入力します。

建築物所在地	都道府県、市区町村、番地に分けて入力します。 都道府県名はプルダウンで表示されるリストから選択することができます。
省エネルギー基準 地域区分	地域区分をプルダウンリストから選択します。 [参照...] ボタンを押すと、「2.1.1 [省エネルギー基準地域区分の参照] ウィンドウ」のリストから選択することができます。
構造	建物構造一覧から該当する構造を選択しチェックします。 「その他」を選択した場合は、その内容を入力します。
階数	地上の階数を1~80、地下の階数を1~9、塔屋の階数を1~9の範囲で入力します。
敷地面積	敷地面積を0~9,999,999.99[m <sup>2</sup> ]の範囲で入力します。
建築面積	建築面積を0~999,999.99[m <sup>2</sup> ]の範囲で入力します。
延べ面積	延べ面積を0~999,999.99[m <sup>2</sup> ]の範囲で入力します。
既存部分の評価	入力シートに出力させたい既存部分がある場合チェックし、表示された入力欄に室名と室面積を入力します。
メモ	必要に応じてメモを入力します。

#### 建築物省エネ法の様式

項目	説明
入力様式の選択	届出書、計画書の入力様式を選択します。
用途区分	建物の省エネ用途区分に該当する用途をすべてチェックします。

#### 建築 評価対象

項目	説明
一次エネルギー消費量のみ	一次エネルギー消費量のみ計算を行う場合にチェックします。 ※PAL*の計算は行われない。 ※入力シート「8) 非空調外皮」への出力が行われない。 ※省エネ適合性判定や共同住宅共用部の届出用
一次エネルギー消費量とPAL*（単体建築物）	一次エネルギー消費量に加えPAL*の計算を行う場合にチェックします。 ※（従来通り）物件全体でまとめて省エネ計算を行う ※低炭素認定や性能向上認定（単体建築物）等用

一次エネルギー消費量と PAL*（複合建築物）	一次エネルギー消費量に加え PAL*の計算を行う場合にチェックします。 ※建築物の名前毎に省エネ計算を行う ※室・空調ゾーン登録で「建築物の名称」の設定が必須 ※性能向上認定（複数建築物の連携）等用
-------------------------	--

・建築外皮の入力項目

項目	説明
PAL*	PAL*の計算を行う場合にチェックします。 入力するには、建物概要の日除け効果係数の算定方法を設定している必要があります。

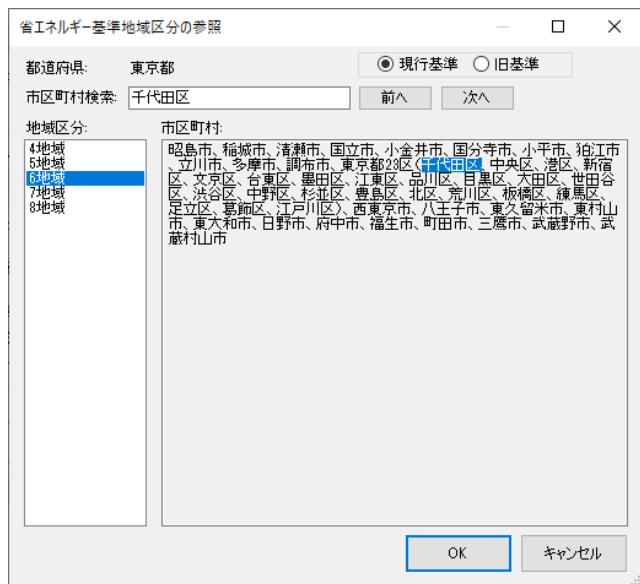
・一次エネルギー消費量算定（機器登録）の入力項目

項目	説明
様式 2-9.(空調)全熱交換器の入力を行う	入力シートの「様式 2-9.(空調)全熱交換器」への入力（出力）を行う場合にチェックします。

・建築一次エネルギー消費量（設備）の入力項目

項目	説明
空調設備	空調設備の計算を行う場合にチェックします。 入力するには、建物概要の「省エネルギー基準地域区分」と日除け効果係数の算定方法を設定している必要があります。
換気設備～昇降機	各設備の計算を行う場合にチェックします。 入力するには、建物概要の「省エネルギー基準地域区分」を設定している必要があります。
太陽光発電	太陽光発電の計算を行う場合にチェックします。 入力するには、建物概要の「省エネルギー基準地域区分」と「年間日射地域区分」を設定している必要があります。
年間日射地域区分	太陽光発電による創エネルギー量の算定を行う場合は、地域区分をプルダウンリストから選択します。 [参照...] ボタンを押すと、「2.1.2 [日射地域区分の参照] ウィンドウ」のリストから選択することができます。
コーデネレーション	コーデネレーションの計算を行う場合にチェックします。 入力するには、建物概要の「省エネルギー基準地域区分」を設定している必要があります。

## 2.1.1 [省エネルギー基準地域区分の参照] ウィンドウ

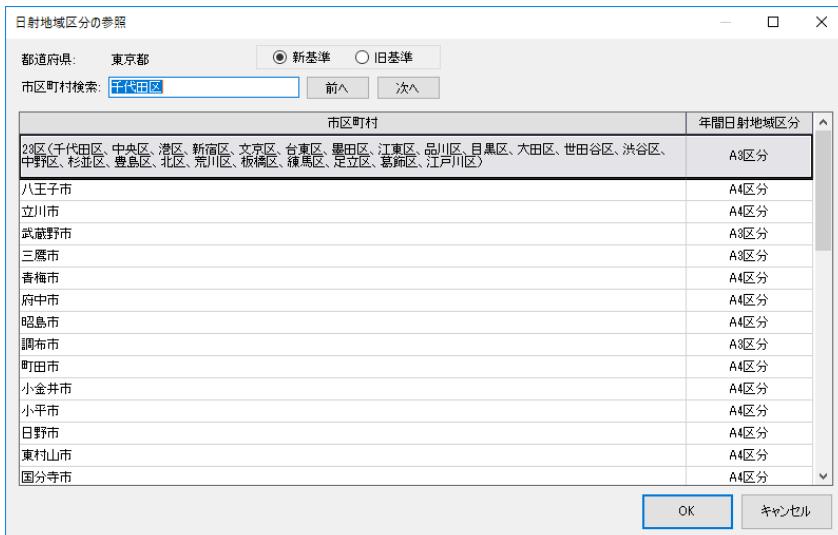


該当地域の詳細を参考に地域区分を選択するウィンドウです。

PAL\*、一次エネルギー消費量の算定を行う場合に設定が必要です。

<input checked="" type="radio"/> 現行基準	令和 1 年 11 月 16 日より最新版の気象データを反映した新地域区分を表示します。
<input type="radio"/> 旧基準	平成 27 年 4 月 1 日における行政区画によって表示されたものとなります。 ただし、旧基準の括弧内に記載する区域は、平成 13 年 8 月 1 日における旧行政区画によって表示されたものとなっています。  ※旧基準は令和 3 年 3 月末日をもって申請に使用できなくなりました。A-repo では過去物件の確認用として残しています。
<input type="button" value="OK"/>	選択する地域を確定し、ウィンドウを閉じます。
<input type="button" value="キャンセル"/>	何もせずウィンドウを閉じます。

## 2.1.2 [日射地域区分の参照] ウィンドウ



太陽光発電設備による創エネルギー量の算定を行う場合に設定が必要です。

<input checked="" type="radio"/> 新基準	令和 1 年 11 月 16 日より最新版の気象データを反映した新地域区分を表示します。
<input type="radio"/> 旧基準	平成 27 年 4 月 1 日における行政区画によって表示されたものとなります。ただし、旧基準の括弧内に記載する区域は、平成 13 年 8 月 1 日における旧行政区画によって表示されたものとなっています。
<input type="button" value="OK"/>	選択する地域を確定し、ウィンドウを閉じます。
<input type="button" value="キャンセル"/>	何もせずウィンドウを閉じます。

## 2.1.3 様式 2-9.(空調)全熱交換器の入力を行う

チェックを入れることで、以下の画面で入力シート「様式 2-9.(空調)全熱交換器」用の入力列を表示して入力が行えるようになります（チェックを外すと入力列は非表示となり、不要となります）

- 空調設備（パッケージ方式）屋外機・室内機、
- 空調設備（セントラル方式）空調機、
- 全熱交ユニット（共通）

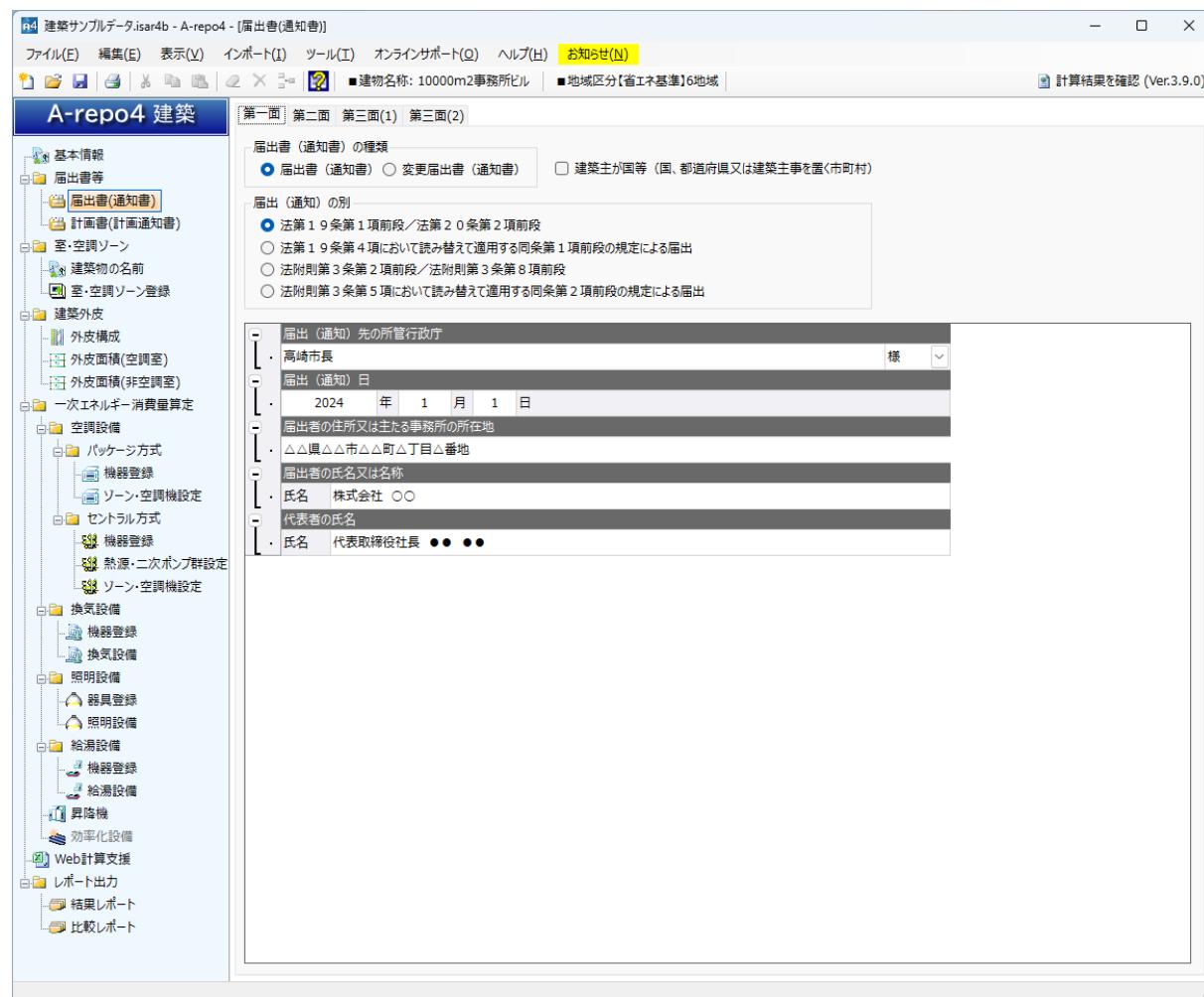
## 2.2 届出書（建築用）

建築物の届出書、第一面から第三面までを作成します。第三面は入力項目が多いため、2つに分かれています。第四面は入力画面がありませんが、印刷時には出力されます。

第一面 第二面 第三面(1) 第三面(2)

### 2.2.1 届出書（第一面）

届出書(第一面)または変更届出書について登録します。



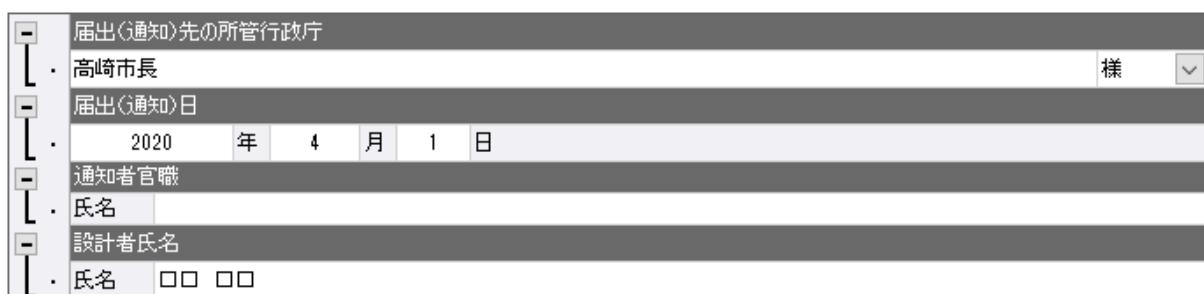
表の左側にある  ボタンをクリックすることで項目の入力内容が隠れ、ボタンが  から  に変化します。また、逆に  ボタンをクリックすることで項目の入力内容が表示され、ボタンが  から  に変化します。

## 項目の説明

項目	説明
届出書（通知書）の種類	作成する届出書の種類を「届出書（通知書）」、「変更届出書（通知書）」から選択します。

届出（通知）の別	届出の別を「法第19条第1項前段／法第20条2項前段」、「法第19条第4項において読み替えて適用する同条第1項前段の規定による届出」、「法附則第3条第2項前段／法附則第3条第7項前段」、「法附則第3条第5項において読み替えて適用する同条第2項前段の規定による届出」から選択します。 ※「届出書（通知書）の種類」で「変更届出書（通知書）」を選択した場合、「法第19条第1項後段／法第20条2項後段」、「法第19条第4項において読み替えて適用する同条第1項後段の規定による届出」、「法附則第3条第2項後段／法附則第3条第7項後段」「法附則第3条第5項において読み替えて適用する同条第2項後段の規定による届出」から選択します。
届出（通知）先の所管行政庁	届出（通知）書を提出する所管行政庁を入力します。
敬称	敬称をリストの「様」、「殿」、「(空欄)」から選択します。 
届出（通知）日	届出日を入力します。 半角で、年は1900～9999、月は1～12、日は1～31までの範囲が入力可能です。
届出者の住所又は主たる事務所の所在地	届出者の住所又は主たる事務所の所在地を入力します。
届出者の氏名 又は名称	届出者の氏名を入力します。
代表者の氏名	代表者の役職と氏名を入力します。

通知書を使用する場合は、「建築主が国等(国、都道府県又は建築主事を置く市町村)」にチェックします。



## 項目の説明

項目	説明
通知者官職	通知者官職の氏名を入力します。
設計者氏名	設計者の氏名を入力します。

### 2.2.2 変更届出書

第一面で変更届出書を選択した場合は、画面下段にこの内容が表示されます。

※既に届出済みの物件について、届出内容の変更を行う場合に使用します。

-	届出(通知)先の所管行政庁	様	▼
└	・ 高崎市長		
-	届出(通知)日		
└	・ 2020 年 4 月 1 日		
-	届出者の住所又は主たる事務所の所在地		
└	・ △△県△△市△△町△丁目△番地		
-	届出者の氏名又は名称		
└	・ 氏名 株式会社 ○○		
-	代表者の氏名		
└	・ 氏名 代表取締役社長 ●● ●●		
-	受付欄		
└	・ 受付番号 第 号		
・ 届出日	年	月	日
・ 変更内容の概要			

## 項目の説明

項目	説明
受付欄	
受付番号	前回届出書を提出したときの受付番号を入力します。
届出日	前回届出書を提出したときの日付を西暦で入力します。
変更内容の概要	特記事項を入力します。

### 2.2.3 届出書（通知書）（第二面）

届出書（通知書）（第二面）について登録します。

建築サンプルデータ.isar4b - A-repo4 - [届出書(通知書)]

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) インポート(I) ツール(T) オンラインサポート(Q) ヘルプ(H) お知らせ(N)

■建物名称: 10000m<sup>2</sup>事務所ビル ■地域区分【省エネ基準】6地域 | 計算結果を確認 (Ver.3.9.0)

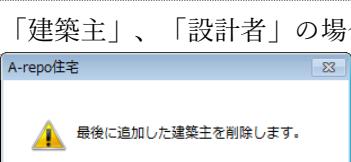
## A-repo4 建築

第一面 (第二面) 第三面(1) 第三面(2)

<b>1. 建築主</b>	<b>追加</b>	<b>削除...</b>
イ. 氏名のフリガナ カクシカイイハ〇〇 タイヨウリヤウシヨウ ●● ●●		
ロ. 氏名 株式会社〇〇 代表取締役社長 ●● ●●		
ハ. 郵便番号 〇〇〇-〇〇〇〇		
ニ. 住所 〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番地		
ホ. 電話番号 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇		
<b>2. 代理者</b>	<b>追加</b>	<b>削除...</b>
イ. 氏名 ▲▲ ▲▲		
ロ. 勤務先 株式会社△△		
ハ. 郵便番号 △△△-△△△△		
ニ. 所在地 △△県△△市△△町△丁目△番地		
ホ. 電話番号 △△△-△△△-△△△△		
<b>3. 設計者</b>	<b>追加</b>	<b>削除...</b>
イ. 氏名 【2. 代理者】と同じ		
ロ. 勤務先		
ハ. 郵便番号		
ニ. 所在地		
ホ. 電話番号		
<b>4. 備考</b>		
建物名称 10000m <sup>2</sup> 事務所ビル		
備考		

表の左側にあるボタンは、届出書（通知書）（第一面）の入力画面と同様に項目の入力内容を隠したり表示したりします。

ツール

[追加]	<p>「建築主」、「設計者」の場合、入力欄を最大で5人分まで追加することができます。また、2人目以降の情報は、「届出書（通知書）（第二面別紙）」として印刷、Excel ファイル出力されます。</p>
[削除]	<p>「建築主」、「設計者」の場合、追加した入力欄を削除することができます。</p> <div data-bbox="336 1619 687 1781"><p>「建築主」、「設計者」の場合、追加した入力欄を削除することができます。</p><p>確認メッセージ</p><p>最後に追加した建築主を削除します。</p><p>はい(Y) いいえ(N)</p></div> <p>入力欄を追加していない場合は、ボタンが無効となり削除できません。</p>

## 項目の説明

項目	説明
建築主	
氏名のフリガナ	会社名および代表者のフリガナをカタカナで入力します。
氏名	会社名および代表者名を入力します。
郵便番号	郵便番号を入力します。
住所	住所を入力します。
電話番号	電話番号を入力します。
代理人	
氏名	代理人名を入力します。
勤務先	会社名を入力します。
郵便番号	郵便番号を入力します。
所在地	住所を入力します。
電話番号	電話番号を入力します。
設計者	
氏名	設計者名を入力します。
勤務先	会社名を入力します。
郵便番号	建築士事務所の郵便番号を入力します。
所在地	建築士事務所の住所を入力します。
電話番号	建築士事務所の電話番号を入力します。
備考	第二面の備考を入力します。

## 2.2.4 届出書（通知書）（第三面(1)）

第三面では、主に建物の概要について入力します。

The screenshot shows the A-repo4建築 software interface. The left sidebar contains a tree view of categories such as 基本情報 (Basic Information), 届出書等 (Application Forms), 室・空調ゾーン (Room/Air Conditioning Zones), 建築外皮 (Building Exterior), 空調設備 (Air Conditioning Equipment), and so on. The main window displays the third page of the application form, which includes fields for 地名地番 (Address), 敷地面積 (Plot Area), 建築面積 (Building Area), 延べ面積 (Total Area), 階数 (Floor Count), 建築物の用途 (Building Purpose), 住戸数 (Number of Households), 工事種別 (Construction Type), 建築物の床面積 (Building Floor Area), 構造 (Structure), 法附則第3条の適用 (Article 3 of the Building Regulations), and 基准省令附則第2条の適用 (Article 2 of the Building Standards). The right side of the window has a status bar with '計算結果を確認 (Ver.3.9.0)'.

表の左側にあるボタンは、届出書（通知書）（第一面）の入力画面と同様に項目の入力内容を隠したり表示したりします。

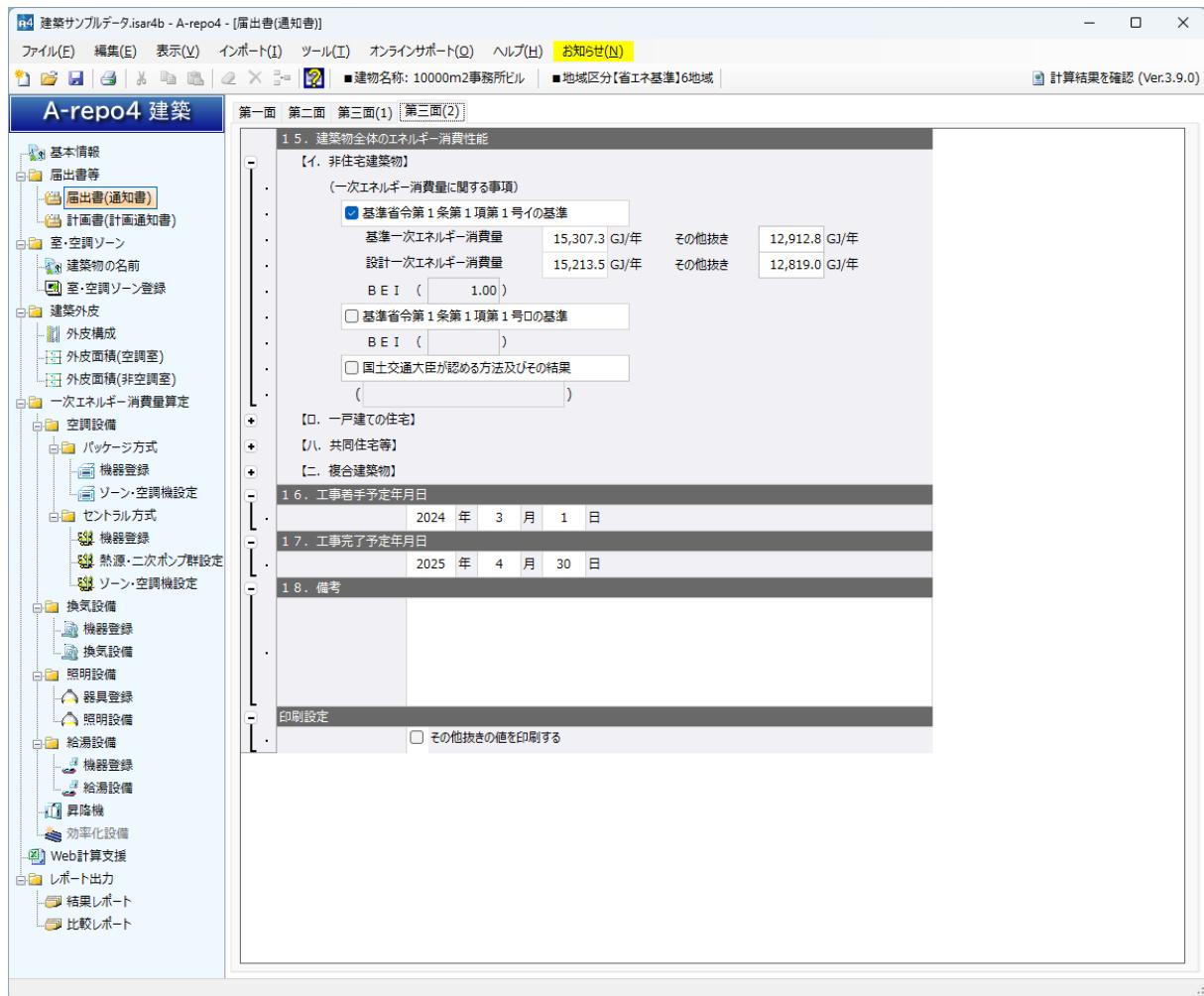
### 項目の説明

項目	説明
地名地番	「基本情報（建築用）」で入力した所在地が表示されます。
敷地面積、建築面積、延べ面積	「基本情報（建築用）」で入力した各面積を表示します。
建築物の階数	「基本情報（建築用）」で入力した地上、地下階数を表示します。
建築物の用途	建築物の用途を選択します。通常は「非住宅建築物」を選択します。
建築物の住戸の数	空白です。A-repo4建築では住戸の計算は行えません。

工事種別	新築・増築・改築から選択します。
建築物の床面積	
新築	新築の場合、床面積と、開放部分を除いた面積を入力します。
増築	増築の場合、建物全体の床面積と、開放部分を除いた面積を入力します。 また、増築部分の全体床面積と、開放部分を除いた面積を入力します
改築	改築の場合、建物全体の床面積と、開放部分を除いた面積を入力します。 また、改築部分の全体床面積と、開放部分を除いた面積を入力します
構造	建物の主たる構造、および一部の構造を入力します。
法附則第3条の適用の有無	法附則第3条の適用の有無を選択します。適用有の場合、竣工年月日を西暦で入力します。年は1900～9999、月は1～12までの範囲を半角で、日は1～31まで入力可能です。
基準省令附則第2条の適用の有無	基準省令附則第2条 適用の有無を選択します。 適用有の場合、認定を受けた所轄行政庁の名称を入力します。
基準省令附則第3条若しくは第4条又は令和4年改正基準省令附則第2項の適用の有無	基準省令附則第3条若しくは第4条又は令和4年改正基準省令附則第2項の適用の有無を選択します。 適用有の場合、竣工年月日を西暦で入力します。年は1900～9999、月は1～12までの範囲を半角で、日は1～31まで入力可能です。
該当する地域の区分	「基本情報（建築用）」で入力した省エネルギー基準地域区分を表示します。

## 2.2.5 届出書（通知書）（第三面(2)）

第三面(2)では、主に建物の省エネルギー性能について入力します。



表の左側にある□ボタンは、届出書(第一面)の入力画面と同様に項目の入力内容を隠したり表示したりします。

### 項目の説明

項目	説明
【イ. 非住宅建築物】	
(一次エネルギー消費量に関する事項)	
基準省令第1条第1項第1号 イ の基準	非住宅部分の一次エネルギー消費量を手入力します。 標準入力法、または主要室入力法を用いて計算した場合 (A-repo 建築で計算した場合) は、「イ」を選択し、一次エネルギー消費量を手作業で転記します。
基準一次エネルギー 消費量	非住宅部分の基準一次エネルギー消費量を入力します。
設計一次エネルギー 消費量	非住宅部分の設計一次エネルギー消費量を入力します。

基準省令第1条第1項第1号 口 の基準	モデル建物法により計算した場合は、「口」を選択し、BEI値を入力します。
BEI	非住宅部分の BEI を入力します。
国土交通大臣が認める 方法及びその結果	上記以外の方法を用いるときに選択します。
工事着手予定年月日	西暦で入力します。年は 1900~9999, 月は 1~12 までの範囲を半角で、日は文字(「初旬」など)が入力可能です。
工事完了予定年月日	〃
備考	必要に応じて入力します。
印刷設定	出力する届出書に、「その他を除く一次エネルギー消費量」も印刷する場合、チェックします。

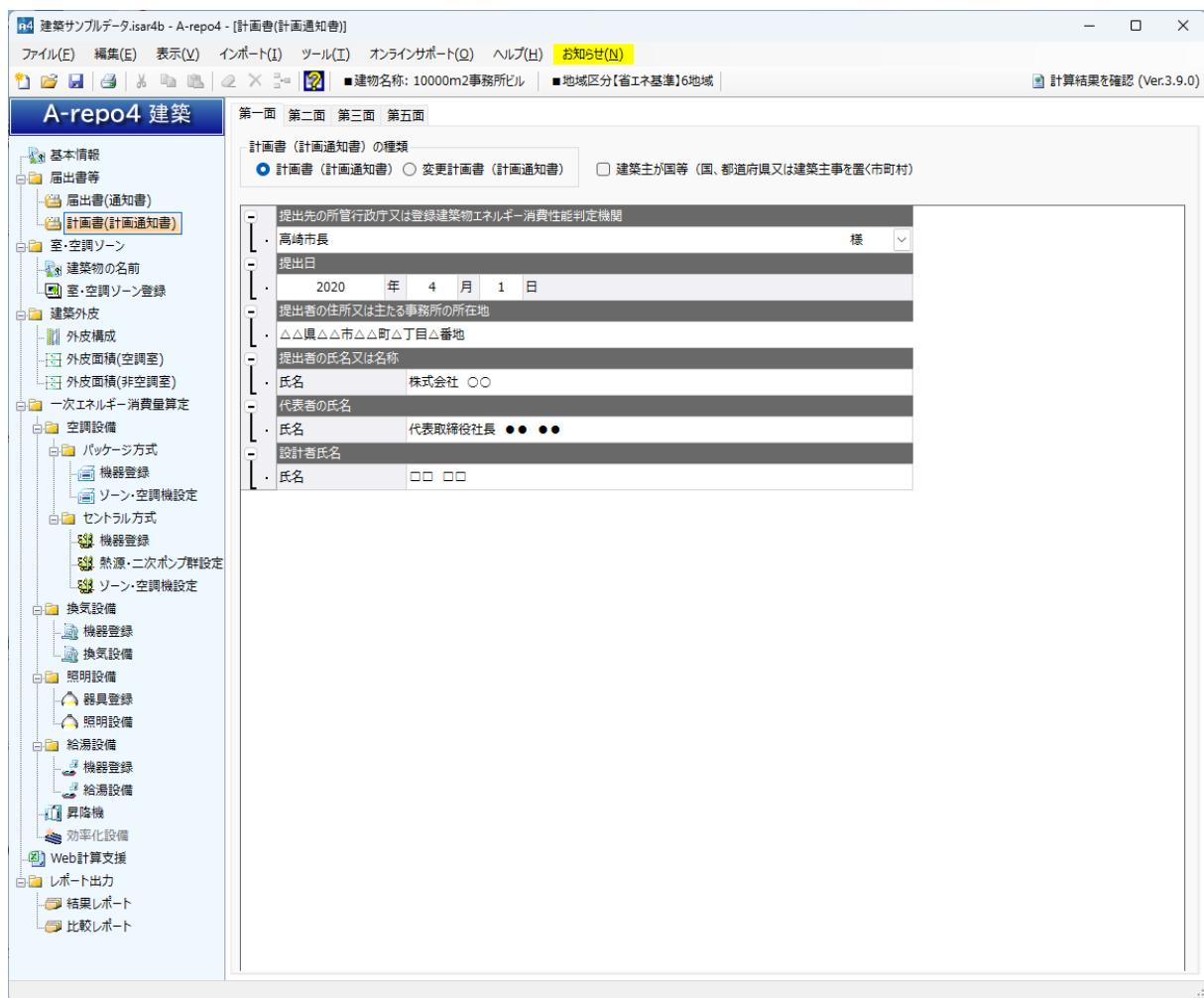
## 2.3 計画書（計画通知書）令和7年3月以前（建築用）

建築物の計画書、第一面から第五面までを作成します。第四面・第六面・第七面は入力項目が無いため画面は表示されませんが、印刷される計画書には出力されます。

[第一面] 第二面 第三面 第五面

### 2.3.1 計画書（計画通知書）（第一面、変更計画書）

計画書（計画通知書）（第一面）または変更計画書（計画通知書）について登録します。



表の左側にあるボタンをクリックすることで項目の入力内容が隠れ、ボタンがからに変化します。また、逆にボタンをクリックすることで項目の入力内容が表示され、ボタンがからに変化します。

#### 項目の説明

項目	説明
計画書（計画通知書）の種類	作成する計画書の種類を「計画書（計画通知書）」、「変更計画書（計画通知書）」から選択します。

提出先の所管行政庁 又は登録建築物エネルギー消費性能判定機関	計画書を提出する所管行政庁または評価機関を入力します。
敬称	敬称をリストの「様」、「殿」、「(空欄)」から選択します。 
提出日	提出日を入力します。 半角で、年は1900～9999、月は1～12、日は1～31までの範囲が入力可能です。
提出者の住所又は主たる事務所の所在地	提出者の住所、又は主たる事務所の所在地を入力します。
提出者氏名又は名称	提出者の氏名又は名称を入力します。
代表者の氏名	代表者の氏名を入力します。
設計者氏名	設計者氏名を入力します。

計画通知書を使用する場合は、「建築主が国等(国、都道府県又は建築主事を置く市町村)」にチェックします。

提出先の所管行政庁又は登録建築物エネルギー消費性能判定機関  
・高崎市長 様

提出日  
・ 2020 年 4 月 1 日

通知者官職  
・ 氏名

設計者氏名  
・ 氏名 □□ □□

#### 項目の説明

項目	説明
通知者官職	通知者官職の氏名を入力します。

### 2.3.2 変更計画書（計画通知書）

第一面で変更計画書（計画通知書）を選択した場合は、画面下段にこの内容が表示されます。

※既に届出済みの物件について、計画内容の変更を行う場合に使用します。

提出先の所管行政庁又は登録建築物エネルギー消費性能判定機関	
・ 高崎市長	
提出日	
・ 2020 年 4 月 1 日	
提出者の住所又は主たる事務所の所在地	
・ △△県△△市△△町△丁目△番地	
提出者の氏名又は名称	
・ 氏名 株式会社 ○○	
代表者の氏名	
・ 氏名 代表取締役社長 ●● ●●	
設計者氏名	
・ 氏名 □□ □□	
適合判定通知書	
・ 通知書番号	第 号
・ 交付年月日	年 月 日
・ 通知書交付者	
・ 計画変更の対象の範囲	<input checked="" type="checkbox"/> 建築物全体 <input type="checkbox"/> 建築物の一部(非住宅部分) <input type="checkbox"/> 建築物の一部(住宅部分)
・ 計画変更の概要	

#### 項目の説明

項目	説明
適合判定通知書	
通知書番号	前回計画書を提出したときの受付番号を入力します。
交付年月日	前回計画書を提出したときの交付年月日を西暦で入力します。
通知書交付者	計画書を提出したときの交付者名を入力します。
計画変更の対象の範囲	変更の範囲を選択します。
計画変更の概要	変更する内容の概要を入力します。

### 2.3.3 計画書（計画通知書）（第二面）

計画書（計画通知書）（第二面）について登録します。

The screenshot shows the A-repo4 Building software interface. The title bar indicates the file is '建策サンプルデータ iar4b - A-repo4 - [計画書(計画通知書)]'. The menu bar includes 'ファイル(F)', '編集(E)', '表示(V)', 'インポート(I)', 'ツール(T)', 'オンラインサポート(O)', 'ヘルプ(H)', and 'お知らせ(N)'. The status bar shows '建物名称: 10000m2事務所ビル' and '■地域区分【省エネ基準】6地域'. The main window has a left sidebar with categories like '基本情報', '届出書等', '建築物の名前', '建築外皮', '一次エネルギー消費量算定', '換気設備', '給湯設備', '効率化設備', 'Web計算支援', 'レポート出力', and '結果レポート'. The right panel displays the '第二面' tab of the '計画書(計画通知書)' form. The form fields include:

1. 建築主	追加	削除...	
イ. 氏名のフリガナ	カワジカワ イチヤ〇〇 タ"化ヨウタリヤウカシヨウ ●● ●●		
ロ. 氏名	株式会社〇〇 代表取締役社長 ●● ●●		
ハ. 郵便番号	〇〇〇-〇〇〇〇		
二. 住所	〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番地		
ホ. 電話番号	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇		
2. 代理者	追加	削除...	
イ. 資格	一级	建築士	大臣 登録 第 123456 号
ロ. 氏名	▲▲ ▲▲		
ハ. 建築士事務所名	一级	建築士事務所	群馬県 知事登録 第 827 号
二. 郵便番号	△△△-△△△△		
ホ. 所在地	△△県△△市△△町△丁目△番地		
ハ. 電話番号	△△△-△△△-△△△△		
3. 設計者	追加	削除...	
(代表となる設計者)			
イ. 資格	建築士	登録 第	号
ロ. 氏名	【2. 代理者】と同じ		
ハ. 建築士事務所名	建築士事務所	知事登録 第	号
二. 郵便番号			
ホ. 所在地			
ハ. 電話番号			
ト. 作成した設計図書			
4. 確認の申請			
<input type="checkbox"/> 申請済	(	)	
<input checked="" type="checkbox"/> 未申請	(	)	
5. 備考			
建物名称	10000m2事務所ビル		
備考			

表の左側にある□ボタンは、届出書(第一面)の入力画面と同様に項目の入力内容を隠したり表示したりします。

## ツール

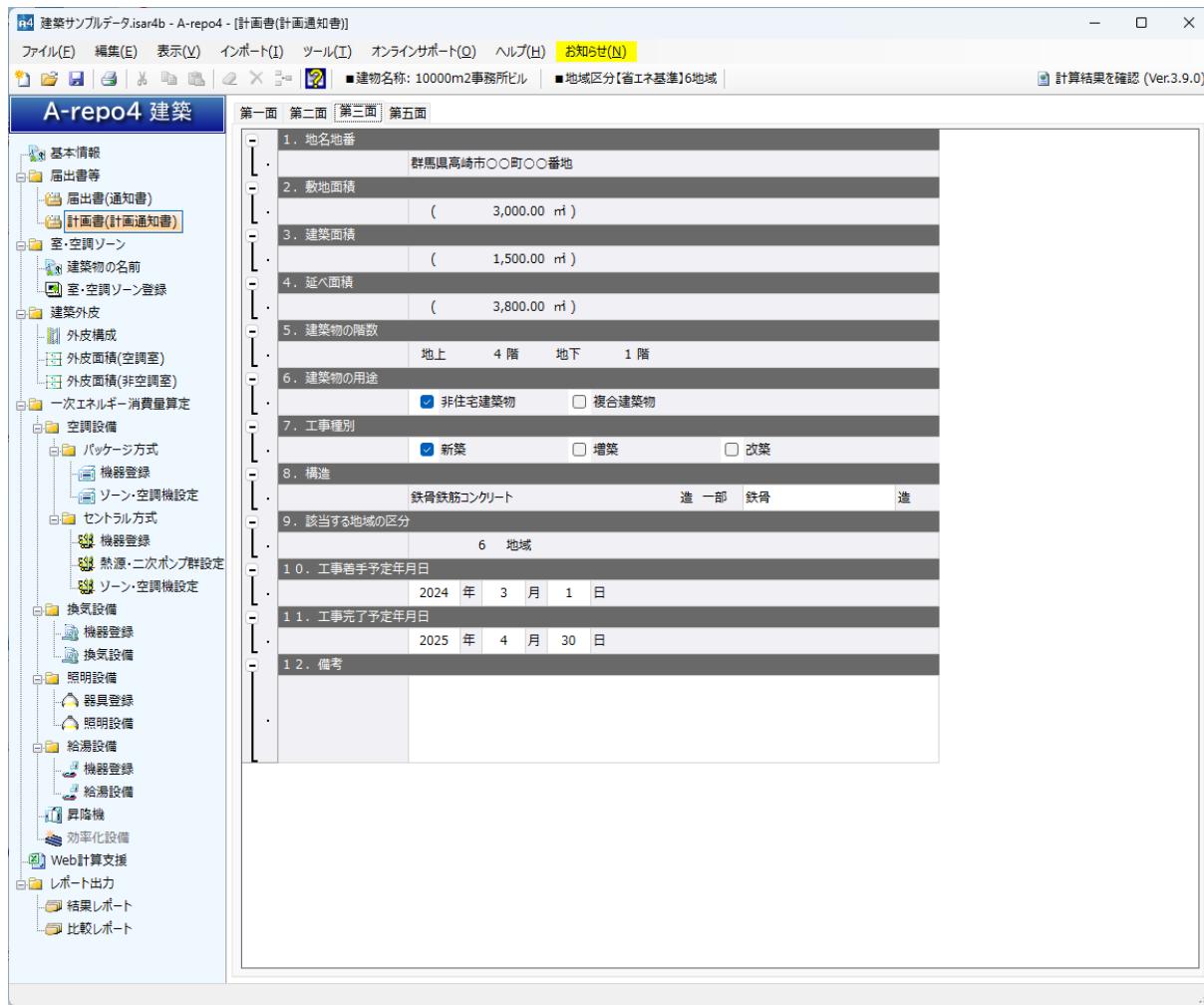
[追加]	「建築主」、「設計者」の場合、入力欄を最大で5人分まで追加することができます。また、2人目以降の情報は、「計画書（第二面別紙）」として印刷、Excelファイル出力されます。
[削除]	「建築主」、「設計者」の場合、追加した入力欄を削除することができます。  <p>入力欄を追加していない場合は、ボタンが無効となり削除できません。</p>

## 項目の説明

項目	説明
<b>建築主</b>	
氏名のフリガナ	会社名および代表者のフリガナをカタカナで入力します。
氏名	会社名および代表者名を入力します。
郵便番号	郵便番号を入力します。
住所	住所を入力します。
電話番号	電話番号を入力します。
<b>代理人</b>	
資格	建築士資格の級、および登録先、登録番号を入力します。
氏名	代理人名を入力します。
建築士事務所名	一行目に建築士事務所の建築士資格の級、登録先、登録番号を入力、二行目に建築士事務所名を入力します。
郵便番号	郵便番号を入力します。
所在地	住所を入力します。
電話番号	電話番号を入力します。
<b>設計者</b>	
資格	建築士資格の級、および登録先、登録番号を入力します。
氏名	設計者名を入力します。
建築士事務所名	一行目に建築士事務所の建築士資格の級、登録先、登録番号を入力、二行目に建築士事務所名を入力します。
郵便番号	建築士事務所の郵便番号を入力します。
所在地	建築士事務所の住所を入力します。
電話番号	建築士事務所の電話番号を入力します。
作成した設計図書	担当者として作成した設計図書を明記します。
<b>確認の申請</b>	
申請済・未申請	確認申請の済・未、および申請する機関名を記入します。
備考	備考を記入します。

### 2.3.4 計画書（計画通知書）（第三面）

第三面では、建築物の概要について入力します。



表の左側にあるボタンは、計画書（計画通知書）（第一面）の入力画面と同様に項目の入力内容を隠したり表示したりします。

#### 項目の説明

項目	説明
地名地番	「基本情報（建築用）基本情報（住宅用）」で入力した建築物所在地が表示されます。
敷地面積	「基本情報（建築用）」で入力した敷地面積が表示されます。
建築面積	「基本情報（建築用）」で入力した建築面積が表示されます。
延べ面積	「基本情報（建築用）」で入力した述べ面積が表示されます。
建築物の階数	「基本情報（建築用）」で入力した階数が表示されます。
建築物の用途	建築物の用途を選択します。
工事種別	新築・増築・改築から選択します。

構造	主たる構造、および一部のみの構造を入力します。
該当する地域の区分	「基本情報（建築用）」で入力した省エネルギー基準地域が表示されます。
工事着手予定年月日	西暦で入力します。年は1900～9999、月は1～12までの範囲を半角で、日は文字（「初旬」など）が入力可能です。
工事完了予定年月日	〃
備考	必要に応じて入力します。

## 2.3.5 計画書（計画通知書）（第五面）

第五面では、非住宅部分に関する情報を入力します。

※第四面は、入力できる項目が無いため、A-repo では画面がありません。

The screenshot shows the A-repo4 Building software interface. The title bar indicates it's for 'Building Sample Data.isar4b - A-repo4 - [Plan Application (Notice of Plan)]'. The menu bar includes File (ファイル), Edit (編集), View (表示), Import (インポート), Tools (ツール), Online Support (オンラインサポート), Help (ヘルプ), and Notice (お知らせ). The status bar shows 'Building Name: 10000m2 Office Building' and 'Area Division [Prefecture Energy Standard] 6 Areas'. A button for 'Check Calculation Results (Ver.3.9.0)' is also present.

The main window has tabs for First Page, Second Page, Third Page, and Fifth Page. The Fifth Page tab is active, showing the following sections:

- 1. Non-residential building uses:
  - Checkboxes for: Office buildings, Hotels, Hospitals, Item sales, Schools, Restaurants, Assembly halls, Factories.
- 2. Non-residential building floor area:
  - Sub-sections for New Construction (新築), Addition (増築), and Renovation (改築).
  - Inputs for total floor area (4350.00 m²) and open part excluding floor area (3800.00 m²).
- 3. Application of Article 3 of the Regulation (適用有無):
  - Checkboxes for 'Applicable' (有) and 'Not Applicable' (無).
  - Inputs for completion date (Completion year/month/day).
- 4. Non-residential building energy consumption:
  - Checkboxes for 'Based on Article 1, Paragraph 1, Item 1, Article 1' (基準省令第1条第1項第1号の基準) and 'Based on Article 1, Paragraph 1, Item 1, Article 1' (基準省令第1条第1項第1号の基準).
  - Inputs for BEI values (1.00).
  - Checkboxes for 'Other energy consumption' (その他抜き一次エネ値) and 'National Land Transportation Agency recognition method' (国土交通大臣が認める方法及びその結果).
- 5. Notes (備考):
  - Text input field.
- Print settings (印刷設定):
  - Checkboxes for 'Print other extracted values' (その他抜きの値を印刷).

表の左側にある□ボタンは、届出書(第一面)の入力画面と同様に項目の入力内容を隠したり表示したりします。

### 項目の説明

項目	説明
非住宅部分の用途	用途区分が表示されます。 「基本情報（住宅用）」で選択した内容が表示されます。
非住宅部分の床面積	
新築	新築床面積、および開放部分を除いた部分の床面積を入力します。
増築	既存部分・増築部分合計の床面積、および同じく合計の開放部分を除いた床面積、および増築する部分の床面積と開放部分を除いた部分の床面積を入力します。

改築	既存部分・改築部分合計の床面積、および同じく合計の開放部分を除いた床面積、および改築する部分の床面積と開放部分を除いた部分の床面積を入力します。
基準省令附則第3条 又は令和4年改正基準 省令附則第2項の適用 の有無	基準省令附則第3条又は令和4年改正基準省令附則第2項の適用の有無を入力します。 有を選択した場合には、竣工年月日も入力します。
非住宅部分のエネルギー消費性能	
基準省令第1条第1項第1号 イ の基準	非住宅部分の一次エネルギー消費量が表示されます。 標準入力法、または主要室入力法を用いて計算した場合 (A-repo 建築で計算した場合) は、「イ」を選択します。
基準一次エネルギー消費量	「イ の基準」を選択した場合、非住宅部分の基準一次エネルギー消費量を入力します。 Web プログラムにより計算した値を入力します。
設計一次エネルギー消費量	「イ の基準」を選択した場合、非住宅部分の設計一次エネルギー消費量を入力します。 Web プログラムにより計算した値を入力します。
BEI	BEI 値が表示されます。 BEI = その他を除く設計一次エネルギー消費量 ÷ その他を除く基準一次エネルギー消費量
準省令第1条第1項 第1号 ロ の基準	モデル建物法により計算した場合は、「ロ」を選択します。
BEI	「ロ の基準」を選択した場合は、Web プログラムにより計算した値を入力します。
国土交通大臣が認める方法 及びその結果	国土交通大臣が認める方法及びその結果がある場合は入力します。
備考	必要に応じて入力します。
印刷設定	チェックを On に設定すると、出力する計画書に、「その他を除く一次エネルギー消費量」の値も印字します。

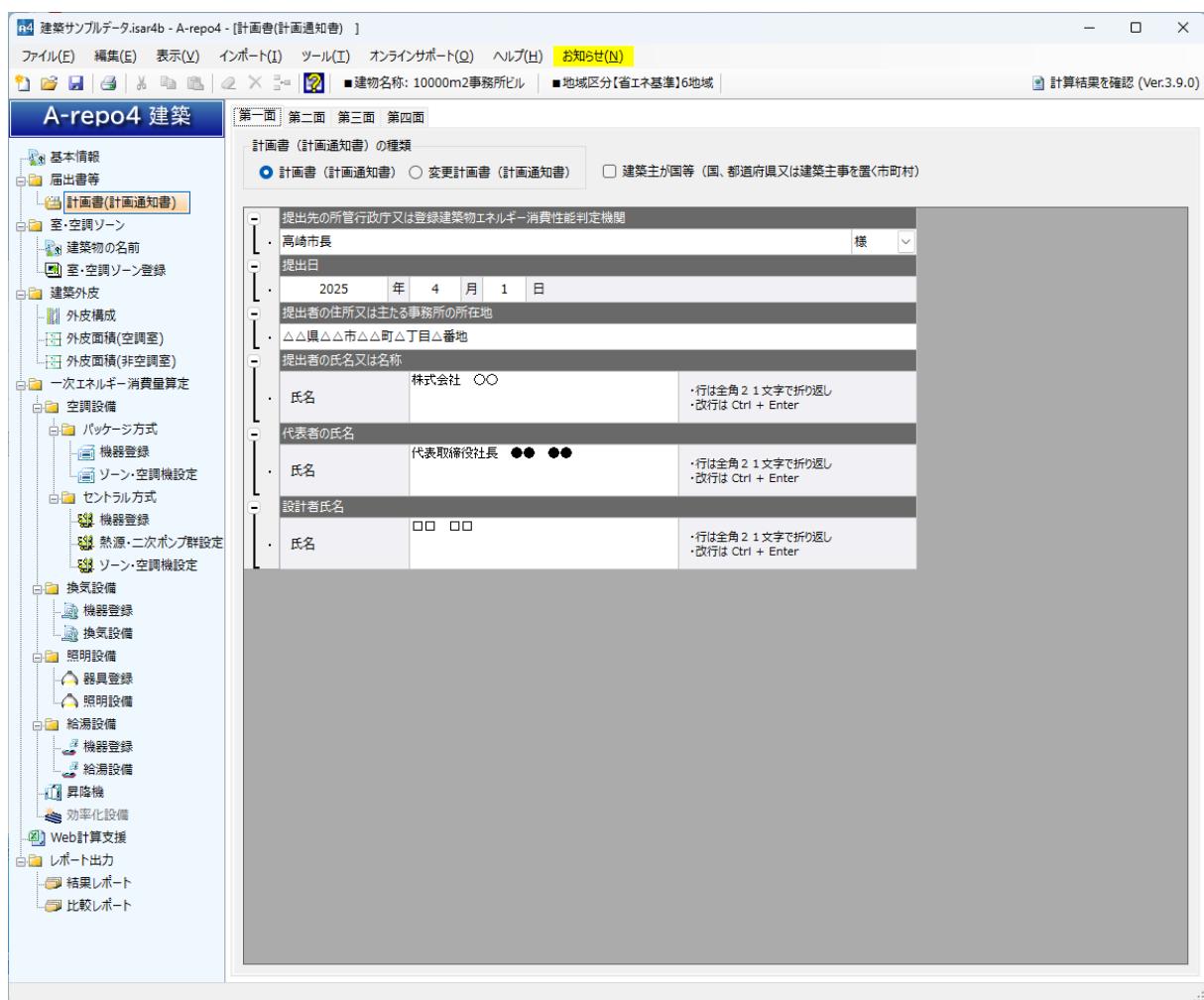
## 2.4 計画書（計画通知書）令和7年4月以降（建築用）

建築物の計画書、第一面から第五面までを作成します。第五面は入力項目が無いため画面は表示されませんが、印刷される計画書には出力されます。

第一面 第二面 第三面 第四面

### 2.4.1 計画書（計画通知書）（第一面、変更計画書）

計画書（計画通知書）（第一面）または変更計画書（計画通知書）について登録します。



表の左側にある□ボタンをクリックすることで項目の入力内容が隠れ、ボタンが□から⊕に変化します。また、逆に⊕ボタンをクリックすることで項目の入力内容が表示され、ボタンが⊕から□に変化します。

## 項目の説明

項目	説明
計画書（計画通知書）の種類	作成する計画書の種類を「計画書（計画通知書）」、「変更計画書（計画通知書）」から選択します。
提出先の所管行政庁又は登録建築物エネルギー消費性能判定機関	計画書を提出する所管行政庁または評価機関を入力します。
敬称	敬称をリストの「様」、「殿」、「(空欄)」から選択します。 
提出日	提出日を入力します。 半角で、年は1900～9999、月は1～12、日は1～31までの範囲が入力可能です。
提出者の住所又は主たる事務所の所在地	提出者の住所、又は主たる事務所の所在地を入力します。
提出者氏名又は名称	提出者の氏名又は名称を入力します。
代表者の氏名	代表者の氏名を入力します。
設計者氏名	設計者氏名を入力します。

計画通知書を使用する場合は、「建築主が国等(国、都道府県又は建築主を置く市町村)」にチェックします。



提出先の所管行政庁又は登録建築物エネルギー消費性能判定機関  
高崎市長 様

提出日  
2025 年 1 月 1 日

通知者官職  
氏名

・行は全角21文字で折り返し  
・改行は Ctrl + Enter

設計者氏名  
氏名

・行は全角21文字で折り返し  
・改行は Ctrl + Enter

## 項目の説明

項目	説明
通知者官職	通知者官職の氏名を入力します。

## 2.4.2 変更計画書（計画通知書）

第一面で変更計画書（計画通知書）を選択した場合は、画面下段にこの内容が表示されます。

※既に届出済みの物件について、計画内容の変更を行う場合に使用します。

提出先の所管行政庁又は登録建築物エネルギー消費性能判定機関			
高崎市長			
提出日 2025 年 1 月 1 日			
提出者の住所又は主たる事務所の所在地 △△県△△市△△町△丁目△番地			
提出者の氏名又は名称 株式会社 ○○ 氏名			
・行は全角21文字で折り返し ・改行は Ctrl + Enter			
代表者の氏名 代表取締役社長 ●● ●● 氏名			
・行は全角21文字で折り返し ・改行は Ctrl + Enter			
設計者氏名 □□ □□ 氏名			
・行は全角21文字で折り返し ・改行は Ctrl + Enter			
適合判定通知書			
通知書番号	第	号	
交付年月日	年	月	日
通知書交付者			
計画変更の概要			

### 項目の説明

項目	説明
適合判定通知書	
通知書番号	前回計画書を提出したときの受付番号を入力します。
交付年月日	前回計画書を提出したときの交付年月日を西暦で入力します。
通知書交付者	計画書を提出したときの交付者名を入力します。
計画変更の概要	変更する内容の概要を入力します。

## 2.4.3 計画書（計画通知書）（第二面）

計画書（計画通知書）（第二面）について登録します。

建築サンプルデータ.isar4b - A-repo4 - [計画書(計画通知書)]

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) インポート(I) ツール(T) オンラインサポート(Q) ヘルプ(H) お知らせ(N)

建物名称: 10000m<sup>2</sup>事務所ビル 地域区分【省エネ基準】6地域

計算結果を確認 (Ver.3.9.0)

A-repo4 建築

第一面 第二面 第三面 第四面

1. 建築主

イ. 氏名のフリガナ	カワシカイイヤ〇〇 タ化ヨトリマリヤケヤヨウ ●● ●●
ロ. 氏名	株式会社〇〇 代表取締役社長 ●● ●●
ハ. 郵便番号	〇〇〇-〇〇〇〇
ニ. 住所	〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番地
ホ. 電話番号	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

2. 代理者

イ. 氏名	カワシカイイヤ▲▲
ロ. 勤務先	株式会社△△
ハ. 郵便番号	△△△-△△△△
ニ. 住所	△△県△△市△△町△丁目△番地
ホ. 電話番号	△△△-△△△-△△△△

3. 設計者

(代表となる設計者)	一級	建築士 大臣 登録 第 123456 号
イ. 資格	一級	建築士 大臣 登録 第 123456 号
ロ. 氏名	【2. 代理者】と同じ	建築士事務所 知事登録 第 号
ハ. 建築士事務所名	建築士事務所 知事登録 第 号	
ニ. 郵便番号		
ホ. 所在地		
ハ. 電話番号		
ト. 作成した設計図書		

4. 確認の申請

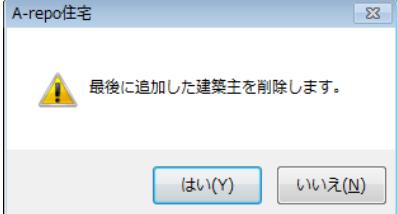
<input type="checkbox"/> 申請済	
<input checked="" type="checkbox"/> 未申請	

5. 備考

建物名称	10000m <sup>2</sup> 事務所ビル
備考	

表の左側にある□ボタンは、届出書(第一面)の入力画面と同様に項目の入力内容を隠したり表示したりします。

## ツール

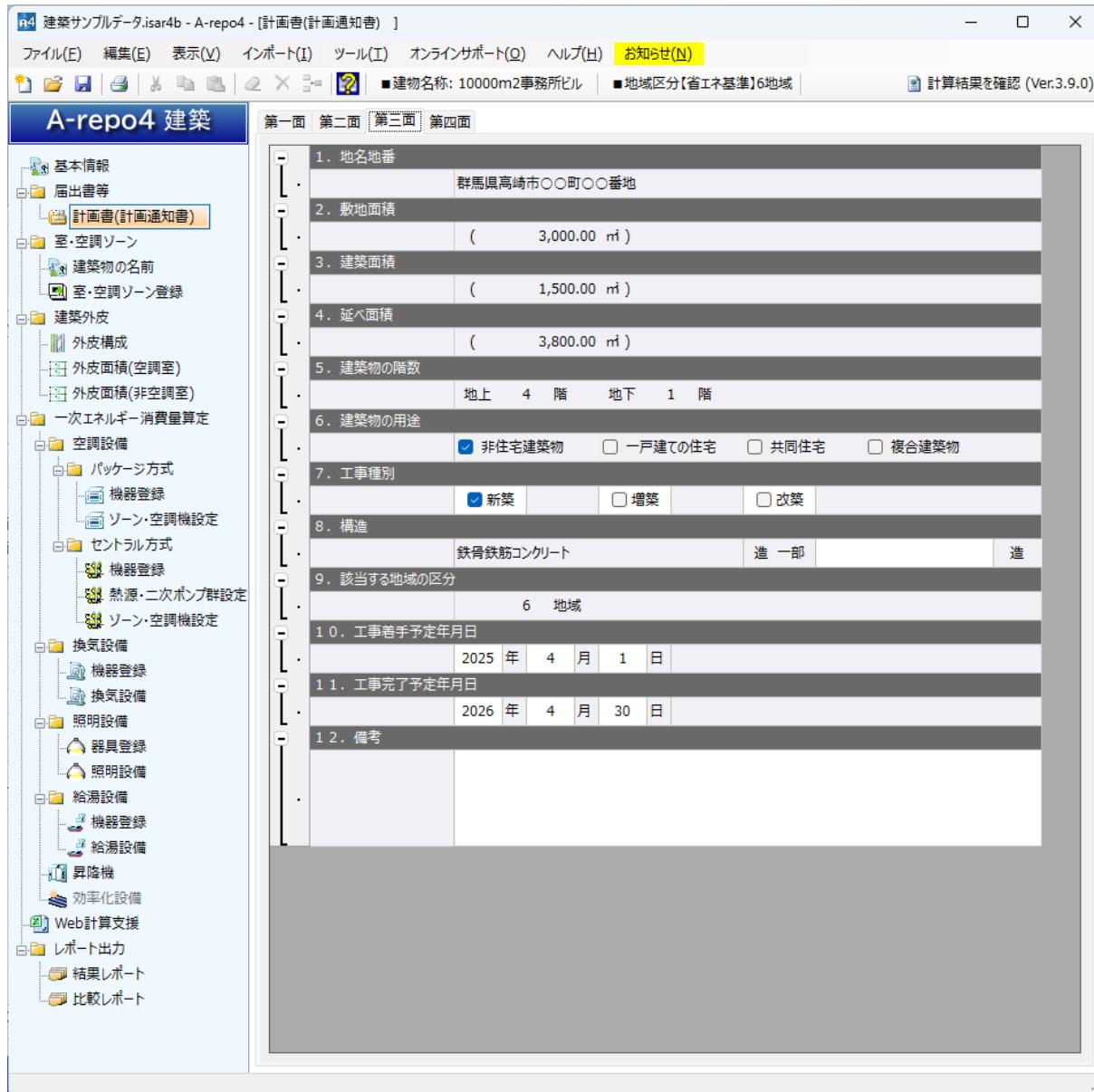
[追加]	「建築主」、「設計者」の場合、入力欄を最大で5人分まで追加することができます。また、2人目以降の情報は、「計画書（第二面別紙）」として印刷、Excelファイル出力されます。
[削除]	「建築主」、「設計者」の場合、追加した入力欄を削除することができます。  <p>入力欄を追加していない場合は、ボタンが無効となり削除できません。</p>

## 項目の説明

項目	説明
<b>建築主</b>	
氏名のフリガナ	会社名および代表者のフリガナをカタカナで入力します。
氏名	会社名および代表者名を入力します。
郵便番号	郵便番号を入力します。
住所	住所を入力します。
電話番号	電話番号を入力します。
<b>代理人</b>	
氏名	代理人名を入力します。
勤務先	勤務先を入力します。
郵便番号	郵便番号を入力します。
住所	住所を入力します。
電話番号	電話番号を入力します。
<b>設計者</b>	
資格	建築士資格の級、および登録先、登録番号を入力します。
氏名	設計者名を入力します。
建築士事務所名	一行目に建築士事務所の建築士資格の級、登録先、登録番号を入力、二行目に建築士事務所名を入力します。
郵便番号	建築士事務所の郵便番号を入力します。
所在地	建築士事務所の住所を入力します。
電話番号	建築士事務所の電話番号を入力します。
作成した設計図書	担当者として作成した設計図書を明記します。
<b>確認の申請</b>	
申請済・未申請	確認申請の済・未、および申請する機関名を記入します。
備考	備考を記入します。

## 2.4.4 計画書（計画通知書）（第三面）

第三面では、建築物の概要について入力します。



表の左側にある□ボタンは、計画書（計画通知書）（第一面）の入力画面と同様に項目の入力内容を隠したり表示したりします。

### 項目の説明

項目	説明
地名地番	「基本情報（建築用）基本情報（住宅用）」で入力した建築物所在地が表示されます。
敷地面積	「基本情報（建築用）」で入力した敷地面積が表示されます。
建築面積	「基本情報（建築用）」で入力した建築面積が表示されます。
延べ面積	「基本情報（建築用）」で入力した述べ面積が表示されます。

建築物の階数	「基本情報（建築用）」で入力した階数が表示されます。
建築物の用途	建築物の用途を選択します。
工事種別	新築・増築・改築から選択します。
構造	主たる構造、および一部のみの構造を入力します。
該当する地域の区分	「基本情報（建築用）」で入力した省エネルギー基準地域が表示されます。
工事着手予定年月日	西暦で入力します。年は1900～9999、月は1～12までの範囲を半角で、日は文字（「初旬」など）が入力可能です。
工事完了予定年月日	〃
備考	必要に応じて入力します。

## 2.4.5 計画書（計画通知書）（第四面）

第四面では、非住宅部分に関する情報を入力します。

The screenshot shows the A-repo4 Building software interface. On the left is a tree view of building components. The main area is divided into sections:

- 1. 非住宅部分の用途**: Options include office, hotel, hospital, shop, school, restaurant, etc.
- 2. 建築物の住戸の数**: Shows '建築物全体 戸'.
- 3. 建築物の床面積**: Shows tables for new construction, expansion, and renovation, detailing gross floor area, open part area, and shared part area.
- 4. 建築物のエネルギー消費性能**: Details energy consumption performance based on standard values.
- 5. 備考**: Notes section.

表の左側にある-ボタンは、届出書(第一面)の入力画面と同様に項目の入力内容を隠したり表示したりします。

### 項目の説明

項目	説明
非住宅部分の用途	用途区分が表示されます。 「基本情報（住宅用）」で選択した内容が表示されます。
建築物の住戸の数	表示されません。

建築物の床面積	
新築	新築床面積、および開放部分を除いた部分の床面積を入力します。
増築	既存部分・増築部分合計の床面積、および同じく合計の開放部分を除いた床面積、および増築する部分の床面積と開放部分を除いた部分の床面積を入力します。
改築	既存部分・改築部分合計の床面積、および同じく合計の開放部分を除いた床面積、および改築する部分の床面積と開放部分を除いた部分の床面積を入力します。
建築物のエネルギー消費性能	
基準省令第1条第1項第1号イの基準	非住宅部分の一次エネルギー消費量が表示されます。 標準入力法、または主要室入力法を用いて計算した場合 (A-repo 建築で計算した場合) は、「イ」を選択します。
基準一次エネルギー消費量	「イ の基準」を選択した場合、非住宅部分の基準一次エネルギー消費量を入力します。 Web プログラムにより計算した値を入力します。
設計一次エネルギー消費量	「イ の基準」を選択した場合、非住宅部分の設計一次エネルギー消費量を入力します。 Web プログラムにより計算した値を入力します。
BEI	BEI 値が表示されます。 $\text{BEI} = \frac{\text{その他を除く設計一次エネルギー消費量}}{\text{その他を除く基準一次エネルギー消費量}}$
BEI の基準値	BEI の基準値を入力します。 $\text{BEI の基準値} = \frac{\text{基準一次エネルギー消費量}}{\text{引き上げ前の基準一次エネルギー消費量}}$ Web プログラムにより計算した値を入力します。
準省令第1条第1項第1号ロの基準	モデル建物法により計算した場合は、「ロ」を選択します。
BEI	「ロ の基準」を選択した場合は、Web プログラムにより計算した値を入力します。
BEI の基準値	BEI の基準値を入力します。 $\text{BEI の基準値} = \frac{\text{基準一次エネルギー消費量}}{\text{引き上げ前の基準一次エネルギー消費量}}$ Web プログラムにより計算した値を入力します。
国土交通大臣が認める方法及びその結果	国土交通大臣が認める方法及びその結果がある場合は入力します。
備考	必要に応じて入力します。

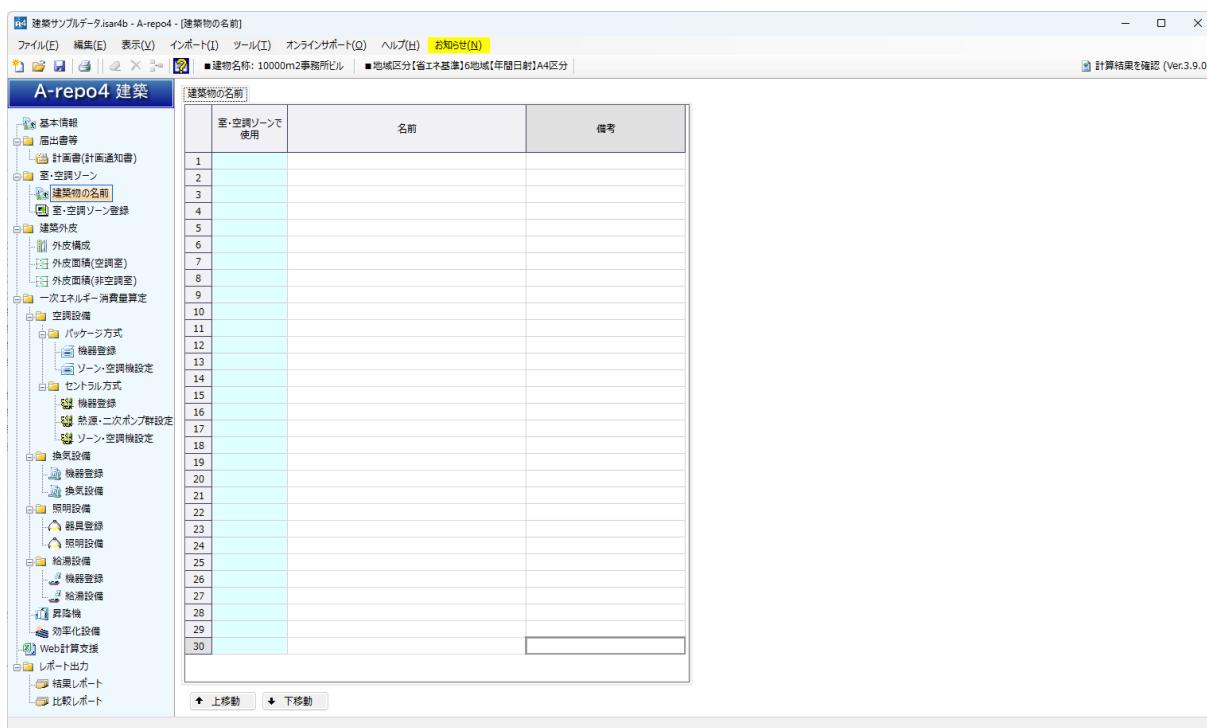
## 3 室・空調ゾーン登録

---

3.1 建築物の名前

3.2 室・空調ゾーン登録

### 3.1 建築物の名前



建築物の名前を登録します。最大 30 行まで登録できます。

#### 項目の説明

項目	説明
室・空調ゾーンで使用	室・空調ゾーン登録の建築物の名称に設定されている場合は、「○」が表示されます。
名前	建築物の名前を 40 文字以内で入力します。
備考	必要に応じてメモを入力することができます。
↑ 上移動	選択されている行を、1 行前に移動します。
↓ 下移動	選択されている行を、1 行後に移動します。

## 3.2 室・空調ゾーン登録

室名／空調ゾーン名	建物用途	室用途		住宅共用部	室内面積 [m <sup>2</sup> ]	階高 [m]	天
		大分類	小分類				
中央監視室	事務所等	事務所等	中央監視室		85.00	5.500	
清掃員控室	事務所等	事務所等	更衣室・倉庫		22.40	5.500	
書庫	事務所等	事務所等	更衣室・倉庫		22.10	5.500	
更衣室	事務所等	事務所等	更衣室・倉庫		12.00	5.500	
受水槽室	事務所等	事務所等	機械室		91.20	5.500	
機械室	事務所等	事務所等	機械室		238.50	5.500	
発電機室	事務所等	事務所等	電気室		70.20	5.500	
電気室	事務所等	事務所等	電気室		79.80	5.500	
MDF室	事務所等	事務所等	電気室		21.80	5.500	
廊下	事務所等	事務所等	廊下		80.90	5.500	
階段室N	事務所等	事務所等	廊下		22.40	5.500	
乗降ロビー	事務所等	事務所等	ロビー		11.20	5.500	
DS	事務所等	事務所等	機械室		7.00	5.500	
PS1	事務所等	事務所等	機械室		3.40	5.500	
倉庫1	事務所等	事務所等	更衣室・倉庫		16.20	5.500	
倉庫2	事務所等	事務所等	更衣室・倉庫		45.20	5.500	
PS2	事務所等	事務所等	機械室		3.40	5.500	
便所	事務所等	事務所等	便所		7.80	5.500	
湯沸コーナー	事務所等	事務所等	湯沸室等		7.70	5.500	
シャワーリーム	事務所等	事務所等	湯沸室等		8.40	5.500	
消火ポンプ室	事務所等	事務所等	機械室		15.00	5.500	
倉庫3	事務所等	事務所等	更衣室・倉庫		9.40	5.500	
階段室S	事務所等	事務所等	廊下		22.40	5.500	
合計					903.40		

室・空調ゾーンを登録します。最大 999 行まで登録できます。

### フロア

B1F	1F	2F	3F	4F	5F	6F	7F	8F	9F	PHF	全フロア一覧
-----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	--------

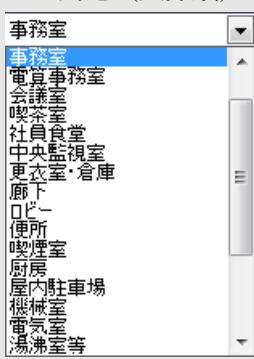
「1.3 メイン画面（建築用）」の「基本情報」で入力した階数のタブが表示されます。

階ごとに入力していきます。

### 項目の説明

項目	説明
室名／空調ゾーン名	基本的には外壁や内壁で囲まれた部屋の名称を入力しますが、空調系統が異なるなど、計算上で分別が必要な場合は、上の画面の例のように別室として登録しておきます。
建物用途	建物用途を選択することで、室用途を選択する際にリストの上部に建物用途に関連する室用途の選択がまとめて表示されるようになります。



室用途（大分類）	室用途（大分類）をプルダウンリストから選択します。 
室用途（小分類）	室用途（大分類）に適応した室用途（小分類）をプルダウンリストから選択します。 または、画面右側のリストをダブルクリックするか、シングルクリックして  ボタンを押しても選択することができます。 ※室用途（大分類）より選択できる室用途（小分類）名が変化します。
住宅共用部	住宅共用部の場合にチェックします。 このチェックのあり、なしが混在している場合に、の「住宅共用部と非住宅を分けて入力シートの Excel ファイルを出力ボタン」が有効になります。
室面積	m <sup>2</sup> 単位で入力します。半角で 0~999,999.99 の範囲で入力可能です。
階高	m単位で入力します。半角で 0~99.999 の範囲で入力可能です。
天井高	m単位で入力します。半角で 0~99.999 の範囲で入力可能です。
空調	「室用途」により定められた初期値としての、チェックマークが表示されますが、チェックを外すことができます。2.1 基本情報（建築用）の入力方法で主要室入力法を選択した場合は、主要室の列が表示されるので必要に応じて設定します。 チェックされているが、具体的な空調機器が設置されていない場合、背景色がピンク色になります。
換気	〃
給湯	〃
照明	〃
建築物の名称	登録した建築物の名前をプルダウンリストから選択します。
備考	必要に応じてメモを入力することができます。

## 階の編集

<b>階の作成...</b>	右端に階を追加します。
<b>階名の変更...</b>	既存の階名称を変更することができます。
<b>階の削除...</b>	カレントの階を削除します。
<b>階を移動←</b>	カレントの階を一つ左に移動します。
<b>階を移動→</b>	カレントの階を一つ右に移動します。
<b>室を移動↑</b>	カレントの室を一つ上に移動します。
<b>室を移動↓</b>	カレントの室を一つ下に移動します。
<b>機器未設置を一括オフ</b>	空調・換気・照明・給湯の各チェックボックスについて、具体的な機器が未設置の場合(背景色がピンクになっている場合)、そのチェックを一括で外します。

<b>室用途（大分類）</b>	画面右側の室用途（大分類）を選択することで、室用途（小分類）を選択する際にリストの表示範囲が絞られます。
-----------------	--

<b>室用途（小分類）</b>	室用途（小分類）選択リストから室用途を選択し、  ボタンを押すか選択項目をダブルクリック、又は選択項目を左側画面にドラッグアンドドロップすると左側の入力画面に選択内容が表示されます。
-----------------	--

# 4 建築外皮

PAL\*、空調一次エネルギー消費量計算に関する事項を入力します。

---

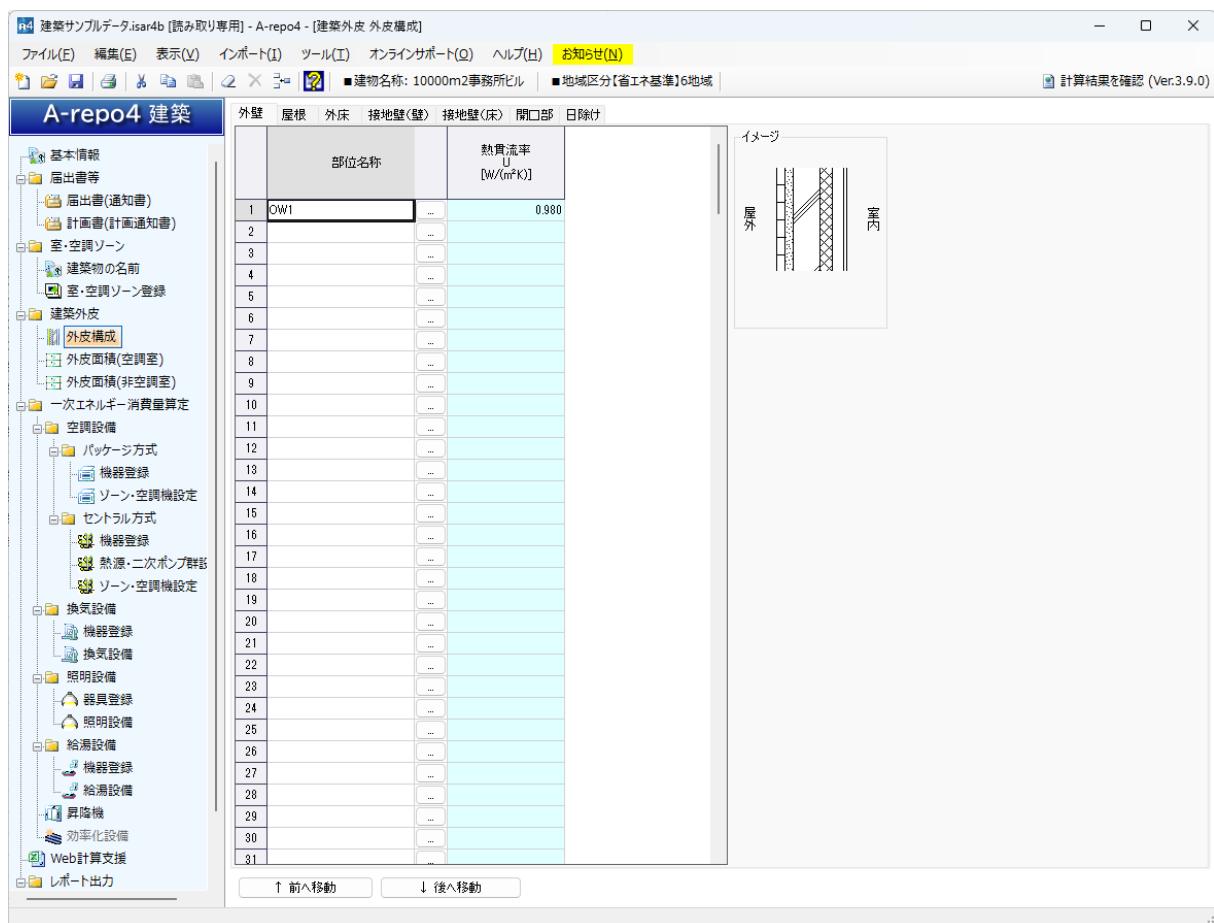
- 4.1 外皮構成
- 4.2 外皮面積（空調室）
- 4.3 外皮面積（非空調室）

## 4.1 外皮構成

PAL\*、空調一次エネルギー消費量の算定用として、外皮構成を登録します。

### 4.1.1 外壁、屋根、外床、接地壁（壁）、接地壁（床）

外皮のうち壁体関係の部材を登録します。



この画面では、物件で使用している外壁について登録します。最大 300 行まで登録できます。

#### 項目の説明

項目	説明
部位名称	部位名称を半角 60 文字以内で入力します。 英数字の組み合わせで入力した後、次の行で数値のみを入力すると、英文字部分が先頭に自動的に挿入されます。 また、新規入力した場合や [...] ボタンを押すと、「①構造体登録ウィンドウ」が表示されます。
熱貫流率 U	「①構造体登録ウィンドウ」における計算結果が表示されます。 ダブルクリックすると「①開口部詳細ウィンドウ（入力方法：解説書データから選択）」が表示されます。

## 構造体イメージ

「①構造体登録ウィンドウ」で作成した構造体イメージが表示されます。

※ここでは外壁の画面で説明していますが、屋根、外床以降の壁も同様です。

また、画面下端のボタンで、登録済みの壁体類の並び順を変更できます。

↑ 前へ移動	行選択されている壁体類を、1行前に移動します。複数行まとめて移動が可能です。
↓ 後へ移動	行選択されている壁体類を、1行後に移動します。複数行まとめて移動が可能です。
一括インポート	住宅部の $U\eta$ 計算から、構造体の定義をインポートします。 A-repo4 住宅で、住戸側に構造体が定義されているときのみ表示されます。

## ① 構造体登録ウィンドウ

外皮の構成材料を登録します。



## 項目の説明

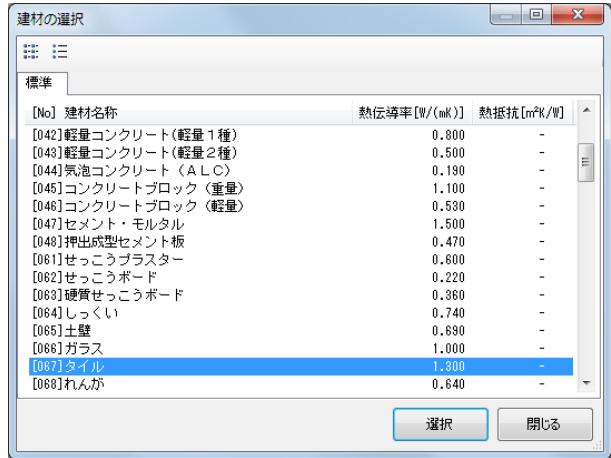
項目	説明
部位名称	前画面で入力した部位名称が表示されますが、この画面でも入力または変更することができます。変更する場合は半角 10 文字以内で入力します。
入力方法	
[計算]	構成材料を設定することで、熱貫流率および日射侵入率が算出されます。
[直接入力]	このプログラムの計算によらず、与えられた熱貫流率を設定する場合に、熱貫流率を直接手入力します。
建材番号	外皮材料リストから選択すると、その番号が表示されます。 また、リストから選択する代わりに、建材番号を直接入力することもできます。

建材名称	リストで選択した名称が表示されます。 入力方法で直接入力が選択された場合には変更することができます。 '建材番号'または'建材名称'のセルをダブルクリックすると、建材の選択ウィンドウが表示されます。
厚み d	材料の厚みを 0.1~9999.0 (mm) の範囲で入力します。
熱伝導率 λ	リストで選択した材料の熱伝導率が表示されます。 リストの（直接入力）を選んだ場合は、0.001~999.999 の範囲で入力します。
d / λ	構成材料ごとの d / λ 値が表示されます。
画像番号	リストの（直接入力）を選んだ場合は、セルをクリックすると外皮イメージ選択リストが表示されます。
備考	備考で記載する事項があれば入力します。
構造体イメージ	構造体構成のイメージ図が表示されます。 ※外壁および内壁は縦方向に、屋根、天井・床、外床は横向きに表示されます。 ※外壁は屋外から室内の順に材料登録してください。

#### ツール

前の外壁	現在の設定内容を登録して、登録済みの前の壁体データに移ります。
次の外壁	現在の設定内容を登録して、登録済みの次の壁体データに移ります。
閉じる	現在の設定内容を登録して、画面を閉じます。
キャンセル	何もせずに、この画面を閉じます。

## 建材の選択ウィンドウ

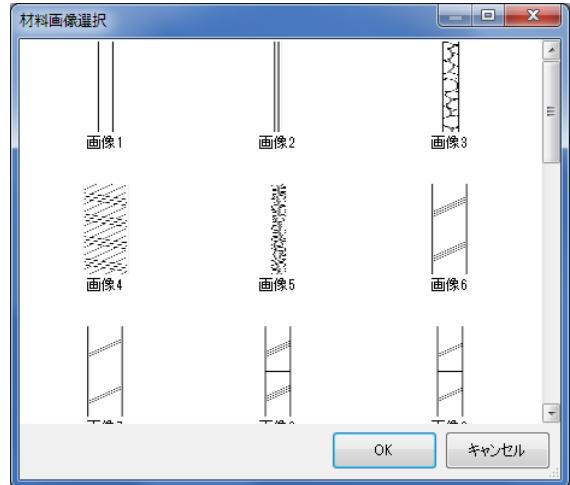


## ツール

	リストを名称のみの一覧表示に切り替えます。
	建材名称、熱伝導率等が表示されます。
	建材をクリック指定しておいて、このボタンを押すと前画面に1行の材料データが追加されます。建材をダブルクリックしても同様です。 閉じる ボタンを押すまでは連続して選択することができます。
	何もせず、この画面を閉じます。

※登録済みの材料を変更する場合は、「OK」「キャンセル」ボタンに変化します。

## 外皮イメージ選択ウィンドウ



OK

イメージをクリック指定しておいて、このボタンを押すと選択を完了して画面を閉じます。

キャンセル

何もせずに、この画面を閉じます。

## 4.1.2 開口部



外皮の開口部について登録します。最大 500 行まで登録できます。

### 項目の説明

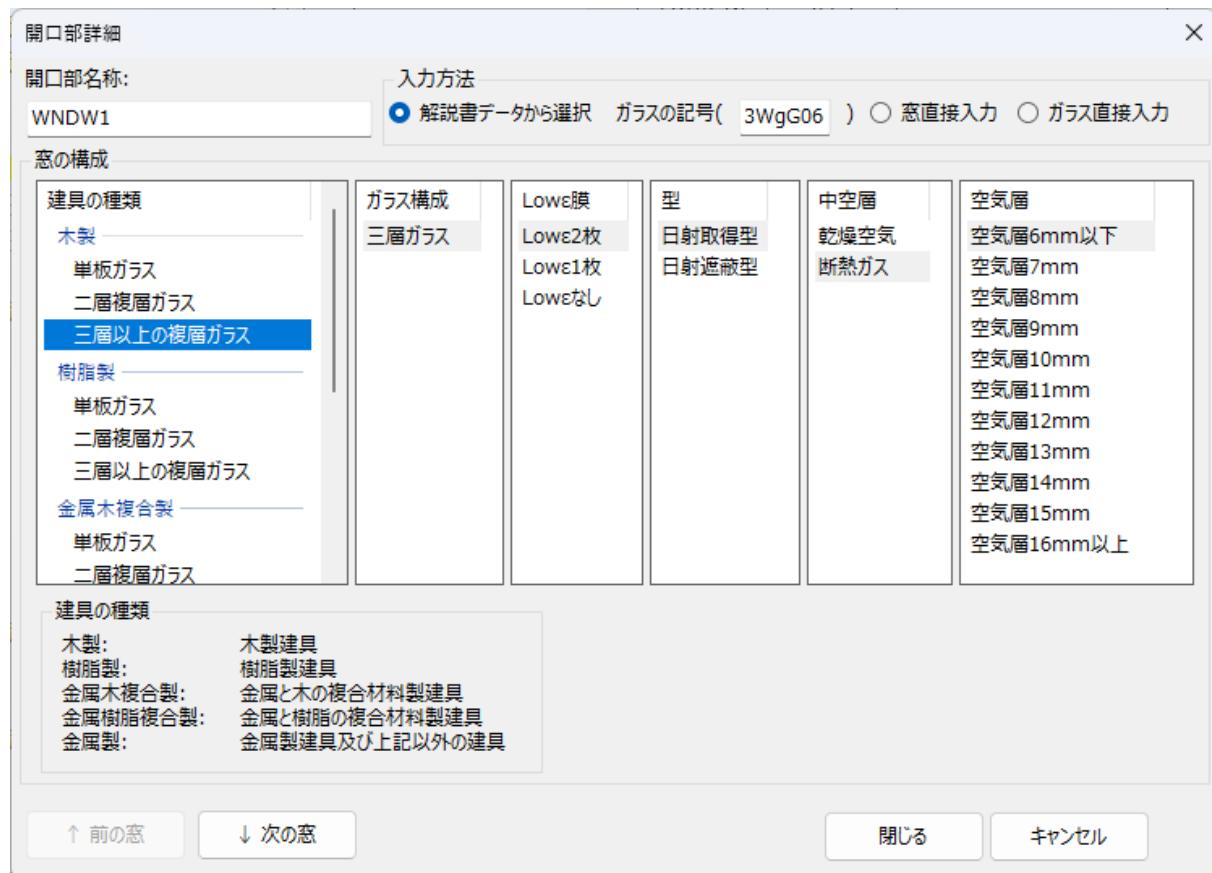
項目	説明
開口部名称	名称（部位記号）を半角 60 文字以内で入力します。 英数字の組み合わせで入力した後、次の行で数値のみを入力すると、英文字部分が先頭に自動的に挿入されます。 また、新規入力した場合や <input type="button" value="新規登録"/> ボタンを押すと、「①開口部詳細ウィンドウ（入力方法：解説書データから選択）」が表示されます。
窓の熱貫流率 U	開口部詳細入力ウィンドウにおいて、入力方法「窓直接入力」を選択した場合の設定値が表示されます。
窓の日射熱取得率 $\eta$	〃
建具の種類	開口部詳細ウィンドウ内で設定した内容が表示されます。
ガラスの記号	〃
ガラスの種類	〃
熱貫流率 U	窓詳細入力ウィンドウにおける設定値が、ブラインドあり／なし毎に表示されます。 ※入力方法が解説書データから選択の場合は、値は表示されません。
日射熱取得率 $\eta$	〃
ブラインド	窓詳細ウィンドウ内で設定した内容が表示されます。
備考	備考で記載する事項があれば入力します。

また、画面下端のボタンで、登録済みの窓の並び順を変更できます。

↑ 前へ移動	行選択されている窓を、1行前に移動します。複数行まとめて移動が可能です。
↓ 後へ移動	行選択されている窓を、1行後に移動します。複数行まとめて移動が可能です。

① 開口部詳細ウィンドウ（入力方法：解説書データから選択）

登録する窓の構成を設定します。



項目の説明

項目	説明
開口部名称	前画面で入力した名称が表示されますが、この画面でも入力または変更することができます。名称（部位記号）を半角 60 文字以内で入力します。
入力方法	
[解説書データから選択]	解説書のガラス番号を直接入力するか、または窓の構成以降の各項目を選択します。
ガラスの記号	解説書のガラス番号を直接入力することができます。 また、建具の構成・ガラス構成 Low ε 膜・中空層・型・空気層を選択した場合、該当するガラス番号が表示されます。
[窓直接入力]	手引書データ（マスターデータ）にない窓の構成を登録するために、窓熱貫流率および日射熱取得率を直接入力します。 (「②開口部詳細ウィンドウ（入力方法：窓直接入力）」を参照)
[ガラス直接入力]	「③開口部詳細ウィンドウ（入力方法：ガラス直接入力）」を参照
窓の構成	
建具の種類	リストから種類をクリックして選びます。

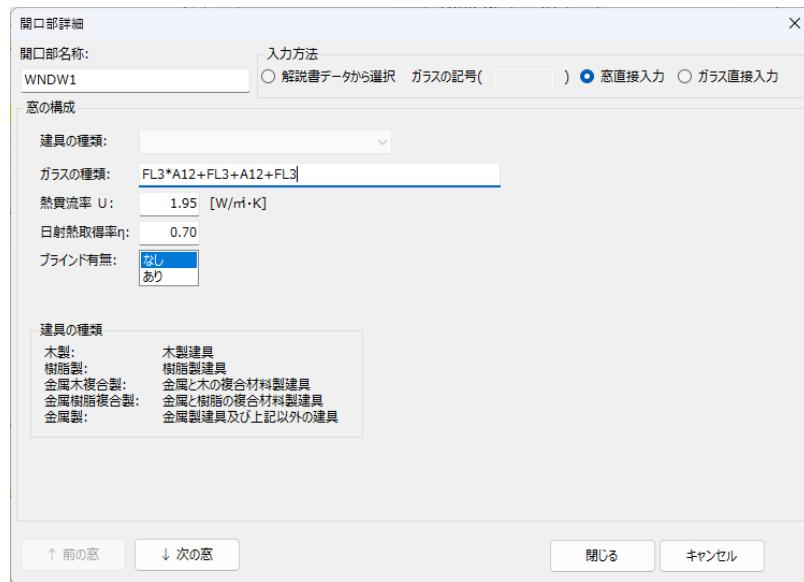
ガラス構成	〃
Low ε 膜	〃
型	〃
中空層	〃
空気層	〃

#### ツール

<b>前の窓</b>	現在の設定内容を登録して、登録済みの前の窓データに移ります。
<b>次の窓</b>	現在の設定内容を登録して、登録済みの次の窓データに移ります。
<b>変更...</b>	リストからイメージを選択変更できます。
<b>閉じる</b>	現在の設定内容を登録して、画面を閉じます。
<b>キャンセル</b>	この画面で設定したことを保存せずに前の画面に戻ります。

## ② 開口部詳細ウィンドウ（入力方法：窓直接入力）

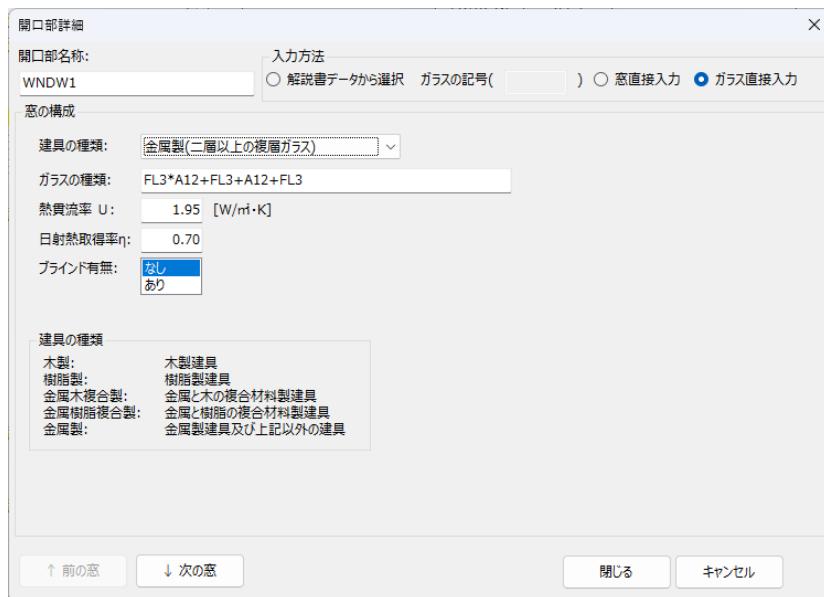
登録する窓の構成を直接入力します。



### 項目の説明

項目	説明
窓の構成	
建具の種類	選択不可。
ガラスの種類	ガラスの種類を入力します。
熱貫流率 U	窓熱貫流率 (U) を、0.00~9.99 (W/m <sup>2</sup> K) の範囲で入力します。
日射熱取得率 η	日射侵入率 (η) を、0.00~1.00 の範囲で入力します。
ブラインド有無	熱貫流率及び日射熱取得率が、ブラインドなしの物性値の場合には「なし」、ブラインドありの物性値の場合には「あり」を選択します。

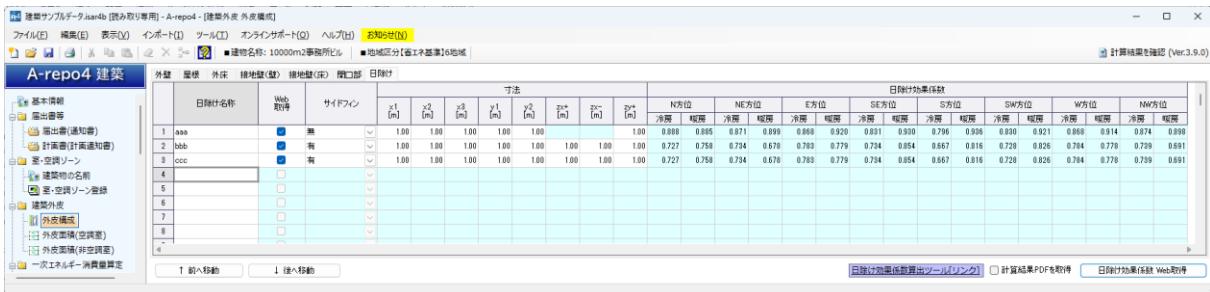
### ③ 開口部詳細ウィンドウ（入力方法：ガラス直接入力）



#### 項目の説明

項目	説明
窓の構成	
建具の種類	建具の種類を選択します。
ガラスの種類	ガラス種類を入力します。
熱貫流率 U	窓熱貫流率 (U) を、0.00~9.99 (W/m <sup>2</sup> K) の範囲で入力します。
日射熱取得率η	日射侵入率 (η) を、0.00~1.00 の範囲で入力します。
ブラインド有無	熱貫流率及び日射熱取得率が、ブラインドなしの物性値の場合には「なし」、 ブラインドありの物性値の場合には「あり」を選択します。

### 4.1.3 日除け(「日よけ効果係数算出ツール」((独)建築研究所)で別途計算する)



窓の日除けについて登録します。最大 300 行まで登録できます。

※Ver4.0.7 より y3, zy- は入力不可となりました。

#### 項目の説明

項目	説明
日除け名称	名称（登録記号）を半角 60 文字以内で入力します。 英数字の組み合わせで入力した後、次の行で数値のみを入力すると、英文字部分が先頭に自動的に挿入されます。
Web取得	日除け効果係数を自動取得する場合にチェックを入れます。
サイドフィン	リストからサイドフィンの有無を選択します。
寸法 (x1~zy-)	それぞれの寸法を、0~999.99 (m) の範囲で入力します。 ※zx+~zy- は形状により入力項目が変わります。
日除け効果係数 (各方位の冷 房・暖房)	日除け効果係数を、0.001~1.000 の範囲で入力します。 または、「日除け効果係数 Web 取得」ボタン押下で自動取得します。

画面下端のボタンで、登録済みの窓の並び順を変更できます。

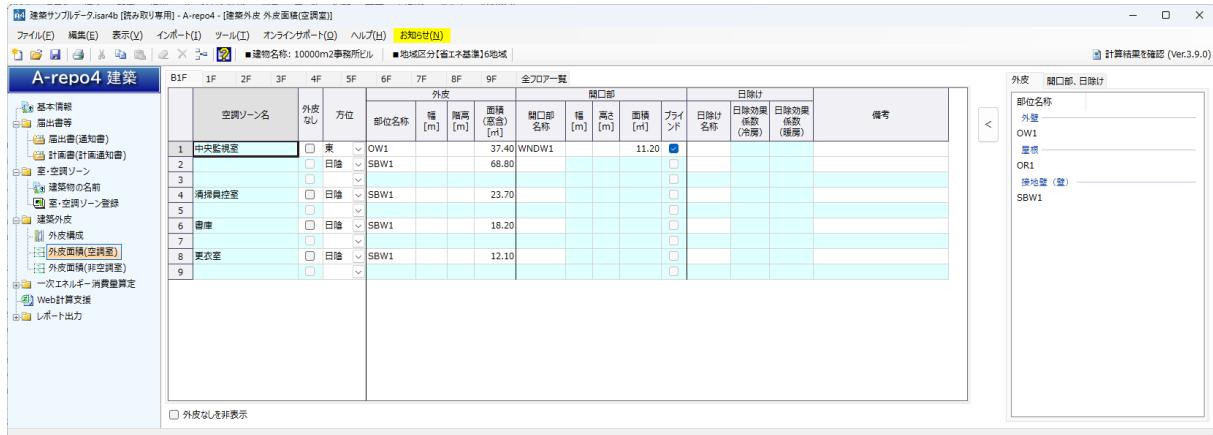
↑ 前へ移動	行選択されている日除けを、1 行前に移動します。複数行まとめて移動が可能です。
↓ 後へ移動	行選択されている日除けを、1 行後に移動します。複数行まとめて移動が可能です。

また、右下側の「日除け効果係数 Web取得」ボタンを押すことにより、「Web取得」チェックボックスにチェックを入れた日除けの日除け効果係数を自動取得できます。

更に「計算結果PDFを取得」をチェックした状態で「日除け効果係数 Web取得」ボタンを押すことで、計算結果PDFを保存できます。

尚、中央右側の「日除け効果係数算出ツール」リンクを押す事により、当該ツールサイトが表示されます。

## 4.2 外皮面積（空調室）



PAL\*、空調一次エネルギー消費量の算定に用いる、空調ゾーンの外皮面積を登録します。

### フロア

B1F 1F 2F 3F 4F 5F 6F 7F 8F 9F PHF 全フロア一覧

フロア別に入力します。「全フロア一覧」タブで全入力データを確認することができます。

### 項目の説明

項目	説明						
フロアタブ	処理したいフロアを選択します。						
空調ゾーン名	登録済みの空調ゾーン名が表示されます。						
外皮なし	外気に触れる壁または屋根や床が無い場合はチェックします。						
方位	各入力行の外壁および窓が属する方位を、プルダウンリストから選択します。 						
外皮	<table border="1"> <tr> <td>部位名称</td> <td>画面右側のリストをダブルクリックする、またはシングルクリックしてボタンを押すか、リストから項目をドラッグアンドドロップすると設定することができます。</td> </tr> <tr> <td>幅</td> <td>外皮の横幅を m 単位で小数第 3 位まで入力します。 面積（窓含む）を直接入力した場合には、幅はクリアされます。</td> </tr> <tr> <td>階高</td> <td>外皮の高さを m 単位で小数第 3 位まで入力します。 室設定で登録した階高が初期表示されます。</td> </tr> </table>	部位名称	画面右側のリストをダブルクリックする、またはシングルクリックしてボタンを押すか、リストから項目をドラッグアンドドロップすると設定することができます。	幅	外皮の横幅を m 単位で小数第 3 位まで入力します。 面積（窓含む）を直接入力した場合には、幅はクリアされます。	階高	外皮の高さを m 単位で小数第 3 位まで入力します。 室設定で登録した階高が初期表示されます。
部位名称	画面右側のリストをダブルクリックする、またはシングルクリックしてボタンを押すか、リストから項目をドラッグアンドドロップすると設定することができます。						
幅	外皮の横幅を m 単位で小数第 3 位まで入力します。 面積（窓含む）を直接入力した場合には、幅はクリアされます。						
階高	外皮の高さを m 単位で小数第 3 位まで入力します。 室設定で登録した階高が初期表示されます。						

面積（窓含）	窓面積を含めた場合の外皮の面積です。 幅と階高を乗じたものが表示されますが、幅および階高をクリアした状態では、 0～99,999.99[m <sup>2</sup> ]の範囲で直接入力することも可能です。
--------	--

### 開口部

開口部名称	外皮名称と同様に、画面右側のリストから開口部名称を選択します。
幅	窓の幅を m 単位で入力します。半角で 0～99.999 の範囲で入力可能です。
高さ	窓の高さを m 単位で入力します。半角で 0～999.999 の範囲で入力可能です。
面積	窓面積を 0～99,999.99[m <sup>2</sup> ]の範囲で入力します。
ブラインド	ブラインドがあればチェックします。
日除け名称	外皮名称と同様に、画面右側のリストから日除け名称を選択します。
日除け効果係数（冷房）	選択した日除け種類の効果係数が表示されます。
日除け効果係数（暖房）	〃
備考	備考で記載する事項があれば入力します。

### 外壁選択リスト

外皮	開口部、日除け
部位名称	
外壁	
OW1	
屋根	
OR1	
接地壁（壁）	
SBW1	

### 開口部、日除け選択リスト

外皮	開口部、日除け
開口部名称	日除け名称
WNDW1 WNDW2	(なし)

外壁の場合は、画面右側の外壁選択リストで部位名称を選択し、“<”ボタンを押すと左側の入力画面に選択した内容が表示されます。

窓の場合は、画面右側の窓、日除け選択リストから窓名称及び日除け名称をセットで選択し、“<”ボタンを押すと左側の入力画面に選択した内容が表示されます。

## 4.3 外皮面積（非空調室）

部位名	外壁 なし	部位名称	幅 [m]	高さ [m]	開口部		日除け 名	日除け 効果 (冷房)	日除け 効果 (暖房)	備考
					開口部 名	幅 [m]				
受水槽室	東	OW1	96.80							
機械室	東	OW1	64.35							
3										
4 脱電機室	東	OW1								
5										
6 電気室	東	OW1								
7 MDC室	東	OW1								
8 廊下	東	OW1								
9 階段室N	東	OW1								
10 門扉ロビー	東	OW1								
11 DS	東	OW1								
12 PS1	東	OW1								
13 合庫1	東	OW1								
14 合庫2	東	OW1								
15 PS2	東	OW1								
16 便所	東	OW1								
17 溝渠コーナー	東	OW1								

PAL\*の算定に用いる、非空調ゾーンの外皮面積を登録します。

登録方法は外皮面積（空調室）と同様ですが、接地壁（壁）および接地壁（床）は選択できません。

## 5 『建築』一次エネルギー消費量算定

一次エネルギー消費量計算に関する事項を入力します。

---

- 5.1 空調設備
- 5.2 換気設備
- 5.3 照明設備
- 5.4 給湯設備
- 5.5 昇降機
- 5.6 エネルギー効率化設備
- 5.7 エラー一覧 ウィンドウ (建築用)

## 5.1 空調設備

空調設備について設定します。

### 5.1.1 パッケージ方式

パッケージ方式に用いる機器を機器表から登録します。

#### 5.1.1.1 機器登録

屋外機・室内機 全熱交ユニット(共通) 送風機(共通) 放熱器(共通) 天井放射冷暖房パネル(共通)

##### ① 屋外機・室内機

パッケージ方式では屋外機および室内機をセットで入力します。



##### 項目の説明

項目	説明
機器区分	屋外機と室内機との入力セルが分かれています。
機器番号	屋外機または室内機熱源の機器番号を入力します。
熱源機種	機種をプルダウンリストから選択します。 ルームエアコンディショナ FF式ガス暖房機(都市ガス) FF式ガス暖房機(LPG) FF式石油暖房機 電気式ヒーター 電気式蓄熱暖房器 温風暖房機(都市ガス) 温風暖房機(LPG) ※使用エネルギー種類も注意して選択してください。
マルチ／1：1／ツイン (同一室同時運転型)	室内機を複数接続するかどうかを、プルダウンリストから選択します。 マルチ マルチ 1:1 ツイン(同一室同時運転型)

冷暖同時供給	冷暖同時供給システムの場合はチェックします。
台数制御	台数制御を行う場合はチェックします。
蓄熱システム	
運転モード	運転モードをプルダウントリストから選択します。 
蓄熱容量	定格蓄熱容量を、0～999,999.99[MJ]の範囲で入力します。
冷熱生成	
運転順位	台数制御を行う場合は運転の優先順位を番号で入力します。
定格冷却能力	定格冷却能力を、0～9,999.99[ kW/台]の範囲で入力します。
主機定格消費エネルギー	
値	主機定格消費エネルギーを、0～9,999.99 の範囲で入力します。
単位	上記入力値の単位を選択します。熱源機種により選択可能な単位がプルダウントリストに表示されます。
[kW/台]	上記単位が kW/台以外の場合、入力値を kW/台に換算し表示します。
補機定格消費電力	補機の定格消費電力を、0～99.99[ kW/台]の範囲で入力します。
温熱生成	
運転順位	運転複数台制御の場合は運転の優先順位を番号で入力します。
定格暖房能力	定格暖房能力を、0～9,999.99[ kW/台]の範囲で入力します。
主機定格消費エネルギー	
値	主機定格消費エネルギーを、0～9,999.99 の範囲で入力します。
単位	上記入力値の単位を選択します。熱源機種により選択可能な単位がプルダウントリストに表示されます。
[kW/台]	上記単位が kW/台以外の場合、入力値を kW/台に換算し表示します。
補機定格消費電力	補機の定格消費電力を、0～99.99[ kW/台]の範囲で入力します。
設計最大外気風量	設計最大外気風量を、0～999,999.99[m <sup>3</sup> /h・台]の範囲で入力します。
送風機定格消費電力	
給気	給気時の定格消費電力を、0～999.99[ kW/台]の範囲で入力します。
還気	還気時の定格消費電力を、0～999.99[ kW/台]の範囲で入力します。
外気	外気取入時の定格消費電力を、0～999.99[ kW/台]の範囲で入力します。
排気	排気時の定格消費電力を、0～999.99[ kW/台]の範囲で入力します。

風量制御方式	インバータ等により送風機の回転数を自動で制御する場合にはチェックします。
変風量時最小風量比	変風量方式の場合は、最小風量比を0～99.999[%]の範囲で入力します。
予熱時外気取り入れ停止	予熱時外気取り入れ停止をおこなう場合はチェックします。
外気冷房制御	外気冷房制御をおこなう場合はチェックします。
全熱交換器	
有	全熱交換器を使用する場合はチェックします。
直膨式	直膨式の場合はチェックします。
定格風量	全熱交換器の定格風量を、0～999,999.99[m <sup>3</sup> /h・台]の範囲で入力します。
全熱交換効率（冷房時）	全熱交換器の定格効率を、0～99.999[%]の範囲で入力します。
全熱交換効率（暖房時）	全熱交換器の定格効率を、0～99.999[%]の範囲で入力します。
バイパス制御	バイパス制御をおこなう場合はチェックします。
ロータ消費電力	ロータ消費電力を、0～9.99[kW/台]の範囲で入力します。 (全熱交換器が回転式の場合)
全熱交換器の特性/全熱交換器の方式 ※ 1	「静止形」または「回転形」のどちらかを選択
全熱交換器の特性/設計外気量又は設計給気量 ※ 1	0～999,999.99[m <sup>3</sup> /h・台]の範囲で入力
全熱交換器の特性/設計排気量又は設計還気量 ※ 1	0～999,999.99[m <sup>3</sup> /h・台]の範囲で入力
全熱交換器の特性/試験結果 1/全熱交換効率(冷房時) ※ 1	0～99.999[%]の範囲で入力
全熱交換器の特性/試験結果 1/全熱交換効率(暖房時) ※ 1	0～99.999[%]の範囲で入力
全熱交換器の特性/試験結果 1/全熱交換効率測定時の給気量 ※ 1	0～999,999.99[m <sup>3</sup> /h・台]の範囲で入力

全熱交換器の特性/試験結果 1/全熱交換効率測定時の還気量 ※ 1	0～999,999.99[m <sup>3</sup> /h・台]の範囲で入力
全熱交換器の特性/試験結果 1/有効換気量率(風量条件⑧⑨) ※ 1	0～99.999[%]の範囲で入力
全熱交換器の特性/回転形・試験結果 2/全熱交換効率(冷房時) ※ 1	0～99.999[%]の範囲で入力
全熱交換器の特性/回転形・試験結果 2/全熱交換効率(暖房時) ※ 1	0～99.999[%]の範囲で入力
全熱交換器の特性/回転形・試験結果 2/全熱交換効率測定時の給気量 ※ 1	0～999,999.99[m <sup>3</sup> /h・台]の範囲で入力
全熱交換器の特性/回転形・試験結果 2/全熱交換効率測定時の還気量 ※ 1	0～999,999.99[m <sup>3</sup> /h・台]の範囲で入力
全熱交換器の特性/回転形・試験結果 2/有効換気量率(風量条件⑬⑭) ※ 1	0～99.999[%]の範囲で入力
全熱交換器の特性/回転形・試験結果 3/全熱交換効率(冷房時) ※ 1	0～99.999[%]の範囲で入力
全熱交換器の特性/回転形・試験結果 3/全熱交換効率(暖房時) ※ 1	0～99.999[%]の範囲で入力
全熱交換器の特性/回転形・試験結果 3/全熱交換効率測定時の給気量 ※ 1	0～999,999.99[m <sup>3</sup> /h・台]の範囲で入力
全熱交換器の特性/回転形・試験結果 3/全熱交換効率測定時の還気量 ※ 1	0～999,999.99[m <sup>3</sup> /h・台]の範囲で入力

全熱交換器の特性/回転形・試験結果 3/有効換気量率(風量条件⑯⑰) ※ 1	0～99.999[%]の範囲で入力
---	-------------------

※ 1 基本情報の「建設一次エネルギー消費量（機器登録）／様式 2-9.(空調)全熱交換器の入力を行う」にチェックを設定することで入力可能になります。また、「2-9) 全熱交換器」の部分へ入力すると入力シートの様式 2-9.(空調)全熱交換器へ出力され、様式 2-7.空調機の「⑯全熱交換器の有無及び様式 2-9 記載の有無」に"全熱交換器あり・様式 2-9 記載あり"と出力します。

一次エネルギー換算値	<table border="1"> <thead> <tr> <th>エネルギー種類</th><th>換算値</th><th>単位</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電力</td><td>9,760.00</td><td>kJ/kwh</td></tr> <tr> <td>液化石油ガス</td><td>100,000.00</td><td>kJ/m³</td></tr> </tbody> </table>	エネルギー種類	換算値	単位	電力	9,760.00	kJ/kwh	液化石油ガス	100,000.00	kJ/m³
エネルギー種類	換算値	単位								
電力	9,760.00	kJ/kwh								
液化石油ガス	100,000.00	kJ/m³								
	<p>熱源機種毎の換算値を表示します。 都市ガス及び液化石油ガスについては換算値を変更することができます。</p>									
屋外機・室内機の挿入	<b>屋外機・室内機の挿入</b>									
	現在カーソルがある位置に屋外機・室内機の入力欄を挿入します。									
屋外機・室内機の削除	<b>屋外機・室内機の削除...</b>									
	現在カーソルがある位置の屋外機・室内機を、まとめて削除します。									
屋外機・室内機の複写	<b>屋外機・室内機の複写</b>									
	現在カーソルがある位置を含む屋外機・室内機を、以降の最初に見つかった空欄へ複写します。									

屋外機・室内機の組み合わせは、最大で 1, 000 組となります。

初期値として 50 組分の入力欄が用意されていますが、最終行の入力を行った時点で入力欄が自動的に拡張されます。

## ② 全熱交換ユニット(共通)

全熱交換器について入力します。最大 500 行まで登録できます。

こちらで入力した機器は、パッケージ方式／セントラル方式で共有されます。

機器番号	送風機定格消費電力				風量制御方式		変風量時最小風量比				予熱時外気取り入れ停止				外気冷房制御				全熱交換器				設計外気量				設計排気量				試験			
	設計最大外気風量 [m <sup>3</sup> /h・台]	給気 [kW/台]	還気 [kW/台]	外気 [kW/台]	排気 [kW/台]	回転数	変風量時 最小風量比 [%]	予熱時 外気 取り入れ 停止	外気 冷房 制御	設計風量 [m <sup>3</sup> /h・台]	全熱交換効率 (冷房時) [%]	全熱交換効率 (暖房時) [%]	自動換気 切替機能	ローター 消費電力 [kW/台]	全熱交換 器の方式	設計外気量 又は 設計排気量 [m <sup>3</sup> /h・台]	設計外気量 又は 設計排気量 [m <sup>3</sup> /h・台]	全熱交換効率 (冷房時) [%]	全熱交換効率 (暖房時) [%]	全熱交換 測定時の [m <sup>3</sup> /h]														
1 HEX1	100.00	0.030	0.030	0.030			<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	50.00	60.000	60.000	<input type="checkbox"/>																						
2 HEX2	100.00	0.030	0.030	0.030			<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	100.00	60.000	60.000	<input type="checkbox"/>																						
3 HEX3	350.00	0.120	0.120	0.120			<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	350.00	60.000	60.000	<input type="checkbox"/>																						
4																																		
5																																		
6																																		
7																																		
8																																		
9																																		
10																																		
11																																		
12																																		
13																																		
14																																		
15																																		
16																																		
17																																		
18																																		
19																																		
20																																		

列「2-9)全熱交換器」への入力について  
「2-9)全熱交換器」の部分へ入力すると、様式 2-7,空調機の「※全熱交換器の有無及び様式2-9記載の有無」に「全熱交換器あり・様式2-9記載あり」と出し、様式 2-9(空調)全熱交換器へ出力されます。

### 項目の説明

項目	説明
機器番号	全熱交換器の機器番号を入力します。
設計最大外気風量	全熱交換器の定格風量を、0～999,999.99[m <sup>3</sup> /h・台]の範囲で入力します。
<b>送風機定格消費電力</b>	
給気	給気時の定格消費電力を、0～999.99[kW/台]の範囲で入力します。
還気	還気時の定格消費電力を、0～999.99[kW/台]の範囲で入力します。
外気	外気取り入時の定格消費電力を、0～999.99[kW/台]の範囲で入力します。
排気	排気時の定格消費電力を、0～999.99[kW/台]の範囲で入力します。
風量制御方式	インバータ等により送風機の回転数を自動で制御する場合にはチェックします。
変風量時最小風量比	変風量方式の場合は、最小風量比を 0～99.999[%]の範囲で入力します。
予熱時外気取り入れ停止	予熱時外気取り入れ停止を行う場合はチェックします。
外気冷房制御	外気冷房制御を行う場合はチェックします。
<b>全熱交換器</b>	
定格風量	全熱交換器の定格風量を、0～999,999.99[m <sup>3</sup> /h・台]の範囲で入力します。

全熱交換効率（冷房時）	全熱交換器（冷房時）の定格効率を、0～99.999[%]の範囲で入力します。
全熱交換効率（暖房時）	全熱交換器（暖房時）の定格効率を、0～99.999[%]の範囲で入力します。
バイパス制御	バイパス制御をおこなう場合はチェックします。
ロータ消費電力	ロータ消費電力を、0～9.99[kW/台]の範囲で入力します。 (全熱交換器が回転式の場合)
全熱交換器の特性/全熱交換器の方式 ※1	「静止形」または「回転形」のどちらかを選択
全熱交換器の特性/設計外気量又は設計給気量※1	0～999,999.99[m <sup>3</sup> /h・台]の範囲で入力
全熱交換器の特性/設計排気量又は設計還気量※1	0～999,999.99[m <sup>3</sup> /h・台]の範囲で入力
全熱交換器の特性/試験結果1/全熱交換効率(冷房時) ※1	0～99.999[%]の範囲で入力
全熱交換器の特性/試験結果1/全熱交換効率(暖房時) ※1	0～99.999[%]の範囲で入力
全熱交換器の特性/試験結果1/全熱交換効率測定時の給気量 ※1	0～999,999.99[m <sup>3</sup> /h・台]の範囲で入力
全熱交換器の特性/試験結果1/全熱交換効率測定時の還気量 ※1	0～999,999.99[m <sup>3</sup> /h・台]の範囲で入力
全熱交換器の特性/試験結果1/有効換気量率(風量条件⑧⑨) ※1	0～99.999[%]の範囲で入力
全熱交換器の特性/回転形・試験結果2/全熱交換効率(冷房時) ※1	0～99.999[%]の範囲で入力
全熱交換器の特性/回転形・試験結果2/全熱交換効率(暖房時) ※1	0～99.999[%]の範囲で入力

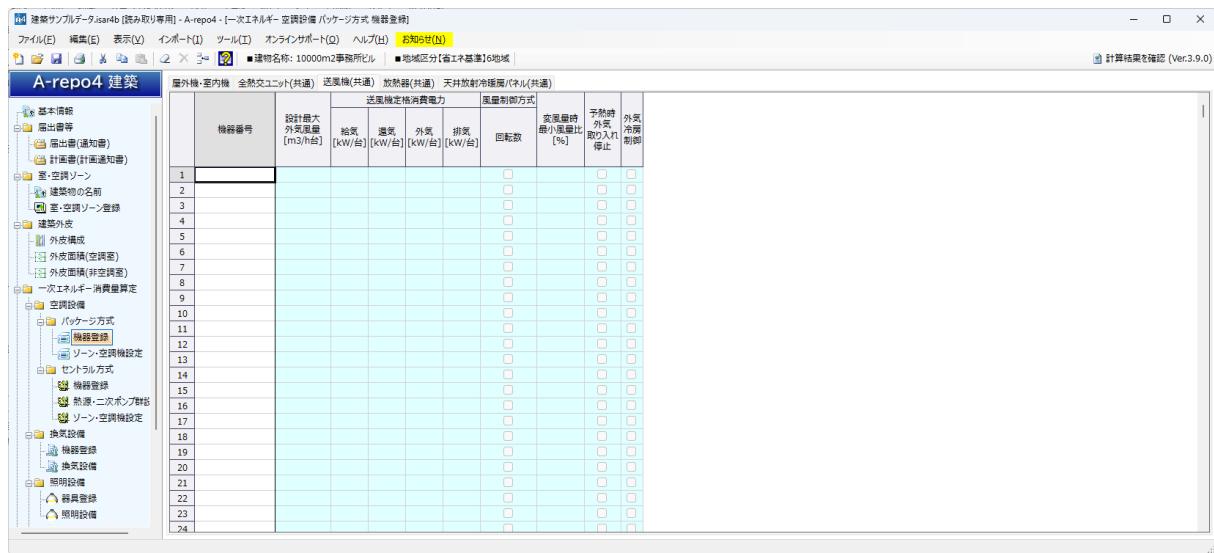
全熱交換器の特性/回転形・試験結果 2/全熱交換効率測定時の給気量 ※ 1	0～999,999.99[m <sup>3</sup> /h・台]の範囲で入力
全熱交換器の特性/回転形・試験結果 2/全熱交換効率測定時の還気量 ※ 1	0～999,999.99[m <sup>3</sup> /h・台]の範囲で入力
全熱交換器の特性/回転形・試験結果 2/有効換気量率(風量条件⑬⑭) ※ 1	0～99.999[%]の範囲で入力
全熱交換器の特性/回転形・試験結果 3/全熱交換効率(冷房時) ※ 1	0～99.999[%]の範囲で入力
全熱交換器の特性/回転形・試験結果 3/全熱交換効率(暖房時) ※ 1	0～99.999[%]の範囲で入力
全熱交換器の特性/回転形・試験結果 3/全熱交換効率測定時の給気量 ※ 1	0～999,999.99[m <sup>3</sup> /h・台]の範囲で入力
全熱交換器の特性/回転形・試験結果 3/全熱交換効率測定時の還気量 ※ 1	0～999,999.99[m <sup>3</sup> /h・台]の範囲で入力
全熱交換器の特性/回転形・試験結果 3/有効換気量率(風量条件⑯⑰) ※ 1	0～99.999[%]の範囲で入力

※ 1 基本情報の「建設一次エネルギー消費量（機器登録）／様式 2-9.(空調)全熱交換器の入力を行う」にチェックを設定することで入力可能になります。また、「2-9) 全熱交換器」の部分へ入力すると入力シートの様式 2-9.(空調)全熱交換器へ出力され、様式 2-7.空調機の「⑮全熱交換器の有無及び様式 2-9 記載の有無」に"全熱交換器あり・様式 2-9 記載あり"と出力します。

### ③ 送風機(共通)

送風機について入力します。最大 500 行まで登録できます。

こちらで入力した機器は、パッケージ方式／セントラル方式で共有されます。



#### 項目の説明

項目	説明
機器番号	送風機の機器番号を入力します。
設計最大外気風量	送風機の設計最大外気風量を、0~999,999.99[m <sup>3</sup> /h・台]の範囲で入力します。

#### 送風機定格消費電力

給気	給気時の定格消費電力を、0~999.99[ kW/台]の範囲で入力します。
還気	還気時の定格消費電力を、0~999.99[ kW/台]の範囲で入力します。
外気	外気取り入れ時の定格消費電力を、0~999.99[ kW/台]の範囲で入力します。
排気	排気時の定格消費電力を、0~999.99[ kW/台]の範囲で入力します。
風量制御方式	インバータ等により送風機の回転数を自動で制御する場合にはチェックします。
変風量時最小風量比	変風量方式の場合は最小風量比を、0~99.999[%]の範囲で入力します。
予熱時外気取り入れ停止	予熱時外気取り入れ停止を行う場合はチェックします。
外気冷房制御	外気冷房制御を行う場合はチェックします。

#### ④ 放熱器(共通)

放熱器について入力します。最大 500 行まで登録できます。

こちらで入力した機器は、パッケージ方式／セントラル方式で共有されます。

機器番号	定格冷却能力 [kW/台]	定格暖房能力 [kW/台]	設計最大外気風量 [m3/h・台]			回転数	変風量時 最小風量比 [%]
			給気 [kW/台]	還気 [kW/台]	外気 [kW/台]		
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							

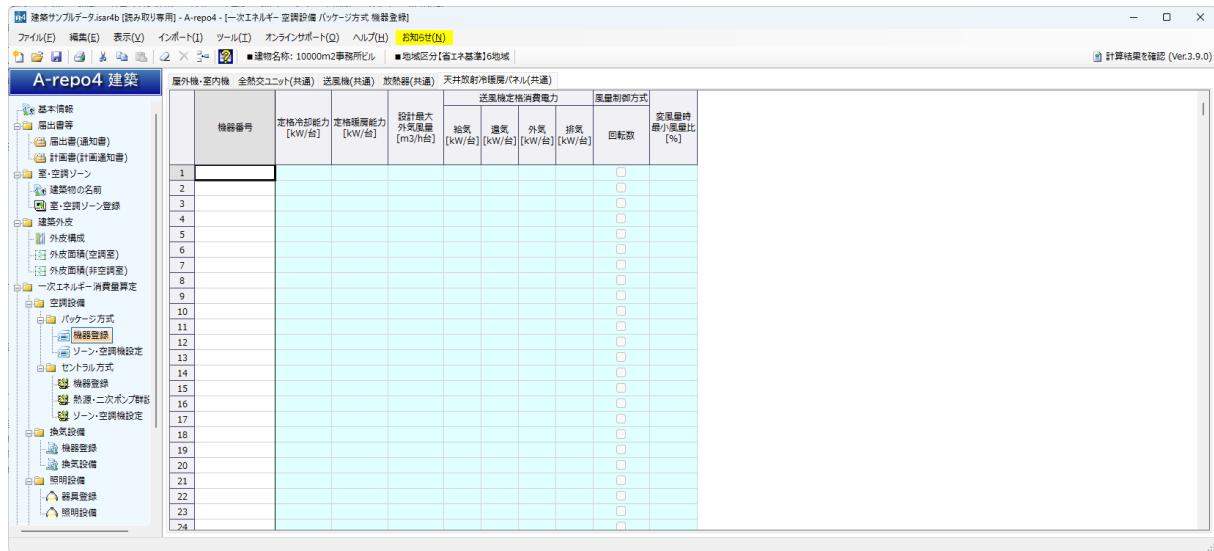
#### 項目の説明

項目	説明
機器番号	放熱器の機器番号を入力します。
定格冷却能力	定格冷房能力を、0~9,999.99[ kW/台]の範囲で入力します。
定格暖房能力	定格暖房能力を、0~9,999.99[ kW/台]の範囲で入力します。
設計最大外気風量	定格風量を、0~999,999.99[m3/h・台]の範囲で入力します。
<b>送風機定格消費電力</b>	
給気	給気時の定格消費電力を、0~999.99[ kW/台]の範囲で入力します。
還気	還気時の定格消費電力を、0~999.99[ kW/台]の範囲で入力します。
外気	外気取入時の定格消費電力を、0~999.99[ kW/台]の範囲で入力します。
排気	排気時の定格消費電力を、0~999.99[ kW/台]の範囲で入力します。
風量制御方式	インバータ等により送風機の回転数を自動で制御する場合にはチェックします。
変風量時最小風量比	変風量方式の場合は最小風量比を、0~99.99[%]の範囲で入力します。

## ⑤ 天井放射冷暖房パネル(共通)

天井放射冷暖房パネルについて入力します。最大 500 行まで登録できます。

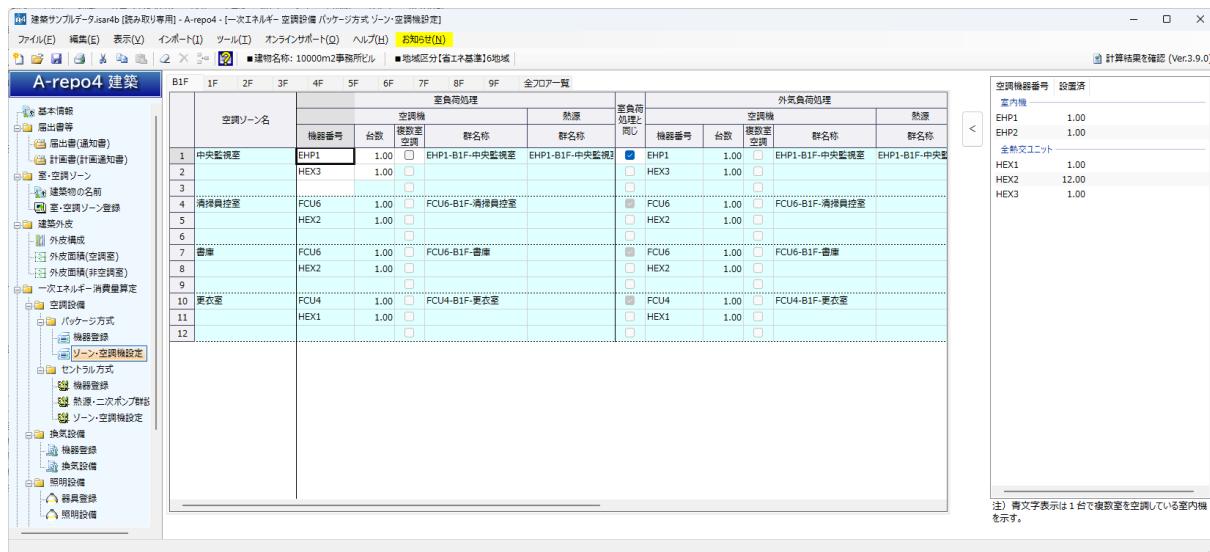
こちらで入力した機器は、パッケージ方式／セントラル方式で共有されます。



### 項目の説明

項目	説明
機器番号	天井放射冷暖房パネルの機器番号を入力します。
定格冷却能力	定格冷房能力を、0~9,999.99[ kW/台]の範囲で入力します。
定格暖房能力	定格暖房能力を、0~9,999.99[ kW/台]の範囲で入力します。
設計最大外気風量	定格風量を、0~999,999.99[m3/h・台]の範囲で入力します。
送風機定格消費電力	
給気	給気時の定格消費電力を、0~999.99[ kW/台]の範囲で入力します。
還気	還気時の定格消費電力を、0~999.99[ kW/台]の範囲で入力します。
外気	外気取入時の定格消費電力を、0~999.99[ kW/台]の範囲で入力します。
排気	排気時の定格消費電力を、0~999.99[ kW/台]の範囲で入力します。
風量制御方式	インバータ等により送風機の回転数を自動で制御する場合にはチェックします。
変風量時最小風量比	変風量方式の場合は最小風量比を、0~99.99[%]の範囲で入力します。

## 5.1.1.2 ゾーン・空調機設定



空調ゾーンの負荷を処理する空調機を設定します。

### フロア

B1F	1F	2F	3F	4F	5F	6F	7F	8F	9F	PHF	全フロア一覧
-----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	--------

フロア別に入力します。「全フロア一覧」タブで全入力データを確認することができます。

### 項目の説明

項目	説明
空調ゾーン名	空調ゾーン名が表示されます。
<b>室負荷処理</b>	
空調機	空調ゾーンの室負荷を処理する空調機系統を設定します。
機器番号	画面右側のリストから選択します。
台数	機器台数を、0~9,999[台]の範囲で入力します。
複数室処理	同じ空調機で他の室も処理する場合はチェックします。
群名称	階・室名・機器番号を組み合わせた空調機群の名称が表示されます。
<b>熱源</b>	
群名称	選択した空調機群に接続される熱源群の名称が表示されます。
室負荷処理と同じ	外気負荷処理に、室負荷処理と同一の機器を使用する場合チェックします。
<b>外気負荷処理</b>	
空調機	空調ゾーンの外気負荷を処理する空調機系統を設定します。
機器番号	画面右側のリストから選択します。
台数	このゾーンに用いる機器台数を、0~9,999[台]の範囲で入力します。

複数室処理	同じ空調機で他の室も処理する場合はチェックします。
群名称	階・室名・機器番号を組み合わせた空調機群の名称が表示されます。
熱源	
群名称	選択した外気処理機群に接続される熱源群の名称が表示されます。
備考	備考で記載する事項があれば入力

#### 機器選択リスト

空調機器番号	設定済み台数	
<b>空調機</b>		
EHP1		
EHP2		
<b>全熱交ユニット</b>		
全熱交01		
全熱交02		
全熱交03		

画面右側の機器選択リストから機器番号を選択し、“<”ボタンを押すと左側の入力画面に選択した内容が表示されます。

また、選択された機器の設置済み累計台数が、チェック用として表示されます。

## 5.1.2 セントラル方式

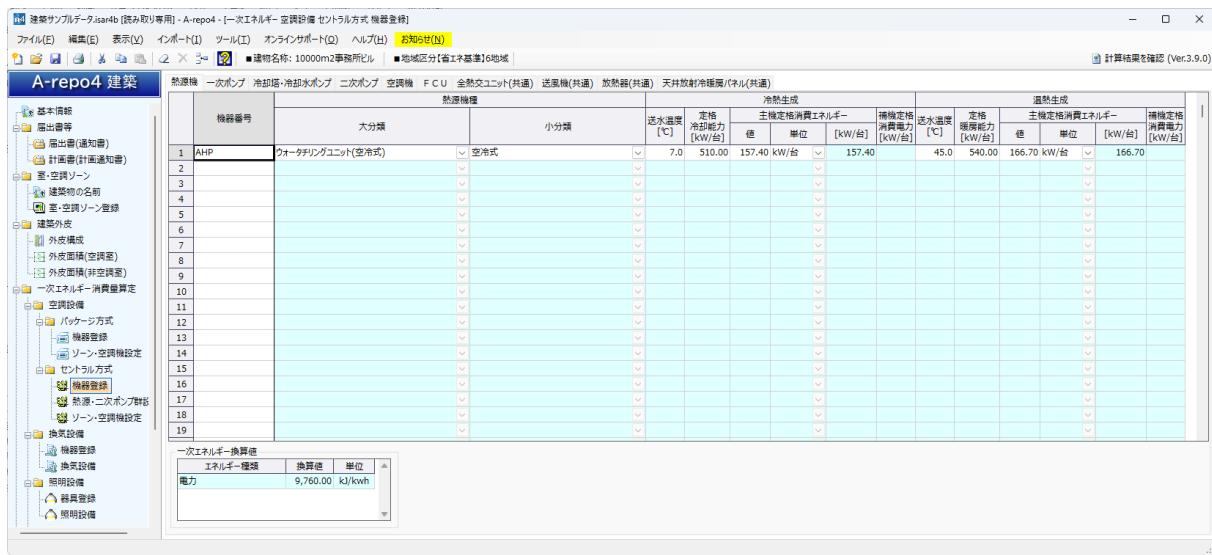
セントラル方式で用いる機器について入力します。

### 5.1.2.1 機器登録

熱源機 一次ポンプ 冷却塔・冷却水ポンプ 二次ポンプ 空調機 FCU 全熱交ユニット(共通) 送風機(共通) 放熱器(共通) 天井放射冷暖房/パネル(共通)

#### ① 热源機

热源機について入力します。最大 500 行まで登録できます。



※Ver.4.0.8 より、「熱源補機定格消費電力」が熱源機種関係なく入力可能となりました。

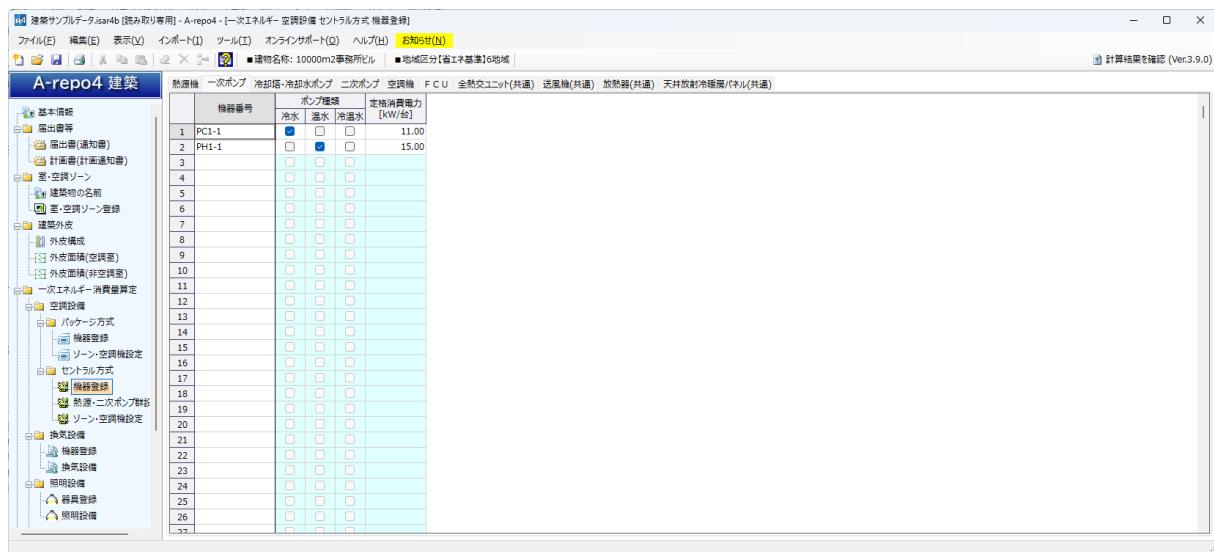
#### 項目の説明

項目	説明
機器番号	熱源の機器番号を入力します。 セントラル方式では、機器番号は熱源機種が一致しない条件で重複が可能です。
熱源機種	<p>大分類</p> <p>大分類をプルダウンリストから選択します。</p> <p>ウォーターチーリングユニット(空冷式) ウォーターチーリングユニット(水冷式) スクリューコンプレッサー 空冷式 空冷式モジュール形</p> <p>小分類</p> <p>小分類をプルダウンリストから選択します。</p> <p>空冷式 空冷式モジュール形</p>
冷熱生成	
送水温度	送水温度を、-99.9~99.9[°C]の範囲で入力します。

定格冷却能力	定格冷却能力を、0～9,999.99 の範囲で入力します。 単位はエネルギー種類により自動表示されます。									
主機定格消費エネルギー										
値	主機定格消費エネルギーを、0～9,999.99 の範囲で入力します。									
単位	上記入力値の単位を選択します。熱源機種により選択可能な単位がプルダウンリストに表示されます。									
[kW/台]	上記単位が kW/台以外の場合、入力値を kW/台に換算し表示します。									
補機定格消費電力	補機の定格消費電力を、0～999.99[ kW/台]の範囲で入力します。									
温熱生成										
送水温度	送水温度を、0～99.9[°C]の範囲で入力します。									
定格暖房能力	定格暖房能力を、0～9,999.99[ kW/台]の範囲で入力します。									
主機定格消費エネルギー										
値	主機定格消費エネルギーを、0～9,999.99 の範囲で入力します。									
単位	上記入力値の単位を選択します。熱源機種により選択可能な単位がプルダウンリストに表示されます。									
[kW/台]	上記単位が kW/台以外の場合、入力値を kW/台に換算し表示します。									
補機定格消費電力	補機の定格消費電力を、0～999.99[ kW/台]の範囲で入力します。									
一次エネルギー換算値	<p>一次エネルギー換算値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>エネルギー種類</th> <th>換算値</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電力</td> <td>9,760.00</td> <td>kJ/kwh</td> </tr> <tr> <td>液化石油ガス</td> <td>100,000.00</td> <td>kJ/m<sup>3</sup></td> </tr> </tbody> </table> <p>熱源機種毎の換算値を表示します。 都市ガス、液化石油ガス、地域供給熱（冷水／温水／蒸気）については換算値を変更することができます。</p>	エネルギー種類	換算値	単位	電力	9,760.00	kJ/kwh	液化石油ガス	100,000.00	kJ/m <sup>3</sup>
エネルギー種類	換算値	単位								
電力	9,760.00	kJ/kwh								
液化石油ガス	100,000.00	kJ/m <sup>3</sup>								

## ② 一次ポンプ

一次ポンプについて入力します。最大 500 行まで登録できます。



### 項目の説明

項目	説明
機器番号	ポンプの機器番号を入力します。
ポンプ種類	
冷水	冷水用ポンプであればチェックします。
温水	温水用ポンプであればチェックします。
冷温水	冷温水用ポンプであればチェックします。
定格消費電力	1 台当たりの定格消費電力を 0~999.99[ kW/台] の範囲で入力します。

### ③ 冷却塔・冷却水ポンプ

冷却塔および冷却水ポンプについて併せて入力します。最大 500 行まで登録できます。

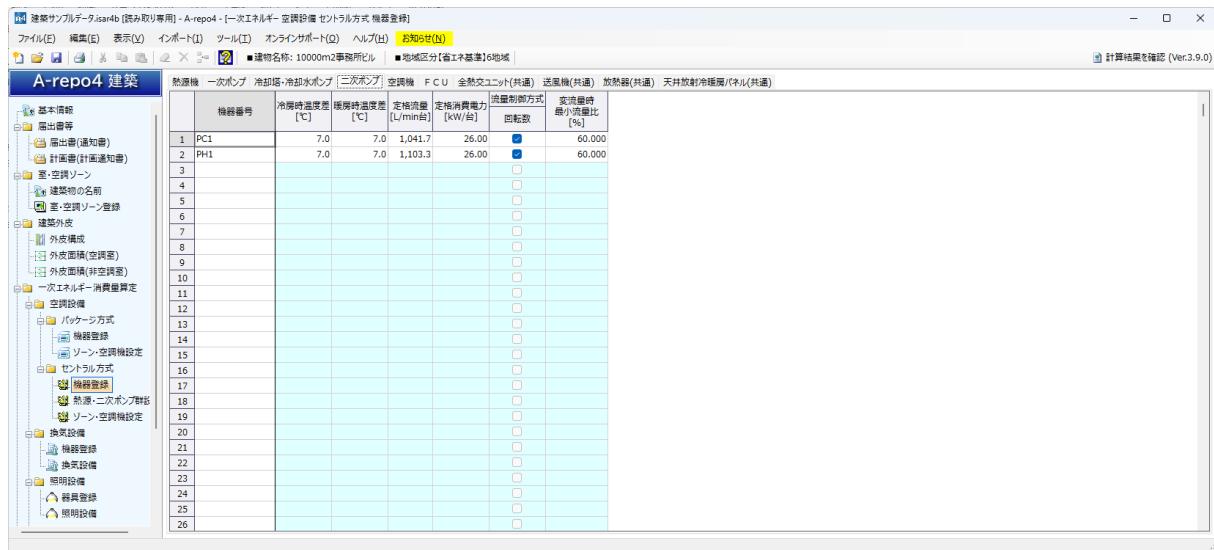
	冷却塔 機器番号	定格冷却能力 [kW/台]	ファン消費電力 [kW/台]		冷却水ポンプ 機器番号	定格消費電力 [kW/台]
1					1	
2					2	
3					3	
4					4	
5					5	
6					6	
7					7	
8					8	
9					9	
10					10	
11					11	
12					12	
13					13	
14					14	
15					15	
16					16	
17					17	
18					18	
19					19	
20					20	
21					21	
22					22	
23					23	
24					24	
25					25	
26					26	
... 27						

#### 項目の説明

項目	説明
冷却塔機器番号	冷却塔の機器番号を入力します。
定格冷却能力	冷却塔の定格冷却能力を、0~9999.99[ kW/台]の範囲で入力します。
ファン消費電力	冷却ファンの定格消費電力を、0~999.99[ kW/台]の範囲で入力します。
冷却水ポンプ機器番号	冷却水ポンプの機器番号を入力します。
定格消費電力	冷却水ポンプの定格消費電力を、0~999.99[ kW/台]の範囲で入力します。

#### ④ 二次ポンプ

二次ポンプについて入力します。最大 500 行まで登録できます。



#### 項目の説明

項目	説明
機器番号	ポンプの機器番号を入力します。
冷房時温度差	冷水の往き還り温度差を、0~99.9[°C]の範囲で入力します。
暖房時温度差	温水の往き還り温度差を、0~99.9[°C]の範囲で入力します。
定格流量	1 台当たりの定格流量を、0~9,999.9[L/min・台]の範囲で入力します。
定格消費電力	1 台当たりの定格消費電力を、0~999.99[kW/台]の範囲で入力します。
流量制御方式	インバータ等によりポンプの回転数を制御する場合にはチェックします。
変流量時最小流量比	変流量制御を行う場合は、最小流量比を、0~99.999[%]の範囲で入力します。

## ⑤ 空調機

空調機について入力します。最大 500 行まで登録できます。

機器番号	定格冷却能力 [kW/台]	定格暖房能力 [kW/台]	設計最大外気風量 [m³/台]	給気 [kW/台]	還気 [kW/台]	外気 [kW/台]	排気 [kW/台]	回転数	風量制御方式		全熱交換器		設計外気量 又は 設計給気量 [m³/h]	設計外気量 又は 設計給気量 [m³/h]		
									予熱時外気取り入れ停止	外気冷房制御	最小風量比 [%]	設計風量 [m³/h/台]			全熱交換効率 (冷房時) [%]	全熱交換効率 (暖房時) [%]
1 AC1F	72.60	72.60	13,100.00	11.000	1.100				<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	3,050.00	60.000	60.000	<input type="checkbox"/>	0.06
2 AC2F	110.90	110.90	20,000.00	15.000	1.500				<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	7,500.00	60.000	60.000	<input type="checkbox"/>	0.06
3 AC3F	74.80	74.80	13,450.00	11.000	1.100				<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	3,100.00	60.000	60.000	<input type="checkbox"/>	0.06
4 AC4F	74.80	74.80	13,450.00	11.000	1.100				<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	3,100.00	60.000	60.000	<input type="checkbox"/>	0.06
5 AC5F	74.80	74.80	13,450.00	11.000	1.100				<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	3,100.00	60.000	60.000	<input type="checkbox"/>	0.06
6 AC6F	74.80	74.80	13,450.00	11.000	1.100				<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	3,100.00	60.000	60.000	<input type="checkbox"/>	0.06
7 AC7F	74.80	74.80	13,450.00	11.000	1.100				<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	3,100.00	60.000	60.000	<input type="checkbox"/>	0.06
8 ACBF	82.20	82.20	14,800.00	11.000	1.100				<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4,000.00	60.000	60.000	<input type="checkbox"/>	0.06
9 ACEN	17.30	17.30	3,100.00	2.200	0.300				<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	500.00	60.000	60.000	<input type="checkbox"/>	0.02
10 ACRS	117.60	117.60	21,200.00	15.000	2.200				<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	7,800.00	60.000	60.000	<input type="checkbox"/>	0.05
11																
12																
13																
14																
15																
16																
17																
18																
19																
20																

列[2-9]全熱交換器への入力について  
「2-9) 全熱交換器」の部分へ入力すると、株式 2-7-空調機の「<sup>◎</sup>全熱交換器の有無及び株式2-9記載の有無」に「全熱交換器あり」と出力し、株式 2-9(空調)全熱交換器へ出力されます。

## 項目の説明

項目	説明
機器番号	空調機の機器番号を入力します。
定格冷却能力	定格冷房能力を、0~9,999.99[ kW/台]の範囲で入力します。
定格暖房能力	定格暖房能力を、0~9,999.99[ kW/台]の範囲で入力します。
設計最大外気風量	設計最大外気風量を、0~999,999.99[m³/h・台]の範囲で入力します。
送風機定格消費電力	
給気	給気ファンの定格消費電力を、0~999.99[ kW/台]の範囲で入力します。
還気	還気ファンの定格消費電力を、0~999.99[ kW/台]の範囲で入力します。
外気	外気ファンの定格消費電力を、0~999.99[ kW/台]の範囲で入力します。
排気	排気ファンの定格消費電力を、0~999.99[ kW/台]の範囲で入力します。
風量制御方式	インバータ等により送風機の回転数を自動で制御する場合にはチェックします。
変風量時最小風量比	変風量方式の場合は最小風量比を、0~99.999[%]の範囲で入力します。
予熱時外気取り入れ停止	予熱時外気取り入れ停止を行う場合はチェックします。
外気冷房制御	外気冷房制御をおこなう場合はチェックします。

## 全熱交換器

有	全熱交換器を使用する組込型空調機等の場合はチェックします。
直膨式	直膨式の場合にはチェックします。
設計風量	定格風量を、0～999,999.99[m <sup>3</sup> /h・台]の範囲で入力します。
全熱交換効率（冷房時）	全熱交換器（冷房時）の定格効率を、0～99.999[%]の範囲で入力します。
全熱交換効率（暖房時）	全熱交換器（暖房時）の定格効率を、0～99.999[%]の範囲で入力します。
バイパス制御	バイパス制御を行う場合はチェックします。
ロータ消費電力	ロータの定格消費電力を、0～9.99[ kW/台]の範囲で入力します。
全熱交換器の特性/全熱交換器の方式 ※1	「静止形」または「回転形」のどちらかを選択
全熱交換器の特性/設計外気量又は設計給気量※1	0～999,999.99[m <sup>3</sup> /h・台]の範囲で入力
全熱交換器の特性/設計排気量又は設計還気量※1	0～999,999.99[m <sup>3</sup> /h・台]の範囲で入力
全熱交換器の特性/試験結果1/全熱交換効率(冷房時) ※1	0～99.999[%]の範囲で入力
全熱交換器の特性/試験結果1/全熱交換効率(暖房時) ※1	0～99.999[%]の範囲で入力
全熱交換器の特性/試験結果1/全熱交換効率測定時の給気量 ※1	0～999,999.99[m <sup>3</sup> /h・台]の範囲で入力
全熱交換器の特性/試験結果1/全熱交換効率測定時の還気量 ※1	0～999,999.99[m <sup>3</sup> /h・台]の範囲で入力
全熱交換器の特性/試験結果1/有効換気量率(風量条件⑧⑨) ※1	0～99.999[%]の範囲で入力
全熱交換器の特性/回転形・試験結果2/全熱交換効率(冷房時) ※1	0～99.999[%]の範囲で入力

全熱交換器の特性/回転形・試験結果 2/全熱交換効率(暖房時) ※ 1	0～99.999[%]の範囲で入力
全熱交換器の特性/回転形・試験結果 2/全熱交換効率測定時の給気量※ 1	0～999,999.99[m <sup>3</sup> /h・台]の範囲で入力
全熱交換器の特性/回転形・試験結果 2/全熱交換効率測定時の還気量※ 1	0～999,999.99[m <sup>3</sup> /h・台]の範囲で入力
全熱交換器の特性/回転形・試験結果 2/有効換気量率(風量条件⑬⑭)※ 1	0～99.999[%]の範囲で入力
全熱交換器の特性/回転形・試験結果 3/全熱交換効率(冷房時) ※ 1	0～99.999[%]の範囲で入力
全熱交換器の特性/回転形・試験結果 3/全熱交換効率(暖房時) ※ 1	0～99.999[%]の範囲で入力
全熱交換器の特性/回転形・試験結果 3/全熱交換効率測定時の給気量※ 1	0～999,999.99[m <sup>3</sup> /h・台]の範囲で入力
全熱交換器の特性/回転形・試験結果 3/全熱交換効率測定時の還気量※ 1	0～999,999.99[m <sup>3</sup> /h・台]の範囲で入力
全熱交換器の特性/回転形・試験結果 3/有効換気量率(風量条件⑯⑰)※ 1	0～99.999[%]の範囲で入力

※ 1 基本情報の「建設一次エネルギー消費量（機器登録）／様式 2-9.(空調)全熱交換器の入力を行う」にチェックを設定することで入力可能になります。また、「2-9) 全熱交換器」の部分へ入力すると入力シートの様式 2-9.(空調)全熱交換器へ出力され、様式 2-7.空調機の「⑯全熱交換器の有無及び様式 2-9 記載の有無」に"全熱交換器あり・様式 2-9 記載あり"と出力します。

## ⑥ FCU

FCUについて入力します。最大500行まで登録できます。

機器番号	定格冷却能力 [kW/台]	定格暖房能力 [kW/台]	設計最大 外気風量 [m³/h/台]	給気 [kW/台]	還気 [kW/台]	外気 [kW/台]	排気 [kW/台]	回転数	変風量時 最小風量比 [%]
	1 FCU4	1.70	1.40	250.00	0.030				
2 FCU6	2.50	2.10	350.00	0.060					
3 FCU8	3.10	2.70	680.00	0.090					
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									

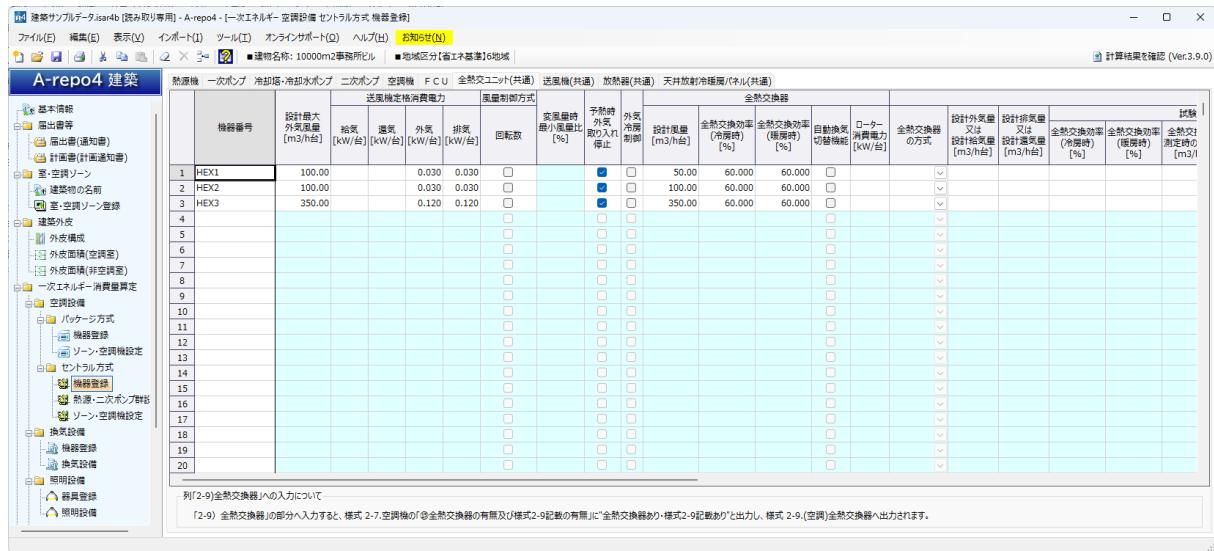
### 項目の説明

項目	説明
機器番号	FCU の機器番号を入力します。
定格冷却能力	定格冷房能力を、0~9,999.99[ kW/台]の範囲で入力します。
定格暖房能力	定格暖房能力を、0~9,999.99[ kW/台]の範囲で入力します。
設計最大外気風量	設計最大外気風量を、0~999,999.99[m³/h・台]の範囲で入力します。
送風機定格消費電力	
給気	給気ファンの定格消費電力を、0~999.99[ kW/台]の範囲で入力します。
還気	還気ファンの定格消費電力を、0~999.99[ kW/台]の範囲で入力します。
外気	外気ファンの定格消費電力を、0~999.99[ kW/台]の範囲で入力します。
排気	排気ファンの定格消費電力を、0~999.99[ kW/台]の範囲で入力します。
風量制御方式	インバータ等により送風機の回転数を自動で制御する場合にはチェックします。
変風量時最小風量比	変風量制御を行う場合は最小風量比を、0~99.999[%]の範囲で入力します。

## ⑦ 全熱交換ユニット(共通)

全熱交換器について入力します。最大 500 行まで登録できます。

こちらで入力した機器は、パッケージ方式／セントラル方式で共有されます。



### 項目の説明

項目	説明
機器番号	全熱交換器の機器番号を入力します。
設計最大外気風量	全熱交換器の設計最大外気風量を、0~999,999.99[m3/h・台]の範囲で入力します。
送風機定格消費電力	
給気	給気時の定格消費電力を、0~999.99[ kW/台]の範囲で入力します。
還気	還気時の定格消費電力を、0~999.99[ kW/台]の範囲で入力します。
外気	外気取り入れ時の定格消費電力を、0~999.99[ kW/台]の範囲で入力します。
排気	排気時の定格消費電力を、0~999.99[ kW/台]の範囲で入力します。
風量制御方式	インバータ等により送風機の回転数を自動で制御する場合にはチェックします。
変風量時最小風量比	変風量方式の場合は、最小風量比を 0~99.999[%]の範囲で入力します。
予熱時外気取り入れ停止	予熱時外気取り入れ停止を行う場合はチェックします。
外気冷房制御	外気冷房制御を行う場合はチェックします。
全熱交換器	
定格風量	全熱交換器の定格風量を、0~999,999.99[m3/h・台]の範囲で入力します。

全熱交換効率（冷房時）	全熱交換器（冷房時）の定格効率を、0～99.999[%]の範囲で入力します。
全熱交換効率（暖房時）	全熱交換器（暖房時）の定格効率を、0～99.999[%]の範囲で入力します。
バイパス制御	バイパス制御をおこなう場合はチェックします。
ロータ消費電力	ロータ消費電力を、0～9.99[ kW/台]の範囲で入力します。
全熱交換器の特性/全熱交換器の方式 ※1	「静止形」または「回転形」のどちらかを選択
全熱交換器の特性/設計外気量又は設計給気量※1	0～999,999.99[m <sup>3</sup> /h・台]の範囲で入力
全熱交換器の特性/設計排気量又は設計還気量※1	0～999,999.99[m <sup>3</sup> /h・台]の範囲で入力
全熱交換器の特性/試験結果 1/全熱交換効率(冷房時) ※1	0～99.999[%]の範囲で入力
全熱交換器の特性/試験結果 1/全熱交換効率(暖房時) ※1	0～99.999[%]の範囲で入力
全熱交換器の特性/試験結果 1/全熱交換効率測定時の給気量 ※1	0～999,999.99[m <sup>3</sup> /h・台]の範囲で入力
全熱交換器の特性/試験結果 1/全熱交換効率測定時の還気量 ※1	0～999,999.99[m <sup>3</sup> /h・台]の範囲で入力
全熱交換器の特性/試験結果 1/有効換気量率(風量条件⑧⑨) ※1	0～99.999[%]の範囲で入力
全熱交換器の特性/回転形・試験結果 2/全熱交換効率(冷房時) ※1	0～99.999[%]の範囲で入力
全熱交換器の特性/回転形・試験結果 2/全熱交換効率(暖房時) ※1	0～99.999[%]の範囲で入力

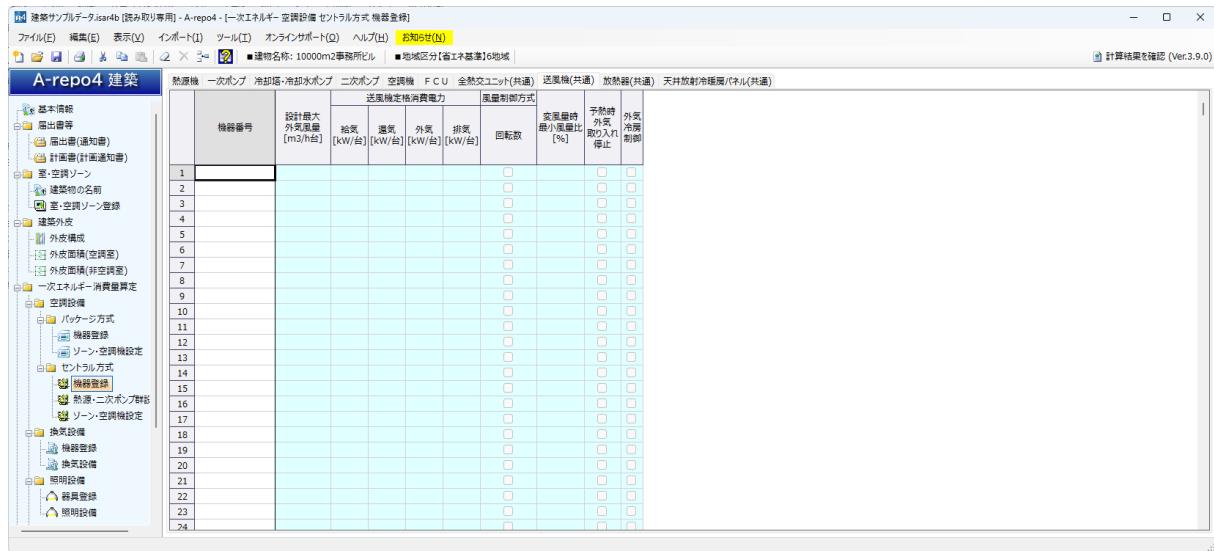
全熱交換器の特性/回転形・試験結果 2/全熱交換効率測定時の給気量 ※ 1	0～999,999.99[m <sup>3</sup> /h・台]の範囲で入力
全熱交換器の特性/回転形・試験結果 2/全熱交換効率測定時の還気量 ※ 1	0～999,999.99[m <sup>3</sup> /h・台]の範囲で入力
全熱交換器の特性/回転形・試験結果 2/有効換気量率(風量条件⑬⑭) ※ 1	0～99.999[%]の範囲で入力
全熱交換器の特性/回転形・試験結果 3/全熱交換効率(冷房時) ※ 1	0～99.999[%]の範囲で入力
全熱交換器の特性/回転形・試験結果 3/全熱交換効率(暖房時) ※ 1	0～99.999[%]の範囲で入力
全熱交換器の特性/回転形・試験結果 3/全熱交換効率測定時の給気量 ※ 1	0～999,999.99[m <sup>3</sup> /h・台]の範囲で入力
全熱交換器の特性/回転形・試験結果 3/全熱交換効率測定時の還気量 ※ 1	0～999,999.99[m <sup>3</sup> /h・台]の範囲で入力
全熱交換器の特性/回転形・試験結果 3/有効換気量率(風量条件⑯⑰) ※ 1	0～99.999[%]の範囲で入力

※ 1 基本情報の「建設一次エネルギー消費量（機器登録）／様式 2-9.(空調)全熱交換器の入力を行う」にチェックを設定することで入力可能になります。また、「2-9) 全熱交換器」の部分へ入力すると入力シートの様式 2-9.(空調)全熱交換器へ出力され、様式 2-7.空調機の「⑮全熱交換器の有無及び様式 2-9 記載の有無」に"全熱交換器あり・様式 2-9 記載あり"と出力します。

## ⑧ 送風機(共通)

送風機について入力します。最大 500 行まで登録できます。

こちらで入力した機器は、パッケージ方式／セントラル方式で共有されます。



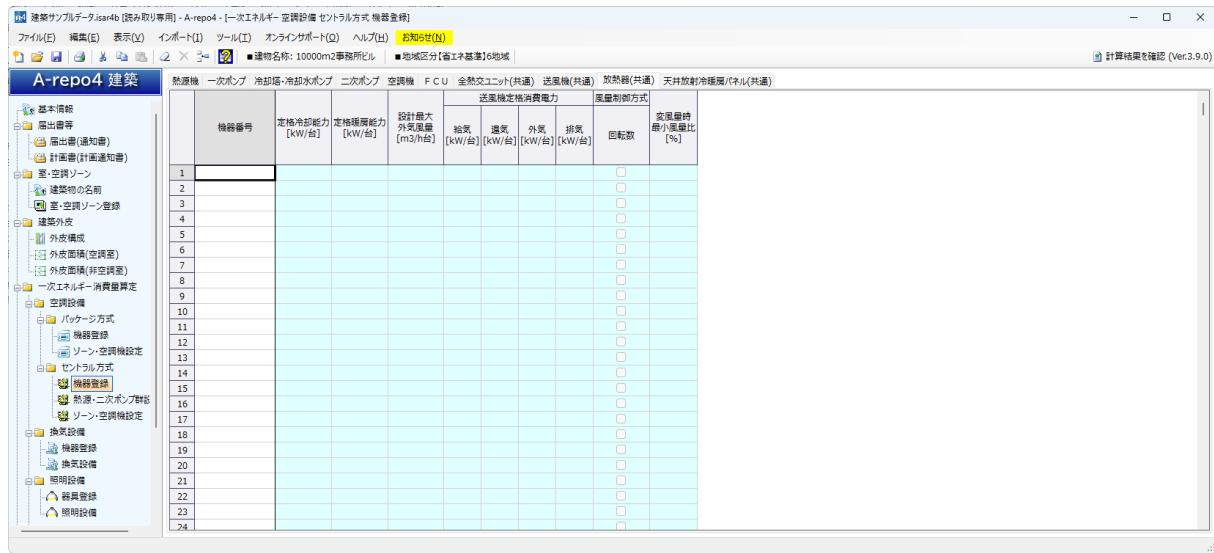
### 項目の説明

項目	説明
機器番号	送風機の機器番号を入力します。
設計最大外気風量	送風機の設計最大外気風量を、0~999,999.99[m <sup>3</sup> /h・台]の範囲で入力します。
送風機定格消費電力	
給気	給気時の定格消費電力を、0~999.99[ kW/台]の範囲で入力します。
還気	還気時の定格消費電力を、0~999.99[ kW/台]の範囲で入力します。
外気	外気取り入れ時の定格消費電力を、0~999.99[ kW/台]の範囲で入力します。
排気	排気時の定格消費電力を、0~999.99[ kW/台]の範囲で入力します。
風量制御方式	インバータ等により送風機の回転数を自動で制御する場合にはチェックします。
変風量時最小風量比	変風量方式の場合は最小風量比を、0~99.999[%]の範囲で入力します。
予熱時外気取り入れ停止	予熱時外気取り入れ停止を行う場合はチェックします。
外気冷房制御	外気冷房制御を行う場合はチェックします。

## ⑨ 放熱器(共通)

放熱器について入力します。最大 500 行まで登録できます。

こちらで入力した機器は、パッケージ方式／セントラル方式で共有されます。

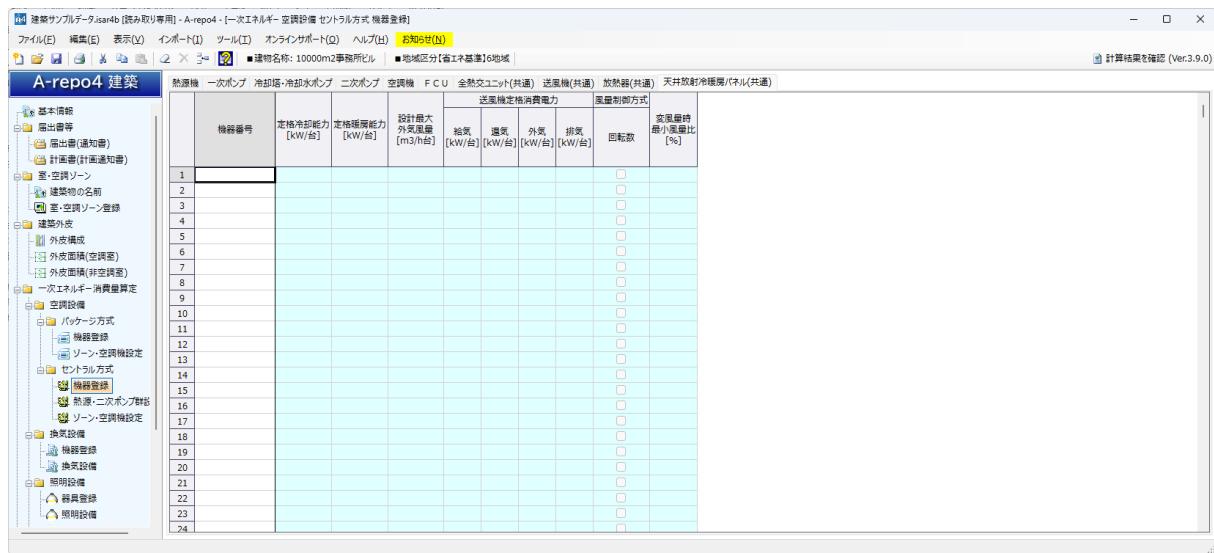


### 項目の説明

項目	説明
機器番号	放熱器の機器番号を入力します。
定格冷却能力	定格冷房能力を、0～9,999.99[kW/台]の範囲で入力します。
定格暖房能力	定格暖房能力を、0～9,999.99[kW/台]の範囲で入力します。
設計最大外気風量	設計最大外気風量を、0～999,999.99[m <sup>3</sup> /h・台]の範囲で入力します。
送風機定格消費電力	
給気	給気時の定格消費電力を、0～999.99[kW/台]の範囲で入力します。
還気	還気時の定格消費電力を、0～999.99[kW/台]の範囲で入力します。
外気	外気取入時の定格消費電力を、0～999.99[kW/台]の範囲で入力します。
排気	排気時の定格消費電力を、0～999.99[kW/台]の範囲で入力します。
風量制御方式	インバータ等により送風機の回転数を自動で制御する場合にはチェックします。
変風量時最小風量比	変風量方式の場合は最小風量比を、0～99.999[%]の範囲で入力します。

## ⑩ 天井放射冷暖房パネル(共通)

天井放射冷暖房パネルについて入力します。最大 500 行まで登録できます。こちらで入力した機器は、パッケージ方式／セントラル方式で共有されます。



### 項目の説明

項目	説明
機器番号	天井放射冷暖房パネルの機器番号を入力します。
定格冷却能力	定格冷房能力を、0～9,999.99[kW/台]の範囲で入力します。
定格暖房能力	定格暖房能力を、0～9,999.99[kW/台]の範囲で入力します。
設計最大外気風量	設計最大外気風量を、0～999,999.99[m <sup>3</sup> /h・台]の範囲で入力します。
送風機定格消費電力	
給気	給気時の定格消費電力を、0～999.99[kW/台]の範囲で入力します。
還気	還気時の定格消費電力を、0～999.99[kW/台]の範囲で入力します。
外気	外気取入時の定格消費電力を、0～999.99[kW/台]の範囲で入力します。
排気	排気時の定格消費電力を、0～999.99[kW/台]の範囲で入力します。
風量制御方式	インバータ等により送風機の回転数を自動で制御する場合にはチェックします。
変風量時最小風量比	変風量方式の場合は最小風量比を、0～99.999[%]の範囲で入力します。

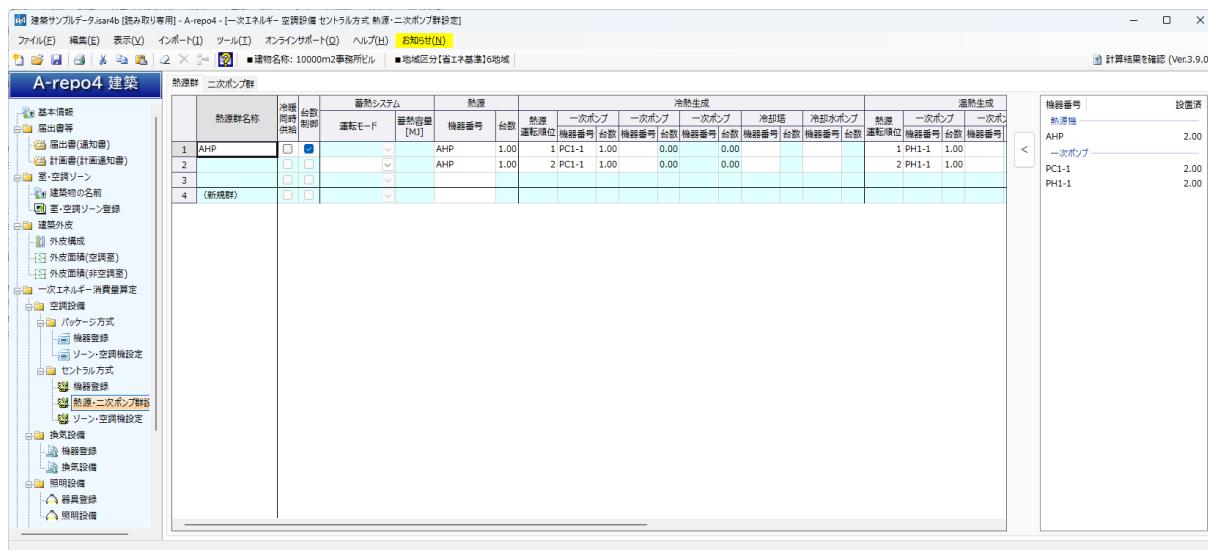
### 5.1.2.2 热源・二次ポンプ群設定

热源群 二次ポンプ群

※住宅共用部、非住宅双方にセントラル機器を使用している場合、热源群、二次ポンプ群は分けて入力してください。

#### ① 热源群

热源群を構成する热源機器を定義します。



#### 項目の説明

項目	説明
热源群名称	热源群の名称を入力します。
冷温同時供給	冷水および温水を同時に供給する場合はチェックします。
台数制御	台数制御を行う場合はチェックします。
<b>蓄熱システム</b>	
運転モード	蓄熱システムの場合プルダウンリストから選択します。 
蓄熱容量	蓄熱容量を入力します。
<b>热源</b>	
機器番号	热源機器の番号を登録済みの機器リストから選択します。
台数	使用する热源機器の台数を入力します。
<b>冷熱生成</b>	
热源運転順位	冷熱発生器の中での運転優先順位を付けます。
<b>一次ポンプ</b>	

機器番号	一次ポンプの機器番号を登録済みの機器リストから選択します。
台数	一次ポンプの台数を入力します。
冷却塔	
機器番号	冷却塔の機器番号を登録済みの機器リストから選択します。
台数	冷却塔の台数を入力します。
冷却水ポンプ	
機器番号	冷却水ポンプの機器番号を登録済みの機器リストから選択します。
台数	冷却水ポンプの台数を入力します。
温熱生成	
運転順位	温熱発生器の中での運転優先順位を付けます。
一次ポンプ	
機器番号	一次ポンプの機器番号を登録済みの機器リストから選択します。
台数	一次ポンプの台数を入力します。

#### 機器選択リスト

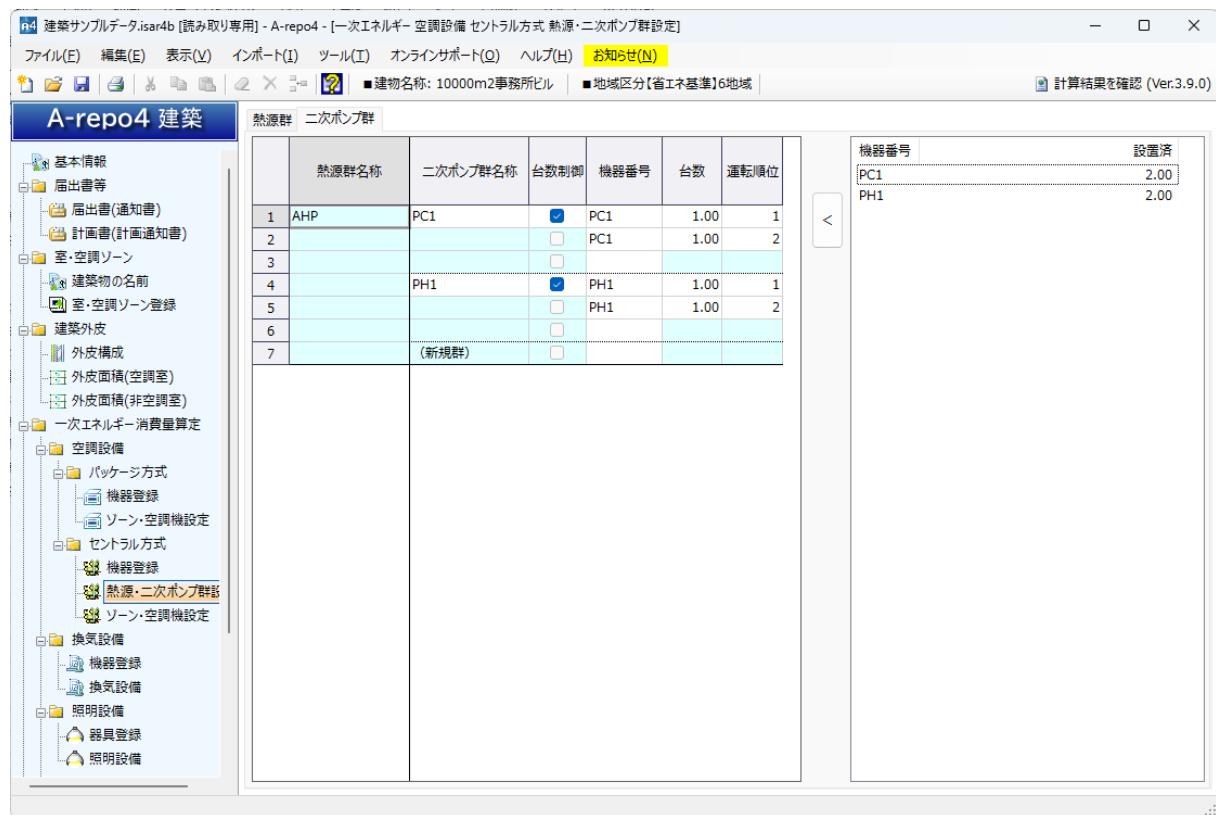
機器	設定済み台数
<b>熱源機</b>	
jikataki	1.00
<b>一次ポンプ</b>	
1stpomp	2.00
<b>冷却塔</b>	
cooltow	1.00
<b>冷却水ポンプ</b>	
coolpomp	1.00

画面右側の機器選択リストで機器番号を選択し、“<”ボタンを押すと左側の入力画面に選択した内容が表示されます。

また、選択された熱源機器の設置済み累計台数が、チェック用として表示されます。

## ② 二次ポンプ群

二次ポンプを構成するポンプを定義します。



### 項目の説明

項目	説明
熱源群名称	熱源群タブで登録した名称が表示されます。
二次ポンプ群名	2次ポンプ群の名称を入力します。
台数制御有無	台数制御していればチェックします。
機器番号	2次ポンプの機器番号を登録済みの機器リストから選択します。
台数	台数を入力します。
運転順位	複数の2次ポンプの中での運転優先順位を入力します。

### 機器選択リスト

機器	設定済み台数
二次ポンプ01	2.00
二次ポンプ02	2.00

画面右側の機器選択リストで機器番号を選択し、“<”ボタンを押すと左側の入力画面に選択した内容が表示されます。また、選択された二次ポンプの設置済み累計台数が、チェック用として表示されます。

### 5.1.2.3 ゾーン・空調機設定



空調ゾーンの負荷を処理する空調機を設定します。

#### フロア

B1F 1F 2F 3F 4F 5F 6F 7F 8F 9F PHF 全フロア一覧

フロア別に入力します。「全フロア一覧」タブで全入力データを確認することができます。

#### 項目の説明

項目	説明
空調ゾーン名	空調ゾーン名が表示されます。
室負荷処理	
空調機	
機器番号	画面右側の機器選択リストで選択すると、ここに表示されます。
台数	機器の台数を入力します。
複数室処理	同じ空調機で他の室も処理する場合はチェックします。
群名称	階・室名・機器番号を組み合わせた空調機群の名称が表示されます。
二次ポンプ群または熱源群	
冷熱	冷熱に対応する二次ポンプまたは熱源群をプルダウンリストから選択します。 <input type="button" value="PC1"/> <input type="button" value="PC1"/> <input type="button" value="PH1"/> <input type="button" value="AHP"/> <input type="button" value="なし"/>
温熱	温熱に対応する二次ポンプまたは熱源群をプルダウンリストから選択します。 <input type="button" value="PH1"/> <input type="button" value="PC1"/> <input type="button" value="PH1"/> <input type="button" value="AHP"/> <input type="button" value="なし"/>

室負荷処理と同じ	外気負荷処理に、室負荷処理と同一の機器を使用する場合チェックします。
外気負荷処理	
空調機	
機器番号	画面右側の機器選択リストで選択すると、ここに表示されます。
台数	機器の台数を入力します。
複数室処理	同じ空調機で他の室も処理する場合はチェックします。
群名称	階・室名・機器番号を組み合わせた空調機群の名称が表示されます。
二次ポンプ群または熱源群	
冷熱	冷熱に対応する二次ポンプまたは熱源群をプルダウンリストから選択します。 
温熱	温熱に対応する二次ポンプまたは熱源群をプルダウンリストから選択します。 
備考	備考で記載する事項があれば入力します。

#### 機器選択リスト

空調機器番号	設定済み台数
<b>空調機</b>	
kuchoki01	
kuchoki02	
kuchoki03	
kuchoki04	
kuchoki05	
kuchoki06	
<b>全熱交ユニット</b>	
全熱交01	
全熱交02	
全熱交03	
<b>ファンコイルユニット</b>	
FCU01	
FCU02	
FCU03	

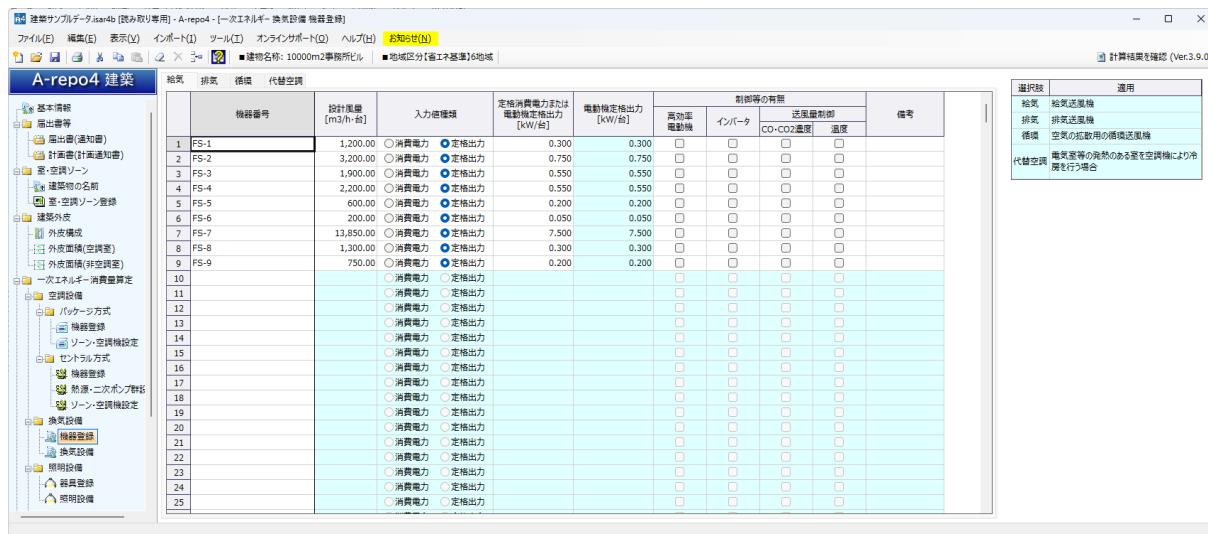
画面右側の機器選択リストから空調機または全熱交やファンコイルの機器番号を選択し、“<”ボタンを押すと左側の入力画面にその内容が表示されます。

また、選択された機器の設置済み累計台数が、チェック用として表示されます。

## 5.2 換気設備

換気設備について入力します。

### 5.2.1 換気機器登録



給気・排気・循環・代替空調用のファンを登録します。最大 500 行まで登録できます。

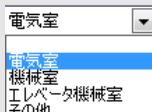
#### 項目の説明（給気・排気・循環）

項目	説明
機器番号	換気ファンの機器番号を入力します。
設計風量	設計風量を、0~999,999.99[m <sup>3</sup> /h・台]の範囲で入力します。
入力値種類	「定格消費電力または電動機定格出力」で入力する値の種類を選択します。
定格消費電力または電動機定格出力	「入力値種類」の入力に応じた値を、0~999.999[kW/台]の範囲で入力します。
電動機定格出力	「入力値種類」、「定格消費電力または電動機定格出力」に応じた計算結果が表示されます。

#### 制御等の有無

高効率電動機	高効率電動機の場合はチェックします。
インバータ	インバータ制御を行う場合はチェックします。
CO・CO <sub>2</sub> 濃度	CO・CO <sub>2</sub> 制御を行う場合はチェックします。
温度	温度制御を行う場合はチェックします。

## 項目の説明（代替空調）

項目	説明
機器番号	代替空調機器の名称(機器番号)を入力します。
連動する送風機の有無	連動する送風機がある場合はチェックします。
連動する送風機	連動する送風機がある場合に送風機名を入力します。
換気対象室の用途	換気対象室の用途をプルダウンリストから選択します。 
必要冷却能力	代替空調機器の冷却能力を、0～9,999.99[kW・台]の範囲で入力します。
熱源	
定格 COP	代替空調機器の定格 COP 値を、0～99.99 の範囲で入力します。
熱源効率 (一次換算値)	定格 COP 値から熱源効率(一次換算値)が計算され表示されます。
ポンプ定格出力	ポンプの定格出力を、0～9,999.999[kW・台]の範囲で入力します。
送風機	
送風機の種類	送風機の種類をプルダウンリストから選択します。 
設計風量	送風機の設計風量を、0～999,999.99[m³/h・台]の範囲で入力します。
電動機定格出力	送風機の定格出力を、0～9,999.999[kW・台]の範囲で入力します。
制御等の有無	
高効率電動機	高効率電動機の場合はチェックします。
インバータ	インバータ制御を行う場合はチェックします。
CO・CO2 濃度	CO・CO2 制御を行う場合はチェックします。
温度	温度制御を行う場合はチェックします。

## 5.2.2 換気設備



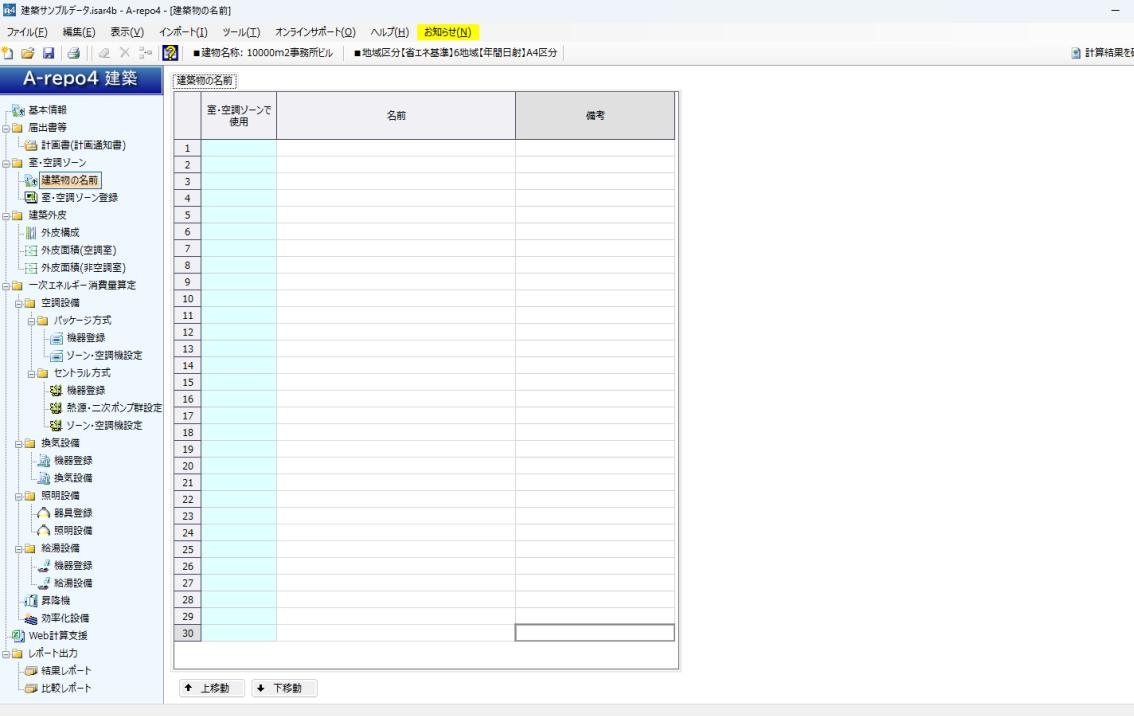
各室（ゾーン）を処理する換気系統を設定します。

### フロア

B1F	1F	2F	3F	4F	5F	6F	7F	8F	9F	PHF	全フロア一覧
-----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	--------

フロア別に入力します。「全フロア一覧」タブで全入力データを確認することができます。

## 項目の説明

項目	説明
室名	<p>「3.1 建築物の名前」</p> 

建築物の名前を登録します。最大 30 行まで登録できます。

## 項目の説明

項目	説明
室・空調ゾーンで使用	室・空調ゾーン登録の建築物の名称に設定されている場合は、「○」がされます。
名前	建築物の名前を 40 文字以内で入力します。
備考	必要に応じてメモを入力することができます。
↑ 上移動	選択されている行を、1 行前に移動します。
↓ 下移動	選択されている行を、1 行後に移動します。

「室・空調ゾーン登録」で換気設備をチェックした室の属性が表示されます。

建物用途	〃
------	---

室 用 途	〃
室 面 積	〃
天 井 高	〃
天 井 高 補 正	入力シートへの出力時、天井高補正を行った電動機定格出力値を出力したい場合にチェックします。
機 器 番 号	画面右側の機器選択リストから選択します。
換 氣 種 類	リストで選択する際の分類が表示されます。
台 数	台数を入力します。
複 数 室 換 氣	選択した「機器番号」が『複数の室の換気を行っている』場合にチェックします。
換 氣 機 器 名 称	機器番号に階・室名が付加された形式で自動表示されます。

## 機器選択リスト

機器番号	設定済み台数
<u>給気送風機</u>	
SofuK1	1.00
SofuK2	1.00
SofuK3	1.00
SofuK4	1.00
SofuK5	1.00
SofuK6	1.00
SofuK7	1.00
SofuK8	1.00
SofuK9	1.00
<u>排気送風機</u>	
SofuH1	1.00
SofuH2	10.00
SofuH3	1.00
SofuH4	1.00
SofuH5	1.00
SofuH6	1.00
SofuH7	2.00
SofuH8	2.00
SofuH9	1.00
SofuH10	20.00
SofuH11	1.00
SofuH12	17.00
SofuH13	1.00
SofuH14	1.00
SofuH15	1.00

画面右側の機器選択リストで該当する機器番号を選択し、“<”ボタンを押すと左側の入力画面に選択した内容が表示されます。

また、選択された送風機の設置済み累計台数が、チェック用として表示されます。

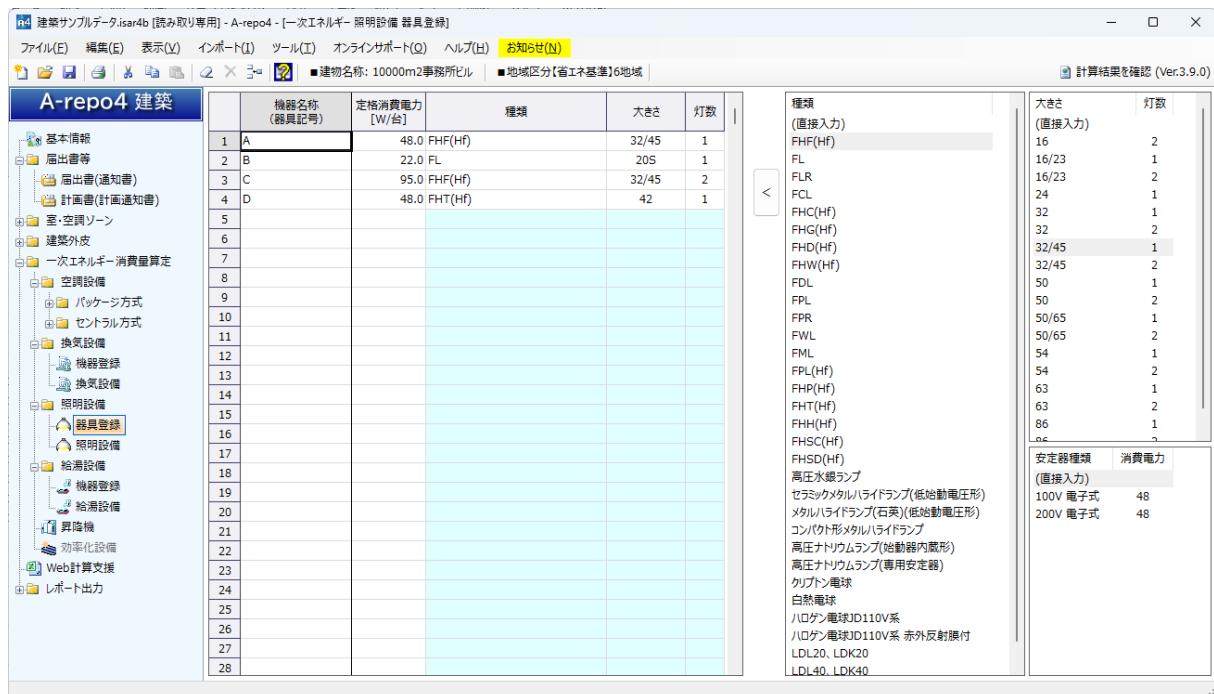
連動する送風機を持つ機器を登録しようとすると、親の機器番号が登録されます。

連動する送風機を持つ機器の場合、全ての設定済み台数がカウントされます。

## 5.3 照明設備

照明設備について入力します。

### 5.3.1 照明器具登録



使用する照明器具をすべて登録します。最大 999 行まで登録できます。

#### 項目の説明

項目	説明
機器名称 (器具記号)	照明機器名称を入力します。
種類	ランプの種類から器具型式までを画面右側の器具選択リストからセットで選択すると、 入力画面に表示されます。
大きさ	選択したランプの大きさが表示されます。
灯数	選択したランプの灯数が表示されます。
定格消費電力	定格消費電力が表示されます。

## 器具選択リスト

種類	大きさ	灯数
(直接入力)	(直接入力)	
FHF(Hf)	16	2
FL	16/23	1
FLR	16/23	2
FCL	24	1
FHC(Hf)	32	1
FHG(Hf)	32	2
FHD(Hf)	32/45	1
FHW(Hf)	32/45	2
FDL	50	1
FPL	50	2
FPR	50/65	1
FWL	50/65	2
FML	54	1
FPL(Hf)	54	2
FHP(Hf)	63	1
FHT(Hf)	63	2
FHH(Hf)	86	1
FHSC(Hf)	86	2
FHSD(Hf)		
高圧水銀ランプ		
セラミックメタルハイドランプ(低始動電圧)		
メタルハイドランプ(石英)(低始動電圧)		
コンパクト形メタルハイドランプ		
高圧ナトリウムランプ(始動器内蔵形)		
高圧ナトリウムランプ(専用安定器)		
クリプトン電球		
白熱電球		
ハロゲン電球JD110V系		
ハロゲン電球JD110V系 赤外反射膜付		
LDL20、LDK20		
LDL40、LDK40		

画面右側の器具選択リストで種類から安定器種類までをセットで選択し、“<”ボタンを押すと左側の入力画面に選択した内容が表示されます。

該当するものが機器選択リストに無い場合は、（直接入力）を選択してください。

### 5.3.2 照明設備



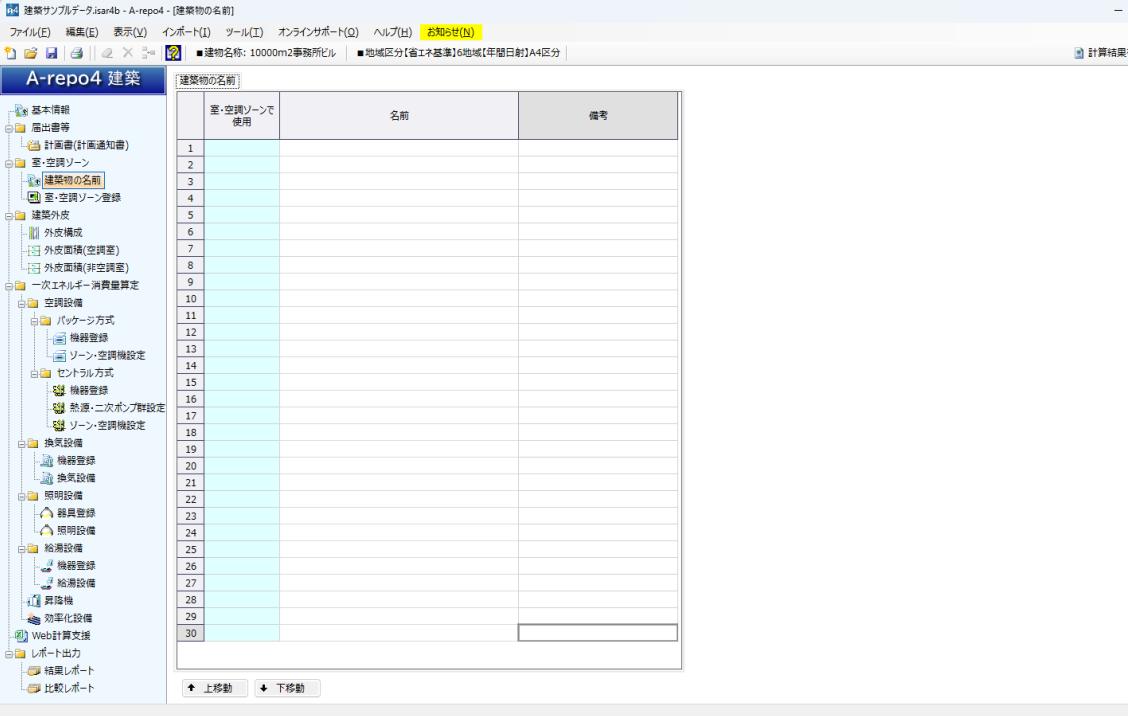
各室ごとに使用する照明器具を設定します。

#### フロア

B1F	1F	2F	3F	4F	5F	6F	7F	8F	9F	PHF	全フロア一覧
-----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	--------

フロア別に入力します。「全フロア一覧」タブで全入力データを確認することができます。

## 項目の説明

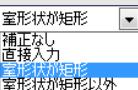
項目	説明
室名	<p>「3.1 建築物の名前」</p>  <p>建築物の名前を登録します。最大 30 行まで登録できます。</p>

## 項目の説明

項目	説明
室・空調ゾーンで使用	室・空調ゾーン登録の建築物の名称に設定されている場合は、「○」されます。
名前	建築物の名前を 40 文字以内で入力します。
備考	必要に応じてメモを入力することができます。
↑ 上移動	選択されている行を、1 行前に移動します。
↓ 下移動	選択されている行を、1 行後に移動します。

「室・空調ゾーン登録」で照明設備をチェックした室の属性が表示されます。

室面積	〃
天井高	〃

室指数	
入力方法	<p>室形状により入力方法が異なりますので、プルダウンリストから選択します。</p> 
間口	「入力方法」で「室形状が矩形」を選択した場合は、間口寸法を 0~999.999[m]の範囲で入力します。
奥行	「入力方法」で「室形状が矩形」を選択した場合は、奥行寸法を 0~999.999[m]の範囲で入力します。
外周長さ	「入力方法」で「室形状が矩形以外」を選択した場合は、外周長さを 0~999.999[m]の範囲で入力します。
作業面高さ	作業面高さを 0~9.999[m]の範囲で入力します。
室指数	<p>「入力方法」で「直接入力」を選択した場合は、0.001~99.999 の範囲で入力します。</p> <p>「入力方法」で「室形状が矩形」を選択し、間口、奥行に適正な値が入力された場合、自動計算結果が表示されます。また、「入力方法」で「室形状が矩形以外」を選択し、外周長さ、作業面高さに適正な値が入力された場合、自動計算結果が表示されます。</p>
照明器具	
機器名稱(器具記号)	機器名称（機器記号）を、画面右側のリストから選択します。
台数	台数を入力します。
制御等の有無	

在室検知	在室検知制御があればプルダウンリストから選択します。 
明るさ検知	明るさ検知制御があればプルダウンリストから選択します。 
タイムスケジュール	タイムスケジュール制御があればプルダウンリストから選択します。 
初期照度補正	初期照度調整制御があればプルダウンリストから選択します。 

#### 器具選択リスト

機器名称(器具記号)	設置済み器具数
A	363.00
B	29.00
C	885.00
D	427.00

画面右側の器具選択リストで機器番号を選択し、“<”ボタンを押すと左側の入力画面に選択した内容が表示されます。また、選択された照明器具の設置済み累計台数が、チェック用として表示されます。

## 5.4 給湯設備

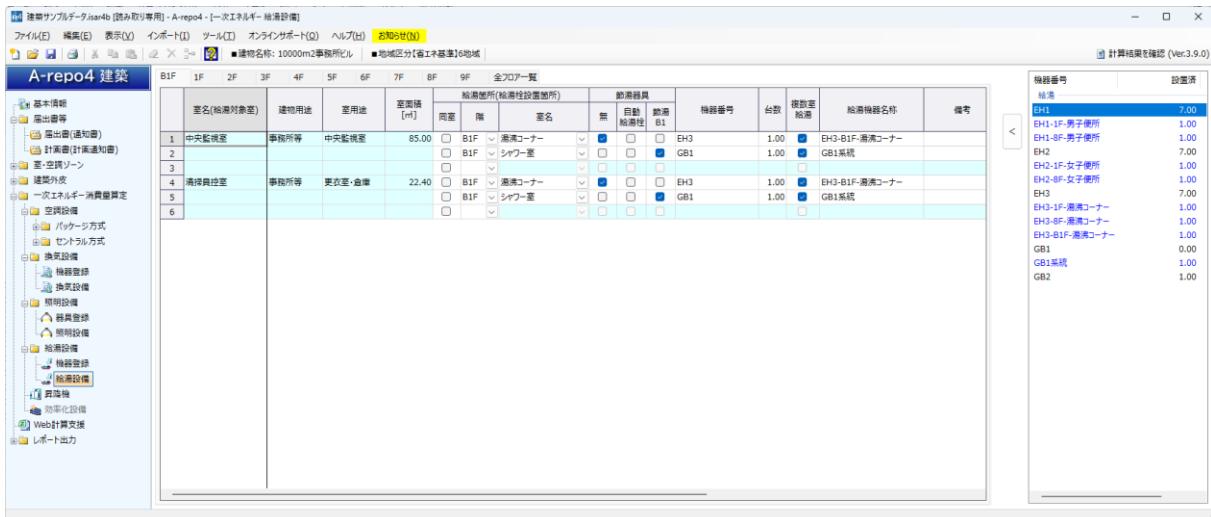
給湯設備について入力します。

### 5.4.1 給湯機器登録

機器番号	燃料種類	定格加熱能力 [kW/台]	熱源効率 直接入力	定格消費電力 [kW/台]	定格燃料消費量 [kWh]	熱源効率 (一次エネルギー換算)	配管保温仕様	接続径 [mm]
1 EH1	電力	1.50		1.50		0.36	保溫仕様1	
2 EH2	電力	1.10		1.10		0.36	保溫仕様1	
3 EH3	電力	3.00		3.00		0.36	保溫仕様1	
4 GB1	都市ガス	30.00				0.80	保溫仕様1	
5 GB2	都市ガス	40.00				0.80	保溫仕様1	
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
31								
32								
33								
34								
35								
36								
37								
38								
39								
40								
41								
42								
43								
44								
45								
46								
47								
48								
49								
50								
51								
52								
53								
54								
55								
56								
57								
58								
59								
60								
61								
62								
63								
64								
65								
66								
67								
68								
69								
70								
71								
72								
73								
74								
75								
76								
77								
78								
79								
80								
81								
82								
83								
84								
85								
86								
87								
88								
89								
90								
91								
92								
93								
94								
95								
96								
97								
98								
99								
100								
101								
102								
103								
104								
105								
106								
107								
108								
109								
110								
111								
112								
113								
114								
115								
116								
117								
118								
119								
120								
121								
122								
123								
124								
125								
126								
127								
128								
129								
130								
131								
132								
133								
134								
135								
136								
137								
138								
139								
140								
141								
142								
143								
144								
145								
146								
147								
148								
149								
150								
151								
152								
153								
154								
155								
156								
157								
158								
159								
160								
161								
162								
163								
164								
165								
166								
167								
168								
169								
170								
171								
172								
173								
174								
175								
176								
177								
178								
179								
180								
181								
182								
183								
184								
185								
186								
187								
188								
189								
190								
191								
192								
193								
194								
195								
196								
197								
198								
199								
200								
201								
202								
203								
204								
205								
206								
207								
208								
209								
210								
211								
212								
213								
214								
215								
216								
217								
218								
219								
220								
221								
222								
223								
224								
225								
226								
227								
228								
229								
230								
231								
232								
233								
234								
235								
236								
237								
238								
239								
240								
241								
242								
243								
244								

接続口径	吐出管の口径を 0~999 の範囲[mm]で入力します。									
太陽熱利用										
有効面積	太陽熱利用をしている場合は、集熱器の有効面積を 0~9,999.99[m <sup>2</sup> ]の範囲で入力します。									
方位角	集熱器の方位角を、0~999.99[°]の範囲で入力します。									
傾斜角	集熱器の傾斜角を、0~99.99[°]の範囲で入力します。									
備考	必要に応じてメモを入力します。									
一次エネルギー換算値	<p>一次エネルギー換算値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>エネルギー種類</th> <th>換算値</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電力</td> <td>9,760.00</td> <td>kJ/kwh</td> </tr> <tr> <td>液化石油ガス</td> <td>100,000.00</td> <td>kJ/m<sup>3</sup></td> </tr> </tbody> </table> <p>熱源機種毎の換算値を表示します。 都市ガス及び液化石油ガスについては換算値を変更することができます。</p>	エネルギー種類	換算値	単位	電力	9,760.00	kJ/kwh	液化石油ガス	100,000.00	kJ/m <sup>3</sup>
エネルギー種類	換算値	単位								
電力	9,760.00	kJ/kwh								
液化石油ガス	100,000.00	kJ/m <sup>3</sup>								

## 5.4.2 給湯設備



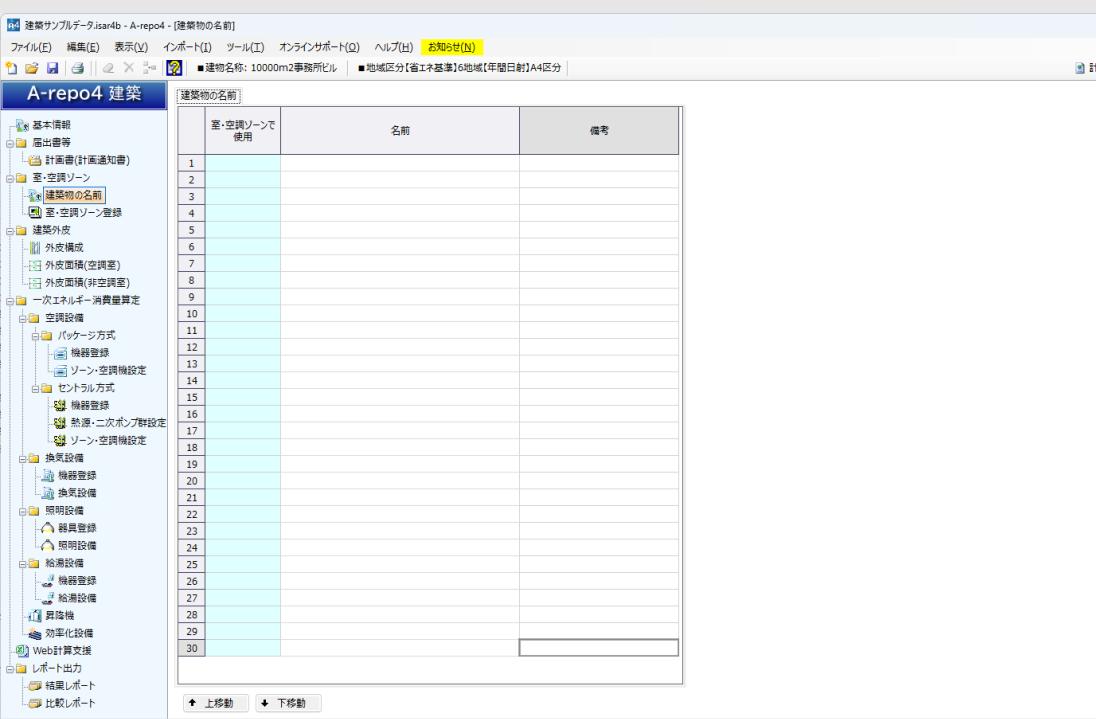
給湯設備について入力します。

### フロア

B1F 1F 2F 3F 4F 5F 6F 7F 8F 9F PHF 全フロア一覧

フロア別に入力します。「全フロア一覧」タブで全入力データを確認することができます。

## 項目の説明

項目	説明
室名	<p>「3.1 建築物の名前」</p>  <p>建築物の名前を登録します。最大 30 行まで登録できます。</p>

## 項目の説明

項目	説明
室・空調ゾーンで使用	室・空調ゾーン登録の建築物の名称に設定されている場合は、「○」されます。
名前	建築物の名前を 40 文字以内で入力します。
備考	必要に応じてメモを入力することができます。
↑ 上移動	選択されている行を、1 行前に移動します。
↓ 下移動	選択されている行を、1 行後に移動します。

室・空調ゾーン登録」で給湯設備をチェックした室が表示されます。

建物用途	〃
室用途	〃
室面積	〃

## 設置箇所

同室	同室内に給湯栓がある場合はチェックします。
階、室名	同室がない場合は、給湯栓の設置階と室名をプルダウントリストから選択します。 
節湯器具	
無	節水型器具を使用していなければチェックします。
自動給湯栓	節水型の自動給湯栓を使用していなければチェックします。
節湯 B1	節水型のシャワーを使用していなければチェックします。
機器番号	給湯機の番号を画面右側の機器選択リストから選択します。
台数	給湯機の台数を入力します。
複数室給湯	選択した「機器番号」（給湯機器）が『複数の給湯対象室の在室者を対象としている』または『複数室の給湯栓設置箇所に湯を供給している』場合にチェックします。
給湯機器名称	機器番号に給湯箇所の階・室名が付加された文字が自動表示されます。

## 機器選択リスト

機器番号	設置済み台数
EH3-B1F	0.00
EH3-B1F-B1F-湯沸コーナ...	1.00
EH4-B1F	0.00
EH4-B1F-B1F-シャワー室	1.00
EH1-1F	0.00
EH1-1F-1F-女子便所	1.00
EH2-1F	0.00
EH2-1F-1F-男子便所	1.00
EH3-1F	0.00
EH3-1F-1F-湯沸コーナー	1.00
EH1-2F	1.00
EH2-2F	1.00
EH3-2F	1.00
EH1-3F	1.00

画面右側の機器選択リストで機器番号を選択し、“<”ボタンを押すと左側の入力画面に選択した内容が表示されます。また、選択された機器の設置済み累計台数が、チェック用として表示されます。

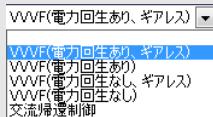
## 5.5 昇降機



昇降機設備について入力します。最大 50 行まで登録できます。

### 項目の説明

項目	説明
階、室名	階と室名をプルダウンリストから選択します。 
機器名称	昇降機の名称を入力します。
台数	台数を入力します。
積載量	1 台当たりの積載量を入力します。
速度	速度を入力します。
輸送能力係数直接入力	輸送能力係数を直接入力する場合にチェックします。
標準輸送能力	
建物用途、規模	建物用途、規模をプルダウンリストから選択します。 
標準輸送能力	「建物用途、規模」で選択された用途に応じた輸送能力が入力されます。 [事務所等、ホテル等以外]を選択した場合、輸送能力を直接入力します。
計画輸送能力	
計算方法	計画輸送能力の計算方法をプルダウンリストから選択します。 

5分間輸送人数	「計算方法」で「5分間輸送人員入力」を選んだ場合は、0～9999.99[人]の範囲で入力します。
利用人数	「計算方法」で「直接入力」以外を選んだ場合は、0～9999.99[人]の範囲で入力します。
乗客数	「計算方法」で「乗客数・一周時間入力」を選んだ場合は、0～9999.99[人]の範囲で入力します。
一周時間	「計算方法」で「乗客数・一周時間入力」を選んだ場合は、0～9999.99[秒]の範囲で入力します。
計画輸送能力	「計算方法」で「直接入力」を選んだ場合は、0～9999.99[秒]の範囲で入力します。 それ以外では計算結果が表示されます。
輸送能力係数	「輸送能力係数直接入力」をチェックした場合は、係数を直接入力します。 それ以外では計算結果が表示されます。
速度制御方式	速度制御方式をプルダウンリストから選択します。  <p>The dropdown menu shows the following options:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>VVVF(電力回生あり、ギアレス)</li> <li>VVVF(電力回生あり)</li> <li>VVVF(電力回生なし、ギアレス)</li> <li>VVVF(電力回生なし)</li> <li>交流制御</li> </ul>

## 5.6 エネルギー効率化設備

エネルギー効率化設備について入力します。

### 5.6.1 太陽光発電システム



太陽光発電設備について入力します。最大 10 行まで登録できます。

#### 項目の説明

項目	説明
システム名称	効率化設備のシステム名を入力します。
パワーコンディショナの効率	
直接入力	パワーコンディショナの効率を直接入力する場合チェックします。
効率	デフォルト値は 0.928。直接入力がチェックありの場合、効率を 0.000 ~ 1.000 の範囲で入力します。
太陽電池の種類	太陽電池の種類で該当するものをチェックします。
アレイ設置方式	設置方式で該当するものをチェックします。
アレイのシステム容量	システムの容量を 0.00 ~ 9,999.99 [kW] の範囲で入力します。
パネルの方位角	パネルの方位角を、0~999.99[°]の範囲で入力します。
パネルの傾斜角	パネルの傾斜角を、0~99.99[°]の範囲で入力します。
備考	必要に応じてメモを入力します。

## 5.6.2 コージェネレーションシステム



コージェネレーションシステムについて入力します。

本画面での入力内容は、入力シートの「様式 7-3（効率化）コージェネレーション設備入力シート」に  
出力されます。最大 10 行まで登録できます。

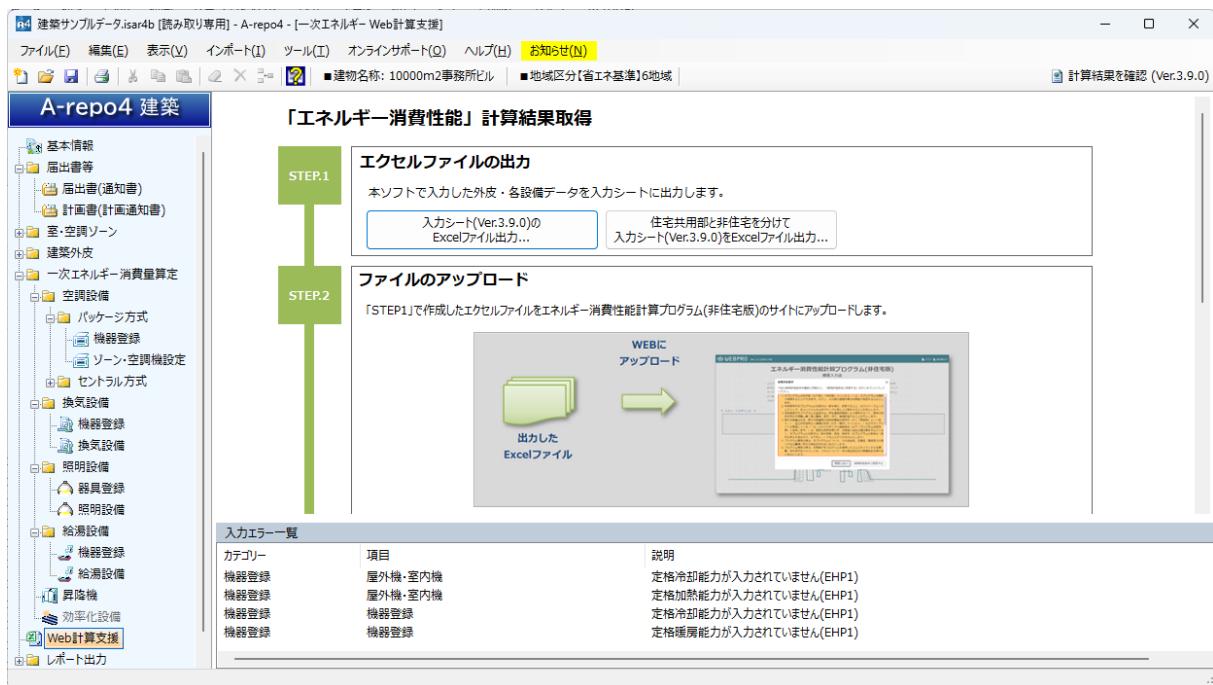
※ A-repo 3.0 で選択できた「様式 7-2 コージェネレーション設備(CASCADE)」については入力シート  
原本での廃止に伴い、非対応となりました。

### 項目の説明

項目	説明
コージェネレーション 設備名称	コージェネレーション設備の名称を入力します。
定格発電出力	コージェネレーション設備の定格発電出力を、0～999,999.99 の範囲で入力します。
設置台数	コージェネレーション設備の設置台数を 0～9.99 の範囲で入力します。
発電効率 (負荷率 1.00、負荷率 0.75、負荷率 0.50)	コージェネレーション設備の負荷率ごとの発電効率を 0～1.000 の範囲で入力します。
排熱効率 (負荷率 1.00、負荷率 0.75、負荷率 0.50)	コージェネレーション設備の負荷率ごとの排熱効率を 0～1.000 の範囲で入力します。
排熱利用優先順位 (空調冷熱源、空調温熱 源、給湯)	排熱利用優先順位を 1～3 の範囲で入力します。
24 時間運転の有無	コージェネレーション設備が一日あたり最大 24 時間運転される場合はチェックを入れます。
排熱利用系統 (空調熱源 群)	コージェネレーション設備の排熱利用系統と同じ系統に属する熱源群名称を選択します。

排熱利用系統（給湯機器）	コーデュネレーション設備の排熱利用系統と同じ系統に属する給湯機器名称を選択します。
備考	必要に応じてメモを入力します。

## 5.7 エラー一覧ウィンドウ（建築用）



一次エネルギー消費量計算に用いる入力データに、不足や不整合があるかを確認することができます。  
入力エラーをダブルクリックすることで、該当する入力画面へ移動します。

### 項目の説明

項目	説明
カテゴリー	エラーを発生したデータのカテゴリーが表示されます。
項目	エラーを発生したデータの入力項目名が表示されます。
説明	エラーの内容が表示されます。

# 6 『建築』WEB 計算支援

建築物の印刷および EXCEL 出力処理について説明します。

---

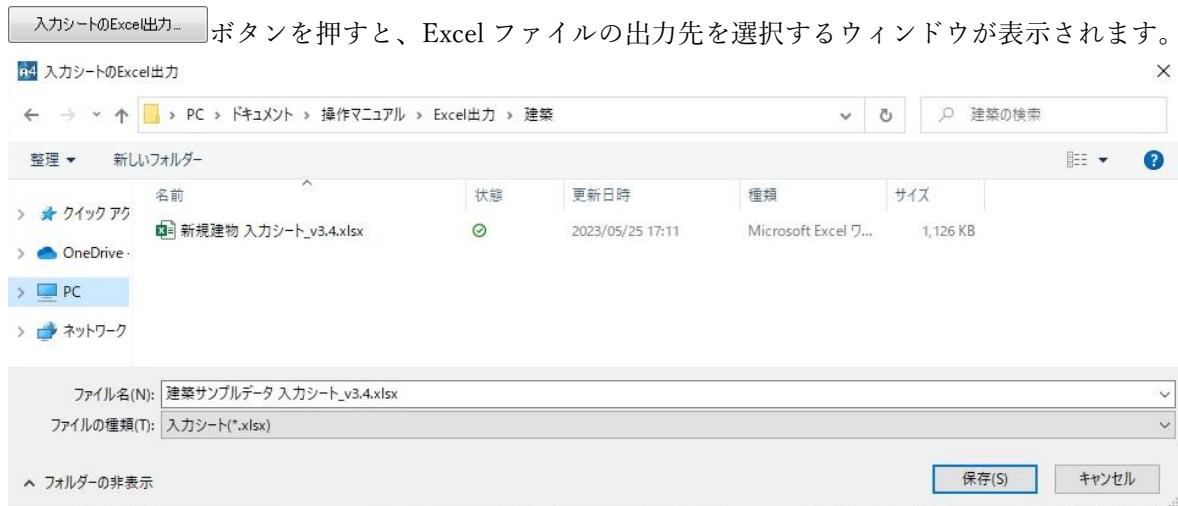
## 6.1 Web 計算支援（建築用）

## 6.1 Web 計算支援（建築用）



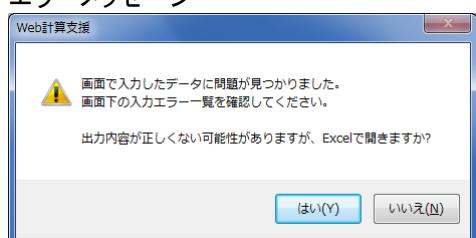
入力した物件データを使用し、Web プログラムでエネルギー消費性能の算定を行います。

## 6.1.1 入力シートの Excel 出力



保存先フォルダを指定して **保存(S)** ボタンを押すと、本システムで作成した各設備のデータを、入力シートのテンプレートに出力して保存することができます。

### エラーメッセージ

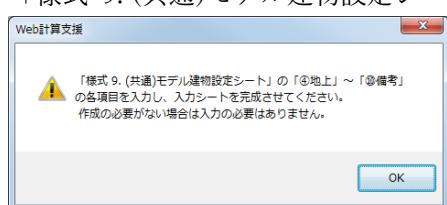


入力データの不足や不整合が見つかった場合は、このメッセージが表示されます。

画面下側の表示に従って、本システムの入力データを再編集してください。

(「5.7 エラー一覧 ウィンドウ (建築用)」を参照)

### 「様式 9. (共通)モデル建物設定シート」の「④地上」～「⑩備考」の入力

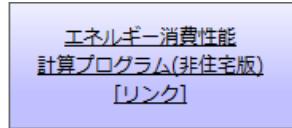


警告メッセージに従い、必要に応じて各項目を入力し、入力シートを完成させてください。

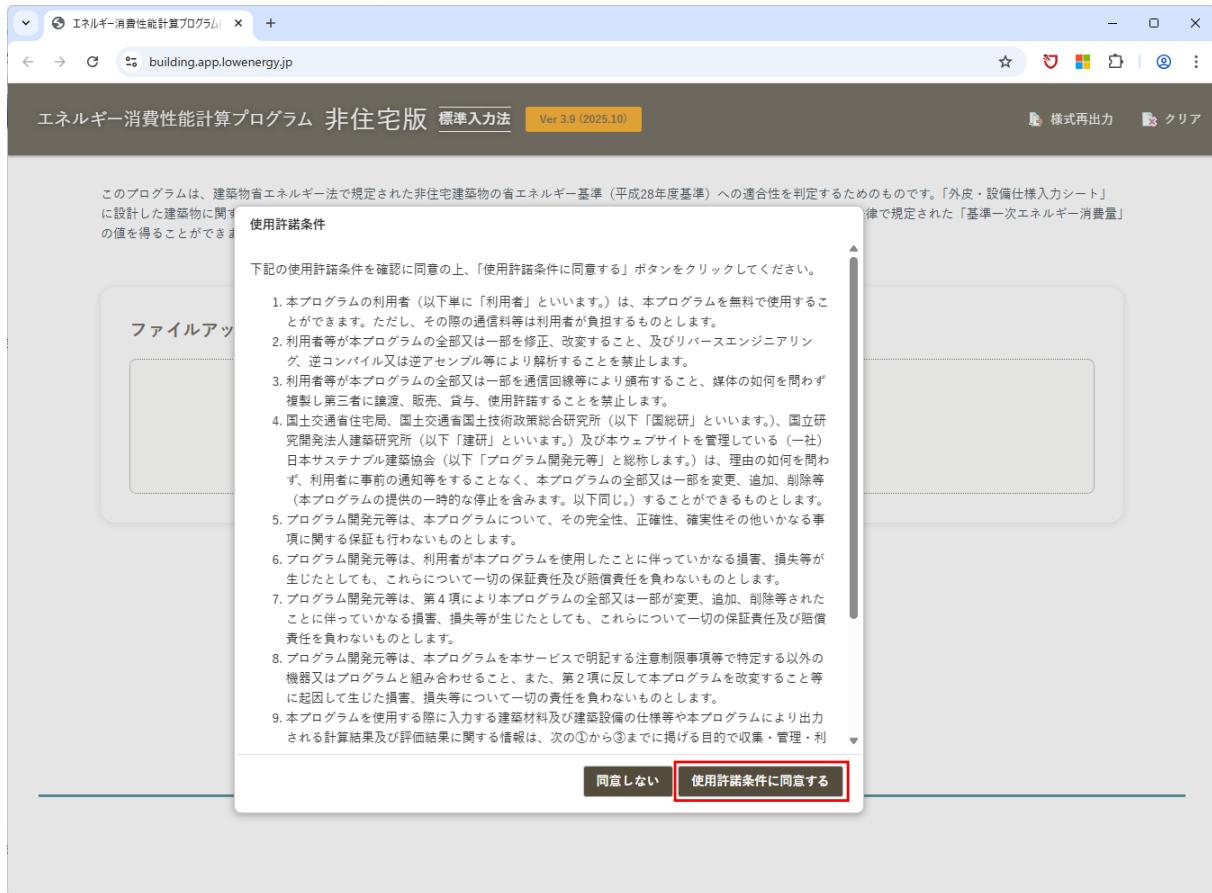
「住宅共用部と非住宅を分けて  
入力シートのExcelファイル出力...」ボタンは、3.2 室・空調ゾーン登録で、住宅共用部のチェックのあり、なしが混在している場合に有効になります。住宅共用部とそれ以外を別々に Excel ファイルの出力することができます。住宅との複合建築物の届出を行う際、住宅共用部と非住宅のエネルギー量を別々に算出する必要がある場合に使用します。

## 6.1.2 エネルギー消費性能計算プログラム（非住宅版）サイト

### 【手順1】



上記アイコンをクリックすると、「使用許諾条件」画面が表示されます。



【手順 2】  をクリックすると、次の基本情報入力画面が表示されます。

① 入力ファイルのダウンロード画面

使用許諾条件で  をクリックすると、この画面が表示されます。



画面中央に、入力シートの Excel ファイルまたは、CSV ファイルをドラッグ＆ドロップします。

ドロップ箇所をクリックして、ファイルを選択することもできます。

## ② 結果表示画面

計算結果が表示されます。

The screenshot shows the 'Energy Consumption Performance Calculation Program Non-Residential Version' interface. At the top, there is a file upload section titled 'ファイルアップロード' (File Upload) with instructions to drag & drop or click to select an Excel or CSV file. Below this is a table for 'Calculation Conditions' (計算条件) containing the following information:

計算実施日時	2025年10月23日 14時46分
入力責任者	○○ ○○
評価対象	一次エネルギー消費量とPAL* (単体建築物)

Below the calculation conditions is a table for 'Building Overview' (建物の概要) with the following details:

建物名称	10000m <sup>2</sup> 事務所ビル	
建物所在地	群馬県高崎市○○町○○番地	
地域区分	6 地域	
日射地域区分	未設定	
「他人から供給された熱」の一次エネルギー換算値	指定しない (冷熱)	指定しない (温熱)
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造	
階数	地上 4 地下 1	
敷地面積	3000 m <sup>2</sup>	
面積	建築面積	1500 m <sup>2</sup>

計算済みの設備項目には、計算結果が表示されます。

計算結果表示画面の下部で、様式出力、CSV 出力ができます。

The screenshot shows the bottom part of the results display page. It includes a message area with 'ヨージュネレーション' (Generation) and '通知またはエラーはありません。' (No notifications or errors). Below this is a 'PDFのダウンロード' (Download PDF) button under the '様式出力' (Style Output) section. At the bottom, there are several 'CSV出力' (CSV Output) download buttons:

- 空調詳細CSVダウンロード
- 換気詳細CSVダウンロード
- 照明詳細CSVダウンロード
- 給湯詳細CSVダウンロード
- 昇降機詳細CSVダウンロード
- 詳細表示CSVダウンロード
- PAL\* 詳細CSVダウンロード

「様式出力」の任意のボタンを押下すると、様式出力画面が表示されます。

様式出力

 PDFファイルダウンロード

閉じる

「PDF ファイルダウソロード」をクリックし、PDF を取得します。

「CSV 出力」の任意のボタンを押下すると、詳細 CSV データが取得できます。

### 6.1.3 計算結果登録システム

[計算結果登録システム【リンク】](#) のリンクをクリックすると、計算結果登録システムが表示されます。2025年4月から、建築物エネルギー消費性能適合性判定申請には計算結果登録システムからダウンロードした省エネ適応申請用の計算結果が必要になります。運用の詳細については提出先の審査機関へご確認ください。

### 6.1.4 Web 計算結果の確認

メイン画面右上のボタンをクリックすると、Web 計算結果を取得できます。また、計算結果を EXCEL ファイルにて出力・保存できます。

※ボタンには、現在ご利用中の WEB プログラムのバージョンが表示されます。

#### 【手順1】

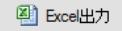


「PAL\*・一次エネルギー消費量計算結果」画面が表示されます。

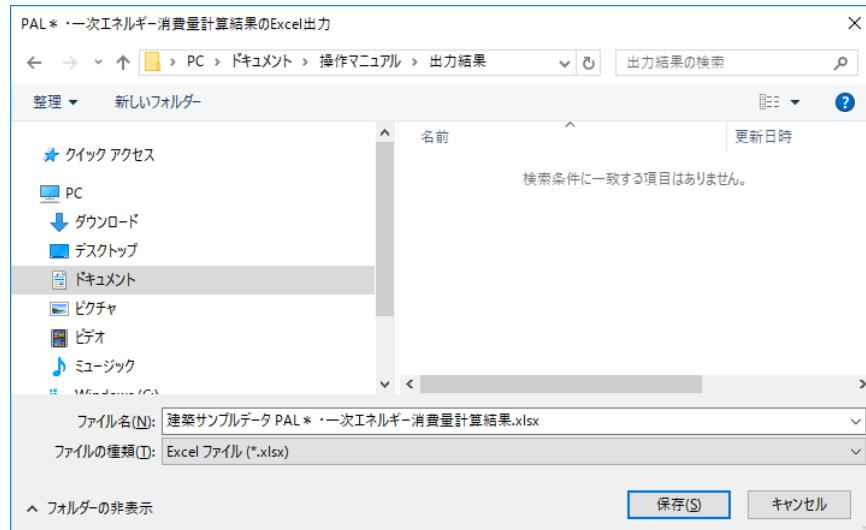
PAL*・一次エネルギー消費量計算結果									
内訳	設計値			基準値			BPI		
	PAL*	360		470		0.77			
		設計一次エネルギー消費量			基準一次エネルギー消費量		BEI		
空調設備	7,064.94	GJ/年	1,859.19	MJ/延床m <sup>2</sup> 年	6,979.46	GJ/年	1,836.70	MJ/延床m <sup>2</sup> 年	1.02
換気設備	1,284.63	GJ/年	338.06	MJ/延床m <sup>2</sup> 年	1,176.36	GJ/年	309.57	MJ/延床m <sup>2</sup> 年	1.10
照明設備	2,901.69	GJ/年	763.60	MJ/延床m <sup>2</sup> 年	3,362.03	GJ/年	884.74	MJ/延床m <sup>2</sup> 年	0.87
給湯設備	1,332.43	GJ/年	350.64	MJ/延床m <sup>2</sup> 年	1,149.59	GJ/年	302.52	MJ/延床m <sup>2</sup> 年	1.16
昇降機	245.34	GJ/年	64.56	MJ/延床m <sup>2</sup> 年	245.34	GJ/年	64.56	MJ/延床m <sup>2</sup> 年	1.00
効率化設備	-	GJ/年	-	MJ/延床m <sup>2</sup> 年					
合計 (その他抜き)	12,829.1	GJ/年	3,376.08	MJ/延床m <sup>2</sup> 年	12,912.8	GJ/年	3,398.11	MJ/延床m <sup>2</sup> 年	1.00

## 【手順 2】

「PAL\*・一次エネルギー消費量計算結果」画面より、PAL\*・一次エネルギー消費量計算結果 EXCEL ファイルを出力して保存することができます。

 Excel出力 ボタンをクリック。フォルダ参照ウィンドウが表示されます。

### フォルダ参照ウィンドウ



保存先フォルダを指定して  ボタンを押すと、ファイルを出力して保存することができます。

# 7 レポート出力

レポート出力について説明します。

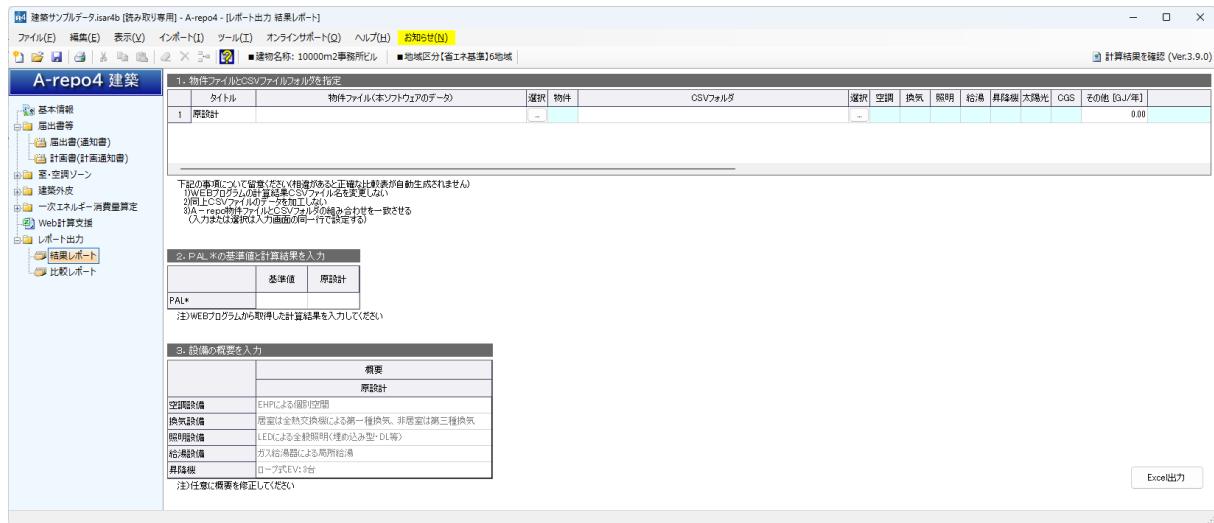
---

7.1 結果レポート

7.2 比較レポート

## 7.1 結果レポート

計算結果をレポート形式でまとめた Excel ファイルを出力することができます。



レポートの作成は、以下の手順で行います。

### 1. 原設計の作成と一次エネルギー消費量の計算・CSV ファイル取得

元となる仕様を作成し、一次エネルギー消費量を計算させ、CSV ファイルを取得します。CSV ファイルは、1 つのフォルダにまとめておきます。

### 2. 結果レポート画面を開き、1. で作成した各物件ファイルのファイル名、および CSV ファイル作成先のフォルダ名を指定します。

### 3. P A L \* の基準値と計算結果を入力します。

### 4. 設備の概要を入力します。

### 5. 「Excel 出力」ボタンを押すと、比較表が出力されます。

#### 項目の説明

項目	説明
タイトル	タイトルを指定します。 グラフで表示されるタイトルになります。
物件ファイル名	比較するそれぞれのパターンの物件ファイルのパス・ファイル名を入力します。
物件ファイル名 選択ボタン	物件ファイル名を選択するためのダイアログを開きます。

物件 ステータス	物件ファイル名が指定されたとき、その物件ファイル名が有効かどうかを ○／× で示します。
CSV フォルダ	比較するそれぞれのパターンの、一次エネルギー計算結果 CSV ファイルが格納されているフォルダ名を入力します。
CSV フォルダ 選択ボタン	CSV ファイル用フォルダを選択するためのダイアログを開きます。
空調～効率化 ステータス	指定フォルダ内の各区分の CSV ファイルが有効かどうかを ○／× で示します。
その他	「その他」一次エネルギー値を、手入力します。 ※ 入力は [GJ] 単位の値で行います。
データ読み取り結果の詳細	物件ファイル・CSV 用フォルダの指定、および内容にエラーがあった場合、エラー内容を表示します。

#### PAL\* の入力項目

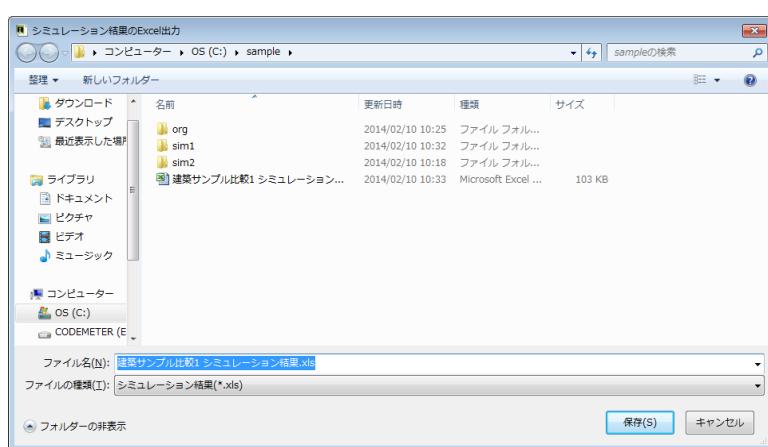
項目	説明
基準値	基準値を入力します。
原設計	計算結果を入力します。

#### 設備概要の入力項目

項目	説明
原設計	各設備の概要を入力します。

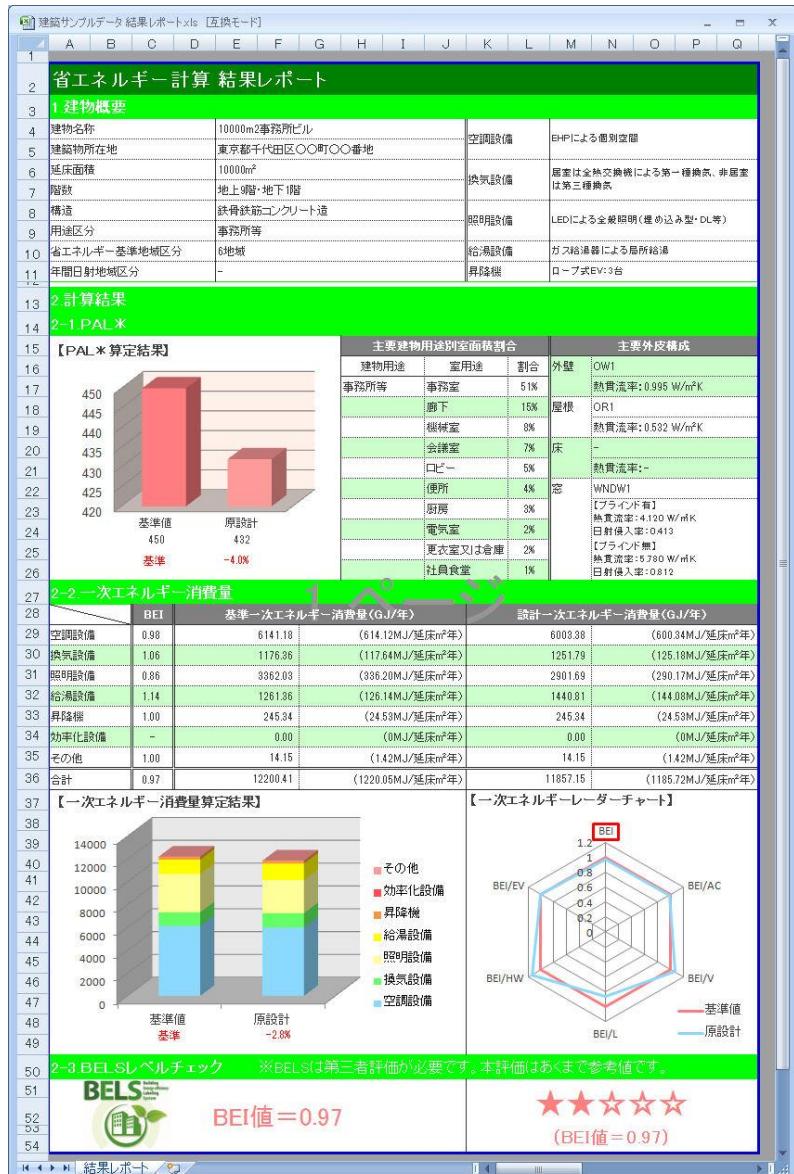
#### Excel出力

ボタンを押すと、Excel ファイルの出力先を選択するウィンドウが表示されます。



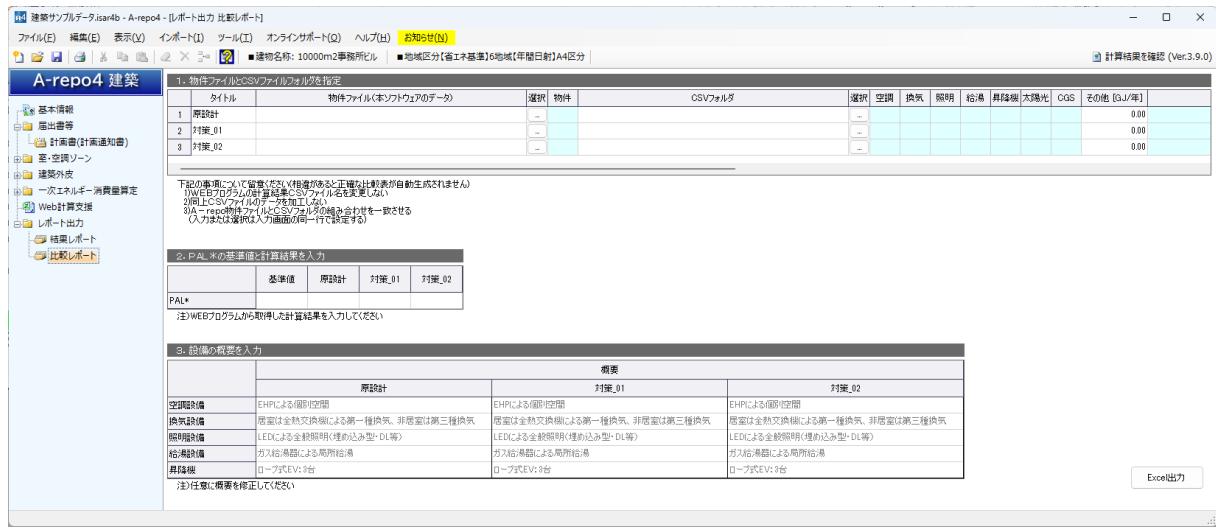
保存先フォルダとファイル名を指定して **保存(S)** ボタンを押すと、Excel ファイルを出力します。

## 結果レポート



## 7.2 比較レポート

比較内容をレポート形式でまとめた Excel ファイルを出力することができます。



レポートの作成は、以下の手順で行います。

### 1. 原設計の作成と一次エネルギー消費量の計算・CSV ファイル取得

比較の元となる仕様を作成し、一次エネルギー消費量を計算させ、CSV ファイルを取得します。

CSV ファイルは、1つのフォルダにまとめておきます。

### 2. 比較用仕様の作成と一次エネルギー消費量の計算・CSV ファイル取得

原設計をもとに、検討する仕様の箇所を変更した物件ファイルを別名で作成し、1. と同様に一次エネルギー消費量を計算させ、CSV ファイルを取得します。CSV ファイルは、別のフォルダにまとめておきます。

比較する各仕様について繰り返します。

### 3. 一次エネルギー消費量比較表画面を開き、1. および2. で作成した各物件ファイルのファイル名、および CSV ファイル作成先のフォルダ名を指定します。

### 4. P A L \* の基準値と計算結果を入力します。

### 5. 設備の概要を入力します。

### 6. 「Excel 出力」ボタンを押すと、比較表が出力されます。

## 項目の説明

項目	説明
タイトル	比較するそれぞれのパターンについて、タイトルを指定します。 一覧表・グラフで、それぞれのパターンのタイトルになります。
物件ファイル名	比較するそれぞれのパターンの物件ファイルのパス・ファイル名を入力します。
物件ファイル名 選択ボタン	物件ファイル名を選択するためのダイアログを開きます。
物件 ステータス	物件ファイル名が指定されたとき、その物件ファイル名が有効かどうかを ○／× で示します。
CSV フォルダ	比較するそれぞれのパターンの、一次エネルギー計算結果 CSV ファイルが格納されているフォルダ名を入力します。
CSV フォルダ 選択ボタン	CSV ファイル用フォルダを選択するためのダイアログを開きます。
空調～効率化 ステータス	指定フォルダ内の各区分の CSV ファイルが有効かどうかを ○／× で示します。
その他	「その他」一次エネルギー値を、手入力します。 ※ 入力は [GJ] 単位の値で行います。
データ読み取り結果の詳細	物件ファイル・CSV 用フォルダの指定、および内容にエラーがあった場合、エラー内容を表示します。

## PAL\* の入力項目

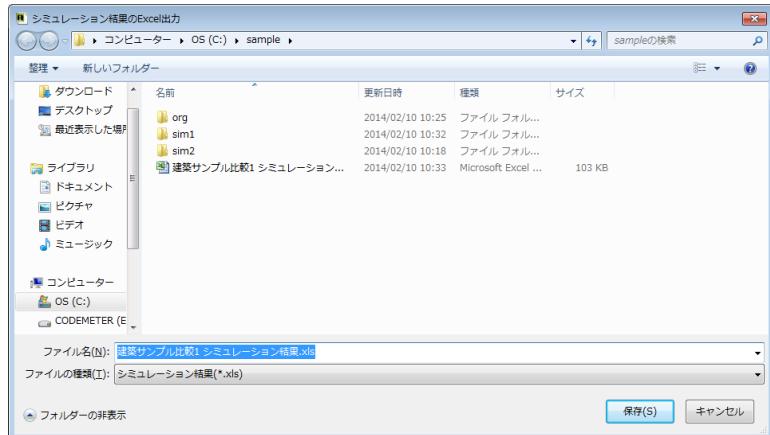
項目	説明
基準値	基準値を入力します。
原設計	原設計の計算結果を入力します。
対策_01、対策_02	比較用の計算結果を入力します。

## 設備概要の入力項目

項目	説明
原設計	原設計の各設備概要を入力します。
対策_01、対策_02	比較用の各設備概要を入力します。

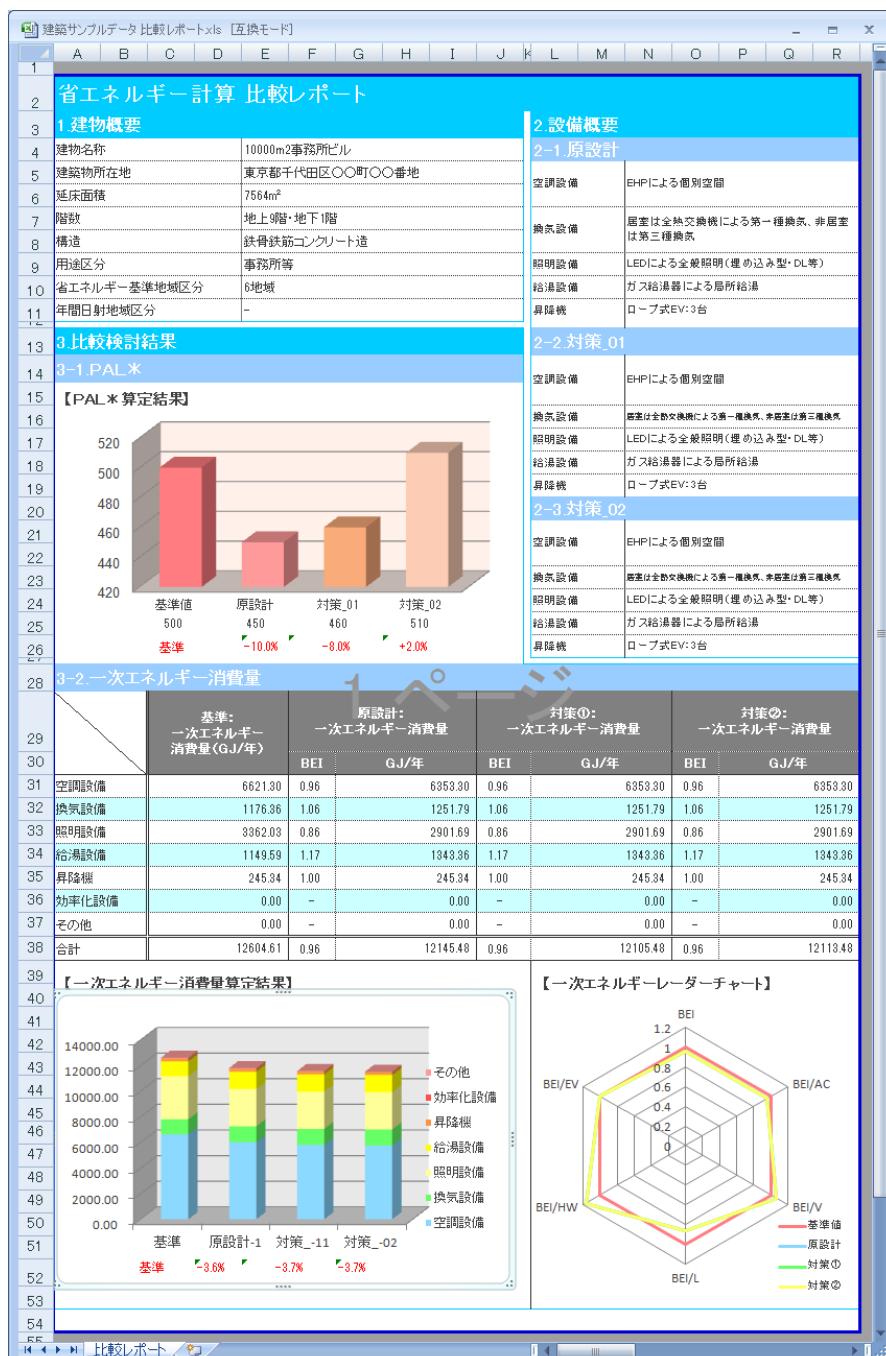
Excel出力

ボタンを押すと、Excel ファイルの出力先を選択するウィンドウが表示されます。



保存先フォルダとファイル名を指定して **保存(S)** ボタンを押すと、Excel ファイルを出力します。

## 比較レポート



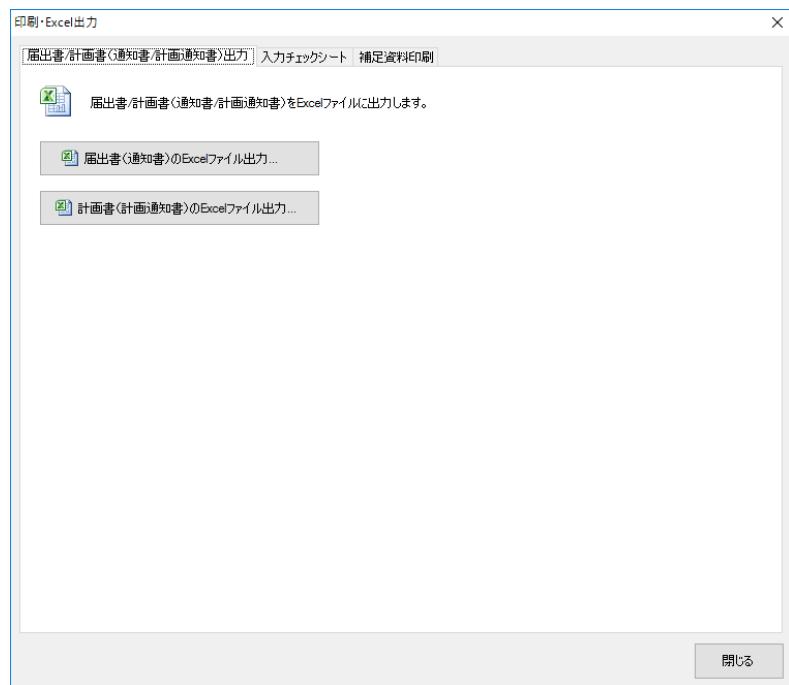
## 8 『建築』印刷・Excel出力

建築物の印刷およびEXCEL出力処理について説明します。

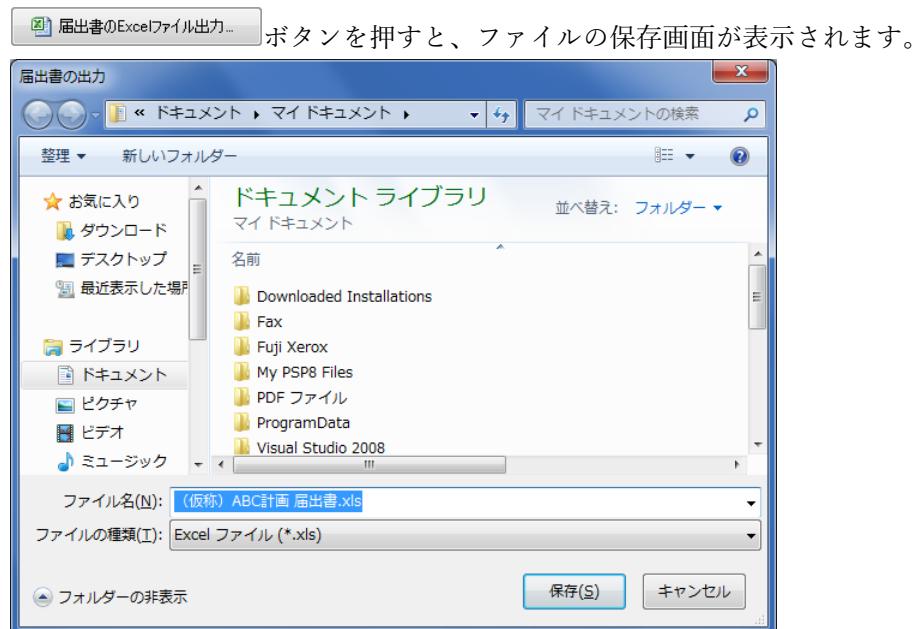
---

- 8.1 届出書/計画書出力
- 8.2 入力チェックシート
- 8.3 補足資料印刷

## 8.1 届出書/計画書出力



本プログラムで入力した届出書の内容を Excel ファイルに出力します。



ファイルのパスを指定して [保存] をクリックすると、届出書の第一面から第四面までがまとめて出力されます。

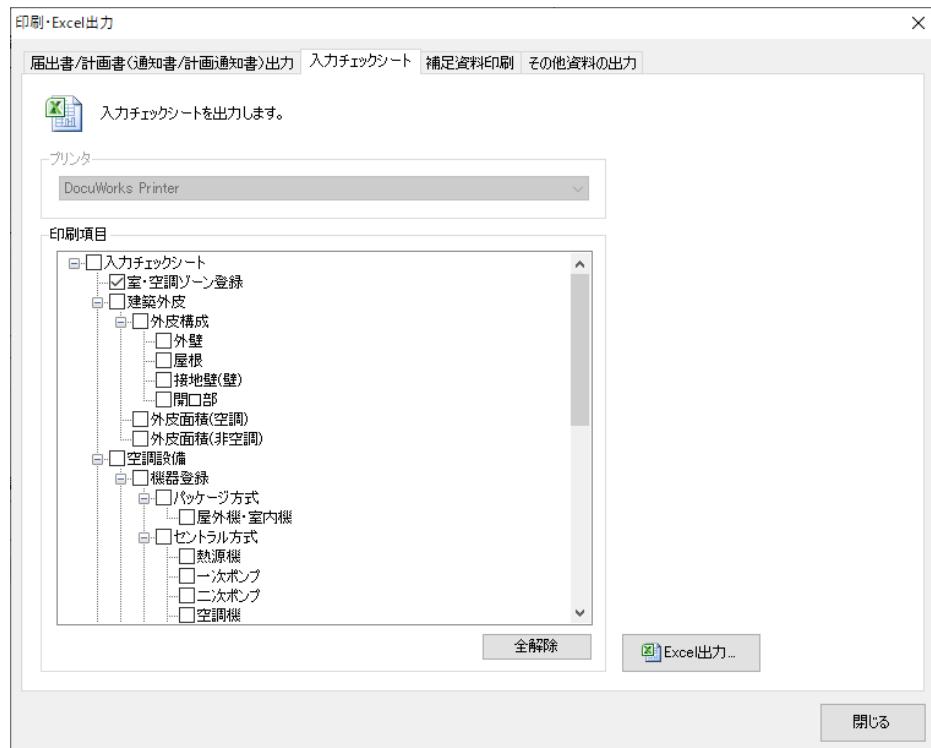
また、別ファイルにて計画書第四面別紙が出力されます。

ボタンを押すと、計画書のファイルの保存画面が表示されます。

ファイルのパスを指定して [保存] をクリックすると、届出書の第一面から第七面までがまとめて出力されます。また、別ファイルにて計画書第七面別紙が出力されます。

基本情報の入力様式の選択で令和 7 年 4 月以降を選択している場合は、計画書の第一面から第五面までがまとめて出力されます。

## 8.2 入力チェックシート



入力チェックシートの設定画面です。

各入力画面の入力内容を Excel ファイルとして出力することができます。

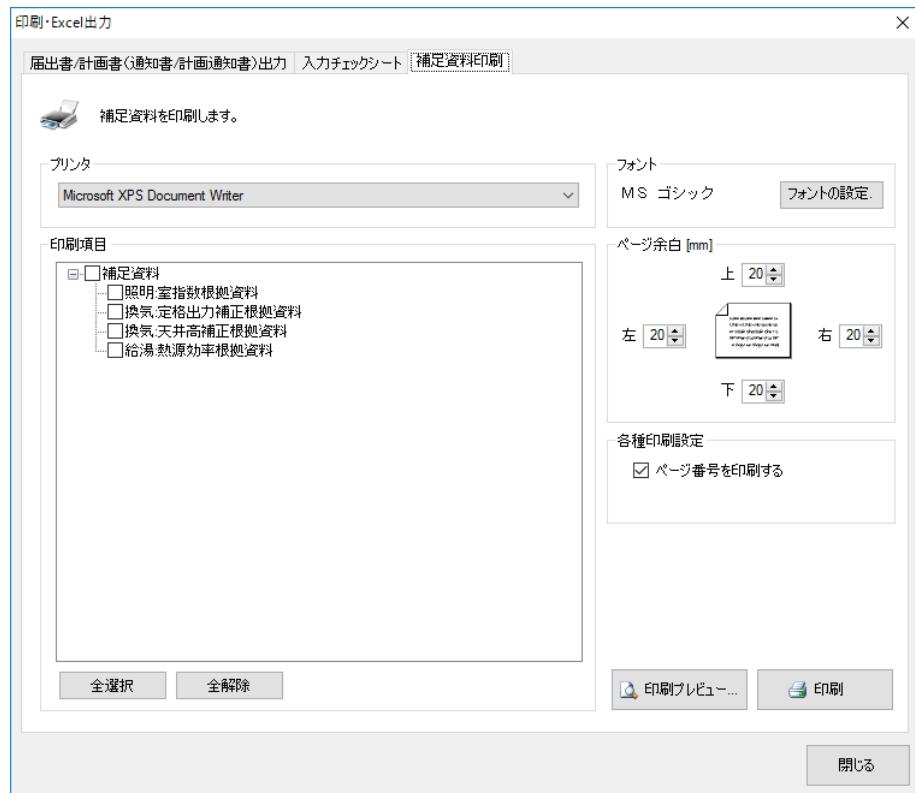
### 項目の説明

項目	説明
プリンタ	必要に応じて別のプリンタをプルダウンリストから選択します。
印刷項目	
入力チェックシート	Excel ファイルとして出力する帳票名を指定します。

### ツール

<input type="button" value="全解除"/>	全ての項目のチェックを解除します。
<input type="button" value="Excel出力..."/>	Excel ファイル出力を開始します。
<input type="button" value="閉じる"/>	この画面を閉じます。

## 8.3 補足資料印刷



補足資料印刷の設定画面です。

### 項目の説明

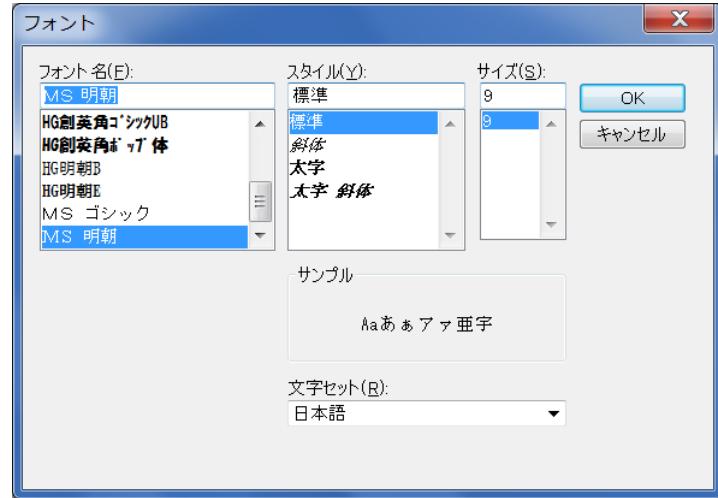
項目	説明
プリンタ	必要に応じて別のプリンタをプルダウンリストから選択します。
印刷項目	
補足資料	印刷したい帳票名を指定します。
フォント	印刷に用いるフォントが表示されます。
ページ余白	用紙の余白（上下左右）を設定します。
各種印刷設定	
ページ番号を印刷する	ページ番号を印刷したい場合はチェックします。

### ツール

<input type="button" value="Font Settings..."/>	印刷に用いるフォントを変更することができます。
<input type="button" value="Select All"/>	印刷項目のすべてを選択します。
<input type="button" value="Deselect All"/>	印刷項目のすべてを選択解除します。

	印刷プレビュー画面が表示されます。（「8.3.1 印刷プレビュー」を参照）
	印刷を開始します。
	この画面を閉じます。

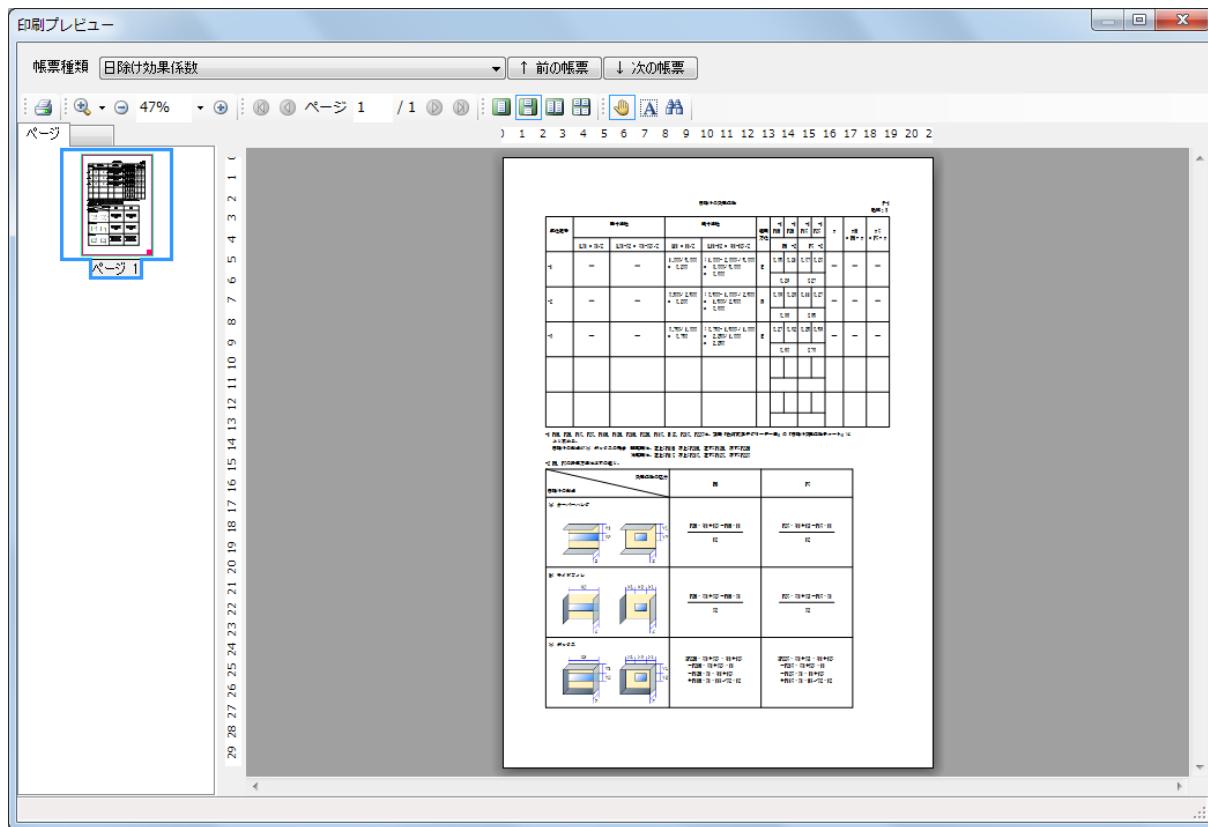
## フォントの設定



フォントの設定を変更することができます。

詳しくは、Windows添付の操作マニュアルをお読みください。

### 8.3.1 印刷プレビュー



印刷項目を選択してからこの処理を選ぶと、印刷イメージを画面で確認することができます。

#### 項目の説明

項目	説明
帳票種類 [印刷項目]	印刷項目名が表示されます。 リストから選択すると、別の印刷項目に切り替えることができます。
ページ 1 / 1 [頁]	現在表示中の頁名が表示されます。 リストから選択すると、別の頁に切り替えることができます。
(◀ ▶) [前頁・次頁]	印刷項目または頁が複数ある場合、これにより順を追って表示頁を切り替えることができます。
(⏪ ⏵) [最初の頁・最後の頁]	最初の頁または最後の頁が表示されます。
(🔍 🔍 57.8% 🔍) [拡大・縮小]	表示倍率をリストから選択することができます。 このリストによらず、画面を左クリックすると拡大表示され、右クリックするたびに縮小表示されます。
[表示ページの印刷]	現在表示中の1頁のみ印刷します。

# 9 『住宅』 基本情報、届出書入力

住宅建築物、および複合建築物の届出・計画書を作成します。

---

- 9.1 基本情報（住宅用）
- 9.2 届出書(通知書)（住宅用）
- 9.3 計画書(計画通知書)令和7年3月以前（住宅用）
- 9.4 計画書(計画通知書)令和7年4月以降（住宅用）
- 9.5 住戸タイプ登録
- 9.6 住戸構成図
- 9.7 計算住戸の設定
- 9.8 メニュー住戸に設定
- 9.9 外皮仕様基準の設定

## 9.1 基本情報（住宅用）

『住宅』メイン画面で、建物の基本情報等について入力します。

共用部の基本情報もこの画面で入力します。

84 住宅サンプルデータisar4h - A-repo4 - [住宅(建物概要)]

ファイル(E) 編集(E) 表示(Y) ツール(I) オンラインサポート(Q) ヘルプ(H) お知らせ(N)

■ 建物名称: 新規物件 ■ 地域区分【省エネ基準】6地域【年間日射】A4区分

## A-repo4 住宅

### 建物概要

作成月日: 2024年 4月 1日

入力責任者: ○○ ○○

建物名称: 新規物件

建築物所在地: 都道府県: 群馬県 市区町村: 高崎市  
町名番地: ○町○丁目○番地

省エネルギー基準地域区分: 6地域 参照...

構造:  鉄筋コンクリート造  鉄骨鉄筋コンクリート造  鉄骨造  木造  
 その他

住宅用途区分:  共同住宅  戸建

階数: 地上: 10階 地下: \_\_\_\_\_ 階 塔屋: \_\_\_\_\_ 階

敷地面積: 800.00 m<sup>2</sup> 建築面積: 450.00 m<sup>2</sup> 延べ面積: 4,350.00 m<sup>2</sup>

メモ:

建築物省エネ法の様式(届出書・計画書)

入力様式の選択:  令和7年3月以前  令和7年4月以降  
計画書 用途区分 ※計算結果に影響しません※  
 住宅  事務所等  ホテル等  病院等  物品販売業を営む店舗等  学校等  飲食店等  
 集会所等  工場等

UA・nA計算情報

UA・nA計算を行う  
構造体登録で適用する構造の初期値: RC造等

住宅一次エネルギー消費量(設備)  一括設定  
 暖冷房設備  換気  給湯・太陽熱(液体集熱式)  昭明  
 太陽光発電  太陽熱(空気集熱式)  コージネレーション  
年間日射地域区分: A4区分 参照...

BELS判定基準情報

旧判定  新判定4段階  新判定6段階

建築評価対象: ※WEBPRO Ver.3.9.0以降で有効  
 一次エネルギー消費量のみ  
 一次エネルギー消費量とPAL×(単体建築物)  
 一次エネルギー消費量とPAL×(複数建築物)

建築 一次エネルギー消費量算定(機器登録)

様式2-9.(空調)全熱交換器の入力を行う

建物一次エネルギー消費量(設備)

	入力方法	標準入力法	主要室入力法
空調設備	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
換気設備	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
照明設備	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
給湯設備	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
昇降機	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

太陽光発電  
 コージネレーション

#### ・建物概要の入力項目

項目	説明
作成月日	物件データの作成日を入力またはプルダウンで表示されるカレンダーから選択します。初期値としてシステム日付が表示されますが、変更可能です。 
入力責任者	入力責任者の会社名と氏名を入力します。

<b>建物名称</b>	建築物の名称を入力します。
<b>建築物所在地</b>	<p>都道府県、市区町村、番地に分けて入力します。 都道府県名はプルダウンで表示されるリストから選択することができます。</p> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; width: fit-content;">         東京都          東京都          神奈川県          新潟県          富山県          石川県          福井県          山梨県          長野県          岐阜県          静岡県          愛知県          三重県          滋賀県          京都府          大阪府          丘岡県          奈良県          和歌山县          鳥取県          島根県          岡山县          広島県          山口県          德島県          香川県          香川県          高知県          福冈県          佐贺県          長崎県       </div>
<b>省エネルギー基準 地域区分</b>	<p>一次エネルギー消費量の算定を行う場合は、地域区分をプルダウンリストから選択します。</p> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; width: fit-content;">         1地域          1地域          2地域          3地域          4地域          5地域          6地域          7地域          8地域       </div> <p><b>参照...</b> ボタンを押すと、「2.1.1 [省エネルギー基準地域区分の参照] ウィンドウ」のリストから選択することができます。</p>
<b>8 地域の基準の選択</b>	省エネルギー基準地域区分が8地域の場合に、令和2年4月以降の基準か、令和2年3月以前の基準かを指定します。
<b>構造</b>	建物構造をチェックします。 「その他」を選択した場合は、その内容を入力します。
<b>住宅用途区分</b>	<p>共同住宅か、戸建かを指定します。「戸建」は、新規に物件ファイルを作成したときのみ選択できます。（一度「共同住宅」で作成した物件ファイルは、「戸建」には変更できません。）</p> <p>「戸建」を選択した場合、住戸構成図・計算住戸の設定は不要となり、メニューも選択不可となります。また、住戸タイプは1種類だけ入力可能になります。</p>
<b>階数</b>	地上の階数を1~80、地下の階数を1~9、塔屋の階数を1~9の範囲で入力します。
<b>敷地面積</b>	敷地面積を0~999,999.99[m <sup>2</sup> ]の範囲で入力します。
<b>建築面積</b>	建築面積を0~999,999.99[m <sup>2</sup> ]の範囲で入力します。
<b>延べ面積</b>	延べ面積を0~999,999.99[m <sup>2</sup> ]の範囲で入力します。
<b>メモ</b>	必要に応じてメモを入力します。

### 建築物省エネ法の様式

項目	説明
入力様式の選択	届出書、計画書の入力様式を選択します。
用途区分	建物の省エネ用途区分に該当する用途をすべてチェックします。

### UA・ηA計算情報

項目	説明
UA・ηA 計算を行う	本プログラムにて UA・ηA 計算を行う場合はチェックします。
構造体登録で適用する構造の初期値	<p>外皮（外壁、屋根、床等）を登録する際に設定する、構法・断熱工法の初期値を設定します。</p> <p>RC造等・鉄骨造・断面構成同一・木造軸組構法・木造枠組構法・木造丸太組構法から選択します。</p>  <p>各々の外皮を登録する際に、改めて別の構法を選びなおすこともできます。</p>

### ・BELS判定基準情報

項目	説明
BELS 判定基準情報	BELS 評価判定の判定基準を選択します。

### ・建築 評価対象

項目	説明
一次エネルギー消費量のみ	<p>一次エネルギー消費量のみ計算を行う場合にチェックします。</p> <p>※PAL*の計算は行われない。</p> <p>※入力シート「8) 非空調外皮」への出力が行われない。</p> <p>※省エネ適合性判定や共同住宅共用部の届出用</p>
一次エネルギー消費量と PAL*(単体建築物)	<p>一次エネルギー消費量に加え PAL*の計算を行う場合にチェックします。</p> <p>※（従来通り）物件全体でまとめて省エネ計算を行う</p> <p>※低炭素認定や性能向上認定（単体建築物）等用</p>
一次エネルギー消費量と PAL*(複合建築物)	<p>一次エネルギー消費量に加え PAL*の計算を行う場合にチェックします。</p> <p>※建築物の名前毎に省エネ計算を行う</p> <p>※室・空調ゾーン登録で「建築物の名称」の設定が必須</p> <p>※性能向上認定（複数建築物の連携）等用</p>

・一次エネルギー消費量算定(機器登録)の入力項目

項目	説明
様式 2-9.(空調)全熱交換器の入力を行う	入力シートの「様式 2-9.(空調)全熱交換器」への入力(出力)を行う場合にチェックします。

・住宅一次エネルギー消費量(設備)の入力項目

項目	説明
一括設定	暖冷房設備～コーデネレーションまでの全てのチェックボックスを一括でOn/Offに設定します。
暖冷房設備～給湯・太陽熱(液体集熱式)	各設備の計算を行う場合にチェックします。 入力するには、建物概要の「省エネルギー基準地域区分」を設定している必要があります。
太陽光発電	太陽光発電の計算を行う場合にチェックします。 入力するには、建物概要の「省エネルギー基準地域区分」と「年間日射地域区分」を設定している必要があります。
コーデネレーション	コーデネレーションの計算を行う場合にチェックします。 入力するには、建物概要の「省エネルギー基準地域区分」を設定している必要があります。
太陽熱(空気集熱式)	太陽熱(空気集熱式)の計算を行う場合にチェックします。
年間日射地域区分	太陽光発電による創エネルギー量の算定を行う場合は、地域区分をプルダウンリストから選択します。 <small>参照</small> ボタンを押すと、「2.1.2[日射地域区分の参照]」ウィンドウのリストから選択することができます。 指定しない場合 XML ファイルに<Environment AnnualSolarLevel>要素を出力しません。

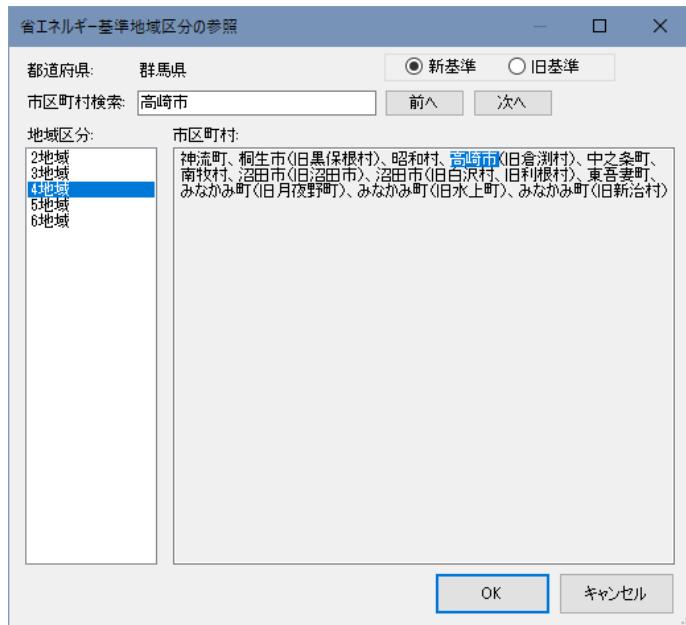
・建築一次エネルギー消費量(設備)の入力項目

住宅共用部の入力では「主要室入力法」は選択できません。

項目	説明
空調設備	空調設備の計算を行う場合にチェックします。 入力するには、建物概要の「省エネルギー基準地域区分」と日除け効果係数の算定方法を設定している必要があります。
換気設備～昇降機	各設備の計算を行う場合にチェックします。 入力するには、建物概要の「省エネルギー基準地域区分」を設定している必要があります。

太陽光発電	太陽光発電の計算を行う場合にチェックします。 入力するには、建物概要の「省エネルギー基準地域区分」と「年間日射地域区分」を設定している必要があります。
コージェネレーション	コージェネレーションの計算を行う場合にチェックします。 入力するには、建物概要の「省エネルギー基準地域区分」を設定している必要があります。

### 9.1.1 [省エネルギー基準地域区分の参照] ウィンドウ



該当地域の詳細を参考に地域区分を選択するウィンドウです。

<input checked="" type="radio"/> 新基準	令和 1 年 11 月 16 日より最新版の気象データを反映した新地域区分を表示します。
<input type="radio"/> 旧基準	平成 27 年 4 月 1 日における行政区画によって表示されたものとなります。ただし、旧基準の括弧内に記載する区域は、平成 13 年 8 月 1 日における旧行政区画によって表示されたものとなっています。
<input type="button" value="OK"/>	選択する地域を確定し、ウィンドウを閉じます。
<input type="button" value="キャンセル"/>	何もせずウィンドウを閉じます。

## 9.1.2 [日射地域区分の参照] ウィンドウ



年間日射地域区分の選択時に利用することができます。

<input checked="" type="radio"/> 新基準	令和1年11月16日より最新版の気象データを反映した新地域区分を表示します。
<input type="radio"/> 旧基準	平成27年4月1日における行政区画によって表示されたものとなります。ただし、旧基準の括弧内に記載する区域は、平成13年8月1日における旧行政区画によって表示されたものとなっています。
OK	選択する地域を確定し、ウィンドウを閉じます。
キャンセル	何もせずウィンドウを閉じます。

## 9.2 届出書(通知書) (住宅用)

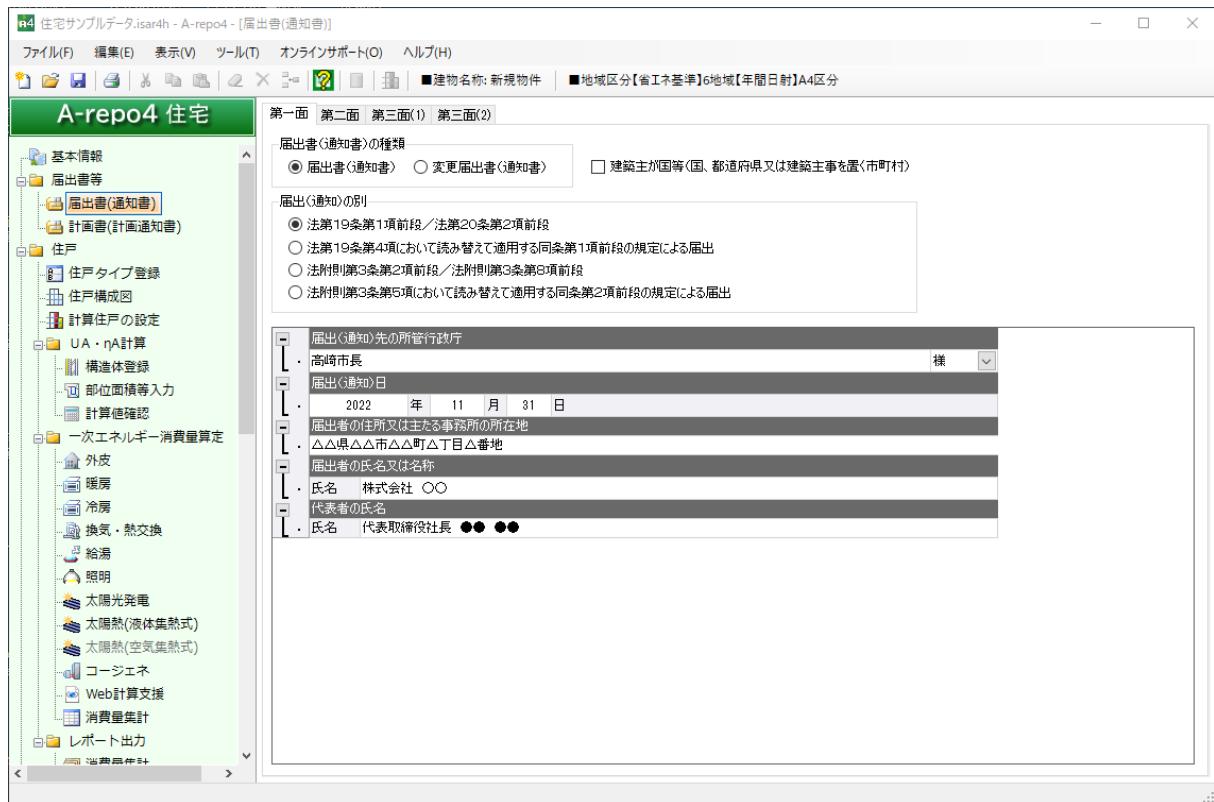
住宅の届出書、第一面から第三面までを作成します。第四面の内容については、計算結果を元に自動生成されます。

別紙は、外皮仕様基準適用住戸が存在する場合又は第三面(2)にて、（外壁、窓を通しての熱の損失の防止に関する事項）で「基準省令第1条第1項第2号イ(3)の基準にチェックを入れた場合に表示されます。

[第一面] [第二面] [第三面(1)] [第三面(2)] [別紙]

### 9.2.1 届出書 (第一面)

届出書(通知書) (第一面)または変更届出書(通知書)について登録します。



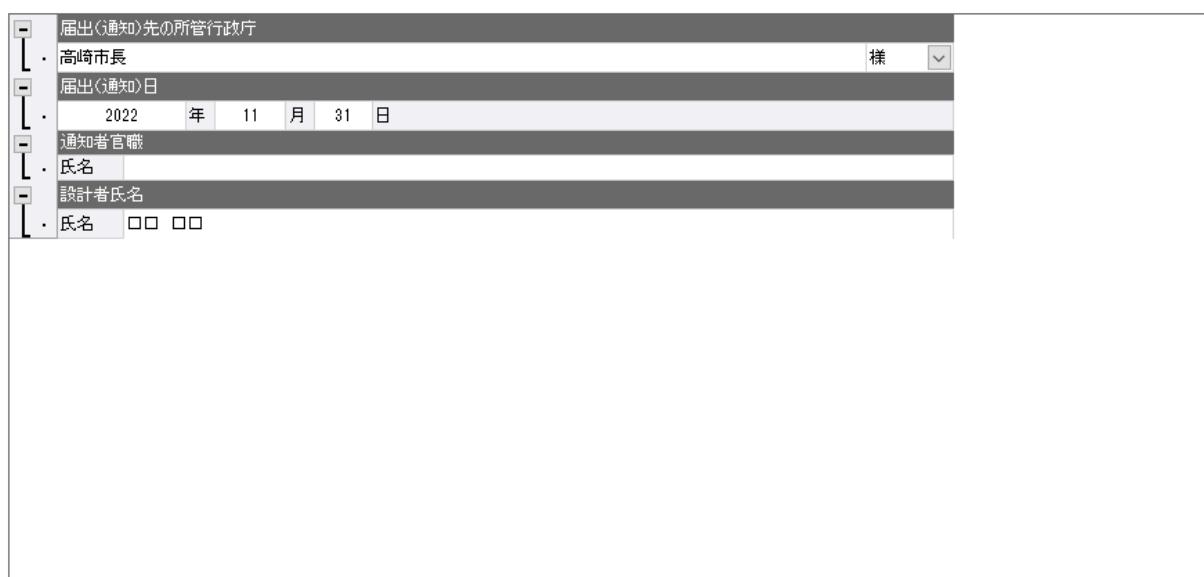
表の左側にある■ボタンをクリックすることで項目の入力内容が隠れ、ボタンが■から+に変化します。また、逆に+ボタンをクリックすることで項目の入力内容が表示され、ボタンが+から■に変化します。

#### 項目の説明

項目	説明
届出書(通知書)の種類	作成する届出書の種類を「届出書(通知書)」、「変更届出書(通知書)」から選択します。

届出(通知)の別	届出の別を「法第19条第1項前段／法第20条2項前段」、「法第19条第4項において読み替えて適用する同条第1項前段の規定による届出」、「法附則第3条第2項前段／法附則第3条第7項前段」、「法附則第3条第5項において読み替えて適用する同条第2項前段の規定による届出」から選択します。 ※「届出書（通知書）の種類」で「変更届出書（通知書）」を選択した場合、「法第19条第1項後段／法第20条2項後段」、「法第19条第4項において読み替えて適用する同条第1項後段の規定による届出」、「法附則第3条第2項後段／法附則第3条第7項後段」「法附則第3条第5項において読み替えて適用する同条第2項後段の規定による届出」から選択します。
届出(通知)書の所管行政庁	届出(通知)書を提出する所管行政庁を入力します。
敬称	敬称をリストの「様」、「殿」、「(空欄)」から選択します。 
届出(通知)日	届出日を入力します。 元号は平成以降をリストから選択となります。 半角で、年は1~99、月は1~12、日は1~31までの範囲が入力可能です。
届出者の住所又は主たる事務所の所在地	届出者の住所又は主たる事務所の所在地を入力します。
届出者の氏名 又は名称	届出者氏名を入力します。
代表者の氏名	代表者の氏名を入力します。

通知書を使用する場合は、「建築主が国等(国、都道府県又は建築主を置く市町村)」にチェックします。



## 項目の説明

項目	説明
通知者官職	通知者官職の氏名を入力します。
設計者氏名	設計者の氏名を入力します。

## 9.2.2 変更届出書(通知書)

第一面で変更届出書(通知書)を選択した場合は、画面下段にこの内容が表示されます。

※既に届出済みの物件について、届出内容の変更を行う場合に使用します。

届出(通知)先の所管行政庁  
高崎市長 様

届出(通知)日  
2022 年 11 月 31 日

通知者官職  
氏名

設計者氏名  
氏名 □□ □□

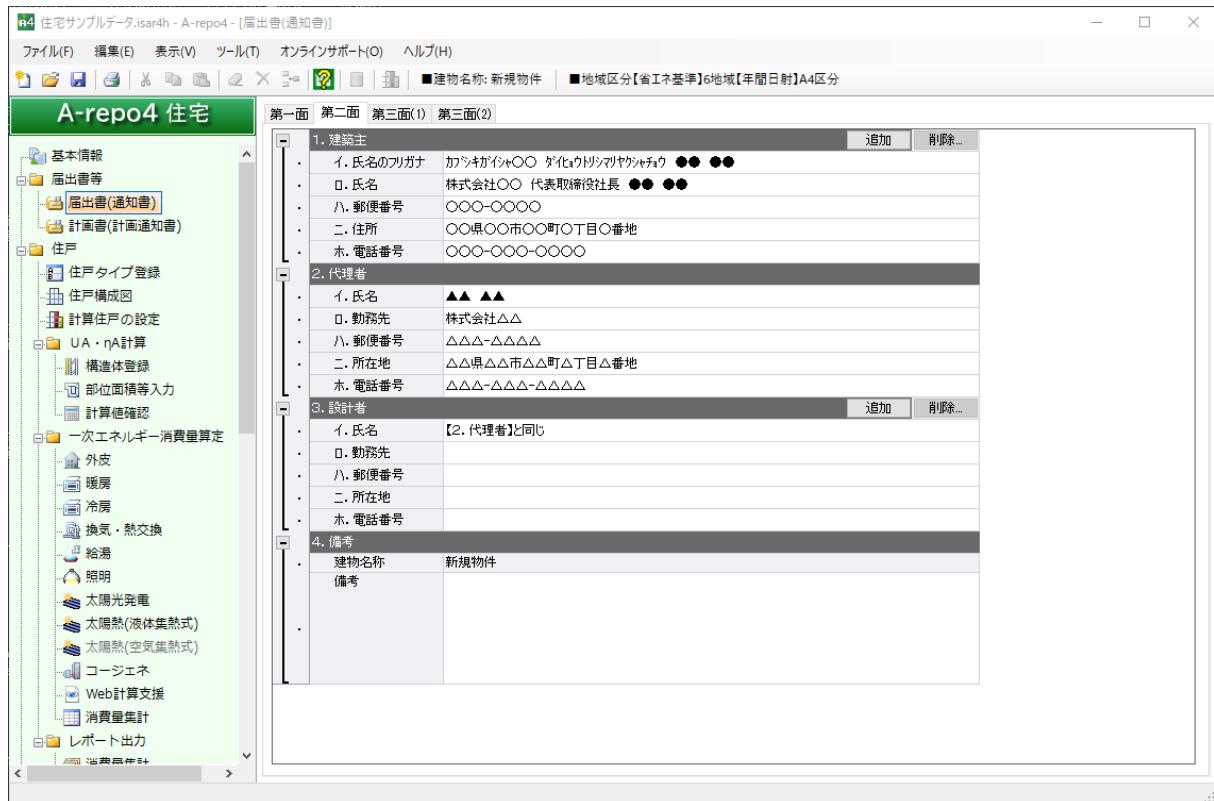
受付欄  
受付番号 第 号  
届出日 2022 年 11 月 7 日  
変更内容の概要

### 項目の説明

項目	説明
受付欄	
受付番号	前回届出書を提出したときの受付番号を入力します。
届出日	前回届出書を提出したときの日付を西暦で入力します。
変更内容の概要	変更内容の概要を入力します。

### 9.2.3 届出書(通知書) (第二面)

届出書(通知書) (第二面)について登録します。



表の左側にあるボタンは、届出書(通知書) (第一面)の入力画面と同様に項目の入力内容を隠したり表示したりします。

#### ツール

<input type="checkbox"/> [追加]	「建築主」、「設計者」の場合、入力欄を最大で5人分まで追加することができます。また、2人目以降の情報は、「届出書(通知書) (第二面別紙)」として印刷、Excelファイル出力されます。
<input type="checkbox"/> [削除]	「建築主」、「設計者」の場合、追加した入力欄を削除することができます。 [削除] button is located in the top right corner of the "Second Face" registration window. A confirmation dialog box titled "A-repo住宅" appears, containing the message "最後に追加した建築主を削除します。" (Delete the last added architectural owner.) with two buttons: "はい(Y)" (Yes) and "いいえ(N)" (No).

入力欄を追加していない場合は、ボタンが無効となり削除できません。

## 項目の説明

項目	説明
<b>建築主</b>	
氏名のフリガナ	会社名および建築主のフリガナをカタカナで入力します。
氏名	会社名および建築主名を入力します。
郵便番号	郵便番号を入力します。
住所	住所を入力します。
電話番号	電話番号を入力します。
<b>代理者</b>	
氏名	代表者名を入力します。
勤務先	会社名を入力します。
郵便番号	郵便番号を入力します。
所在地	住所を入力します。
電話番号	電話番号を入力します。
<b>設計者</b>	
氏名	設計者名を入力します。
勤務先	会社名を入力します。
郵便番号	建築士事務所の郵便番号を入力します。
所在地	建築士事務所の住所を入力します。
電話番号	建築士事務所の電話番号を入力します。
<b>備考</b>	
備考	備考を入力します。

## 9.2.4 届出書(通知書) (第三面(1))

届出書(通知書) (第三面)の前半について登録します。

The screenshot shows the software interface for entering building information. The main window title is "A-repo4 住宅" and the tab selected is "第三面(1)". The left sidebar contains a tree view of categories: 基本情報, 届出書等 (with 届出書(通知書) highlighted), 計算書(計画通知書), 住戸 (with 住戸タイプ登録, 住戸構成図, 計算住戸の設定, UA・ηA計算, 構造体登録, 部位面積等入力, 計算確認), 一次エネルギー消費量算定 (with 外皮, 暖房, 冷房, 換気・熱交換, 照明, 太陽光発電, 太陽熱(液体集熱式), 太陽熱(空気集熱式), コージェネ, Web計算支援, 消費量集計), レポート出力, and 建築品目登録. The main panel displays the following data:

- 1. 地名地番: 群馬県高崎市○町○丁目○番地
- 2. 敷地面積: ( 800.00 m<sup>2</sup> )
- 3. 建築面積: ( 450.00 m<sup>2</sup> )
- 4. 延べ面積: ( 4,350.00 m<sup>2</sup> )
- 5. 建築物の階数: 地上 10 階 地下 階
- 6. 建築物の用途:  非住宅建築物  一戸建ての住宅  共同住宅等  複合建築物
- 7. 建築物の住戸の数: 建築物全体 27 戸
- 8. 工事種別:  新築  増築  改築
- 9. 建築物の床面積: 
 

	( 床面積 )	( 開放部分を除いた部分の面積 )
【1. 新築】	( 4350.00 m <sup>2</sup> )	( 3800.00 m <sup>2</sup> )
【2. 増築】	全体 ( m <sup>2</sup> )	( m <sup>2</sup> )
【3. 改築】	全体 ( m <sup>2</sup> )	( m <sup>2</sup> )
	改築部分 ( m <sup>2</sup> )	( m <sup>2</sup> )
- 10. 構造: 鉄筋コンクリート 一部 鉄骨 造

### 建築物及びその敷地の概要

<b>地名地番</b>	「基本情報 (住宅用)」で入力した建築物所在地が表示されます。
<b>敷地面積</b>	「基本情報 (住宅用)」で入力した敷地面積が表示されます。
<b>建築面積</b>	「基本情報 (住宅用)」で入力した建築面積が表示されます。
<b>延べ面積</b>	「基本情報 (住宅用)」で入力した述べ面積が表示されます。
<b>建築物の階数</b>	「基本情報 (住宅用)」で入力した階数が表示されます。
<b>建築物の用途</b>	建築物の用途を選択します。
<b>建築物の住戸の数</b>	計算住戸の割当をした住戸数が表示されます。
<b>工事種別</b>	新築・増築・改築から選択します。

### 建築物の床面積

<b>新築</b>	新築床面積、および開放部分を除いた部分の床面積を入力します。
<b>増築</b>	既存部分・増築部分合計の床面積、および同じく合計の開放部分を除いた床面積、および増築する部分の床面積と開放部分を除いた部分の床面積を入力します。

<b>改築</b>	既存部分・改築部分合計の床面積、および同じく合計の開放部分を除いた床面積、および改築する部分の床面積と開放部分を除いた部分の床面積を入力します。
<b>構造</b>	主たる構造、および一部のみの構造を入力します。
<b>法附則第3条の適用の有無</b>	法附則第3条の適用の有無を入力します。 有を選択した場合には、竣工年月日も入力します。
<b>基準省令附則第2条の適用の有無</b>	基準省令附則第2条の適用の有無を入力します。 有を選択した場合には、必要に応じて認定を受けた所轄行政庁の名称も入力します。
<b>基準省令附則第3条若しくは第4条又は令和4年改正基準省令附則第2項の適用の有無</b>	基準省令附則第3条若しくは第4条又は令和4年改正基準省令附則第2項の適用の有無を入力します。 有を選択した場合には、竣工年月日も入力します。
<b>該当する地域の区分</b>	「基本情報（住宅用）」で入力した省エネルギー基準地域が表示されます。

## 9.2.5 届出書(通知書) (第三面(2))

第三面(2) では、建築物全体の省エネルギー性能について入力します。

表の左側にある□ボタンは、届出書(第一面)の入力画面と同様に項目の入力内容を隠したり表示したりします。

各欄の数値は、基本情報画面で戸建が選択されている場合、自動的に表示されます。

集合住宅が選択されている場合は、「第四面別紙」として別途出力されます。

### 項目の説明

項目	説明
<b>【口. 一戸建ての住宅】</b>	
<b>(外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する事項)</b>	
<b>基準省令第1条第1項 第2号イ(1)(i)の基準</b>	部位面積等の入力結果から計算された、 <ul style="list-style-type: none"> <li>・外皮平均熱貫流率、および基準値</li> <li>・冷房期の平均日射熱取得率、および基準値</li> </ul> が表示されます。
<b>基準省令第1条第1項 第2号イ(3)の基準</b>	仕様基準または誘導仕様基準により外皮性能を評価する場合にチェックします。
<b>国土交通大臣が認める 方法及びその結果</b>	国土交通大臣が認める方法及びその結果を入力します。

基準省令附則第4条第1項の規定による適用除外	基準省令附則第4条第1項の規定による適用除外となる場合にチェックします。
(一次エネルギー消費量に関する事項)	
基準省令第1条第1項第2号口(1)の基準	一次エネルギー消費量は「11.14.1 消費量集計」で入力した計算結果が自動的に表示されます。 また、BEIも自動的に表示されます。
国土交通大臣が認める方法及びその結果	国土交通大臣が認める方法及びその結果をテキスト入力します。
【ハ. 共同住宅等】	
(外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する事項)	
基準省令第1条第1項第2号イ(1)(i)の基準	標準計算（住戸評価）の場合にチェックします。
基準省令第1条第1項第2号イ(1)(ii)の基準	標準計算（住棟評価）の場合にチェックします。 「10.3 計算値確認」で計算された「住棟平均」が自動的に表示されます。
基準省令第1条第1項第2号イ(3)の基準	仕様基準または誘導仕様基準により外皮性能を評価する場合にチェックします。
国土交通大臣が認める方法及びその結果	国土交通大臣が認める方法及びその結果をテキスト入力します。
基準省令附則第4条第1項の規定による適用除外	基準省令附則第4条第1項の規定による適用除外の場合にチェックします。
(一次エネルギー消費量に関する事項)	
基準省令第1条第1項第2号口(1)の基準	一次エネルギー消費量は「11.14.1 消費量集計」で入力した計算結果が自動的に表示されます。 また、BEIも自動的に表示されます。 「基準省令第4条第3項に掲げる数値の区分」は、「共用部有り」の場合は第1号に、「共用部無し」の場合は、第2号にチェックします。
国土交通大臣が認める方法及びその結果	国土交通大臣が認める方法及びその結果をテキスト入力します。
【二. 複合建築物】	
基準省令第1条第1項第3号イの基準	
(非住宅部分)	
(一次エネルギー消費量に関する事項)	

基準省令第1条第1項 第1号イの基準	一次エネルギー消費量は「11.14.1 消費量集計」で入力した値が自動的に表示されます。 また、BEIも自動的に表示されます。
国土交通大臣が認め る方法及びその結果	国土交通大臣が認める方法及びその結果をテキスト入力します。
(住宅部分)	
(外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する事項)	
基準省令第1条第1項 第2号イ(1)(i)の基準	標準計算（住戸評価）の場合にチェックします。
基準省令第1条第1項 第2号イ(1)(ii)の基準	標準計算（住棟評価）の場合にチェックします。 「10.3 計算値確認」で計算された「住棟平均」が自動的に表示されます。
基準省令第1条第1項 第2号イ(2)(ii)の基準	フロア入力法の場合にチェックします。住棟単位外皮平均貫流率と住棟単位冷房期平均日射熱取得率を入力します。
基準省令第1条第1項 第2号イ(3)の基準	仕様基準または誘導仕様基準により外皮性能を評価する場合にチェックします。
国土交通大臣が認め る方法及びその結果	国土交通大臣が認める方法及びその結果をテキスト入力します。
基準省令附則第4条 第1項の規定による適 用除外	基準省令附則第4条第1項の規定による適用除外となる場合にチェックします。
(一次エネルギー消費量に関する事項)	
基準省令第1条第1項 第2号ロ(1)の基準	一次エネルギー消費量は「11.14.1 消費量集計」で入力した計算結果が自動的に表示されます。 また、BEIも自動的に表示されます。 「基準省令第4条第3項に掲げる数値の区分」は、「共用部有り」の場合は第1号に、「共用部無し」の場合は、第2号にチェックします。
国土交通大臣が認め る方法及びその結果	国土交通大臣が認める方法及びその結果をテキスト入力します。
基準省令第1条第1項第3号ロの基準	
(複合建築物)	
(一次エネルギー消費量に関する事項)	

基準省令第1条第1項 第2号口(1)の基準	一次エネルギー消費量は「11.14.1 消費量集計」で入力した計算結果が自動的に表示されます。 また、BEIも自動的に表示されます。 「基準省令第4条第3項に掲げる数値の区分」は、「共用部有り」の場合は第1号に、「共用部無し」の場合は、第2号にチェックします。
<b>(住宅部分)</b>	
<b>(外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する事項)</b>	
基準省令第1条第1項 第2号イ(1)(i)の基準	標準計算（住戸評価）の場合にチェックします。
基準省令第1条第1項 第2号イ(1)(ii)の基準	標準計算（住棟評価）の場合にチェックします。 「10.3 計算値確認」で計算された「住棟平均」が自動的に表示されます。
基準省令第1条第1項 第2号イ(2)(ii)の基準	フロア入力法の場合にチェックします。住棟単位外皮平均貫流率と住棟単位冷房期平均日射熱取得率を入力します。
基準省令第1条第1項 第2号イ(3)の基準	仕様基準または誘導仕様基準により外皮性能を評価する場合にチェックします。
国土交通大臣が認め る方法及びその結果	国土交通大臣が認める方法及びその結果をテキスト入力します。
基準省令附則第4条第 1項の規定による適用 除外	基準省令附則第4条第1項の規定による適用除外となる場合にチェックします。

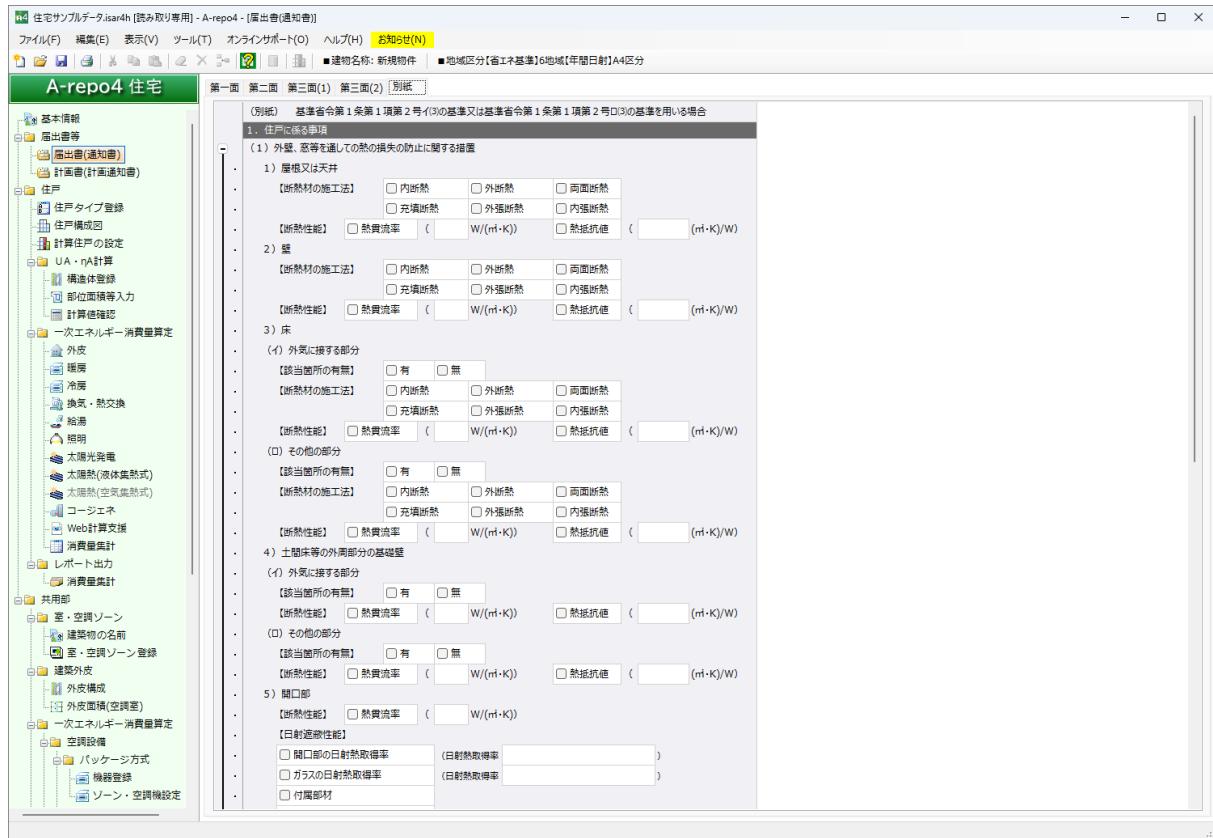
## 評価項目の選択アシストボタン



<input type="button" value="閉じる"/>	評価項目を選択し、ウィンドウを閉じます。設定内容が反映されます。
<input type="button" value="キャンセル"/>	何もせずにウィンドウを閉じます。

## 9.2.6 別紙

外皮仕様基準適用住戸が存在する場合又は第三面(2)にて、（外壁、窓を通しての熱の損失の防止に関する事項）で「基準省令第1条第1項第2号イ(3)の基準にチェックを入れた場合に表示されます。



### 項目の説明

項目	説明
<b>(1)外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する措置</b>	
<b>1)屋根又は天井</b>	
<b>【断熱材の施工法】</b>	断熱材の施工法を、内断熱・外断熱・両面断熱・充填断熱・外張断熱・内張断熱から選択します。
<b>【断熱性能】</b>	断熱性能を、熱貫流率・熱抵抗値から選択します。 熱貫流率は $W/(m^2 \cdot K)$ 単位で小数第2位まで入力します。 熱抵抗値は $(m^2 \cdot K)/W$ 単位で小数第3位まで入力します。
<b>2)壁</b>	
<b>【断熱材の施工法】</b>	断熱材の施工法を、内断熱・外断熱・両面断熱・充填断熱・外張断熱・内張断熱から選択します。
<b>【断熱性能】</b>	断熱性能を、熱貫流率・熱抵抗値から選択します。 熱貫流率は $W/(m^2 \cdot K)$ 単位で小数第2位まで入力します。 熱抵抗値は $(m^2 \cdot K)/W$ 単位で小数第3位まで入力します。
<b>3)床</b>	

(イ)外気に接する部分	
【該当箇所の有無】	該当箇所の有無をチェックします。
【断熱材の施工法】	断熱材の施工法を、内断熱・外断熱・両面断熱・充填断熱・外張断熱・内張断熱から選択します。
【断熱性能】	断熱性能を、熱貫流率・熱抵抗値から選択します。 熱貫流率は $W/(m^2 \cdot K)$ 単位で小数第 2 位まで入力します。 熱抵抗値は $(m^2 \cdot K)/W$ 単位で小数第 3 位まで入力します。
(ロ)他の部分	
【該当箇所の有無】	該当箇所の有無をチェックします。
【断熱材の施工法】	断熱材の施工法を、内断熱・外断熱・両面断熱・充填断熱・外張断熱・内張断熱から選択します。
【断熱性能】	断熱性能を、熱貫流率・熱抵抗値から選択します。 熱貫流率は $W/(m^2 \cdot K)$ 単位で小数第 2 位まで入力します。 熱抵抗値は $(m^2 \cdot K)/W$ 単位で小数第 3 位まで入力します。
4) 土間床等の外周部分の基礎壁	
(イ)外気に接する部分	
【該当箇所の有無】	該当箇所の有無をチェックします。
【断熱材の施工法】	断熱材の施工法を、内断熱・外断熱・両面断熱・充填断熱・外張断熱・内張断熱から選択します。
(ロ)他の部分	
【該当箇所の有無】	該当箇所の有無をチェックします。
【断熱材の施工法】	断熱材の施工法を、内断熱・外断熱・両面断熱・充填断熱・外張断熱・内張断熱から選択します。
5) 開口部	
【断熱性能】	断熱性能が熱貫流率の場合、チェックします。 熱貫流率は $W/(m^2 \cdot K)$ 単位で小数第 2 位まで入力します。
【日射遮蔽性能】	日射遮蔽性能を、開口部の日射熱取得率・ガラスの日射熱取得率・付属部材・ひさし、軒等から選択します。 日射熱取得率は小数第 3 位まで入力します。
6) 構造熱橋部	
【該当箇所の有無】	該当箇所の有無をチェックします。
【断熱性能】	断熱補強の範囲は、mm 単位で小数第 1 位まで入力します。最大値は 9,999.9mm です。 断熱補強の熱抵抗値は、 $(m^2 \cdot K)/W$ 単位で小数第 3 位まで入力します。

## (2)一次エネルギー消費量に関する措置

### 1)屋根又は天井

【暖房】	暖房設備と効率について入力します。
【冷房】	冷房設備と効率について入力します。
【換気】	換気設備と効率について入力します。
【照明】	照明設備について入力します。
【給湯】	給湯設備と効率について入力します。

### 備考

備考

備考を入力します。

## 9.3 計画書(計画通知書)令和7年3月以前(住宅用)

住宅の計画書、第一面から第六面までを作成します。

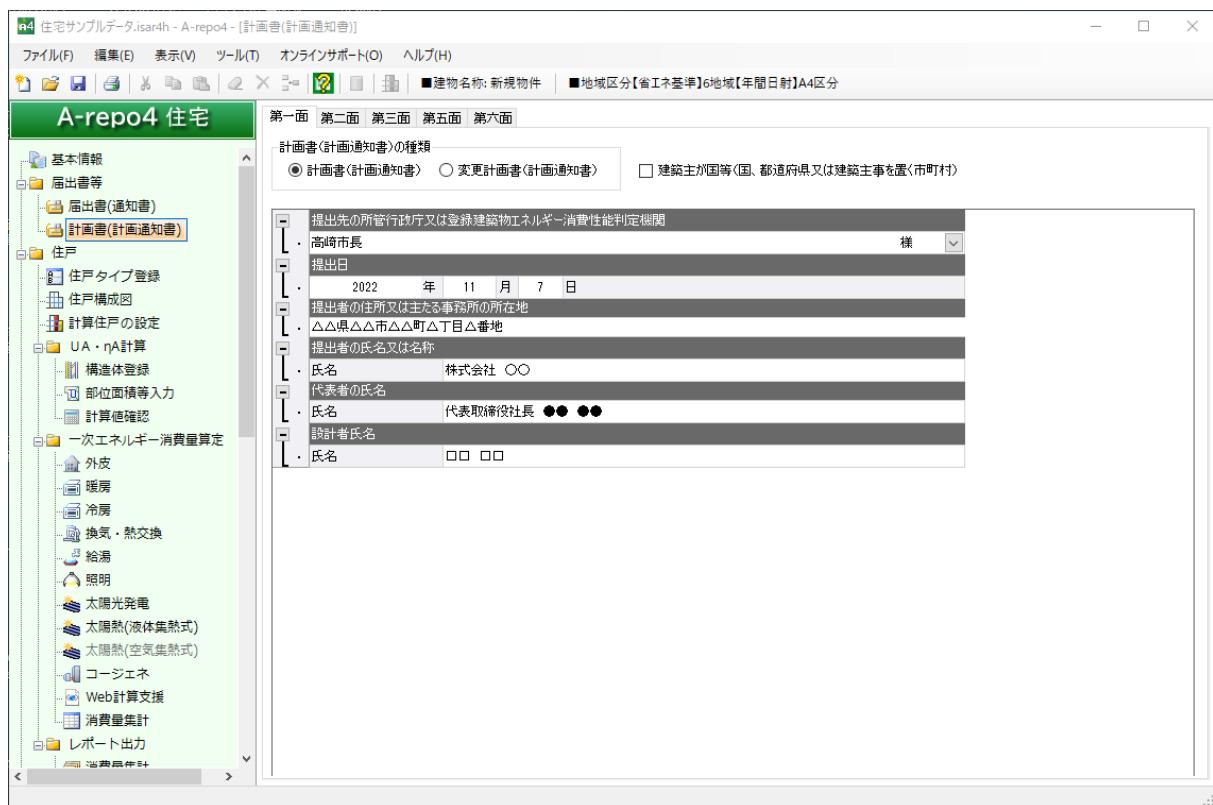
第四面・第七面は、入力項目が無いため画面はありません。

別紙は、外皮仕様基準適用住戸が存在する場合又は第六面にて、(外壁、窓を通しての熱の損失の防止に関する事項)で「基準省令第1条第1項第2号イ(3)の基準にチェックを入れた場合に表示されます。

[第一面] [第二面] [第三面] [第五面] [第六面] [別紙]

### 9.3.1 計画書(計画通知書)(第一面)

計画書(計画通知書)(第一面)または変更計画書(計画通知書)について登録します。



表の左側にある[−]ボタンをクリックすることで項目の入力内容が隠れ、ボタンが[−]から[+]に変化します。また、逆に[+]ボタンをクリックすることで項目の入力内容が表示され、ボタンが[+]から[−]に変化します。

#### 項目の説明

項目	説明
計画書(計画通知書) の種類	作成する計画書の種類を「計画書(計画通知書)」、「変更計画書(計画通知書)」から選択します。
提出先の所管行政 又は登録建築物エ ルギー評価機関	計画書を提出する所管行政庁または評価機関を入力します。

敬称	敬称をリストの「様」、「殿」、「(空欄)」から選択します。 
提出日	提出日を入力します。 半角で、年は1~99、月は1~12、日は1~31までの範囲が入力可能です。
提出者の住所又は主たる事務所の所在地	提出者の住所又は主たる事務所の所在地を入力します。
提出者の氏名又は名称	提出者の氏名を入力します。
代表者の氏名	代表者の氏名を入力します。
設計者氏名	設計者氏名を入力します。

計画通知書を使用する場合は、「建築主が国等(国、都道府県又は建築主事を置く市町村)」にチェックします。

提出先の所管行政庁又は登録建築物エネルギー消費性能判定機関	
・ 高崎市長 様	
- 提出日	
・ 令和 <input type="button" value="▼"/> 2 年 4 月 1 日	
- 通知者官職	
・ 氏名	
- 設計者氏名	
・ 氏名 □□ □□	

#### 項目の説明

項目	説明
通知者官職	通知者官職の氏名を入力します。

### 9.3.2 変更計画書(計画通知書)

第一面で変更計画書(計画通知書)を選択した場合は、画面下段にこの内容が表示されます。

※既に届出済みの物件について、計画内容の変更を行う場合に使用します。

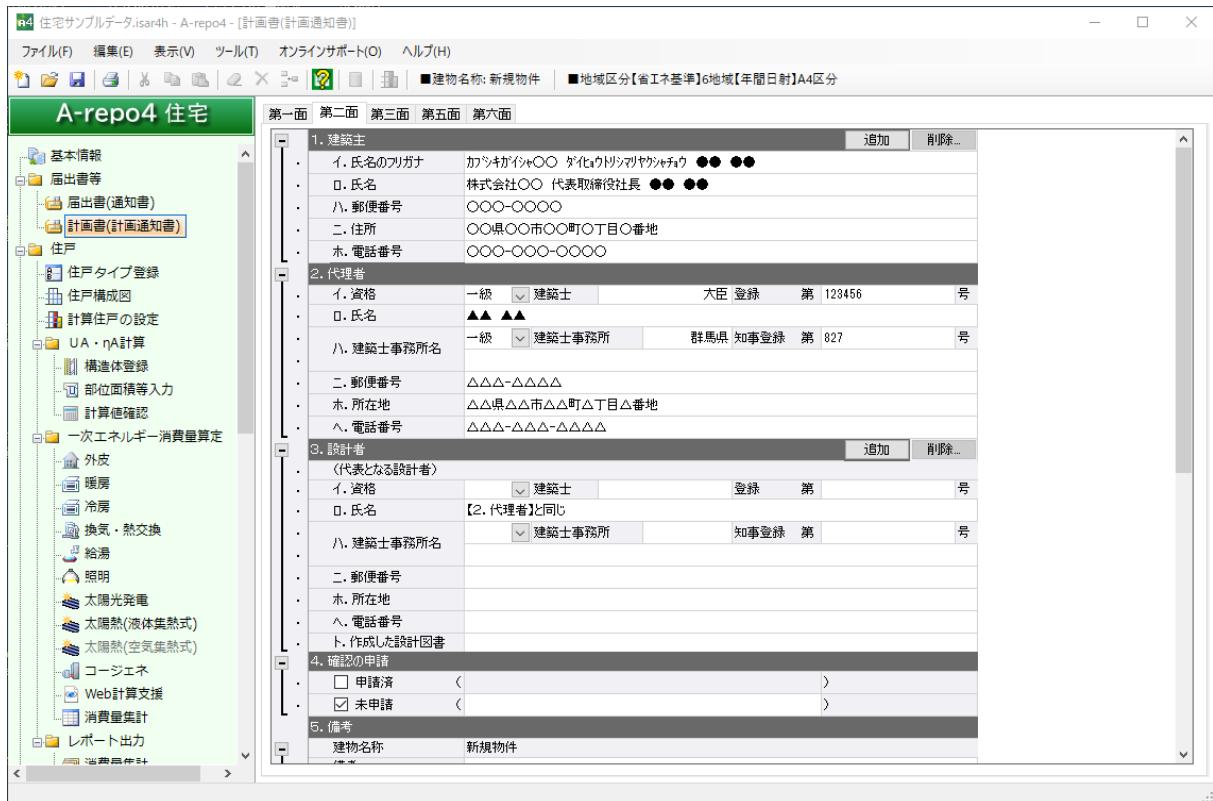
提出先の所管行政庁又は登録建築物エネルギー消費性能判定機関	様
高崎市長	
提出日	2022 年 11 月 7 日
提出者の住所又は主たる事務所の所在地	△△県△△市△△町△丁目△番地
提出者の氏名又は名称	
氏名	株式会社 ○○
代表者の氏名	代表取締役社長 ●● ●●
設計者氏名	
氏名	□□ □□
適合判定通知書	
通知書番号	第 号
交付年月日	年 月 日
通知書交付者	
計画変更の対象の範囲	<input checked="" type="checkbox"/> 建築物全体 <input type="checkbox"/> 建築物の一部(非住宅部分) <input type="checkbox"/> 建築物の一部(住宅部分)
計画変更の概要	

#### 項目の説明

項目	説明
適合判定通知書	
通知書番号	前回計画書を提出したときの受付番号を入力します。
交付年月日	前回計画書を提出したときの交付年月日を西暦で入力します。
通知書交付者	計画書を提出したときの交付者名を入力します。
計画変更の対象の範囲	変更の範囲を選択します。
計画変更の概要	変更する内容の概要を入力します。

### 9.3.3 計画書(計画通知書) (第二面)

計画書(計画通知書) (第二面)について登録します。



表の左側にある□ボタンは、届出書(第一面)の入力画面と同様に項目の入力内容を隠したり表示したりします。

#### ツール

<b>[追加]</b>	「建築主」、「設計者」の場合、入力欄を最大で5人分まで追加することができます。また、2人目以降の情報は、「計画書(第二面別紙)」として印刷、Excelファイル出力されます。
<b>[削除]</b>	「建築主」、「設計者」の場合、追加した入力欄を削除することができます。 

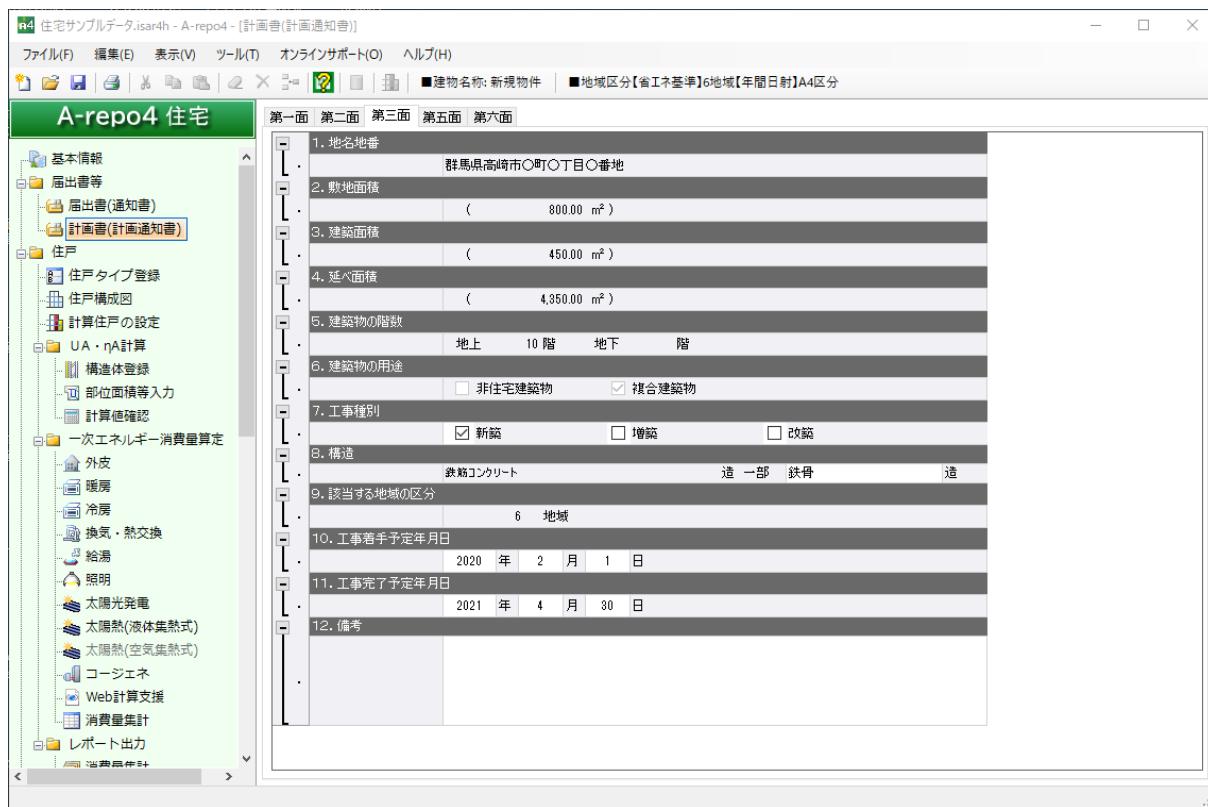
入力欄を追加していない場合は、ボタンが無効となり削除できません。

## 項目の説明

項目	説明
<b>建築主</b>	
氏名のフリガナ	会社名および建築主のフリガナをカタカナで入力します。
氏名	会社名および建築主名を入力します。
郵便番号	郵便番号を入力します。
住所	住所を入力します。
電話番号	電話番号を入力します。
<b>代理人</b>	
資格	建築士資格の級、および登録先、登録番号を入力します。
氏名	代表者名を入力します。
建築士事務所名	一行目に建築士事務所の建築士資格の級、登録先、登録番号を入力、二行目に建築士事務所名を入力します。
所在地	住所を入力します。
電話番号	電話番号を入力します。
作成した設計図書	担当者として作成した設計図書を明記します。
<b>設計者</b>	
資格	建築士資格の級、および登録先、登録番号を入力します。
氏名	設計者名を入力します。
建築士事務所名	一行目に建築士事務所の建築士資格の級、登録先、登録番号を入力、二行目に建築士事務所名を入力します。
郵便番号	建築士事務所の郵便番号を入力します。
所在地	建築士事務所の住所を入力します。
電話番号	建築士事務所の電話番号を入力します。
作成した設計図書	担当者として作成した設計図書を明記します。
<b>確認の申請</b>	
申請済・未申請	確認申請の済・未、および申請する機関名を記入します。
備考	備考を記入します。

### 9.3.4 計画書(計画通知書) (第三面)

第三面では、建築物の概要について入力します。



表の左側にある□ボタンは、届出書(第一面)の入力画面と同様に項目の入力内容を隠したり表示したりします。

#### 項目の説明

項目	説明
地名地番	「基本情報 (住宅用)」で入力した建築物所在地が表示されます。
敷地面積	「基本情報 (住宅用)」で入力した敷地面積が表示されます。
建築面積	「基本情報 (住宅用)」で入力した建築面積が表示されます。
延べ面積	「基本情報 (住宅用)」で入力した述べ面積が表示されます。
建築物の階数	「基本情報 (住宅用)」で入力した階数が表示されます。
建築物の用途	建築物の用途を選択します。複合建築物 のみ選択できます。
工事種別	新築・増築・改築から選択します。
構造	主たる構造、および一部のみの構造を入力します。
該当する地域の区分	「基本情報 (住宅用)」で入力した省エネルギー基準地域が表示されます。
工事着手予定年月日	西暦で入力します。年は1~99、月は1~12までの範囲を半角で、日は文字(「初旬」など)が入力可能です。

工事完了予定年月日	/
備考	必要に応じて入力します。

### 9.3.5 計画書(計画通知書) (第五面)

第五面については、複合建築物の非住宅部分に関する情報を入力します。

表の左側にあるボタンは、届出書(第一面)の入力画面と同様に項目の入力内容を隠したり表示したりします。

#### 項目の説明

項目	説明
非住宅部分の用途	工事種別の設定を表示します。
非住宅部分の床面積	
新築	新築床面積、および開放部分を除いた部分の床面積を入力します。
増築	既存部分・増築部分合計の床面積、および同じく合計の開放部分を除いた床面積、および増築する部分の床面積と開放部分を除いた部分の床面積を入力します。
改築	既存部分・改築部分合計の床面積、および同じく合計の開放部分を除いた床面積、および改築する部分の床面積と開放部分を除いた部分の床面積を入力します。
基準省令附則第3条又は令和4年改正基準省令附則第2項の適用の有無	基準省令附則第3条又は令和4年改正基準省令附則第2項の適用の有無を入力します。 有を選択した場合には、竣工年月日も入力します。
非住宅部分のエネルギー消費性能	

基準省令第1条第1項第1号 イの基準	一次エネルギー消費量は「9.12 消費量集計」で入力した値が自動的に表示されます。 また、BEI も自動的に表示されます。
備考	必要に応じて入力します。
印刷設定	チェックを On に設定すると、出力する計画書に、「その他を除く一次エネルギー消費量」の値も印字します。

### 9.3.6 計画書(計画通知書) (第六面)

第六面については、複合建築物の住宅部分に関する情報を入力します。

表の左側にあるボタンは、届出書(第一面)の入力画面と同様に項目の入力内容を隠したり表示したりします。

#### 項目の説明

項目	説明
建築物の住戸の数	住戸数を表示します。
<b>住宅部分の床面積</b>	
新築	新築床面積、および開放部分を除いた部分の床面積を入力します。
増築	既存部分・増築部分合計の床面積、および同じく合計の開放部分を除いた床面積、および増築する部分の床面積と開放部分を除いた部分の床面積を入力します。
改築	既存部分・改築部分合計の床面積、および同じく合計の開放部分を除いた床面積、および改築する部分の床面積と開放部分を除いた部分の床面積を入力します。
基準省令附則第2条の適用の有無	基準省令附則第2条の適用の有無を入力します。 有を選択した場合には、所轄官公庁の名称も入力します。
基準省令附則第4条の適用の有無	基準省令附則第4条の適用の有無を入力します。 有を選択した場合には、竣工年月日も入力します。

## 住宅部分のエネルギー消費性能

### (外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する事項)

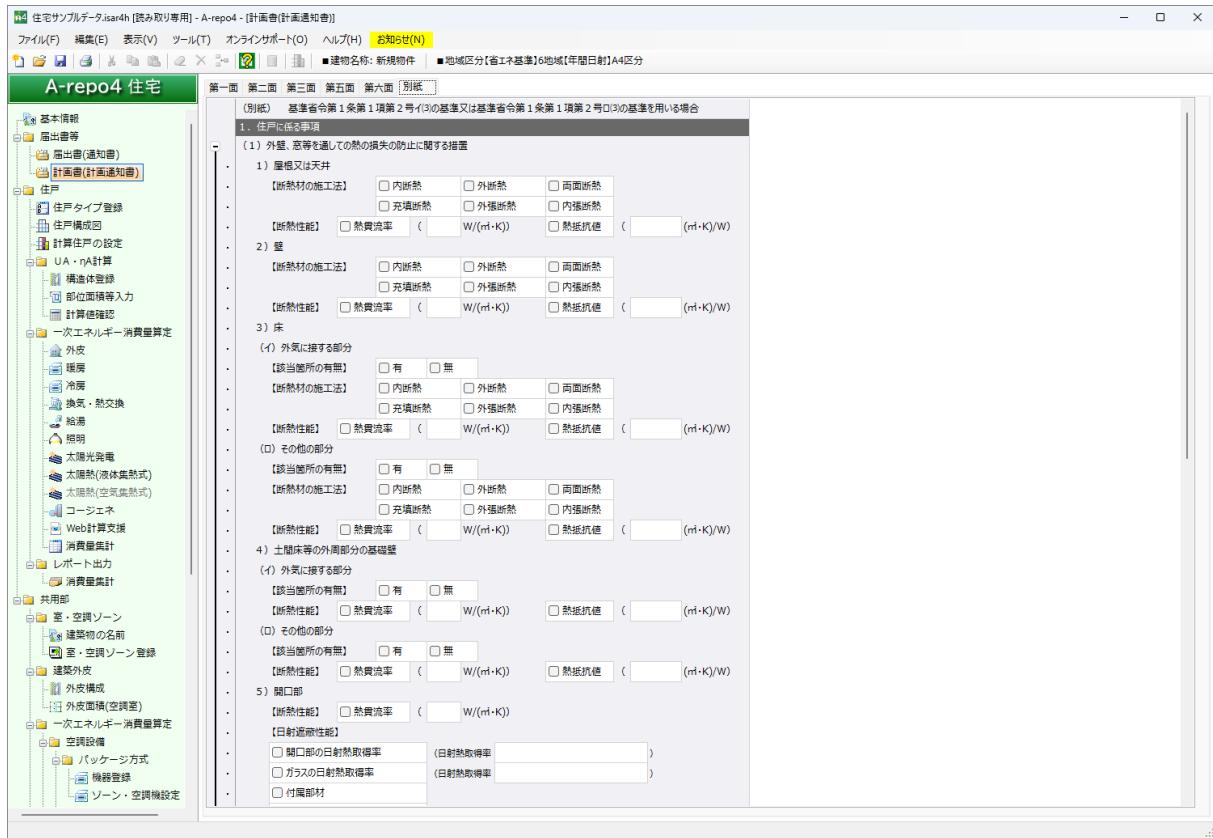
基準省令第1条第1項 第2号イ(1)( i )の基準	「基準省令第1条第1項第2号イ(1)( ii )の基準」の場合チェックします。
基準省令第1条第1項 第2号イ(1)( ii )の基準	「基準省令第1条第1項第2号イ(1)( ii )の基準」をチェックした場合、 [10.3 計算値確認]画面で表示される「住棟平均」を自動的に表示します。
基準省令第1条第1項 第2号イ(3)の基準	仕様基準または誘導仕様基準により外皮性能を評価する場合にチェックします。
国土交通大臣が認める 方法及びその結果	国土交通大臣が認める方法で計算する場合に選択します。
基準省令附則第4条 第1項の規定による 適用除外	「基準省令附則第4条第1項の規定による適用除外」の場合チェックします。

### (一次エネルギー消費量に関する事項)

基準省令第1条第1項 第2号ロ(1)の基準	「基準省令第1条第1項第2号ロ(1)の基準」をチェックした場合、 一次エネルギー消費性能は[ 11.14.1 消費量集計]で、入力した計算 結果が自動的に表示されます。 また、BEI も自動的に表示されます。 「基準省令第4条第3項に掲げる数値の区分」は、「共用部有り」 の場合は第1号に、「共用部無し」の場合は、第2号にチェックします。
国土交通大臣が認める 方法およびその結果	国土交通大臣が認める方法で一次エネルギー消費量を計算する場合 に 選択します。
備考	必要に応じて入力します。

### 9.3.7 別紙

外皮仕様基準適用住戸が存在する場合又は第六面にて、（外壁、窓を通しての熱の損失の防止に関する事項）で「基準省令第1条第1項第2号イ(3)の基準」にチェックを入れた場合に表示されます。



#### 項目の説明

項目	説明
<b>(1) 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する措置</b>	
<b>1) 屋根又は天井</b>	
<b>【断熱材の施工法】</b>	断熱材の施工法を、内断熱・外断熱・両面断熱・充填断熱・外張断熱・内張断熱から選択します。
<b>【断熱性能】</b>	断熱性能を、熱貫流率・熱抵抗値から選択します。 熱貫流率は $W/(m^2 \cdot K)$ 単位で小数第2位まで入力します。 熱抵抗値は $(m^2 \cdot K)/W$ 単位で小数第3位まで入力します。
<b>2) 壁</b>	
<b>【断熱材の施工法】</b>	断熱材の施工法を、内断熱・外断熱・両面断熱・充填断熱・外張断熱・内張断熱から選択します。
<b>【断熱性能】</b>	断熱性能を、熱貫流率・熱抵抗値から選択します。 熱貫流率は $W/(m^2 \cdot K)$ 単位で小数第2位まで入力します。 熱抵抗値は $(m^2 \cdot K)/W$ 単位で小数第3位まで入力します。
<b>3) 床</b>	

(イ)外気に接する部分	
【該当箇所の有無】	該当箇所の有無をチェックします。
【断熱材の施工法】	断熱材の施工法を、内断熱・外断熱・両面断熱・充填断熱・外張断熱・内張断熱から選択します。
【断熱性能】	断熱性能を、熱貫流率・熱抵抗値から選択します。 熱貫流率は $W/(m^2 \cdot K)$ 単位で小数第 2 位まで入力します。 熱抵抗値は $(m^2 \cdot K)/W$ 単位で小数第 3 位まで入力します。
(ロ)他の部分	
【該当箇所の有無】	該当箇所の有無をチェックします。
【断熱材の施工法】	断熱材の施工法を、内断熱・外断熱・両面断熱・充填断熱・外張断熱・内張断熱から選択します。
【断熱性能】	断熱性能を、熱貫流率・熱抵抗値から選択します。 熱貫流率は $W/(m^2 \cdot K)$ 単位で小数第 2 位まで入力します。 熱抵抗値は $(m^2 \cdot K)/W$ 単位で小数第 3 位まで入力します。
4) 土間床等の外周部分の基礎壁	
(イ)外気に接する部分	
【該当箇所の有無】	該当箇所の有無をチェックします。
【断熱材の施工法】	断熱材の施工法を、内断熱・外断熱・両面断熱・充填断熱・外張断熱・内張断熱から選択します。
(ロ)他の部分	
【該当箇所の有無】	該当箇所の有無をチェックします。
【断熱材の施工法】	断熱材の施工法を、内断熱・外断熱・両面断熱・充填断熱・外張断熱・内張断熱から選択します。
5) 開口部	
【断熱性能】	断熱性能が熱貫流率の場合、チェックします。 熱貫流率は $W/(m^2 \cdot K)$ 単位で小数第 2 位まで入力します。
【日射遮蔽性能】	日射遮蔽性能を、開口部の日射熱取得率・ガラスの日射熱取得率・付属部材・ひさし、軒等から選択します。 日射熱取得率は小数第 3 位まで入力します。
6) 構造熱橋部	
【該当箇所の有無】	該当箇所の有無をチェックします。
【断熱性能】	断熱補強の範囲は、mm 単位で小数第 1 位まで入力します。最大値は 9,999.9mm です。 断熱補強の熱抵抗値は、 $(m^2 \cdot K)/W$ 単位で小数第 3 位まで入力します。

## (2)一次エネルギー消費量に関する措置

### 1)屋根又は天井

【暖房】	暖房設備と効率について入力します。
【冷房】	冷房設備と効率について入力します。
【換気】	換気設備と効率について入力します。
【照明】	照明設備について入力します。
【給湯】	給湯設備と効率について入力します。

### 備考

備考

備考を入力します。

## 9.4 計画書(計画通知書)令和7年4月以降(住宅用)

住宅の計画書、第一面から第五面までを作成します。

第五面は、入力項目が無いため画面はありません。

別紙は、外皮仕様基準適用住戸が存在する場合又は第四面にて、(外壁、壁等を通しての熱の損失の防止に関する事項)で「基準省令第1条第1項第2号イ(2)の基準」にチェックを入れた場合に表示されます。

第一面 第二面 第三面 第四面 別紙

### 9.4.1 計画書(計画通知書)(第一面)

計画書(計画通知書)(第一面)または変更計画書(計画通知書)について登録します。



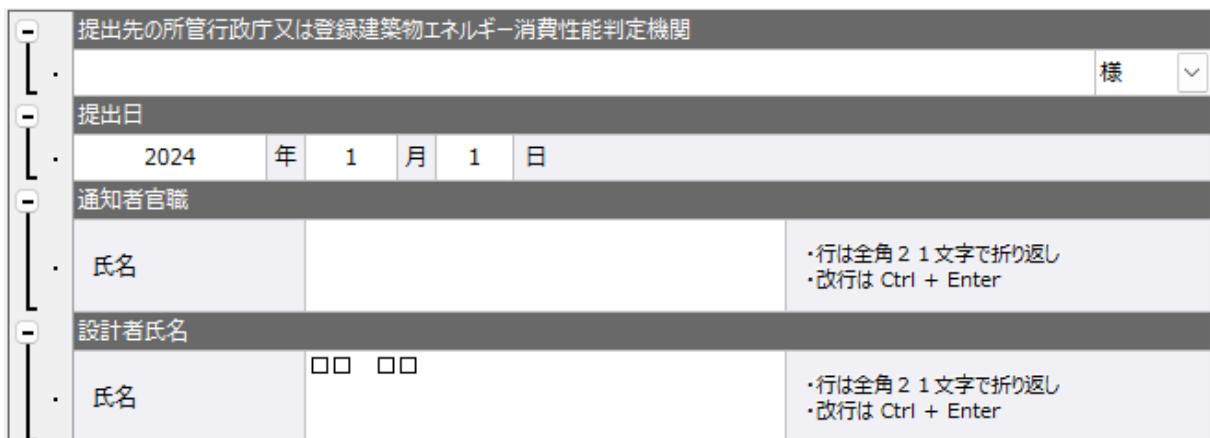
表の左側にある□ボタンをクリックすることで項目の入力内容が隠れ、ボタンが□から⊕に変化します。また、逆に⊕ボタンをクリックすることで項目の入力内容が表示され、ボタンが⊕から□に変化します。

#### 項目の説明

項目	説明
計画書(計画通知書) の種類	作成する計画書の種類を「計画書(計画通知書)」、「変更計画書(計画通知書)」から選択します。
提出先の所管行政庁 又は登録建築物エネ ルギー評価機関	計画書を提出する所管行政庁または評価機関を入力します。

敬称	敬称をリストの「様」、「殿」、「(空欄)」から選択します。 
提出日	提出日を入力します。 半角で、年は1~99、月は1~12、日は1~31までの範囲が入力可能です。
提出者の住所又は主たる事務所の所在地	提出者の住所又は主たる事務所の所在地を入力します。
提出者の氏名又は名称	提出者の氏名を入力します。
代表者の氏名	代表者の氏名を入力します。
設計者氏名	設計者氏名を入力します。

計画通知書を使用する場合は、「建築主が国等(国、都道府県又は建築主事を置く市町村)」にチェックします。



提出先の所管行政庁又は登録建築物エネルギー消費性能判定機関  
提出日  
2024 年 1 月 1 日  
通知者官職  
氏名  
・行は全角21文字で折り返し  
・改行はCtrl+Enter  
設計者氏名  
氏名  
・行は全角21文字で折り返し  
・改行はCtrl+Enter

#### 項目の説明

項目	説明
通知者官職	通知者官職の氏名を入力します。

#### 9.4.2 変更計画書(計画通知書)

第一面で変更計画書(計画通知書)を選択した場合は、画面下段にこの内容が表示されます。

※既に届出済みの物件について、計画内容の変更を行う場合に使用します。

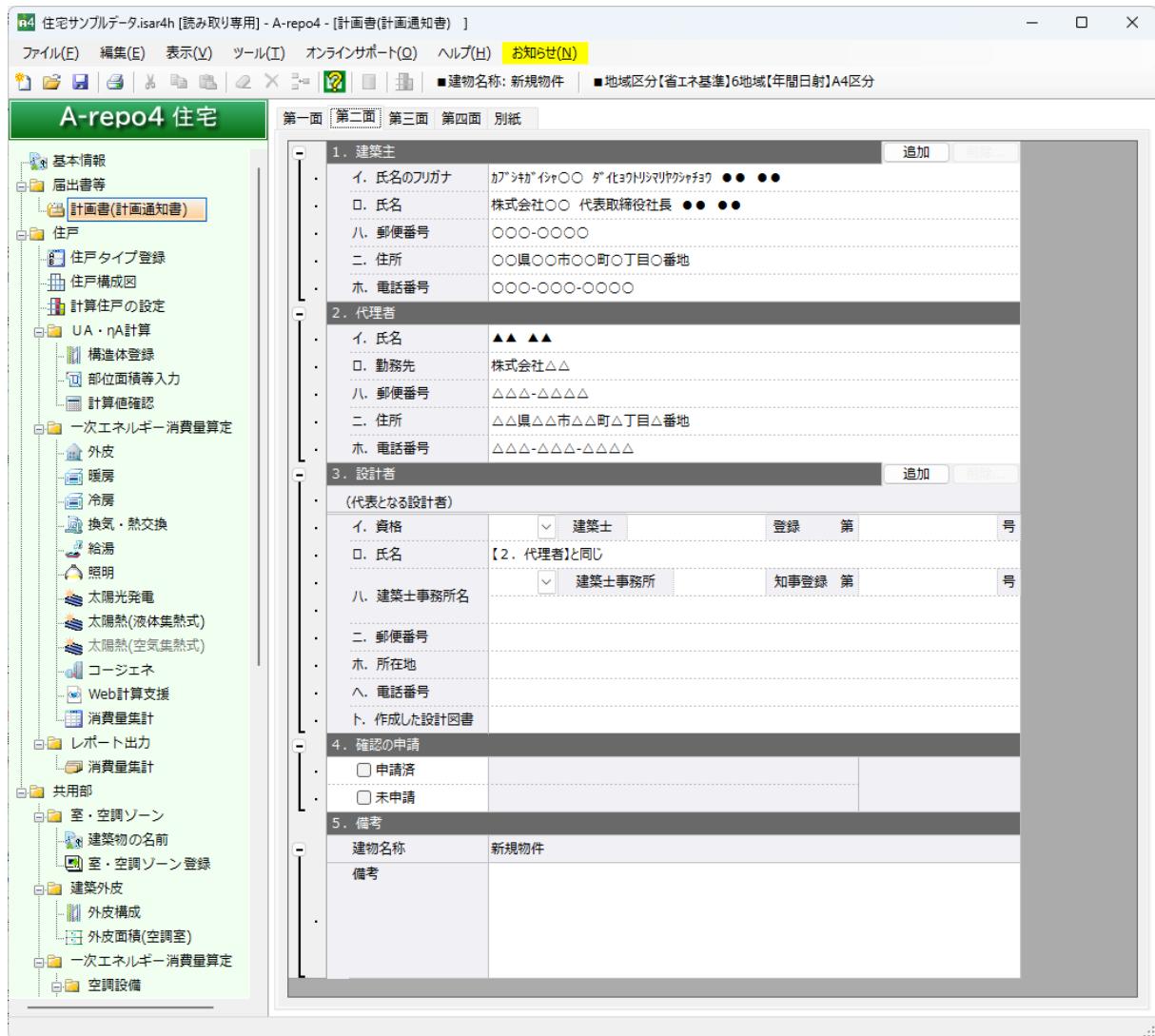
提出先の所管行政庁又は登録建築物エネルギー消費性能判定機関	
・ 高崎市長	
提出日	
2024 年 1 月 1 日	
提出者住所又は主たる事務所の所在地	
△△県△△市△△町△丁目△番地	
提出者の氏名又は名称	
氏名	株式会社 ○○ ・行は全角21文字で折り返し ・改行は Ctrl + Enter
代表者の氏名	
氏名	代表取締役社長 ●● ●● ・行は全角21文字で折り返し ・改行は Ctrl + Enter
設計者氏名	
氏名	□□ □□ ・行は全角21文字で折り返し ・改行は Ctrl + Enter
適合判定通知書	
通知書番号	第 号
交付年月日	年 月 日
通知書交付者	
計画変更の概要	

#### 項目の説明

項目	説明
<b>適合判定通知書</b>	
通知書番号	前回計画書を提出したときの受付番号を入力します。
交付年月日	前回計画書を提出したときの交付年月日を西暦で入力します。
通知書交付者	計画書を提出したときの交付者名を入力します。
計画変更の概要	変更する内容の概要を入力します。

#### 9.4.3 計画書(計画通知書) (第二面)

計画書(計画通知書) (第二面)について登録します。



表の左側にあるボタンは、届出書(第一面)の入力画面と同様に項目の入力内容を隠したり表示したりします。

#### ツール

<input type="checkbox"/> [追加]	「建築主」、「設計者」の場合、入力欄を最大で5人分まで追加することができます。また、2人目以降の情報は、「計画書(第二面別紙)」として印刷、Excelファイル出力されます。
[削除]	「建築主」、「設計者」の場合、追加した入力欄を削除することができます。  <p>入力欄を追加していない場合は、ボタンが無効となり削除できません。</p>

## 項目の説明

項目	説明
<b>建築主</b>	
氏名のフリガナ	会社名および建築主のフリガナをカタカナで入力します。
氏名	会社名および建築主名を入力します。
郵便番号	郵便番号を入力します。
住所	住所を入力します。
電話番号	電話番号を入力します。
<b>代理人</b>	
氏名	代表者名を入力します。
勤務先	勤務先を入力します。
郵便番号	郵便番号を入力します。
住所	住所を入力します。
電話番号	電話番号を入力します。
<b>設計者</b>	
資格	建築士資格の級、および登録先、登録番号を入力します。
氏名	設計者名を入力します。
建築士事務所名	一行目に建築士事務所の建築士資格の級、登録先、登録番号を入力、二行目に建築士事務所名を入力します。
郵便番号	建築士事務所の郵便番号を入力します。
所在地	建築士事務所の住所を入力します。
電話番号	建築士事務所の電話番号を入力します。
作成した設計図書	担当者として作成した設計図書を明記します。
<b>確認の申請</b>	
申請済・未申請	確認申請の済・未、および申請する機関名を記入します。
備考	備考を記入します。

#### 9.4.4 計画書(計画通知書) (第三面)

第三面では、建築物の概要について入力します。

The screenshot shows the A-repo4 software interface for a residential building plan application. The window title is "A-repo4 住宅". The main content area is titled "第三面" (Page 3). The form fields include:

- 1. 地名地番: 群馬県高崎市○町○丁目○番地
- 2. 敷地面積: ( 800.00 m<sup>2</sup> )
- 3. 建築面積: ( 450.00 m<sup>2</sup> )
- 4. 延べ面積: ( 4,350.00 m<sup>2</sup> )
- 5. 建築物の階数: 地上 10 階 地下 0 階
- 6. 建築物の用途:  非住宅建築物  一戸建ての住宅  共同住宅  複合建築物
- 7. 工事種別:  新築  増築  改築
- 8. 構造: 鉄筋コンクリート 造一部 造
- 9. 諸当する地域の区分: 6. 地域
- 10. 工事着手予定年月日: 2025 年 4 月 1 日
- 11. 工事完了予定年月日: 2026 年 4 月 30 日
- 12. 備考

表の左側にあるボタンは、届出書(第一面)の入力画面と同様に項目の入力内容を隠したり表示したりします。

#### 項目の説明

項目	説明
地名地番	「基本情報 (住宅用)」で入力した建築物所在地が表示されます。
敷地面積	「基本情報 (住宅用)」で入力した敷地面積が表示されます。
建築面積	「基本情報 (住宅用)」で入力した建築面積が表示されます。
延べ面積	「基本情報 (住宅用)」で入力した述べ面積が表示されます。
建築物の階数	「基本情報 (住宅用)」で入力した階数が表示されます。
建築物の用途	建築物の用途を選択します。複合建築物 のみ選択できます。
工事種別	新築・増築・改築から選択します。

構造	主たる構造、および一部のみの構造を入力します。
該当する地域の区分	「基本情報（住宅用）」で入力した省エネルギー基準地域が表示されます。
工事着手予定年月日	西暦で入力します。年は1~99、月は1~12までの範囲を半角で、日は文字（「初旬」など）が入力可能です。
工事完了予定年月日	〃
備考	必要に応じて入力します。

## 9.4.5 計画書(計画通知書) (第四面)

第四面については、複合建築物の非住宅部分に関する情報を入力します。

表の左側にあるボタンは、届出書(第一面)の入力画面と同様に項目の入力内容を隠したり表示したりします。

各欄の数値は、基本情報画面で戸建が選択されている場合、自動的に表示されます。

集合住宅が選択されている場合は、「第四面別紙」として別途出力されます。

### 項目の説明

項目	説明
非住宅部分の用途	工事種別の設定を表示します。
建築物の住戸の数	住戸数を表示します。
建築物の床面積	
新築	新築床面積、開放部分を除いた部分の床面積、開放部分及び共用部分を除いた部分の床面積を入力します。

増築	既存部分・増築部分合計の床面積、合計の開放部分を除いた床面積、合計の開放部分の及び共用部を除いた部分の床面積および増築する部分の床面積、開放部分を除いた部分の床面積、開放部分及び共用部分を除いた部分の床面積を入力します。
改築	既存部分・改築部分合計の床面積、合計の開放部分を除いた床面積、合計の開放部分の及び共用部を除いた部分の床面積および改築する部分の床面積、開放部分を除いた部分の床面積、開放部分及び共用部分を除いた部分の床面積を入力します。

#### 建築物のエネルギー消費性能

##### 【ロ. 一戸建ての住宅】

###### (外壁、壁等を通しての熱の損失の防止に関する事項)

基準省令第1条第1項 第2号イ(1)の基準	部位面積等の入力結果から計算された、 ・外皮平均熱貫流率、および基準値 ・冷房期の平均日射熱取得率、および基準値 が表示されます。
基準省令第1条第1項 第2号イ(2)の基準	仕様基準により外皮性能を評価する場合にチェックします。
国土交通大臣が認める 方法及びその結果	国土交通大臣が認める方法及びその結果を入力します。
基準省令第1条第1項 第2号イただし書の規 定による適用除外	基準省令第1条第1項第2号イただし書の規定による適用除外となる場合にチェックします。

###### (一次エネルギー消費量に関する事項)

基準省令第1条第1項 第2号ロ(1)の基準	一次エネルギー消費量は「11.14.1 消費量集計」で入力した計算結果が自動的に表示されます。 また、BEIも自動的に表示されます。
国土交通大臣が認める 方法及びその結果	国土交通大臣が認める方法及びその結果を入力します。

##### 【ハ. 共同住宅等】

###### (外壁、壁等を通しての熱の損失の防止に関する事項)

基準省令第1条第1項第 2号イ(1)の基準	標準計算の場合にチェックします。
基準省令第1条第1項第 2号イ(2)の基準	仕様基準または誘導仕様基準により外皮性能を評価する場合にチェックします。
国土交通大臣が認める 方法及びその結果	国土交通大臣が認める方法及びその結果を入力します。

###### (一次エネルギー消費量に関する事項)

基準省令第1条第1項第2号口(1)の基準	一次エネルギー消費量は「11.14.1 消費量集計」で入力した計算結果が自動的に表示されます。 また、BEIも自動的に表示されます。 「基準省令第4条第3項に掲げる数値の区分」は、「共用部有り」の場合は第1号に、「共用部無し」の場合は、第2号にチェックします。
国土交通大臣が認める方法及びその結果	国土交通大臣が認める方法及びその結果を入力します。

## 【二. 複合建築物】

### 基準省令第1条第1項第3号イの基準

(非住宅部分)

(一次エネルギー消費量に関する事項)

基準省令第1条第1項第1号イの基準	一次エネルギー消費量は「11.14.1 消費量集計」で入力した値が自動的に表示されます。 また、BEIも自動的に表示されます。 BEIの基準値を入力します。
基準省令第1条第1項第1号口の基準	BEI、BEIの基準値を入力します。
国土交通大臣が認める方法及びその結果	国土交通大臣が認める方法及びその結果を入力します。

(住宅部分)

(外壁、壁等を通しての熱の損失の防止に関する事項)

基準省令第1条第1項第2号イ(1)の基準	標準計算の場合にチェックします。
基準省令第1条第1項第2号イ(2)の基準	仕様基準により外皮性能を評価する場合にチェックします。
国土交通大臣が認める方法及びその結果	国土交通大臣が認める方法及びその結果を入力します。

(一次エネルギー消費量に関する事項)

基準省令第1条第1項第2号口(1)の基準	一次エネルギー消費量は「11.14.1 消費量集計」で入力した計算結果が自動的に表示されます。 また、BEIも自動的に表示されます。 「基準省令第4条第3項に掲げる数値の区分」は、「共用部有り」の場合は第1号に、「共用部無し」の場合は、第2号にチェックします。
国土交通大臣が認める方法及びその結果	国土交通大臣が認める方法及びその結果を入力します。

### 基準省令第1条第1項第3号口の基準

(複合建築物)

(一次エネルギー消費量に関する事項)

基準省令第1条第1項第3号口の基準

一次エネルギー消費量は「11.14.1 消費量集計」で入力した計算結果が自動的に表示されます。  
また、BEIも自動的に表示されます。  
BEIの基準値を入力します。  
「基準省令第4条第3項に掲げる数値の区分」は、「共用部有り」の場合は第1号に、「共用部無し」の場合は、第2号にチェックします。

(住宅部分)

(外壁、壁等を通しての熱の損失の防止に関する事項)

基準省令第1条第1項  
第2号イ(1)の基準

標準計算の場合にチェックします。

基準省令第1条第1項  
第2号イ(2)の基準

仕様基準により外皮性能を評価する場合にチェックします。

国土交通大臣が認め  
る方法及びその結果

国土交通大臣が認める方法及びその結果を入力します。

備考

備考

必要に応じて入力します。

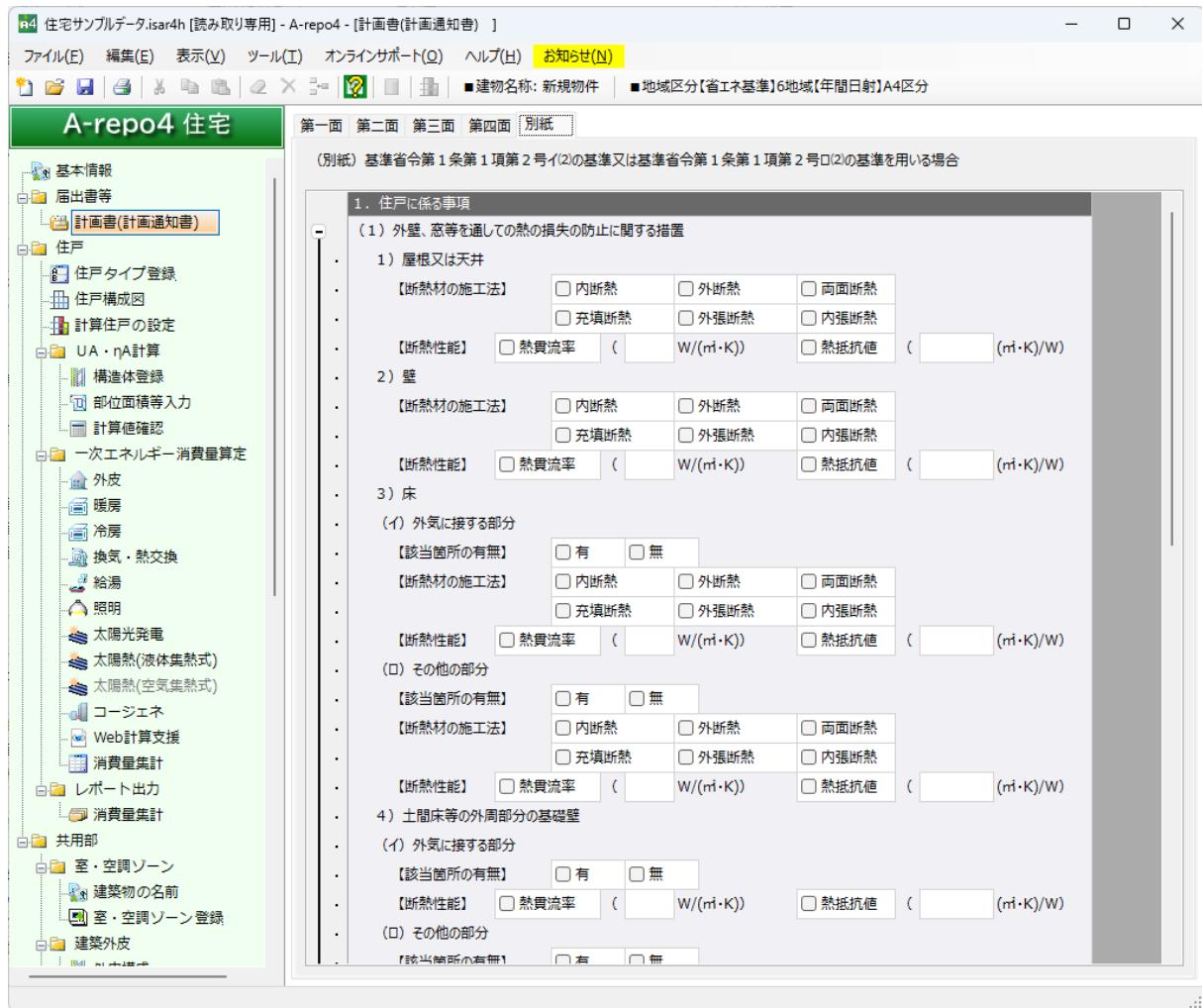
## 評価項目の選択アシストボタン



<span style="border: 1px solid #ccc; padding: 2px;">適用</span>	評価項目を選択し、ウィンドウを閉じます。設定内容が反映されます。
<span style="border: 1px solid #ccc; padding: 2px;">閉じる</span>	何もせずウィンドウを閉じます。

## 9.4.6 別紙

外皮仕様基準適用住戸が存在する場合又は第六面にて、(外壁、壁等を通しての熱の損失の防止に関する事項)で「基準省令第1条第1項第2号イ(2)の基準」にチェックを入れた場合に住戸に係る事項を入力します。



### 項目の説明

項目	説明
(1)外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する措置	
1)屋根又は天井	<p><b>【断熱材の施工法】</b> 断熱材の施工法を、内断熱・外断熱・両面断熱・充填断熱・外張断熱・内張断熱から選択します。</p>
<b>【断熱性能】</b>	<p>断熱性能を、熱貫流率・熱抵抗値から選択します。 熱貫流率は <math>W/(m^2 \cdot K)</math> 単位で小数第2位まで入力します。 熱抵抗値は <math>(m^2 \cdot K)/W</math> 単位で小数第3位まで入力します。</p>
2)壁	

<b>【断熱材の施工法】</b>	断熱材の施工法を、内断熱・外断熱・両面断熱・充填断熱・外張断熱・内張断熱から選択します。
<b>【断熱性能】</b>	断熱性能を、熱貫流率・熱抵抗値から選択します。 熱貫流率は $W/(m^2 \cdot K)$ 単位で小数第 2 位まで入力します。 熱抵抗値は $(m^2 \cdot K)/W$ 単位で小数第 3 位まで入力します。
<b>3) 床</b>	
<b>(イ) 外気に接する部分</b>	
<b>【該当箇所の有無】</b>	該当箇所の有無をチェックします。
<b>【断熱材の施工法】</b>	断熱材の施工法を、内断熱・外断熱・両面断熱・充填断熱・外張断熱・内張断熱から選択します。
<b>【断熱性能】</b>	断熱性能を、熱貫流率・熱抵抗値から選択します。 熱貫流率は $W/(m^2 \cdot K)$ 単位で小数第 2 位まで入力します。 熱抵抗値は $(m^2 \cdot K)/W$ 単位で小数第 3 位まで入力します。
<b>(ロ) その他の部分</b>	
<b>【該当箇所の有無】</b>	該当箇所の有無をチェックします。
<b>【断熱材の施工法】</b>	断熱材の施工法を、内断熱・外断熱・両面断熱・充填断熱・外張断熱・内張断熱から選択します。
<b>【断熱性能】</b>	断熱性能を、熱貫流率・熱抵抗値から選択します。 熱貫流率は $W/(m^2 \cdot K)$ 単位で小数第 2 位まで入力します。 熱抵抗値は $(m^2 \cdot K)/W$ 単位で小数第 3 位まで入力します。
<b>4) 土間床等の外周部分の基礎壁</b>	
<b>(イ) 外気に接する部分</b>	
<b>【該当箇所の有無】</b>	該当箇所の有無をチェックします。
<b>【断熱材の施工法】</b>	断熱材の施工法を、内断熱・外断熱・両面断熱・充填断熱・外張断熱・内張断熱から選択します。
<b>(ロ) その他の部分</b>	
<b>【該当箇所の有無】</b>	該当箇所の有無をチェックします。
<b>【断熱材の施工法】</b>	断熱材の施工法を、内断熱・外断熱・両面断熱・充填断熱・外張断熱・内張断熱から選択します。
<b>5) 開口部</b>	
<b>【断熱性能】</b>	断熱性能が熱貫流率の場合、チェックします。 熱貫流率は $W/(m^2 \cdot K)$ 単位で小数第 2 位まで入力します。
<b>【日射遮蔽性能】</b>	日射遮蔽性能を、開口部の日射熱取得率・ガラスの日射熱取得率・付属部材・ひさし、軒等から選択します。 日射熱取得率は小数第 3 位まで入力します。

## 6)構造熱橋部

【該当箇所の有無】	該当箇所の有無をチェックします。
【断熱性能】	断熱補強の範囲は、mm 単位で小数第 1 位まで入力します。最大値は 9,999.9mm です。 断熱補強の熱抵抗値は、(m <sup>2</sup> ・K)/W 単位で小数第 3 位まで入力します。

## (2)一次エネルギー消費量に関する措置

### 1)屋根又は天井

【暖房】	暖房設備と効率について入力します。
【冷房】	冷房設備と効率について入力します。
【換気】	換気設備と効率について入力します。
【照明】	照明設備について入力します。
【給湯】	給湯設備と効率について入力します。

## 備考

備考

備考を入力します。

## 9.5 住戸タイプ登録

	住戸タイプ名	住戸床面積 [m <sup>2</sup> ]	主たる居室面積 [m <sup>2</sup> ]	その他の居室面積 [m <sup>2</sup> ]	非居室面積 [m <sup>2</sup> ]	ゲストルーム
1	Aタイプ	60.00	21.00	24.00	15.00	<input type="checkbox"/>
2	Bタイプ	72.00	25.20	28.80	18.00	<input type="checkbox"/>
3	Cタイプ	84.00	29.40	33.60	21.00	<input type="checkbox"/>
4	Dタイプ	108.00	37.80	43.20	27.00	<input type="checkbox"/>
5						<input type="checkbox"/>
6						<input type="checkbox"/>
7						<input type="checkbox"/>
8						<input type="checkbox"/>
9						<input type="checkbox"/>
10						<input type="checkbox"/>
11						<input type="checkbox"/>
12						<input type="checkbox"/>
13						<input type="checkbox"/>
14						<input type="checkbox"/>
15						<input type="checkbox"/>
16						<input type="checkbox"/>
17						<input type="checkbox"/>
18						<input type="checkbox"/>
19						<input type="checkbox"/>
20						<input type="checkbox"/>
21						<input type="checkbox"/>

住戸構成図の作成前に、住戸のタイプ名やタイプごとの面積データを用意しておきます。

### 入力項目

項目	説明
住戸タイプ名	住戸の設計タイプ名を入力します。
住戸床面積	床面積を 0.01~7,000.00[m <sup>2</sup> ] の範囲で入力します。
主たる居室面積	主たる居室の面積を 0.01~7,000.00[m <sup>2</sup> ] の範囲で入力します。
その他の居室面積	その他の居室の面積を 0.00~7,000.00[m <sup>2</sup> ] の範囲で入力します。
非居室面積	住戸床面積から居室面積を差し引いた値が表示されます。
ゲストルーム	ゲストルームの場合はチェックします。

また、画面下端のボタンで、登録済みの基礎等の並び順を変更できます。

↑ 前へ移動	行選択されているタイプを、1行前に移動します。複数行まとめて移動が可能です。
↓ 後へ移動	行選択されているタイプを、1行後に移動します。複数行まとめて移動が可能です。

## 9.6 住戸構成図

**階の設定**

階	列数	住戸数	階高 [m]
↑ 上階			
10F	3	2	2.950
9F	3	3	2.950
8F	3	3	2.950
7F	3	3	2.950
6F	3	3	2.950
5F	3	3	2.950
4F	3	3	2.950
3F	3	3	2.950
2F	3	3	2.950
1F	3	1	2.950
↓ 下階			
		合計	27

右側の階表示

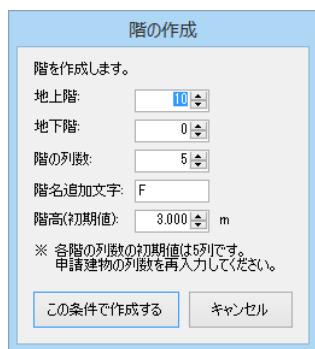
	Aタイプ	Bタイプ	Cタイプ
10F ▼	1001	1002	
9F ▼	901	902	903
8F ▼	801	802	803
7F ▼	701	702	703
6F ▼	601	602	603
5F ▼	501	502	503
4F ▼	401	402	403
3F ▼	301	302	303
2F ▼	201	202	203
1F ▼	101	駐輪場	エントランス

### ツールバー

<input type="checkbox"/> 元に戻す		直前の操作をキャンセルして、一つ前の状態に戻します。
<input type="checkbox"/> やり直し		戻しすぎた操作を一つ後の状態にします。
<input type="button" value="100%"/>		住戸構成図の表示倍率を指定します。
表示倍率		
<input type="checkbox"/> ズームイン		表示中の住戸構成図を拡大表示します。
<input type="checkbox"/> ズームアウト		表示中の住戸構成図を縮小表示します。
セルの結合・分割		作成したセルは分割したり、複数のセルを結合したりすることができます。 (「9.6.2 セルの結合・分割」を参照)
住戸以外の選択		住戸以外'を設定すると、セルに住戸番号やタイプ名が設定されなくなり、設計内容説明書のグループ分類からも除外されます。 室名を選択または編集します。 (「9.6.3 住戸以外の選択」を参照)

住戸タイプ	住戸セルに住戸タイプを設定します。 (「9.6.4 住戸タイプの設定」を参照)
住戸番号	住戸セルに住戸番号を設定します。 (「9.6.5 住戸番号の設定」を参照)
△ エキスパンション ジョイント	エキスパンションジョイント部を設定します。 (「9.6.6 エキスパンション・ジョイントの設定」を参照)
全住戸の選択	セルの操作を行うなどの際に、全住戸を処理対象として選択します。
住戸情報	住戸などに設定されているセルの情報を確認・編集します。 (「0 住戸情報」を参照)

### 9.6.1 階の作成



新規に物件を作成する際に、初めて住戸構成図の処理を選ぶとこの画面が表示されます。

階数と各階の列（セル）数を設定します。

#### 入力項目

項目	説明
地上階	「9.1 基本情報（住宅用）」画面で入力した階数が初期値として表示されます
地下階	が、編集可能です。但し、地上の階数に0は設定できません。
階の列数	各階の列数を入力します。 基本的に列数は各階の住戸数を入力します。初期値は5列となっています。
階名追加文字	階名追加文字を入力します。「1 F ▽」 初期値として“F”が設定されていますが、“FL”等への変更が可能です。

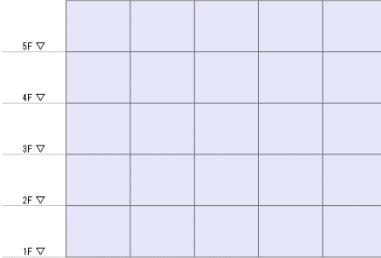
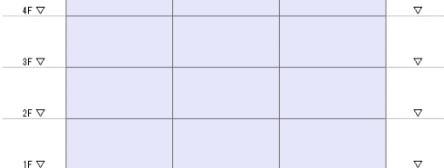
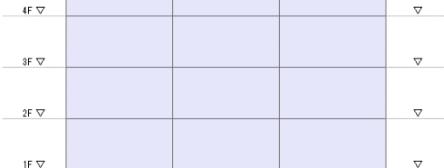
この条件で作成する	設定内容を確定し、ウィンドウを閉じます。
キャンセル	何もせずにウィンドウを閉じます。

## 階の設定

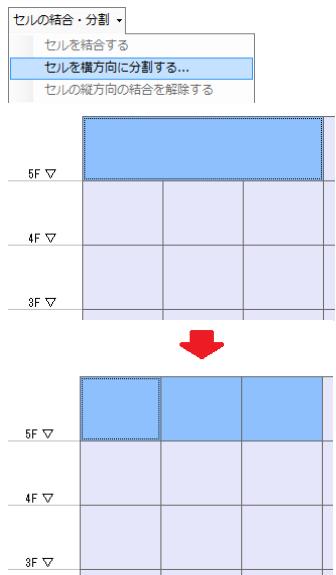
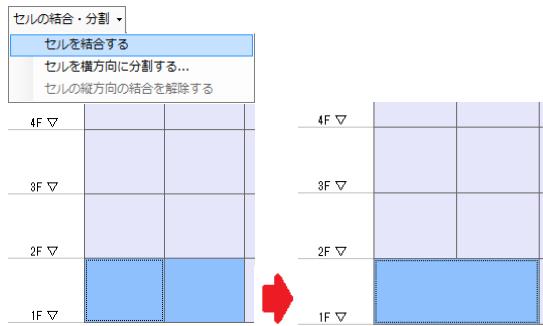
階の設定				
	階	列数	住戸数	階高 [m]
↑ 上階				
	5F	5	5	3.000
	4F	5	5	3.000
	3F	5	5	3.000
	2F	5	5	3.000
	1F	5	5	3.000

各階の列（セル）数等を設定します。入力した値により住戸構成図が表示されます。

## 入力項目

項目	説明
階	階名を入力します。
右階、左階	「右側の階表示」をチェックすると、「右階、左階」と表示が変わります。
列数	各階の列（セル）数を入力します。 <div style="float: right; margin-top: -20px;">              5F ▽         </div>
住戸数	住戸セルの合計が、階ごとに表示されます。 <div style="float: right; margin-top: -20px;">              5F ▽         </div>
<input type="checkbox"/> 右側の階表示	右側の階表示をチェックすると、右側に階表示されます。 <div style="float: right; margin-top: -20px;">              5F ▽         </div>

## 9.6.2 セルの結合・分割

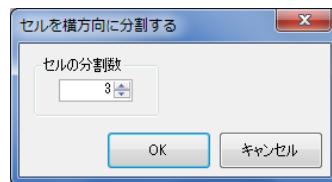


### ■セルを結合

- 1) 結合するセルを範囲選択します。
- 2) 「セルの結合・分割▼」コマンドをクリックして、表示されるメニューの「セルを結合する」を選択します。
- 3) 左図では、2つのセルが1つに結合されました。

### ■セルを横方向に分割する

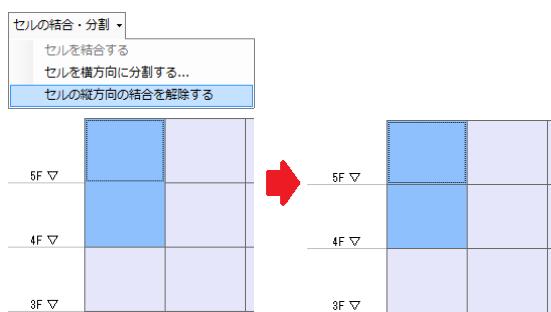
- 1) 分割するセルを選択します。
- 2) 「セルの結合・分割▼」コマンドをクリックして、表示されるメニューの「セルを分割する…」を選択します。
- 3) 「セルの分割」ウィンドウが表示されますので、分割したい数を入力します。



- 4) 左図では3つに分割されました。

※セルの幅は入力された値で均等分割されます。

※設計タイプ名や住戸番号が設定されているセルでも、分割・結合の操作は可能です。



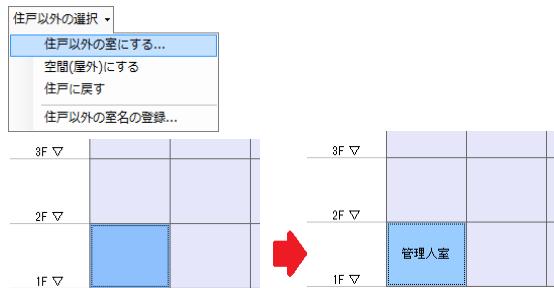
### ■セルの縦方向の結合を解除する

- 1) 解除したい縦方向の結合セルを選択します。
- 2) 「セルの結合・分割▼」コマンドをクリックして、表示されるメニューの「セルの縦方向の結合を解除する…」を選択します。
- 3) 左図では縦方向の結合が解除されました。

### ■セルを削除する

- 1) 解除したいセルを選択します。
- 2) 「セルの結合・分割▼」コマンドをクリックして、表示されるメニューの「セルを削除する」を選択します。
- 3) 左図では4Fの右側のセルが削除されました。
- 4) セル削除により、「階」にセルが1つも存在しないくなる場合には、削除できません。  
画面左端の「階の設定」一覧で、階に対応する行を削除してください。

### 9.6.3 住戸以外の選択



#### ■住戸以外の室にする

- 1) セルを選択します。 (1つでも複数でも可)
- 2) 「住戸以外の選択▼」をクリックして、「住戸以外の室にする」を選択します。
- 3) 「住戸以外の室にする」ウィンドウが表示されま  
すので入力するか、登録済みの室名から選択しま  
す。
- 4) セルに室名が表示され、セルの背景色も空白にな  
ります。

※「住戸に戻す」を選択すると、セルのプロパティが  
住戸に戻され、現在の室名は削除されます。



#### ■空間(屋外)にする

- 1) セルを選択します。 (1つでも複数でも可)
- 2) 「住戸以外の選択▼」をクリックして、「空間(屋  
外)」を選択します。
- 3) セルの背景色および枠線が空白になります。  
セルに室名がある場合は、室名は削除されます。

※「住戸に戻す」を選択すると、セルのプロパティが  
住戸に戻されます。

※枠線を表示させたい場合は、「住戸以外の室にする  
…」で室名を空白に設定してください。

#### ■住戸以外の室名の登録ツール

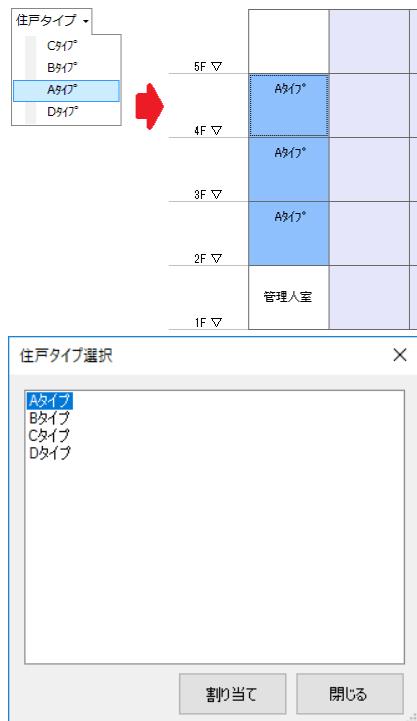
使用頻度の高い住戸以外の室名を登録しておき、別  
物件で再利用することができます。



- 1) 「住戸以外の選択▼」をクリックして、「住戸以  
外の室名の登録…」を選択します。
- 2) 「住戸以外の室名の登録」ウィンドウが表示され  
ますので、変更や追加を行います。
- 3) 編集を終了して「OK」ボタンをクリックすると  
登録されます。

※最大100種類の室名が登録できます。

#### 9.6.4 住戸タイプの設定



住戸タイプを設定したい住戸セルをドラッグして選択しておき、ツールバーの住戸タイプメニューおよび右クリックメニューのリストから住戸タイプ名を指定すると、住戸セルに反映されます。

住戸タイプ名はツールバーまたは右クリックメニューから「住戸タイプを一覧から選択」コマンドを実行して表示される住戸タイプ選択ダイアログからも選択することができます。

割り当てボタン押下で、選択している住戸にタイプが割り当てられます。

また、住戸タイプ選択画面を表示したまま住戸構成図上の住戸を選択することができるため、連続設定が可能です。

## 9.6.5 住戸番号の設定

住戸に住戸番号を一括で割り当てます。

5F ▼				
4F ▼				
3F ▼				
2F ▼				
1F ▼	管理人室			



5F ▼		501	502	503	504
4F ▼	401	402	403	404	405
3F ▼	301	302	303	304	305
2F ▼	201	202	203	204	205
1F ▼	管理人室	101	102	103	104

1) 住戸番号の割り当てる開始位置となるセルを選択します。

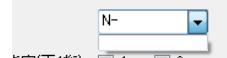
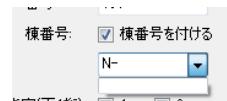
※全住戸を選択すると一括して割り当てることができます。

2) 「住戸番号▼」をクリックして、「住戸番号の割り当て…」を選択すると、「住戸番号の割り当て」ウィンドウが表示されます。

3) このウィンドウで割り当てる範囲、開始住戸番号、欠番指定、階の割り当てる方向について設定して、「OK」をクリックします。

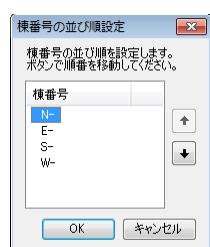
4) 住戸に番号が表示されます。

- 複数住戸を選択して、その範囲内の住戸への割り当ても可能です。
- 同じ住戸番号が発生する場合は、住戸番号の割り当てウィンドウの「棟番号」を使用します。



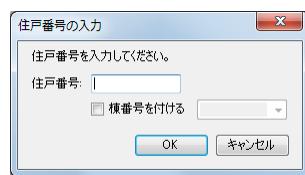
- 「棟番号の並び順設定…」は、棟番号が入力されている場合のみメニューが有効になります。

ここで設定した並び順が、申請書の第四面「住戸に関する事項」の並び順に反映されます。



- 「住戸番号の入力…」をクリックすると、直接入力用のウィンドウが表示されます。

※「住戸以外の室」には番号を割り当てません。



## 9.6.6 エキスパンション・ジョイントの設定

住戸構成図に処理中の目印として、エキスパンション等の位置を表示することができます。

※単なる目印ですので、他の処理に影響しません。



EXPジョイント

1) セルを範囲選択します。

2F ▽				
	管理人室	101	102	103
1F ▽				

2) ツールバー上の△ボタンをクリックします。



3) 最下階の下に、△のマークが表示されます。

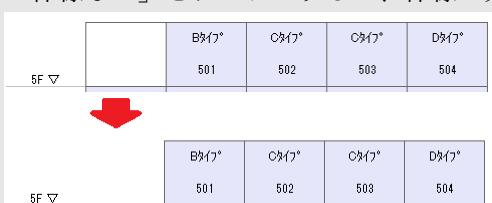
2F ▽				
	管理人室	101	102	103
1F ▽				



## 住戸情報



### 項目の説明

項目	説明
階	住戸がある階が表示されます。
区分	「住戸」「住戸以外の室」「空間」から選択します。
タイプ名	タイプ名が表示されますが、リストから選択して変更することもできます。
住戸番号	住戸番号が表示されますが、入力して変更することもできます。
棟番号を付ける	棟番号が必要な場合は入力します。
評価対象外	評価対象外の住戸の場合にチェックします。
住戸以外の室	「住戸以外の選択」で住戸以外の室を設定したセルにはチェックが付き、室名が表示されます。
空間(屋外)	「住戸以外の選択」で空間を設定したセルには、チェックがつきます。 「枠線なし」をチェックすると、枠線が非表示になります。 

## 9.7 計算住戸の設定

同一条件の複数住戸の中から代表して計算を行う住戸を設定し、その後、同一条件の住戸のグルーピング（色分け）を行います。下段の一覧表には、計算住戸に設定した代表住戸が表示されます。

凡例	グルーピング	計算住戸名	住戸位置	外皮仕様基準 省エネ 説明	メニュー	同一外皮住戸	戸数	同一グループ住戸番号
1	Aタイプ(1F)	Aタイプ-妻	最下階・妻	□	□		1	★101
2	Aタイプ(2F)	Aタイプ-妻	中間階・妻	□	□		8	★201, 301, 401, 501, 601, 701, 801, 901
3	Aタイプ(10F)	Aタイプ-妻	最上階・妻	□	□		1	★1001
4	Bタイプ(2F)	Bタイプ-妻	最下階・中	□	□		1	★202
5	Bタイプ(3F)	Bタイプ-妻	中間階・中	□	□		7	★302, 402, 502, 602, 702, 802, 902
6	Cタイプ(2F)	Cタイプ-妻	最下階・妻	□	□		1	★203
7	Cタイプ(3F)	Cタイプ-妻	中間階・妻	□	□		6	★303, 403, 503, 603, 703, 803
8	Cタイプ(9F)	Cタイプ-妻	最上階・妻	□	□		1	★903
9	Dタイプ(10F)	Dタイプ-妻	最上階	□	□		1	★1002

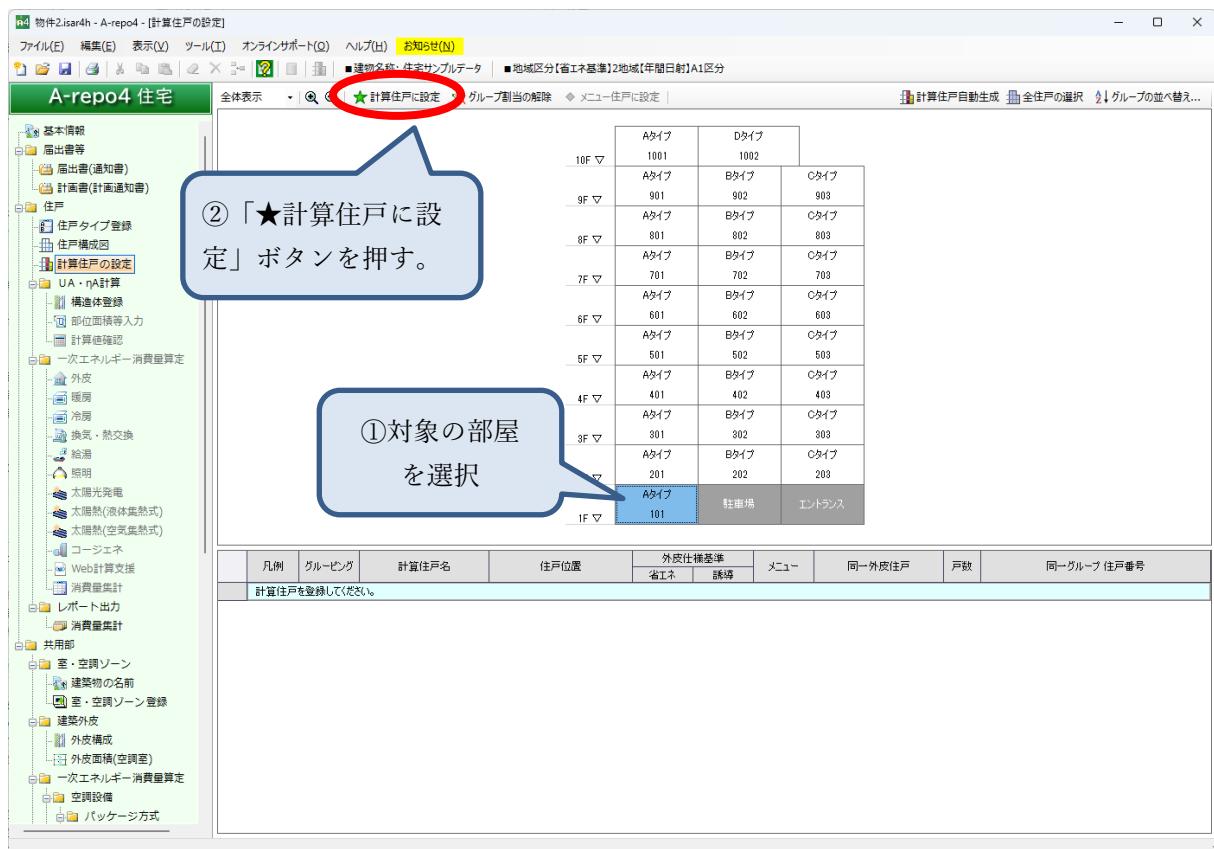
### ツールバー

全体表示 | | ★計算住戸に設定 | グループ割当の解除 | メニュー住戸に設定

全体表示	住戸構成図の表示倍率を指定します。
表示倍率	
ズームイン	表示中の住戸構成図を拡大表示します。
ズームアウト	表示中の住戸構成図を縮小表示します。
計算住戸に設定	同一条件住戸の中から代表する計算住戸を指定します。 (「0」を参照。)
グループ割当の解除	住戸セルを選択し、このメニューをクリックするとグループの設定を解除します。  計算住戸をグループ割当解除した場合（★マークのあるセルの場合）、計算住戸自体は残りますが、住戸構成図のセルへの割当が解除されます。画面下端の一覧では、「凡例」の色がグレーになります。 部位面積等、および一次エネルギー消費量の各設定は残ります。  計算住戸以外をグループ割当解除した場合（★マークのないセルの場合）、画面下端の一覧の右端、「同一グループ住戸番号」から対応するセルの住戸番号が除去されます。)

<p>◆ メニュー住戸に設定</p>	既にグルーピングされている住戸の中から、外皮計算を省略し一次エネルギー消費量算定のみ行う住戸を指定します。 (「9.8.1 メニュー住戸に設定」を参照。)
<p>×</p> 計算／メニュー住戸の削除	計算住戸セル又はメニュー住戸セルを選択し、右ボタンを押して表示されたメニューをクリックするとグループを削除します。 計算住戸セル又はメニュー住戸セル（★又は◆マークのあるセル）でのみ有効です。 グループは完全に削除されます。部位面積等、および一次エネルギー消費量の各設定も削除されます。

計算住戸の設定画面の初期状態では、住戸構成図で設定した各住戸が、全て白色で表示されています。



最初に計算対象となる代表の住戸を設定します。対象の部屋を選択し、「★計算住戸に設定」ボタンを押します。

物件2.iBar4h - A-repo4 - [計算住戸の設定]

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) ツール(T) オンラインサポート(O) ヘルプ(H) お知らせ(N)

■建物名称: 住宅サンプルデータ ■地域区分[省エネ基準]2地域[年間日射]A1区分

A-repo4 住戸

全体表示 ⌂ 検索 ⌂ タブレットモード ⌂ 印刷 ⌂ ■計算住戸に設定 ✎ グループ割当の解除 ◆ メニュー住戸に設定 | 計算住戸自動生成 全住戸の選択 ⌂ グループの並べ替え...

**計算住戸の設定**

階	Aタイプ	Dタイプ
10F ▼	1001	1002
9F ▼	Aタイプ 901	Bタイプ 902
8F ▼	Aタイプ 801	Bタイプ 802
7F ▼	Aタイプ 701	Bタイプ 702
6F ▼	Aタイプ 601	Bタイプ 602
5F ▼	Aタイプ 501	Bタイプ 502
4F ▼	Aタイプ 401	Bタイプ 402
3F ▼	Aタイプ 301	Bタイプ 302
2F ▼	Aタイプ 201	Bタイプ 202
1F ▼	<b>Aタイプ ★101</b>	駐車場

**計算住戸名一覧**

凡例	グルーピング	計算住戸名	住戸位置	外皮仕様基準	メニュー	同一外皮住戸	戸数	同一グループ住戸番号
1		Aタイプ(1F)	最下階	<input type="checkbox"/> 省エネ <input type="checkbox"/> 説得	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1	★101

次に、計算住戸と同じ設定になる、各住戸をグルーピングします。グルーピングする住戸を選び、画面下部の一覧の「グルーピング」ボタンを押します。

物件2.iBar4h - A-repo4 - [計算住戸の設定]

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ツール(T) オンラインサポート(O) ヘルプ(H) お知らせ(N)

■建物名称: 住宅サンプルデータ ■地域区分[省エネ基準]2地域[年間日射]A1区分

A-repo4 住戸

全体表示 ⌂ 検索 ⌂ タブレットモード ⌂ 印刷 ⌂ ■計算住戸に設定 ✎ グループ割当の解除 ◆ メニュー住戸に設定 | 計算住戸自動生成 全住戸の選択 ⌂ グループの並べ替え...

**計算住戸の設定**

階	Aタイプ	Dタイプ
10F ▼	<b>Aタイプ ★1001</b>	1002
9F ▼	Aタイプ 901	Bタイプ 902
8F ▼	Aタイプ 801	Bタイプ 802
7F ▼	Aタイプ 701	Bタイプ 702
6F ▼	Aタイプ 601	Bタイプ 602
5F ▼	Aタイプ 501	Bタイプ 502
4F ▼	Aタイプ 401	Bタイプ 402
3F ▼	Aタイプ 301	Bタイプ 302
2F ▼	<b>Aタイプ ★201</b>	Bタイプ 202
1F ▼	<b>Aタイプ ★101</b>	駐車場

**計算住戸名一覧**

凡例	グルーピング	計算住戸名	住戸位置	外皮仕様基準	メニュー	同一外皮住戸	戸数	同一グループ住戸番号
1		Aタイプ(1F)	最下階	<input type="checkbox"/> 省エネ <input type="checkbox"/> 説得	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1	★101
2		Aタイプ(10F)	最上階	<input type="checkbox"/> 省エネ <input type="checkbox"/> 説得	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1	★1001
3		Aタイプ(2F)	中階階	<input type="checkbox"/> 省エネ <input type="checkbox"/> 説得	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1	★201

グルーピングした各住戸は、計算住戸と同じ色・模様になります。

また、計算住戸は住戸番号の前に「★」マークが付き、同じグループの住戸と区別することができます。

物件2.isar4h - A-repo4 - [計算住戸の設定]

ファイル(E) 編集(B) 表示(V) ツール(T) オンラインサポート(Q) ヘルプ(H) お知らせ(N)

■建物名称: 住宅サンプルデータ ■地域区分【省エネ基準】2地域【年間日射】A1区分

A-repo4 住宅

全表示 検索 計算住戸に設定 グループ割当の解除 新規戸に設定 計算住戸自動生成 全住戸の選択 グループの並べ替え...

基本情報 届出書等 届出書(通知書) 計画書(計画通知書) 住戸 住戸タイプ登録 住戸構成図 計算住戸の設定 UA・A計算 構造体登録 部位面積等入力 計算確認 一次エネルギー消費量算定 外皮 壁面 冷房 換気・熱交換 給湯 照明 太陽光発電 太陽熱(液体集熱式) 太陽熱(空気集熱式) コージエ Web計算支援 消費量集計 レポート出力 消費量集計 共用部 室・空調ゾーン 建築物の名前 室・空調ゾーン登録 建築外皮 外皮構成 外皮面積(空調室) 一次エネルギー消費量算定 空調設備 パッケージ方式

10F ▼ 9F ▼ 8F ▼ 7F ▼ 6F ▼ 5F ▼ 4F ▼ 3F ▼ 2F ▼ 1F ▼

	Aタイプ	Dタイプ
★1001	1002	
901	902	903
801	802	803
701	702	703
601	602	603
501	502	503
401	402	403
301	302	303
★201	202	203
101	駐車場	エントランス

凡例	グルーピング	計算住戸名	住戸位置	外皮仕様基準		メニュー	同一外皮住戸	戸数	同グループ 住戸番号
				省エネ	誘導				
1		Aタイプ(1F)	最下階	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				1 ★101
2		Aタイプ(10F)	最上階	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				1 ★1001
3		Aタイプ(2F)	中階階	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				8 ★201, 301, 401, 501, 601, 701, 801, 901

## 計算住戸に設定

<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td>Aタイプ ★501</td><td>Bタイプ 502</td><td>Bタイプ 503</td><td>Cタイプ 504</td><td>Dタイプ 505</td></tr> <tr><td>Aタイプ 401</td><td>Bタイプ 402</td><td>Bタイプ 403</td><td>Cタイプ 404</td><td>Dタイプ 405</td></tr> </table>	Aタイプ ★501	Bタイプ 502	Bタイプ 503	Cタイプ 504	Dタイプ 505	Aタイプ 401	Bタイプ 402	Bタイプ 403	Cタイプ 404	Dタイプ 405	<p>住戸セルを選択しておいて、このメニューをクリックすると住戸セルがグループの色で塗られます。</p>
Aタイプ ★501	Bタイプ 502	Bタイプ 503	Cタイプ 504	Dタイプ 505							
Aタイプ 401	Bタイプ 402	Bタイプ 403	Cタイプ 404	Dタイプ 405							

## グループ設定表示欄

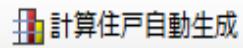
凡例	グループ名	計算住戸名	住戸位置	外皮仕様基準		メニュー	同一外皮住戸	戸数	同一グループ住戸番号
				省エネ	誘導				
1		Aタイプ(1F)	最下階・妻	<input type="checkbox"/>	1 ★101				
2		選択している住戸を計算住戸グループに追加します		<input type="checkbox"/>	3 ★201, 301, 401				
3		Aタイプ(5F)	最上階	<input type="checkbox"/>	1 ★501				

計算住戸を設定するたびに、その内容が表示欄に追加されていきます。

<b>凡例</b> 	<p>グループの色が表示されます。</p> <p>セルをダブルクリックすると、色を変更することができます。</p> <p>さらに [色の選択...] を押せば、詳細に色を指定できます。</p>
<b>グループ名</b> 	<p>住戸セルを選択しておいて、既にグループの色が表示されている行のこのボタンをクリックすると、住戸セルがグループの色で塗られます。</p> <p>「グループ割当の解除」により、凡例がグレーになっている行を再度グループ化した場合、グループ化を行ったセルが計算住戸になり、セルの住戸番号に「★」マークが付きます。</p>
<b>計算住戸名</b>	計算住戸に設定したセルのタイプ名と住戸番号が表示されます。
<b>住戸位置</b>	計算住戸を指定した際に自動表示されますが、リストから選択して変更することもできます。
<b>外皮仕様基準 省エネ</b>	仕様基準により外皮性能を評価する場合にチェックします。

外皮仕様基準 省エネ	誘導仕様基準により外皮性能を評価する場合にチェックします。
メニュー	メニュー住戸に設定されたときチェック <input checked="" type="checkbox"/> マークが表示されますが、リストから変更することはできません。
同一外皮住戸	既に登録済の計算住戸をリスト表示します。
戸数	「グルーピング」で指定した住戸の合計が表示されます。
同一グループ住戸番号	「グルーピング」で指定した住戸番号が表示されます。

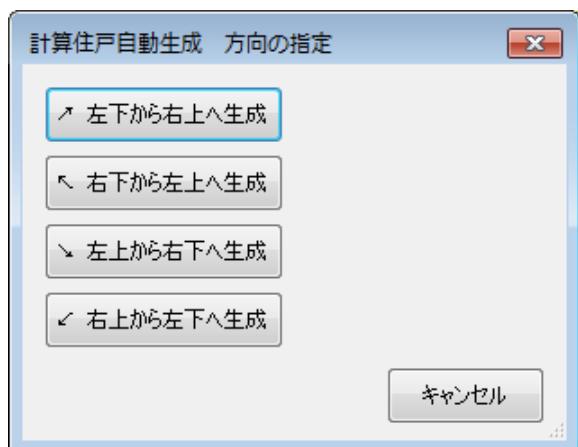
## 9.7.1 計算住戸自動生成



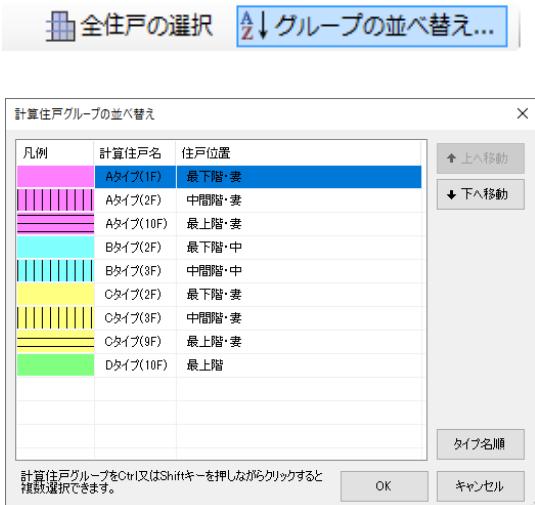
「住戸構成図」画面で設定した住戸タイプ毎に、最下階・中間階・最上階 の3種類の計算住戸を自動生成し、各室に割り当てます。

既に計算住戸が存在する場合は、既存の計算住戸を使用し、住戸タイプ・上中下の組み合わせに該当する計算住戸が無い場合には、新しく計算住戸を作成し、割り当てます。

自動生成の際には、ダイアログボックスが表示され、どの方向から計算住戸を自動生成するかを指定することができます。



## 9.7.2 計算住戸(グループ)の並べ替え



計算住戸を設定するたびにグループが追加されていきますので、必要に応じて並び順を変更することができます。

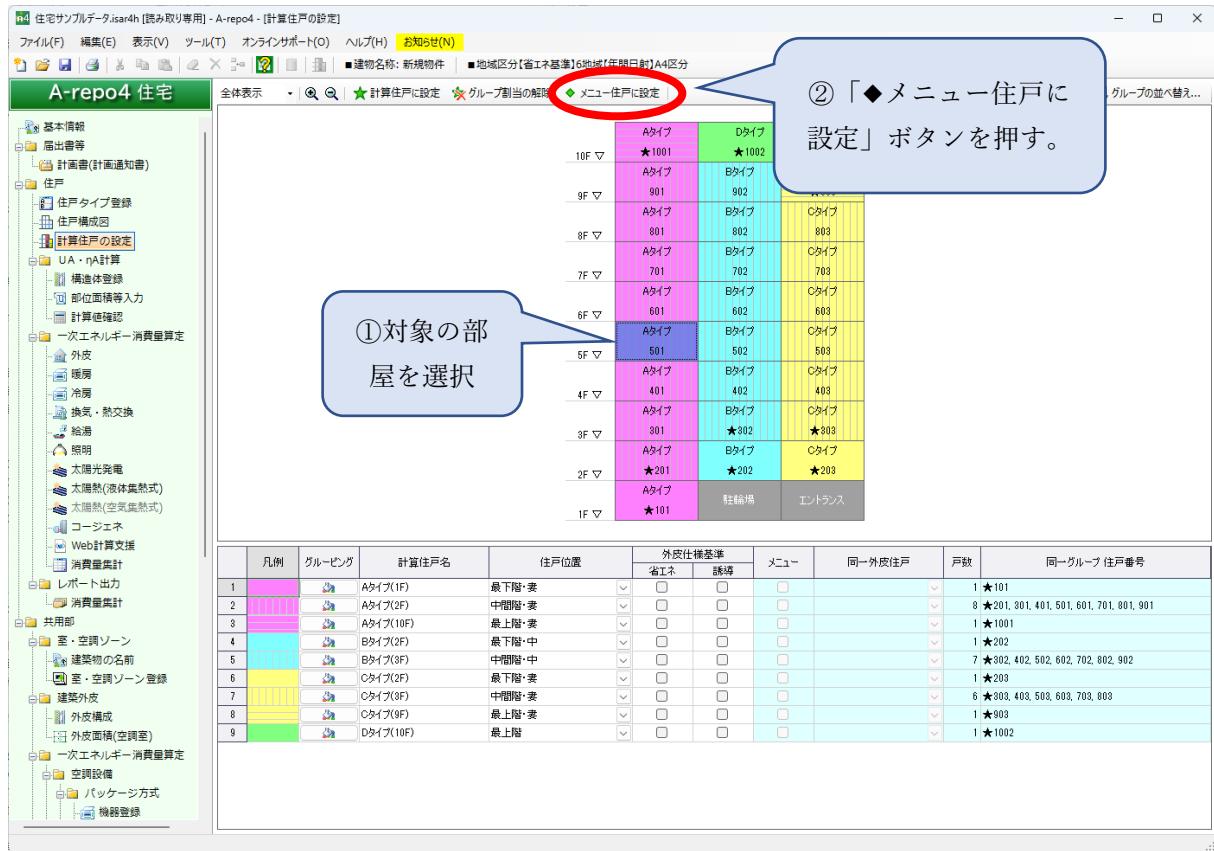
<b>↑ 上へ移動</b>	住戸タイプ色～住戸位置までの一行のデータを、一つ上（または下）の行に移動します。
<b>↓ 下へ移動</b>	階（降順）毎のタイプ名（昇順）で並べ替えます。
<b>タイプ名順</b>	
<b>OK</b>	このボタンを押すと設定を完了して画面を閉じます。
<b>キャンセル</b>	何もせずに、この画面を閉じます。

## 9.8 メニュー住戸に設定

既にグルーピングされている住戸に対して、外皮計算を省略して一次エネルギー消費量算定を行う住戸を設定します。

### 9.8.1 メニュー住戸に設定

対象の部屋を選択し、「◆メニュー住戸に設定」ボタンを押します。



既存のグループと重複しない色と模様が自動的に選択され、決定します。色と模様は、手動で変更することもできます。同一外皮住戸には、初期値として元の計算住戸が設定されます。メニュー住戸以外の計算住戸から選択可能です。

Screenshot of the A-repo4 software interface showing the 'Resident Setting' section. On the left, a tree view includes 'Basic Information', 'Resident', 'Resident Type Registration', 'Resident Group Setting' (selected), 'U.A - nA Calculation', 'Building Body Registration', 'Address Registration', 'Calculation Confirmation', 'Once Energy Consumption Calculation', 'Outer Wall', 'Insulation', 'Cold Room', 'Ventilation, Heat Exchange', 'Supply Air', 'Lighting', 'Solar Light', 'Thermal Storage (Liquid Thermal Storage)', 'Thermal Storage (Air Thermal Storage)', 'Cogen', 'Web Calculation Support', 'Consumption Collection', 'Report Output', 'Consumption Collection', 'Common Area', 'Room, Air Conditioning Zone', 'Building Name', 'Room, Air Conditioning Zone Registration', 'Building Outer Wall', 'Outer Wall Reconstruction', 'Outer Wall Insulation (Air Conditioning Room)', 'Once Energy Consumption Calculation', 'Air Conditioning Equipment', 'Packing Method', and 'Machine Registration'. The main area displays a floor plan with 10 floors (1F to 10F) and various rooms. A legend indicates room types: A-type (pink), B-type (light blue), C-type (yellow), and D-type (green). Resident numbers are listed next to each room. Below the floor plan is a table with columns: Example, Grouping, Resident Name, Resident Location, External Wall Standard (State/Work), External Wall Standard (Insulation), Menu, Same External Wall Resident, Number of Residents, and Same Group Resident Number. The table lists 10 residents, each with their room location and group information.

次に、メニュー住戸と同じ設定になる、各住戸をグルーピングします。グルーピングする住戸を選び、画面下部の一覧の「グルーピング」ボタンを押します。

Screenshot of the A-repo4 software interface, similar to the previous one but with annotations. A callout bubble labeled ① 'グルーピングする住戸を選択' (Select the resident to group) points to the floor plan where a specific room is highlighted with a red border. Another callout bubble labeled ② '「グルーピング」ボタンを押す。' (Press the 'Grouping' button) points to the bottom table where a row is highlighted with a blue circle, indicating it has been selected for grouping.

グルーピングした各住戸は、メニュー住戸と同じ色・模様になります。また、メニュー住戸は住戸番号の前に「◆」マークが付き、同じグループの住戸と区別することができます。

---

## 9.8.2 メニュー住戸(グループ)の並べ替え

---

計算住戸と同様、メニュー住戸を設定するたびにグループが追加されていきますので、必要に応じて並び順を変更することができます。

## 9.9 外皮仕様基準の設定

計算住戸に対して、外皮仕様基準を設定します。

	Aタイプ ★1001	Bタイプ ★1002	Cタイプ ★1003
10F ▼	Aタイプ 901 誘導仕様	Bタイプ 902	Cタイプ 803
9F ▼	Aタイプ 901 誘導仕様	Bタイプ 802	Cタイプ 803
8F ▼	Aタイプ 801 誘導仕様	Bタイプ 702	Cタイプ 703
7F ▼	Aタイプ 601 誘導仕様	Bタイプ 602	Cタイプ 603
6F ▼	Aタイプ 501 誘導仕様	Bタイプ 502	Cタイプ 503
5F ▼	Aタイプ 401 誘導仕様	Bタイプ 402	Cタイプ 403
4F ▼	Aタイプ 301 誘導仕様	Bタイプ 302	Cタイプ ★303
3F ▼	Aタイプ ★201 誘導仕様	Bタイプ ★202	Cタイプ ★203
2F ▼	Aタイプ ★101 省エネ仕様	駐輪場	エントランス
1F ▼			

外皮性能を評価する外皮仕様基準にチェック

凡例	グループ	計算住戸名	住戸位置	外皮仕様基準	メニュー	同一外皮住戸	戸数	同一グループ住戸番号
1		Aタイプ(1F)	最下階・妻	<input checked="" type="checkbox"/> 省エネ <input checked="" type="checkbox"/> 誘導	<input type="checkbox"/>	1 ★101	1	
2		Aタイプ(2F)	中間階・妻	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	8 ★201, 301, 401, 501, 601, 701, 801, 901	8	
3		Aタイプ(10F)	最上階・妻	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1 ★1001	1	
4		Bタイプ(2F)	最下階・中	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1 ★202	1	
5		Bタイプ(3F)	中間階・中	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	7 ★302, 402, 502, 602, 702, 802, 902	7	
6		Cタイプ(2F)	最下階・妻	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1 ★203	1	
7		Cタイプ(3F)	中間階・妻	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6 ★303, 403, 503, 603, 703, 803	6	
8		Cタイプ(9F)	最上階・妻	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1 ★903	1	
9		Dタイプ(10F)	最上階	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1 ★1002	1	

仕様基準により外皮性能を評価する場合は、「外皮仕様基準」 - 「省エネ」にチェック。

誘導仕様基準により外皮性能を評価する場合は、「皮仕様基準」 - 「誘導」にチェック。

戸建住宅の場合は計算値確認画面で、外皮仕様基準を設定します。

選択した外皮仕様基準名は、各住戸構成図に表示されます。また、当該計算住戸の外皮面積を用いたUA・ $\eta$  AC 計算結果は、出力されません。

# 10 『住宅』 UA・ $\eta$ A 値計算

住宅のUA・ $\eta$  A計算を行います。

---

- 10.1 構造体登録
- 10.2 部位面積等登録
- 10.3 計算値確認

## 10.1 構造体登録

UA・ $\eta$ A計算に用いる壁体や窓について、部位名称とその構成材料等を登録します。

開口部 屋根 天井 外壁 床(外気に接する) 床(その他) 基礎等 熱橋部 界壁 界床 日除け

### 10.1.1 開口部の登録

この画面では物件で使用する窓について登録します。最大1000行まで登録できます。

A-repo4 住宅												
開口部 屋根 天井 外壁 床(外気に接する) 床(その他) 基礎等 热橋部 界壁 界床 日除け												
	開口部名称	部位使用	窓/ドア	ドアロック仕様	窓幅 [m]	窓高さ [m]	面積直接入力	面積 [m <sup>2</sup> ]	取得日射熱補正係数算出方法	日除け種類	日除け y1 [m]	日除け z [m]
1	SD1	-	<input type="radio"/>	ドア	2ロック	0.850	2.000	<input type="checkbox"/>	1.70	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
2	AW1	-	<input type="radio"/>	窓/框ドア		3.600	2.000	<input type="checkbox"/>	7.20	簡易法	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
3	AW2	-	<input type="radio"/>	窓/框ドア		3.850	2.000	<input type="checkbox"/>	7.70	簡易法	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
4	AW3	-	<input type="radio"/>	窓/框ドア		4.200	2.000	<input type="checkbox"/>	8.40	簡易法	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
5	AW4	-	<input type="radio"/>	窓/框ドア		1.200	1.000	<input type="checkbox"/>	1.20	簡易法	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
6	AW5	-	<input type="radio"/>	窓/框ドア		1.800	1.000	<input type="checkbox"/>	1.80	簡易法	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
7	AW6	-	<input type="radio"/>	窓/框ドア		1.350	1.000	<input type="checkbox"/>	1.35	簡易法	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
8	AW7	-	<input type="radio"/>	窓/框ドア		1.500	1.000	<input type="checkbox"/>	1.50	簡易法	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
9	AW8	-	<input type="radio"/>	窓/框ドア		1.500	1.000	<input type="checkbox"/>	1.50	簡易法	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
10	AW9	-	<input type="radio"/>	窓/框ドア		4.350	2.000	<input type="checkbox"/>	8.70	簡易法	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
11	AW10	-	<input type="radio"/>	窓/框ドア		3.700	2.000	<input type="checkbox"/>	7.40	簡易法	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
12	AW11	-	<input type="radio"/>	窓/框ドア		1.600	1.000	<input type="checkbox"/>	1.60	簡易法	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
13	AW12	-	<input type="radio"/>	窓/框ドア		1.100	1.000	<input type="checkbox"/>	1.10	定数	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
14	AW13	-	<input type="radio"/>	窓/框ドア		1.200	1.000	<input type="checkbox"/>	1.20	簡易法	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
15	AW14	-	<input type="radio"/>	窓/框ドア		1.350	1.000	<input type="checkbox"/>	1.35	簡易法	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
16	AW15	-	<input type="radio"/>	窓/框ドア		1.500	1.000	<input type="checkbox"/>	1.50	簡易法	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
17		-										
18		-										
19		-										
20		-										
21		-										
22		-										
23		-										

### 項目の説明

項目	説明
開口部名称	開口部の名称を登録します。 部位記号を新しく入力する場合には、直前の行の数字以外の文字列が自動的に先頭に追加されます。先頭文字列が同じで、連続した番号の符号を入力する場合には、数字を入力するだけで符号を作成することができます。また、セルをダブルクリックするか <input type="button" value="..."/> ボタンを押すと、開口部詳細入力ウィンドウが表示されます。（「10.1.1.1 開口部詳細ウィンドウ（使用データ：計算）」を参照）
部位使用	[部位面積等入力] 画面で使用されている場合に「○」が表示されます。
窓/ドア ～ 基準日射熱取得率	開口部詳細ウィンドウにおける入力内容が表示されます。また、窓幅、窓高さ、面積、日除けの種類は開口部詳細ウィンドウで設定後、当該画面で編集が可能です。 簡略法は、ドア又は隣接空間に通ずる開口の場合以外で詳細法が選択可能な場合に編集が可能です。
印刷	チェックすると、出力帳票「部位リスト（屋根・壁・床）」に、構造体の詳細情報が印刷されます。

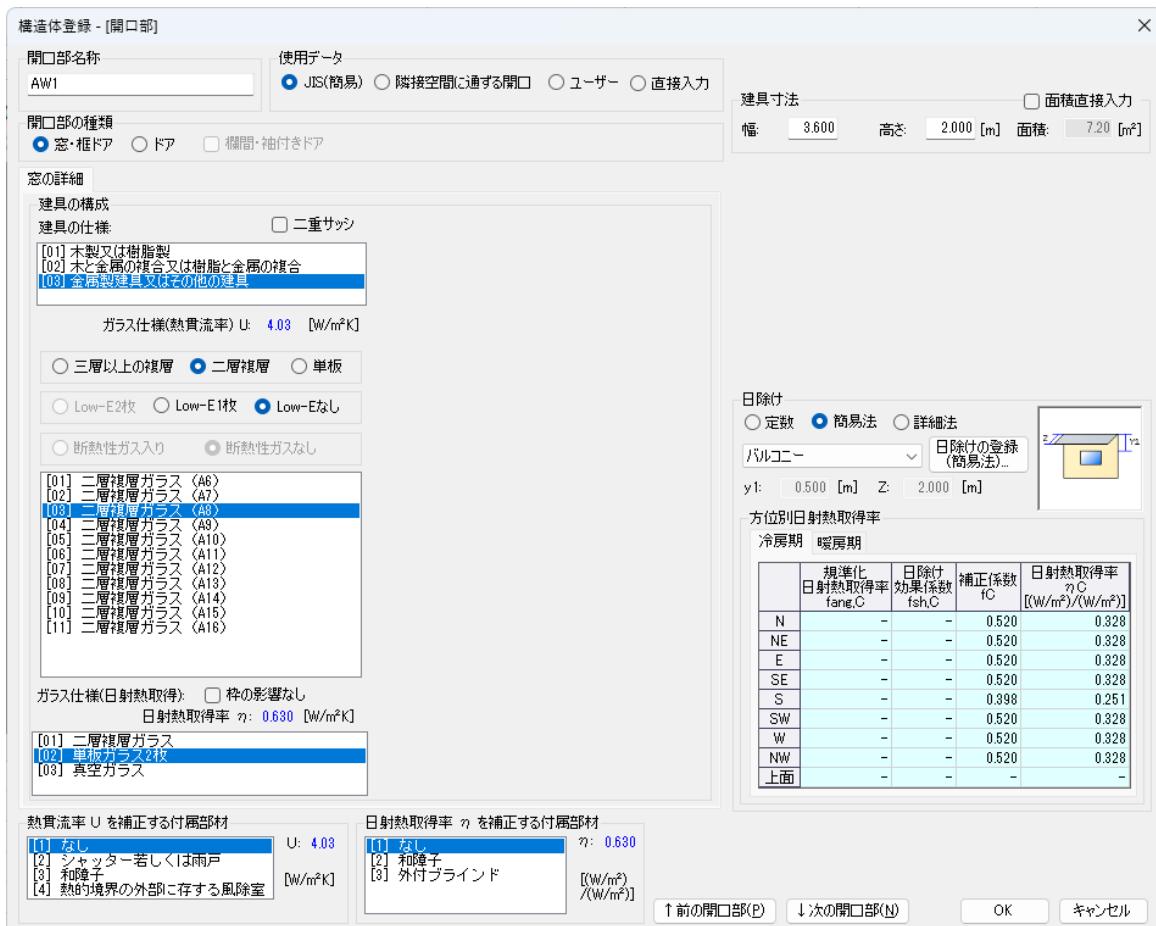
また、画面下端のボタンで、登録済みの部位の並び順を変更できます。

↑ 前へ移動	行選択されている開口部を、1行前に移動します。複数行まとめて移動が可能です。
↓ 後へ移動	行選択されている開口部を、1行後に移動します。複数行まとめて移動が可能です。
部位使用の構造体のみ「印刷」チェック	部位床面積等入力画面で使用されている部材の「印刷」設定をすべてチェックし、使用されていない部材の「印刷」設定をすべてチェックなしにします。現在開いている部位だけではなく、開口部～界床まですべての部位に対して「印刷」設定を変更します。
開口部一括変更	複数の開口部の仕様を一括で変更する為の機能です。
開口部一括複製	複数の開口部の仕様を一括で複製する為の機能です。

#### 10.1.1.1 開口部詳細ウィンドウ（使用データ：計算）

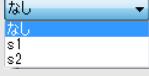
登録する開口部の構成を、リストから選択しながら設定します。

##### ① 窓・框ドア（一重窓）

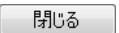


## 項目の説明

項目	説明
開口部名称	前画面で入力した名称が表示されます。この画面でも入力または変更することができます。
<b>使用データ</b>	
JIS(簡易)	建具仕様以降の各項目を設定することで、窓熱貫流率および日射熱取得率が算出されます。
隣接空間に通ずる開口	空気の流れを抑制する部材のあり／なしを選択することで、窓熱貫流率および日射熱取得率が算出されます。
ユーザー	ユーザーが独自に登録したデータを使用することができます。 (「10.1.1.2 開口部詳細ウィンドウ（使用データ：ユーザー）」を参照)
直接入力	手引書データ（マスターデータ）にない窓の構成を登録するために、窓熱貫流率および日射熱取得率を直接入力します。（「10.1.1.3 開口部詳細ウィンドウ（使用データ：直接入力）」を参照）
<b>建具の構成</b>	
建具の構成	「窓・框ドア」、「ドア」を選択します。
欄間・袖付きドア	「ドア」の場合、必要に応じて「欄間・袖付きドア」を選択します。ドアの詳細に加えて窓の詳細も入力可能になります。
建具仕様(外)	建具の仕様をリストから選択します。
二重サッシ	二重サッシの場合、チェックを入れます。 チェックを入れると、左に外側、右に内側の仕様を設定できます。 (二重サッシの場合に追加される項目については「②窓・框ドア（二重窓）」をご参照ください。)
JIS(簡易)の ガラス仕様選択	使用データが「JIS(簡易)」の場合に表示されます。ガラス仕様をラジオボタンで選択します。選択した仕様により、選択できるガラス仕様（熱貫流率）が変化します。 <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="radio"/> 三層複層</li> <li><input checked="" type="radio"/> 二層複層</li> <li><input type="radio"/> 単板</li> <li><input type="radio"/> Low-E2枚</li> <li><input checked="" type="radio"/> Low-E1枚</li> <li><input type="radio"/> Low-Eなし</li> <li><input type="radio"/> 断熱性ガス入り</li> <li><input checked="" type="radio"/> 断熱性ガスなし</li> </ul>
ガラス仕様 (熱貫流率)(外)	ガラス仕様（熱貫流率）をリストから選択します。 これにより、熱貫流率（U）が表示されます。 また、選択した仕様により選択できるガラス仕様（日射熱取得）が変化します。 ※使用データに直接入力を指定した場合は、直接入力します。
枠の影響なし（外）	日射熱取得率の計算に際して、窓枠の影響を考慮するかしないかを指定します。

<b>ガラス仕様 (日射熱取得) (外)</b>	日射熱取得率を決定するガラスの仕様をリストから選択します。これにより、補正前の日射侵入率 ( $\eta$ ) が表示されます。
<b>熱貫流率 U を補正する付属部材</b>	シャッター等の熱貫流率を補正する部材が附属しているか、リストから選択します。 [1]なし 以外を選択した場合には、付属部材を考慮した熱貫流率 (U) が表示されます。
<b>日射熱取得率 <math>\eta</math> を補正する付属部材</b>	ブラインド等の日射熱取得率を補正する部材が附属しているか、リストから選択します。 [1]なし 以外を選択した場合には、付属部材を考慮した日射熱取得率 ( $\eta$ ) が表示されます。
<b>建具寸法</b>	
<b>幅(X2)、高さ(Y2)</b>	開口部の 幅、および高さを設定します。
<b>面積直接入力</b>	この項目をチェックすることにより、面積を直接入力することができます。
<b>面積</b>	幅と高さを入力した場合、自動で計算されます。面積直接入力をチェックすると幅・高さを入力せず、面積だけを入力することもできます。
<b>日除け</b>	
<b>日除け種類</b>	別途日除けを登録するとリストに追加され、ここで選択することができます。 
	簡易法の場合：次項の[日除けの登録(簡易法)]ボタンから開く子画面で入力します。
	詳細法の場合：構造体登録画面の日除けタブの一覧に入力します。
<b>日除けの登録 (簡易法)...</b>	日除けを登録できます。（「⑥日除けの登録ウィンドウ」を参照）
<b>サイズ</b>	簡易法の場合：「⑥日除けの登録ウィンドウ」で登録した寸法が表示されます。 詳細法の場合：「なし」および「日除け」で登録した寸法が表示されます。
<b>方位別 日射熱取得率</b>	方位別日射熱取得率の計算法を「定数」、「簡易法」、「詳細法」のいずれかから選択すると、下段に計算結果が表示されます。
<b>縦寸法比</b>	入力した庇寸法から計算された値が表示されます。

## ツール

	現在の設定内容を登録して、登録済みの前の窓データに移ります。 ※ショートカットキー…Alt+「P」
	現在の設定内容を登録して、登録済みの次の窓データに移ります。 ※ショートカットキー…Alt+「N」
	現在の設定内容を登録して、画面を閉じます。 どれか他の選択項目でダブルクリックした場合も同様です。
	この画面で設定したことを保存せずに前の画面に戻ります。

## ② 窓・框ドア（二重窓）



二重窓の場合は、外側・内側それぞれのガラスについて、建具・ガラス仕様(熱貫流)・ガラス仕様(日射熱取得)・枠の影響有無を設定します。枠で囲われた箇所が一重窓の設定と異なる箇所です。赤枠部分内側の建具に関する設定欄です。（項目の詳細説明は外側と同様のため「①窓・框ドア（一重窓）」を参照。）

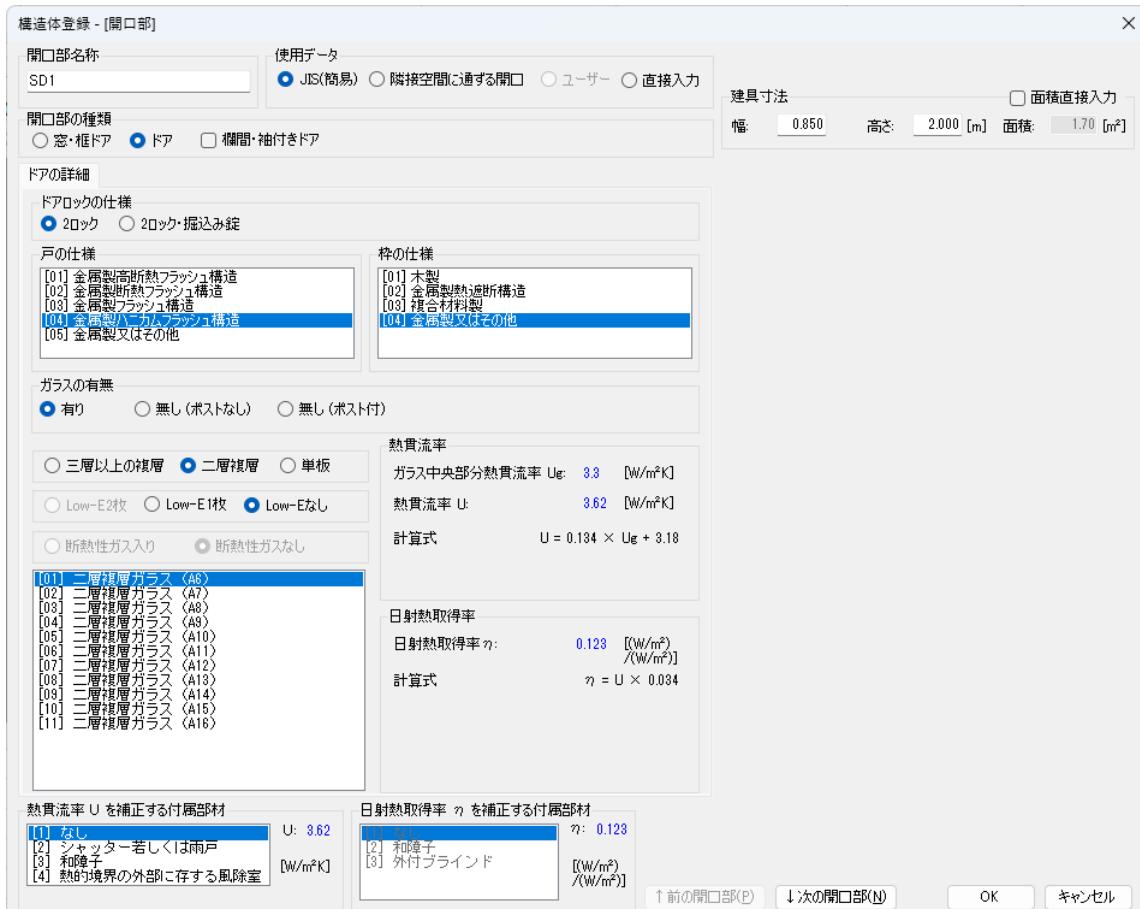
### 項目の説明

項目	説明
<b>(内側)建具寸法</b>	
	二重窓の場合は、外側・内側それぞれのガラスについて、建具寸法を設定することができます。
内側寸法を別途入力する	二重窓の場合で、外側の建具寸法と内側の建具寸法が同じ場合、この項目のチェックを外すことにより、内側の建具寸法の入力を省略することができます。
幅(X2)、高さ(Y2)	開口部の幅、および高さを設定します。
面積直接入力	この項目をチェックすることにより、面積を直接入力することができます。
面積	幅と高さを入力した場合、自動で計算されます。面積直接入力をチェックすると幅・高さを入力せず、面積だけを入力することもできます。

### 開口部全体

二重窓の場合に、外側ガラスと内側ガラスの両方の設定に基づいた、建具全体での熱貫流率と日射熱取得率が表示されます。

③ ドア



ドアを選択した場合は設定項目が変化します。

※Ver4.0.7より、開口部の種類で「ドア」を選択した場合でも日除け入力欄が表示されるようになりました。

※Ver4.0.56までの物件データの場合、Ver4.0.57以降で保存するまでは、開口部の種類で「ドア」を選択した場合でも日除け入力欄が表示されます。Ver4.0.57以降は表示されません。

項目の説明

項目	説明
<b>ドアの詳細</b>	
ドアロックの仕様	2ロック／2ロック・握り込み鉄のいずれかを選択します。
戸の仕様	戸の仕様をリストから選択します。
枠の仕様	枠の仕様をリストから選択します。
ガラスの有無	ガラスの有無、ポストの有無を選択します。
JIS(簡易)の ガラス仕様選択	ガラス仕様をラジオボタンで選択します。選択した仕様により、選択できるガラス仕様（熱貫流率）が変化します。
ガラス仕様(熱貫流)	ガラス種類をリストから選択します。

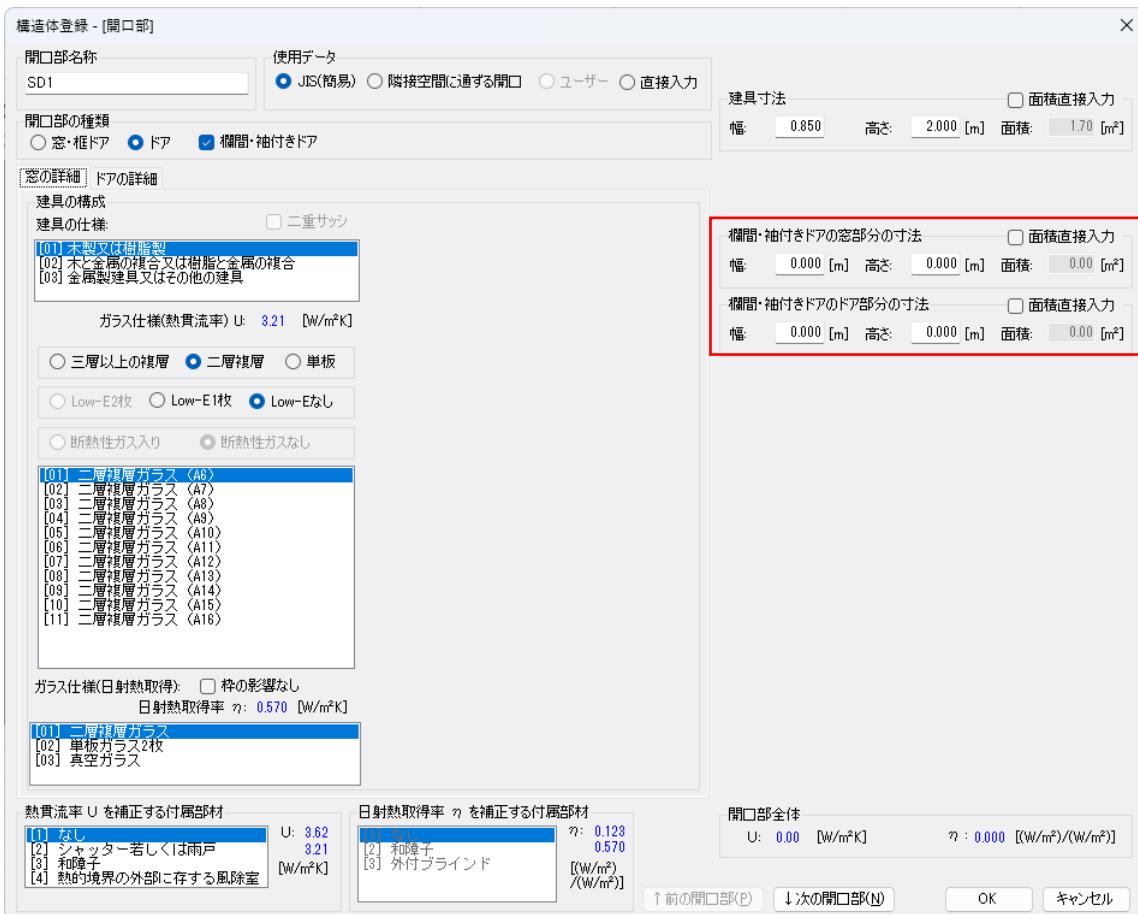
熱貫流率	熱貫流率を算出して表示します。算出根拠（計算式）は画面の通りです。
日射熱取得率	日射熱取得率算出して表示します。算出根拠（計算式）は画面の通りです。
熱貫流率 U を補正する付属部材	選択した付属部材の影響を考慮した、補正 U 値を計算します。
日射熱取得率 $\eta$ を補正する付属部材	選択はできません。 ドアの場合、 $\eta$ 値は補正後の U 値を元に計算されるため、U を補正する付属部材の設定により、 $\eta$ 値も再計算されます。

#### 建具寸法

幅(X2)、高さ(Y2)	開口部の 幅、および高さを設定します。
面積直接入力	この項目をチェックすることにより、面積を直接入力することができます。
面積	幅と高さを入力した場合、自動で計算されます。面積直接入力をチェックすると幅・高さを入力せず、面積だけを入力することもできます。

#### ④ ドア（欄間・袖付きドア）

《窓の詳細設定画面》

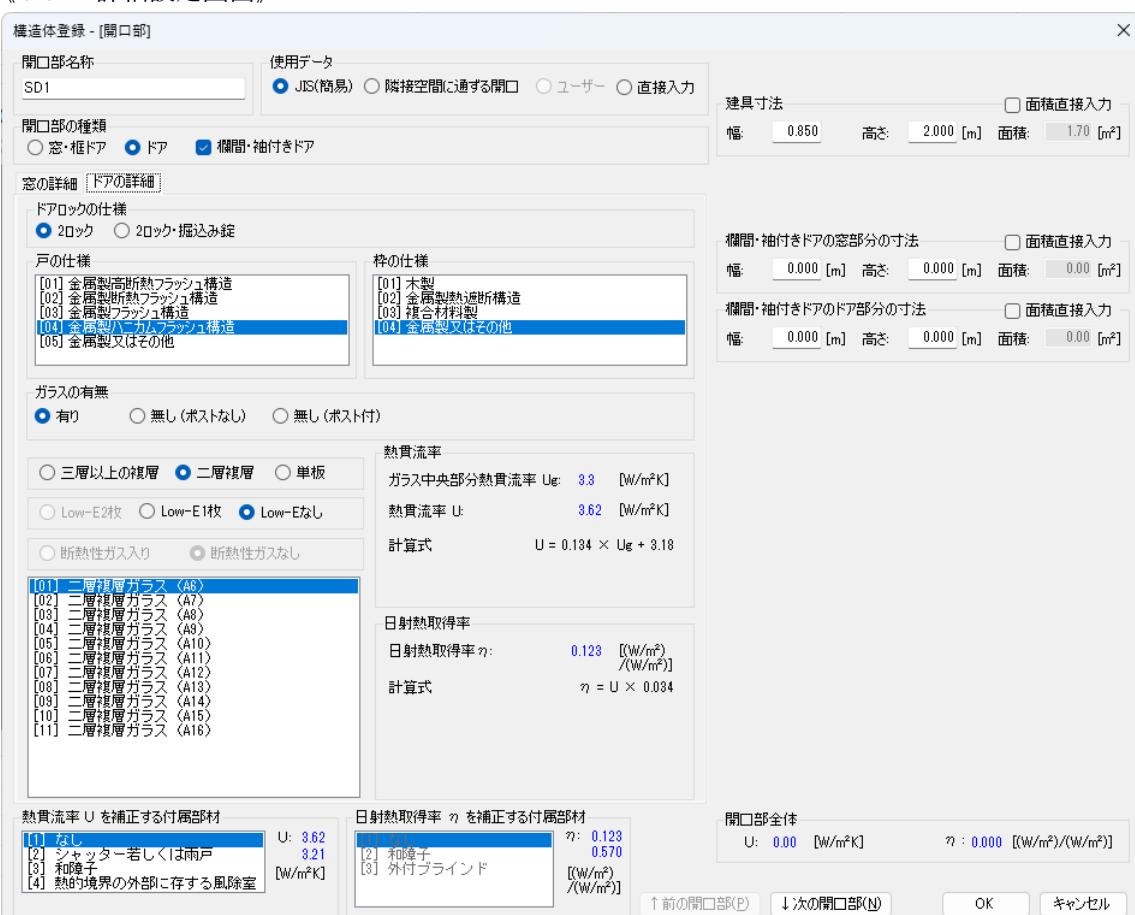


窓の詳細とドアの詳細をそれぞれ設定します。この画面は窓の詳細設定画面です。ここでは赤枠部分の項目について説明します。（枠外の部分は「窓・框ドア（一重窓）」と同様のため同項目を参照）

## 項目の説明

項目	説明
<b>欄間・袖付きドアの窓部分の寸法</b>	
幅(X2)、高さ(Y2)	欄間・袖付きドアの窓部分の 幅、および高さを設定します。
面積直接入力	この項目をチェックすることにより、面積を直接入力することができます。
面積	幅と高さを入力した場合、自動で計算されます。面積直接入力をチェックすると幅・高さを入力せず、面積だけを入力することもできます。
<b>欄間・袖付きドアのドア部分の寸法</b>	
幅(X2)、高さ(Y2)	欄間・袖付きドアのドア部分の 幅、および高さを設定します。
面積直接入力	この項目をチェックすることにより、面積を直接入力することができます。
面積	幅と高さを入力した場合、自動で計算されます。面積直接入力をチェックすると幅・高さを入力せず、面積だけを入力することもできます。

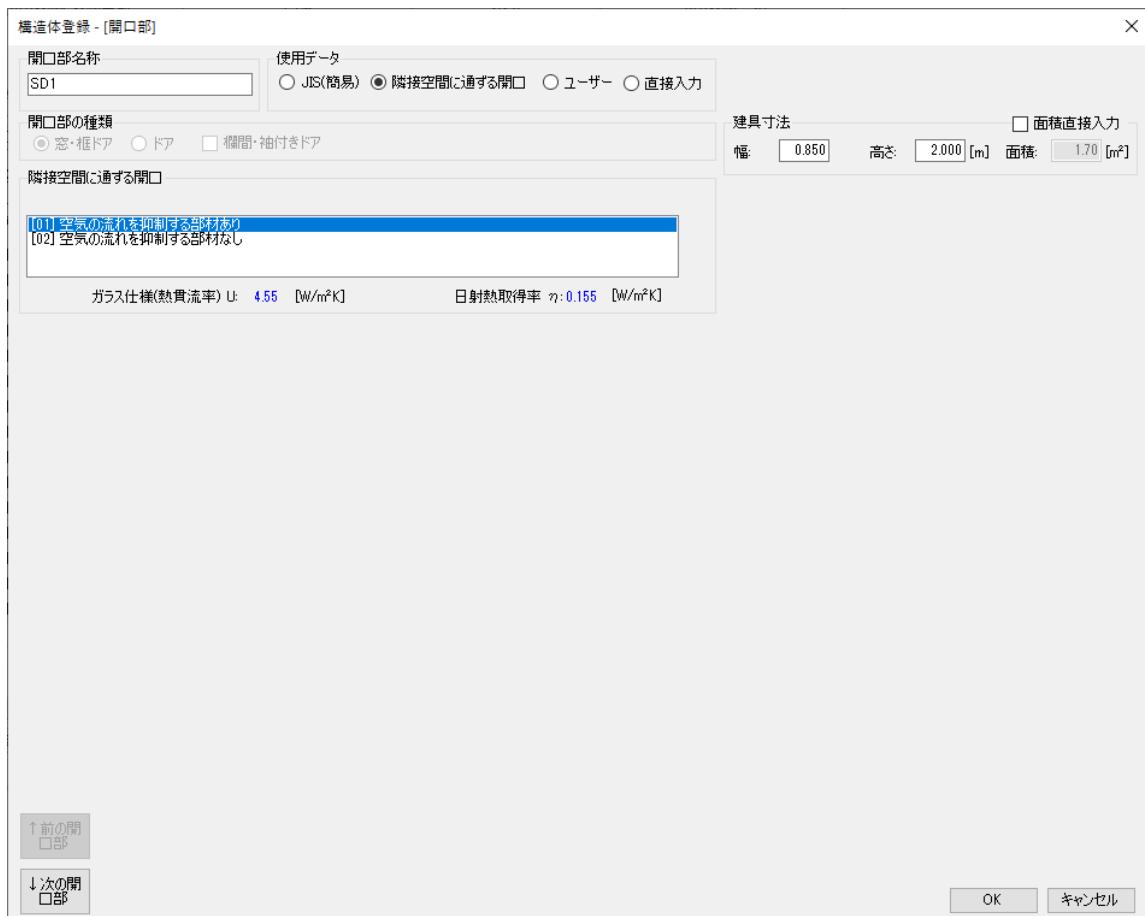
《ドアの詳細設定画面》



この画面はドアの詳細設定画面です。（項目は「ドア」と同様のため同項目を参照）

## ⑤ 隣接空間に通ずる開口

隣接空間に通ずる開口を選択した場合は設定項目が変化します。



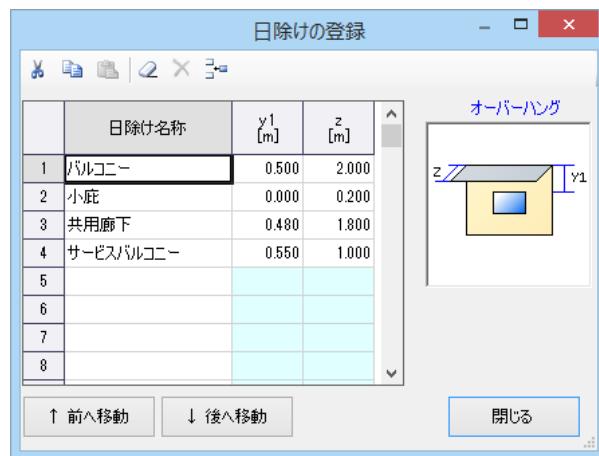
隣接空間に通ずる開口の設定に不要な項目は非表示になります。

### 項目の説明

項目	説明
隣接空間に通ずる開口	隣接空間に通ずる開口の仕様をリストから選択します。
<b>建具寸法</b>	
幅、高さ	開口部の 幅、および高さを設定します。
面積直接入力	この項目をチェックすることにより、面積を直接入力することができます。
面積	幅と高さを入力した場合、自動で計算されます。面積直接入力をチェックすると幅・高さを入力せず、面積だけを入力することもできます。

## ⑥ 日除けの登録ウィンドウ

簡易法を選択したときに使用する日除けの登録画面です。



### 項目の説明

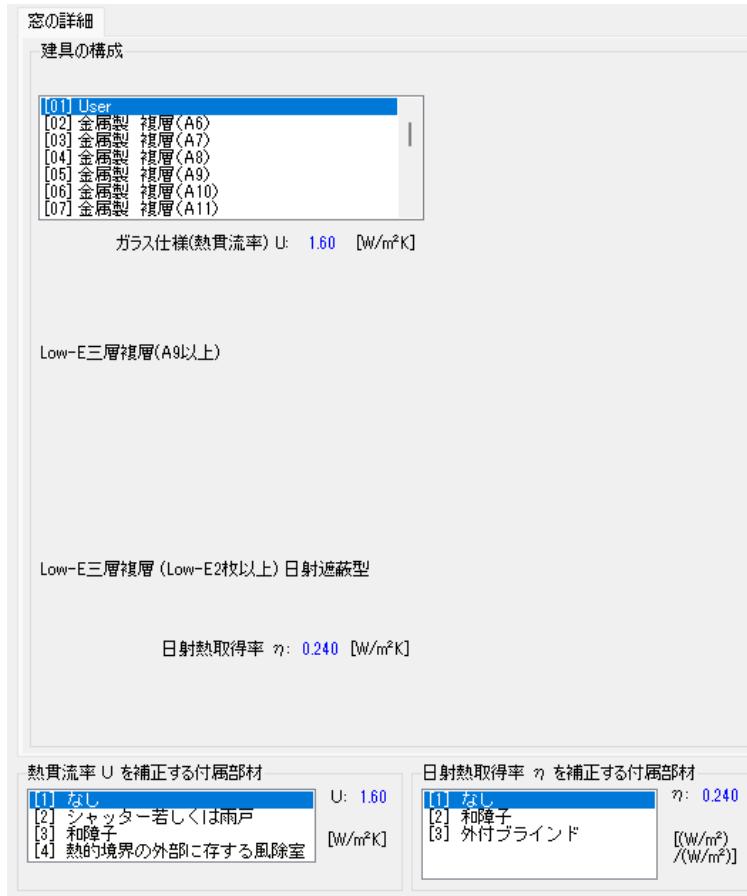
項目	説明
日除け記号	日除けの記号を入力します。
y1	窓からの離れ寸法を 0.001~99.999 (m) の範囲で入力します。
z	庇の出寸法を 0.001~99.999 (m) の範囲で入力します。

また、画面下端のボタンで、登録済みの外壁の並び順を変更できます。

↑ 前へ移動	行選択されている日除けを、1行前に移動します。複数行まとめて移動が可能です。
↓ 後へ移動	行選択されている日除けを、1行後に移動します。複数行まとめて移動が可能です。

### 10.1.1.2 開口部詳細ウィンドウ（使用データ：ユーザー）

登録する窓の構成を、ユーザーが登録したリストから選択しながら設定します。



「建具名称」のリストボックスに、登録済みのユーザーデータの一覧が表示されます。

選択したユーザーデータに登録されている。熱貫流率 U、および日射熱取得率  $\eta$ （補正前）の値が使用されます。

熱貫流率 U を補正する付属部材 を設定することにより、付属部材の影響を考慮した U 値が計算されます。

日射熱取得率  $\eta$  を補正する付属部材 については、「ユーザーデータの登録」であらかじめ定義していた、付属部材毎の値が読み出され、使用されます。

登録は、ツールメニューの「ユーザーデータの登録」から行います。

建具仕様	ガラス仕様(熱貫流)	ガラス仕様 (日射熱取得)	ガラス仕様 の区分	熱貫流率U [W/m <sup>2</sup> K]		日射熱得率 η	
				ガラスのみ	和障子	ガラスのみ	和障子
User	Low-E三層複層(A9以上)	Low-E三層複層 (Low-E2枚以上) 日射遮蔽型	1層	1.60	0.240	0	
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							

閉じる キャンセル

#### 項目の説明

項目	説明
建具仕様	建具の仕様をリストから選択します。選択した仕様により選択できるガラス品種が変化します。
ガラス仕様(熱貫流)	熱貫流に関するガラス仕様をリストから選択します。手入力も可能です。
ガラス仕様(日射熱取得)	日射熱取得に関するガラス仕様をリストから選択します。手入力も可能です。
ガラス仕様の区分	ガラス仕様の区分をリストから選択します。※初期値は1層。
熱貫流率 U	建具の熱貫流率を 0.01~99.99 (W/m <sup>2</sup> K) の範囲で入力します。
日射熱取得率 η	「ガラスのみ」「和障子」「外付けブラインド」それぞれの日射熱取得率を 0.001~99.999 の範囲で入力します。

### 10.1.1.3 開口部詳細ウィンドウ（使用データ：直接入力）

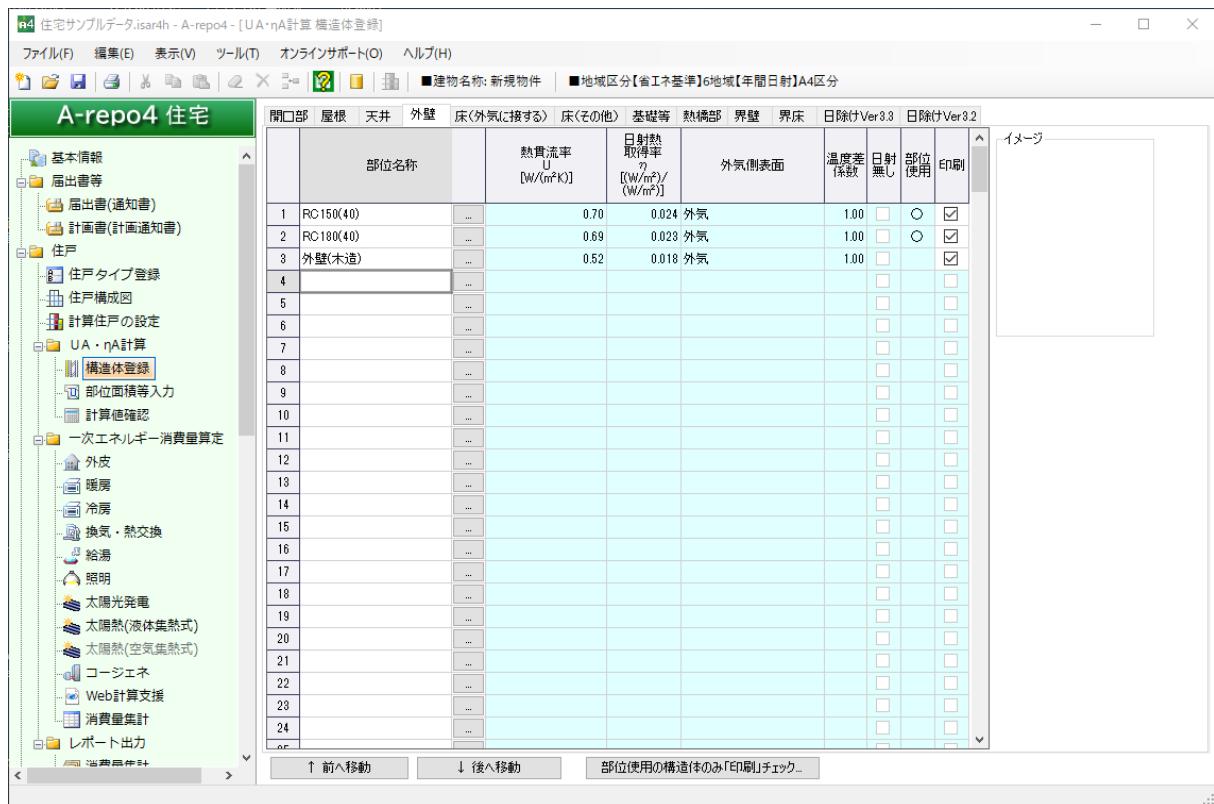
登録する建具の構成を手入力で設定します。

建具の構成	
建具の仕様:	(建具の仕様手入力) <input type="text"/>
ガラス仕様(熱貫流):	(ガラス仕様(熱貫流)手入力) <input type="text"/>
ガラス仕様(日射熱取得):	Low-E三層複層 (Low-E2枚以上) 日射取得型 <input type="text"/>
ガラス仕様の区分:	<input checked="" type="radio"/> 1層 <input type="radio"/> 2層 <input type="radio"/> 3層以上
熱貫流率 U:	0.00 [W/m <sup>2</sup> K] <input type="text"/>
日射熱取得率 $\eta$ :	0.000 [-] <input type="text"/>
※直接入力では付属品を選択しても、熱貫流率の補正は行われません。	

#### 項目の説明

項目	説明
<b>建具の構成</b>	
建具の仕様	建具の仕様を一覧から選択します。 「(建具の仕様手入力)」を選んだ場合、次欄に自由入力できます。
ガラス仕様(熱貫流)	ガラスの仕様(熱貫流)を一覧から選択します。 「(ガラス仕様(熱貫流)手入力)」を選んだ場合、次欄に自由入力できます。
ガラス仕様(日射熱取得)	ガラスの仕様(日射熱取得)を一覧から選択します。 「(ガラス仕様(日射熱取得)手入力)」を選んだ場合、次欄に自由入力できます。
ガラスの仕様の区分	ガラスの仕様の区分をラジオボタンで選択します
熱貫流率 U	建具の熱貫流率を0~99.99[W/m <sup>2</sup> h]の範囲で入力します。
日射熱取得率 $\eta$	建具の日射熱取得率を0~99.999の範囲で入力します。

## 10.1.2 屋根、天井、外壁、床(外気に接する)、床(その他)、界壁、界床の登録



この画面では、物件で使用している外壁について登録します。最大 300 行まで登録できます。

### 項目の説明

項目	説明
部位名称	部位名称を半角 60 文字以内で入力します。 英数字の組み合わせで入力した後、次の行で数値のみを入力すると、英文字部分が先頭に自動的に挿入されます。 <u>10.1.2.1 また、セルをダブルクリックするか [...] ボタンを押すと 「10.1.3 構造体登録ウィンドウ (RC 造等、断面構成同一) 」が表示されます。</u>
熱貫流率 U	<u>10.1.2.2 「10.1.3 構造体登録ウィンドウ (RC 造等、断面構成同一) 」における計算結果が表示されます。</u>
日射熱取得率 η	〃
外気側表面	設定内容が表示されます。
温度差係数	〃
日射無し	設定内容が表示されます。編集はできません。
部位使用	[部位面積等入力] 画面で使用されている場合に「○」が表示されます。
印刷	チェックすると、出力帳票「部位リスト (屋根・壁・床)」に、構造体の詳細情報が印刷されます。

#### 構造体イメージ

#### 10.1.2.3 「 10.1.3 構造体登録ウィンドウ (RC 造等、断面構成同一)」

で作成した壁体イメージが表示されます。

また、画面下端のボタンで、登録済みの外壁の並び順を変更できます。

##### ↑ 前へ移動

行選択されている外壁を、1行前に移動します。複数行まとめて移動が可能です。

##### ↓ 後へ移動

行選択されている外壁を、1行後に移動します。複数行まとめて移動が可能です。

#### 部位使用の構造体のみ「印刷」チェック

部位床面積等入力画面で使用されている部材の「印刷」設定をすべてチェックし、使用されていない部材の「印刷」設定をすべてチェックなしにします。

現在開いている部位だけではなく、開口部～界床まですべての部位に対して「印刷」設定を変更します。

### 10.1.3 構造体登録ウィンドウ (RC 造等、断面構成同一)

構造が RC 造等または断面構成同一の場合の外皮の構成を材料リストから選択して登録します。熱貫流率は自動計算されます。

**構造体登録 - [外壁]**

部位名称

RC150(40)

外気側表面

外気

Rsi

0.11

Rse

0.04

温度差係数

1.0

日射無し

適用構造・断熱工法

RC造等

建材番号	建材名称	熱伝導率 λ [W/(mK)]	厚さ d [mm]		d/λ [m <sup>2</sup> ·K/W]		画像番号
			一般部	その他	一般部	その他	
屋外 ↓ 1	103 アスファルト類	0.110	10.0		0.091		
2	591 硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号	0.023	50.0		2.174		
3	41 コンクリート	1.600	200.0		0.125		
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

熱貫流率  $U_n = 1 / (R_{si} + \sum(d/\lambda) + R_{se})$

平均熱貫流率  $UA = \sum(U_n \times A_n)$

日射熱取得率  $\eta = 0.034 \times U$

$\sum(d/\lambda) [m^2K/W]$	2.390
熱貫流率 [W/m <sup>2</sup> K]	0.39
面積比 An	1.000
熱貫流率 U [W/(m <sup>2</sup> K)]	0.39
日射熱取得率 η [(W/m <sup>2</sup> )/(W/m <sup>2</sup> )]	0.013

↑ 前の外壁(P)
↓ 次の外壁(N)
閉じる
キャンセル

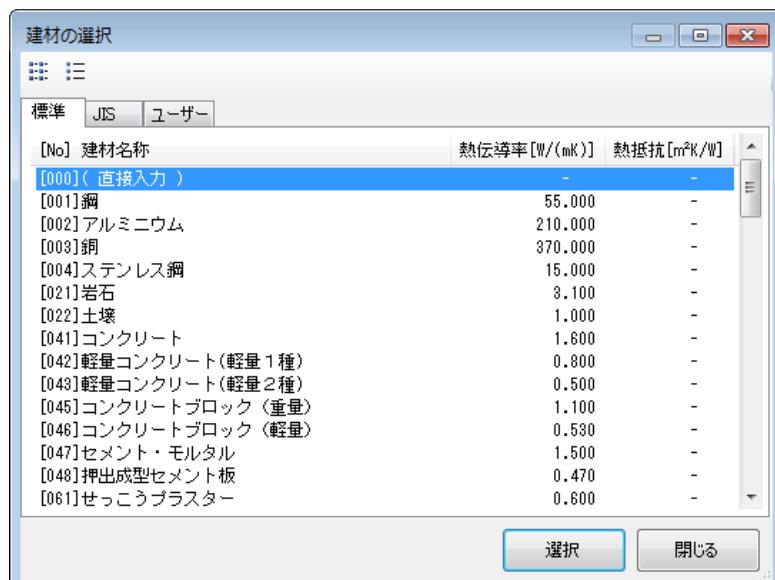
#### 項目の説明

項目	説明
部位名称	前画面で入力した部位名称が表示されますが、この画面でも入力または変更することができます。変更する場合は半角 60 文字以内で入力します。
外気側表面	外気側表面の状況をリストから選択します。構造体の区分によっては、変更できない場合があります。
温度差係数	温度差係数をリストから選択します。
日射無し	日射無しの場合チェックします。
適用する構造・断熱工法	構造および断熱工法をリストから選択します。

番号	リストから選択すると、その番号が表示されます。 また、リストから選択する代わりに、予め拾い用紙に記入された材料番号を直接入力することもできます。
建材名称	リストで選択した名称が表示されますが、変更することができます。 リストの（直接入力）を選んだ場合も同様です。 '番号'または'建材名称'のセルをダブルクリックすると、外皮材料をリストが表示されます。
熱伝導率 $\lambda$	リストで選択した材料の熱伝導率が表示されます。 リストの（直接入力）を選んだ場合は、0.001～999.999 の範囲で入力します。
厚さ $d$	材料の厚さを 0.1～9999.0 (mm) の範囲で入力します。
$d/\lambda$	構成材料ごとの $d/\lambda$ 値が表示されます。
画像番号	リストの（直接入力）を選んだ場合は、セルをクリックすると外皮イメージ選択リストが表示されます。
構造体イメージ	壁体構成のイメージ図が表示されます。 ※外壁および界壁は縦方向に、屋根・天井・床・界床は横向きに表示されます。 ※外壁は屋外側から、界壁は隣接住戸側から、屋根・天井・床・界床は上から順に材料登録してください。

↑前の外壁	現在の設定内容を登録して、前の壁体データに移ります。
↓次の外壁	現在の設定内容を登録して、次の壁体データに移ります。
閉じる	現在の設定内容を登録して、画面を閉じます。
キャンセル	何もせずに、この画面を閉じます。

## ① 外皮材料リスト

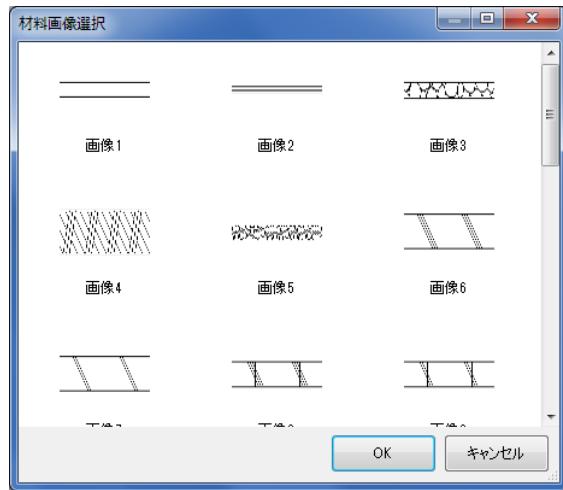


## ツール

	リストを名称のみの一覧表示に切り替えます。
	名称、熱伝導率等が表示されます。
	材料名をクリック指定しておいて、このボタンを押すと前画面に1行の材料データが追加されます。材料名をダブルクリックしても同様です。 ボタンを押すまでは連続して選択することができます。 ※前画面で既存の材料名からこのリストを表示した（変更モードの）場合は、選択ボタンを押すと、自動的にこの画面を閉じます。
	何もせず、この画面を閉じます。

※登録済みの材料を変更する場合は、「OK」「キャンセル」ボタンになります。

## ② 材料画像選択ウィンドウ



	イメージをクリック指定において、このボタンを押すと選択を完了して画面を閉じます。
	何もせずに、この画面を閉じます。

### 10.1.3.1 構造体登録ウィンドウ（ユーザー定義）

外皮の材料の熱伝導率を直接手入力します。入力した材料は、既存の材料と同様に外皮の入力で使用できます。

ユーザーデータの登録

開口部	壁体構成建材
	建材名 熱伝導率λ 断熱材フラグ 热抵抗R 热抵抗上限値 建材イメージ 热橋イメージ
1	吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材 B種1 0.026 <input checked="" type="checkbox"/> 1016 1016
2	○○○○断熱材 0.027 <input checked="" type="checkbox"/> 1016 1016
3	天然木材 0.150 <input type="checkbox"/> 1024 なし
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	

イメージ  
建材  
X  
热橋  
X

閉じる キャンセル

計算による場合と同様に、構造体イメージを作成するため、構成材料や画像番号を選択することができます。

（「10.1.1.1 開口部詳細ウィンドウ（使用データ：計算）」を参照）

## 項目の説明

項目	説明
建材名	建材名称を入力します。
熱伝導率 $\lambda$	熱伝導率を 0.001~999.999 の範囲で入力します。
断熱材フラグ	断熱材であればチェックします。
熱抵抗 $R$	熱抵抗値を 0.001~999.999 の範囲で入力します。
熱抵抗値の上限	熱抵抗の上限値を 0.001~999.999 の範囲で入力します。
建材イメージ	建材イメージをプルダウンリストから選択します。 
熱橋イメージ	熱橋イメージをプルダウンリストから選択します。

<input type="button" value="閉じる"/>	現在の設定内容を登録して、画面を閉じます。
<input type="button" value="キャンセル"/>	何もせずに、この画面を閉じます。

### 10.1.3.2 構造体登録ウィンドウ(鉄骨造)

構造が鉄骨造の場合の外皮の構成を建材リストから選択して登録します。熱貫流率は自動計算されます。

通常の外皮の構成とは別に、断熱補強部についても別途 構成を登録します。

構造体登録 - [外壁]

部位名称	外気側表面	Rsi	Rse	温度差係数	日射無し	適用構造・断熱工法
ALC(鉄骨)	外気	0.11	0.04	1.0	<input type="checkbox"/>	鉄骨造

番号	建材番号	建材名称	熱伝導率 [W/(m·K)]	外装材	厚さ d [mm]	d/ $\lambda$ [m <sup>2</sup> ·K/W]	画像
屋外	1	401 軽量気泡コンクリートパネル(ALC/パネル)	0.190	<input checked="" type="checkbox"/>	65.0	0.342	
↓	2	124 グラスウール断熱材 24K相当	0.038	<input type="checkbox"/>	50.0	1.316	
室内	3						
	4						
	5						

番号	建材名称	熱伝導率	厚さ	d/ $\lambda$
断熱補強	1 144 ロックウール断熱材(ボード)	0.036	25.0	0.694
2				
3				
4				
5				

熱貫流率  $U_n = 1/(R_{si} + \sum(d/\lambda) + R_{se}) + U_{r,s}$

平均熱貫流率  $U_A = (\sum(U_n \times A_n))$

日射熱取得率  $\eta = 0.034 \times U$

$\sum(d/\lambda) [m^2 K/W]$  1.658

補正前熱貫流率 [W/m<sup>2</sup>K] 0.55

補正熱貫流率  $U_{r,s}$  0.18

面積比  $A_n$  1.000

熱貫流率  $U [W/(m^2 K)]$  0.73

日射熱取得率  $\eta [(W/m^2)/(W/m^2)]$  0.025

## 項目の説明

項目	説明
部位名称	前画面で入力した部材名称が表示されますが、この画面でも入力または変更することができます。変更する場合は半角 60 文字以内で入力します。
外気側表面	外気側表面の状況をリストから選択します。 
Rsi, Rse	部位の種類（外壁、屋根、床等・・・）によって決まる、室内側熱伝達抵抗と外気側熱伝達抵抗を表示します。
温度差係数	温度差係数をリストから選択します。 
日射無し	日射が無い場合にチェックします。
適用する構造・断熱工法	構造をリストから選択します。 

## 一般部材料入力

番号	外皮材料リストから選択すると、その番号が表示されます。 また、リストから選択する代わりに、予め拾い用紙に記入された材料番号を直接入力することもできます。
建材名称	リストで選択した名称が表示されますが、変更することができます。 リストの（直接入力）を選んだ場合も同様です。 '番号'または'建材名称'のセルをダブルクリックすると、外皮材料をリストが表示されます。
熱伝導率 $\lambda$	リストで選択した材料の熱伝導率が表示されます。 リストの（直接入力）を選んだ場合は、0.001~999.999 の範囲で入力します。
外装材	外装材の場合、チェックを On にします。全材料のなかで、1つだけを On にすることができます。外装材の指定は、補正熱貫流率の計算で使われます。
厚さ $d$	材料の厚さを 0.1~9999.0 (mm) の範囲で入力します。
$d/\lambda$	構成材料ごとの $d/\lambda$ 値が表示されます。
画像番号	リストの（直接入力）を選んだ場合は、セルをクリックすると外皮イメージ選択リストが表示されます。

断熱補強部材料入力 断熱補強部の材料構成と厚さを入力します。

番号	外皮材料リストから選択すると、その番号が表示されます。 また、リストから選択する代わりに、予め拾い用紙に記入された材料番号を直接入力することもできます。
建材名称	リストで選択した名称が表示されますが、変更することができます。 リストの（直接入力）を選んだ場合も同様です。 '番号'または'材料名称'のセルをダブルクリックすると、外皮材料をリストが表示されます。
熱伝導率 $\lambda$	リストで選択した材料の熱伝導率が表示されます。 リストの（直接入力）を選んだ場合は、0.001～999.999 の範囲で入力します。
厚さ $d$	材料の厚さを 0.1～9999.0 (mm) の範囲で入力します。
$d/\lambda$	構成材料ごとの $d/\lambda$ 値が表示されます。

構造体イメージ	壁体構成のイメージ図が表示されます。 ※外壁および内壁は縦方向に、屋根、天井・床、外床は横向きに表示されます。 ※外壁は外側から、屋根、天井・床、外床は上から順に材料登録してください。
---------	--

補正熱貫流率表の参照...	鉄骨造時の補正熱貫流率の一覧表を表示します。 現在の設定で使用される補正值のセルがハイライト表示されます。																								
	<p style="text-align: center;"><b>外皮登録詳細_一般_補正值参照</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2">補正熱貫流率</th> </tr> <tr> <th>外装材 + 断熱補強材の熱抵抗 [m<sup>2</sup>K/W]</th> <th>U<sub>r,s</sub></th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1.70以上</td><td>0.00</td></tr> <tr><td>1.70未満 1.50以上</td><td>0.10</td></tr> <tr><td>1.50未満 1.30以上</td><td>0.13</td></tr> <tr><td>1.30未満 1.10以上</td><td>0.14</td></tr> <tr><td>1.10未満 0.90以上</td><td>0.18</td></tr> <tr><td>0.90未満 0.70以上</td><td>0.22</td></tr> <tr><td>0.70未満 0.50以上</td><td>0.40</td></tr> <tr><td>0.50未満 0.30以上</td><td>0.45</td></tr> <tr><td>0.30未満 0.10以上</td><td>0.60</td></tr> <tr><td>0.10未満</td><td>0.70</td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;"><b>OK</b></p>	補正熱貫流率		外装材 + 断熱補強材の熱抵抗 [m <sup>2</sup> K/W]	U <sub>r,s</sub>	1.70以上	0.00	1.70未満 1.50以上	0.10	1.50未満 1.30以上	0.13	1.30未満 1.10以上	0.14	1.10未満 0.90以上	0.18	0.90未満 0.70以上	0.22	0.70未満 0.50以上	0.40	0.50未満 0.30以上	0.45	0.30未満 0.10以上	0.60	0.10未満	0.70
補正熱貫流率																									
外装材 + 断熱補強材の熱抵抗 [m <sup>2</sup> K/W]	U <sub>r,s</sub>																								
1.70以上	0.00																								
1.70未満 1.50以上	0.10																								
1.50未満 1.30以上	0.13																								
1.30未満 1.10以上	0.14																								
1.10未満 0.90以上	0.18																								
0.90未満 0.70以上	0.22																								
0.70未満 0.50以上	0.40																								
0.50未満 0.30以上	0.45																								
0.30未満 0.10以上	0.60																								
0.10未満	0.70																								
↑前の外壁	現在の設定内容を登録して、登録済みの前の壁体データに移ります。																								
↓次の外壁	現在の設定内容を登録して、登録済みの次の壁体データに移ります。																								
閉じる	現在の設定内容を登録して、画面を閉じます。																								
キャンセル	何もせずに、この画面を閉じます。																								

### 10.1.3.3 構造体登録ウィンドウ(木造・簡略計算法①)

木造系の構造・工法を選択した場合には、工法の詳細として、簡略計算法①または詳細計算法（詳細後述）を選択します。

簡略計算法①を選択し、面積比で「部位が2つの場合」を選択した場合、以下内容で入力します。

面積比は[面積比]ボタンから選択します。（操作方法は次ページ）

**構造体登録 - [外壁]**

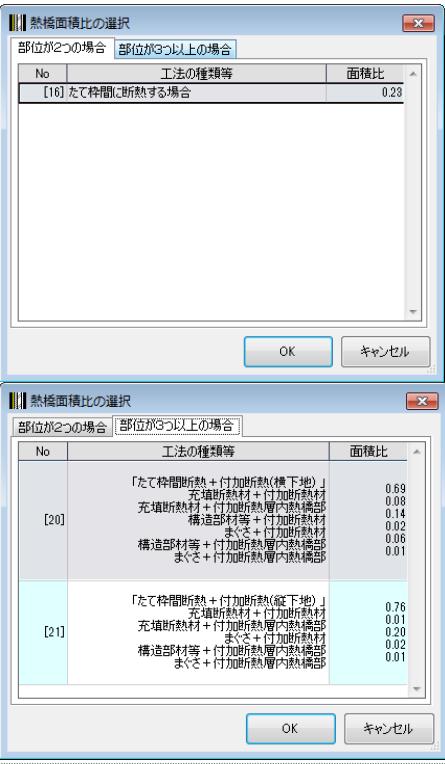
部位名称		外気側表面	Rsi	Rse	温度差係数	日射無し	適用構造・断熱工法	
外壁(木造)		外気	0.11	0.04	1.0	<input type="checkbox"/>	木造軸組	
屋外	1	82 合板	0.160	<input type="checkbox"/>	12.0	12.0	0.075	0.075
	2	310 密閉空気層	-	<input type="checkbox"/>		30.0		0.090
	3	81 天然木材	0.120	<input type="checkbox"/>				
	4	81 天然木材	0.120	<input type="checkbox"/>		80.0		0.667
	5	124 グラスウール断熱材 24K相当	0.038	<input type="checkbox"/>	80.0		2.105	
	6	402 せっこうボードGB-RGB-D,GB-L,GB-NC	0.221	<input type="checkbox"/>	12.5	12.5	0.057	0.057
	7			<input type="checkbox"/>				
	8			<input type="checkbox"/>				
	9			<input type="checkbox"/>				
	10			<input type="checkbox"/>				

热橋部が外張断熱材を貫通する

$\Sigma \{d/\lambda\} [m^2 K/W]$	2.237	0.889
热貫流率 $U [W/m^2 K]$	0.42	0.96
面積比 $A_n$	1.000	
热貫流率 $U [W/(m^2 K)]$	0.42	
日射熱取得率 $\eta [(W/m^2)/(W/m^2)]$	0.014	

#### 項目の説明

項目	説明
木造 工法詳細	計算方法を選択します。 <input checked="" type="radio"/> 木造 工法詳細 <input checked="" type="radio"/> 簡略計算法 <input type="radio"/> 面積比 <input type="radio"/> 詳細計算法

<b>面積比ボタン</b>	<p>工法詳細で「簡略計算法」を選択した際の、面積比を選択します。</p> <p>まず面積比が2種類で構成される場合と、3種類以上で構成される場合をタブで決定し、使用する面積比を選択します。</p>  <table border="1" data-bbox="541 377 933 451"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>工法の種類等</th> <th>面積比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>[16]</td> <td>たて枠間に断熱する場合</td> <td>0.23</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="541 743 933 983"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>工法の種類等</th> <th>面積比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>[20]</td> <td>           「たて枠間に断熱 + 付加断熱(横下地)」            充填断熱材 + 付加断熱材            充填断熱材 + 付加断熱層内熱橋部            構造部材等 + 付加断熱材            まぐさ + 付加断熱材            構造部材等 + 付加断熱層内熱橋部            まぐさ + 付加断熱層内熱橋部         </td> <td>           0.89            0.08            0.14            0.02            0.06            0.01         </td> </tr> <tr> <td>[21]</td> <td>           「たて枠間に断熱 + 付加断熱(底下地)」            充填断熱材 + 付加断熱材            充填断熱材 + 付加断熱層内熱橋部            まぐさ + 付加断熱材            構造部材等 + 付加断熱層内熱橋部            まぐさ + 付加断熱層内熱橋部         </td> <td>           0.76            0.01            0.20            0.02            0.01         </td> </tr> </tbody> </table>	No	工法の種類等	面積比	[16]	たて枠間に断熱する場合	0.23	No	工法の種類等	面積比	[20]	「たて枠間に断熱 + 付加断熱(横下地)」 充填断熱材 + 付加断熱材 充填断熱材 + 付加断熱層内熱橋部 構造部材等 + 付加断熱材 まぐさ + 付加断熱材 構造部材等 + 付加断熱層内熱橋部 まぐさ + 付加断熱層内熱橋部	0.89 0.08 0.14 0.02 0.06 0.01	[21]	「たて枠間に断熱 + 付加断熱(底下地)」 充填断熱材 + 付加断熱材 充填断熱材 + 付加断熱層内熱橋部 まぐさ + 付加断熱材 構造部材等 + 付加断熱層内熱橋部 まぐさ + 付加断熱層内熱橋部	0.76 0.01 0.20 0.02 0.01
No	工法の種類等	面積比														
[16]	たて枠間に断熱する場合	0.23														
No	工法の種類等	面積比														
[20]	「たて枠間に断熱 + 付加断熱(横下地)」 充填断熱材 + 付加断熱材 充填断熱材 + 付加断熱層内熱橋部 構造部材等 + 付加断熱材 まぐさ + 付加断熱材 構造部材等 + 付加断熱層内熱橋部 まぐさ + 付加断熱層内熱橋部	0.89 0.08 0.14 0.02 0.06 0.01														
[21]	「たて枠間に断熱 + 付加断熱(底下地)」 充填断熱材 + 付加断熱材 充填断熱材 + 付加断熱層内熱橋部 まぐさ + 付加断熱材 構造部材等 + 付加断熱層内熱橋部 まぐさ + 付加断熱層内熱橋部	0.76 0.01 0.20 0.02 0.01														
<input checked="" type="checkbox"/> 热橋部が外張り断热材を貫通する	热桥部が外张り断热材を貫通する場合、チェックを On にします。 外张り断热材部分の热抵抗が、0.9 倍で評価されるようになります。															
↑ 前の外壁	现在の设定内容を登録して、登録済みの前の壁体データに移ります。															
↓ 次の外壁	现在の設定内容を登録して、登録済みの次の壁体データに移ります。															
閉じる	现在の設定内容を登録して、画面を閉じます。															
キャンセル	何もせずに、この画面を閉じます。															

#### 10.1.3.4 構造体登録ウィンドウ(木造・詳細計算法または簡略計算法で面積比が3区分以上の場合)

簡易計算法で、3つ以上の構成を選択した場合、および 詳細計算法 の場合は、面積比を構成する各部分を最大8部分まで入力することができます。

**構造体登録 - [外壁]**

部位名称 外壁(木造)	外気側表面 外気	Rsi 0.11	Rse 0.04	温度差係数 1.0	日射無し	適用構造・断熱工法 木造軸組	木造 工法詳細 <input type="radio"/> 簡略計算法 <input checked="" type="radio"/> 面積比
----------------	-------------	-------------	-------------	--------------	------	-------------------	---

屋外	建材番号	建材名称	熱伝導率 [W/(mK)]	厚さ d [mm]				画像番号
				外張 断 一般部	その他1	その他2	その他3	
1	82 合板	0.160	<input type="checkbox"/>	12.0	12.0	12.0		
2	310 密閉空気層	-	<input type="checkbox"/>	30.0				
3	81 天然木材	0.120	<input type="checkbox"/>		30.0			
4	81 天然木材	0.120	<input type="checkbox"/>		80.0	80.0		
5	124 ガラスウール断熱材 24K相当	0.038	<input type="checkbox"/>	80.0				
6	402 せっこうボードGB-R,GB-D,GB-L,GB-NC	0.221	<input type="checkbox"/>	12.5	12.5	12.5		
7			<input type="checkbox"/>					
8			<input type="checkbox"/>					
9			<input type="checkbox"/>					
10			<input type="checkbox"/>					

热橋部が外張断熱材を貫通する

$\Sigma [d/\lambda] [m^2 K/W]$	2.237	0.889	1.049		
熱貫流率 [W/m <sup>2</sup> K]	0.42	0.96	0.88		
面積比 An	1.000				
熱貫流率 U [W/(m <sup>2</sup> K)]					0.42
日射熱取得率 η [(W/m <sup>2</sup> )/(W/m <sup>2</sup> )]					0.014

前の外壁(P)  次の外壁(N)  閉じる  キャンセル

#### 項目の説明

項目	説明
木造 工法詳細	計算方法を選択します。 木造 工法詳細 <input checked="" type="radio"/> 簡略計算法 <input type="radio"/> 面積比  <input type="radio"/> 詳細計算法

#### 材料入力

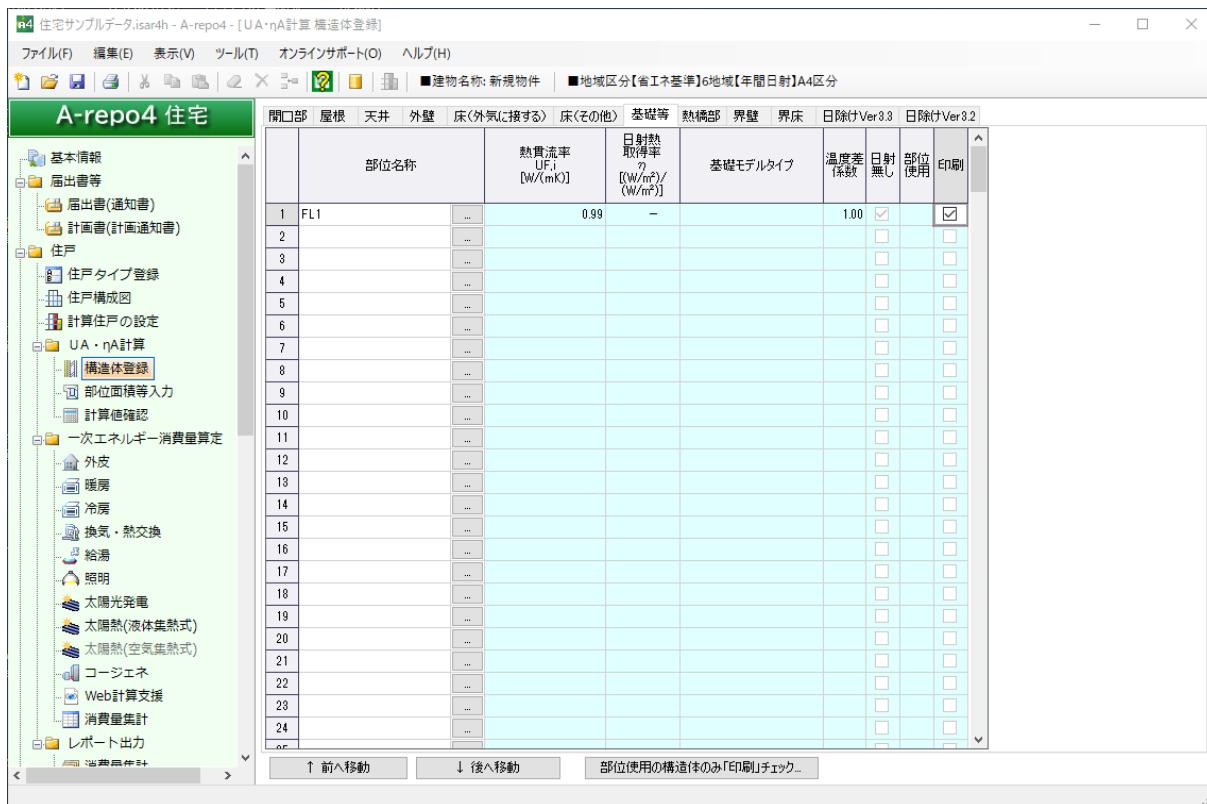
番号	外皮材料リストから選択すると、その番号が表示されます。 また、リストから選択する代わりに、予め拾い用紙に記入された材料番号を直接入力することもできます。
建材名称	リストで選択した名称が表示されますが、変更することができます。 リストの（直接入力）を選んだ場合も同様です。 '番号'または'材料名称'のセルをダブルクリックすると、外皮材料をリストが表示されます。
熱伝導率 λ	リストで選択した材料の熱伝導率が表示されます。 リストの（直接入力）を選んだ場合は、0.001~999.999 の範囲で入力します。

外張断	外張断熱材の場合、チェックを On にします。外張断熱材の指定は、熱橋部が外張り断熱材を貫通する場合に 热貫流率を補正するために使われます。
厚さ d (一般部/ その他1~7)	面積比を構成する各部分別に、 材料の厚さを 0.1~9999.0 (mm) の範囲で入力します。
d/λ (一般部/ その他1~7)	面積比を構成する各部分別に、構成材料ごとの d / λ 値が表示されます。
画像番号	リストの（直接入力）を選んだ場合は、セルをクリックすると外皮イメージ選択リストが表示されます。

構造体イメージ	壁体構成のイメージ図が表示されます。 ※外壁および内壁は縦方向に、屋根、天井・床、外床は横向きに表示されます。 ※外壁は外側から、屋根、天井・床、外床は上から順に材料登録してください。
---------	--

[↑ 前の外壁]	現在の設定内容を登録して、登録済みの前の壁体データに移ります。
[↑ 前の外壁]	現在の設定内容を登録して、登録済みの前の壁体データに移ります。
[↓ 次の外壁]	現在の設定内容を登録して、登録済みの次の壁体データに移ります。
[閉じる]	現在の設定内容を登録して、画面を閉じます。
[キャンセル]	何もせずに、この画面を閉じます。

## 10.1.4 FL 基礎等の登録



この画面は、[構造体登録] 画面で、[基礎等] タブを選択した場合に表示されます。

ここで、以下の操作をすると、「10.1.4.1 構造体登録ウィンドウ（基礎等）」が表示されます。

- ...ボタンをクリックする。
- 明細行でダブルクリックする。

### 項目の説明

項目	説明
部位記号	部位記号を入力します。
熱貫流率 UF	「10.1.4.1 構造体登録ウィンドウ（基礎等）」における計算結果が表示されます。
日射熱取得率 η	基礎では日射熱取得率は計算されないため、"-“が表示されます。
基礎モデルタイプ	設定内容が表示されます。
温度差係数	〃
日射無し	常にチェックありで表示されます。
部位使用	[床・部位面積入力] 画面で使用されている場合に「○」が表示されます。
印刷	チェックすると、出力帳票「部位リスト（屋根・壁・床）」に、構造体の詳細情報が印刷されます。

また、画面下端のボタンで、登録済みの外壁の並び順を変更できます。

↑ 前へ移動	行選択されている基礎等を、1行前に移動します。複数行まとめて移動が可能です。
↓ 後へ移動	行選択されている基礎等を、1行後に移動します。複数行まとめて移動が可能です。
部位使用の構造体のみ「印刷」チェック	部位床面積等入力画面で使用されている部材の「印刷」設定をすべてチェックし、使用されていない部材の「印刷」設定をすべてチェックなしにします。現在開いている部位だけではなく、開口部～界床まですべての部位に対して「印刷」設定を変更します。

#### 10.1.4.1 構造体登録ウィンドウ（基礎等）

ここでは、基礎等の詳細について登録します。

##### ① 基礎形状によらない値を用いる方法



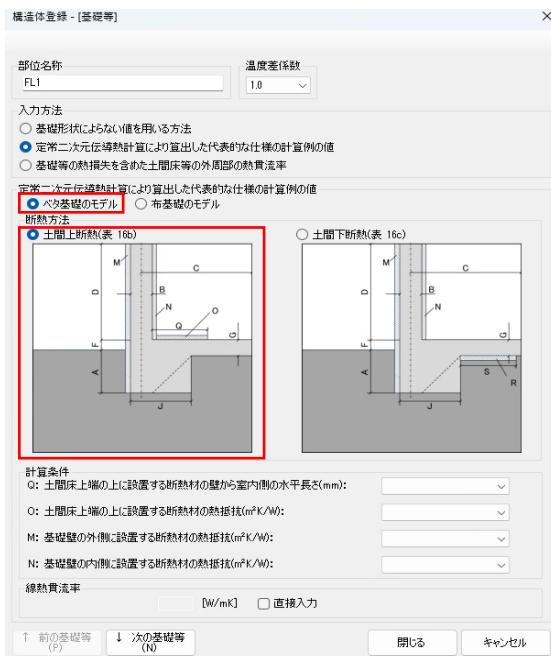
#### 項目の説明

項目	説明
部位名称	構造体の識別名を入力します。
温度差係数	温度差係数をリストから選択します。 主に使用する箇所の隣接空間が「屋外同等と見なす部位」は温度差係数 1.0、「半屋外と見なす部位」は温度差係数 0.7 を選択します。 「10.2 部位面積等登録」画面での温度差係数の初期値となります。

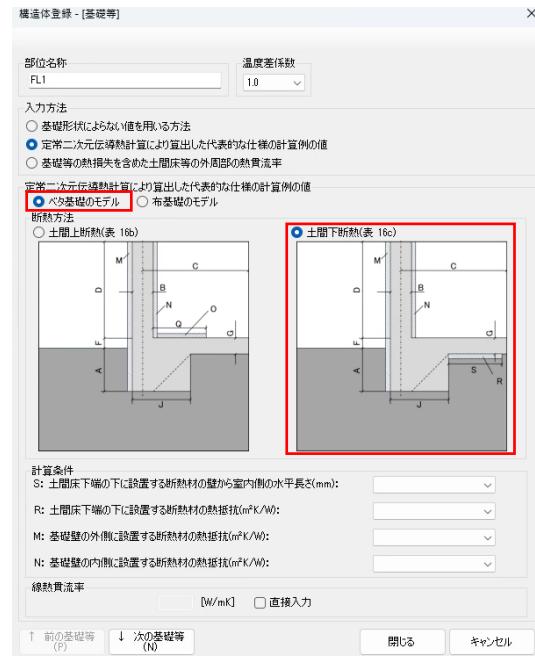
<b>入力方法</b>	3種類の入力方法からいずれかを選択します。
<b>基礎形状によらない値を用いる方法</b>	
<b>基礎形状によらない値を用いる方法</b>	土間床上端と地盤面の関係性を選択します。
<b>土間床上端と地盤面の高さの差</b>	土間床上端と地盤面の高さに差がある場合、その差がどの程度のものかリストから選択します。
<b>土間床等の外周部の線熱貫流率</b>	設定内容により、線熱貫流率を算出して表示します。直接入力も可能です。
<b>直接入力</b>	土間床等の外周部の線熱貫流率を直接入力したい場合にチェックします。

## ② 定常二次元伝導熱計算により算出した代表的な仕様の計算例の値

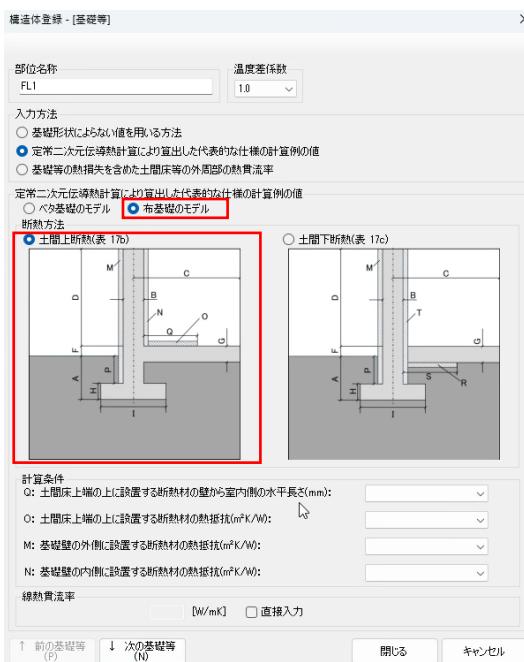
《モデル:ベタ基礎、断熱方法:土間上断熱》



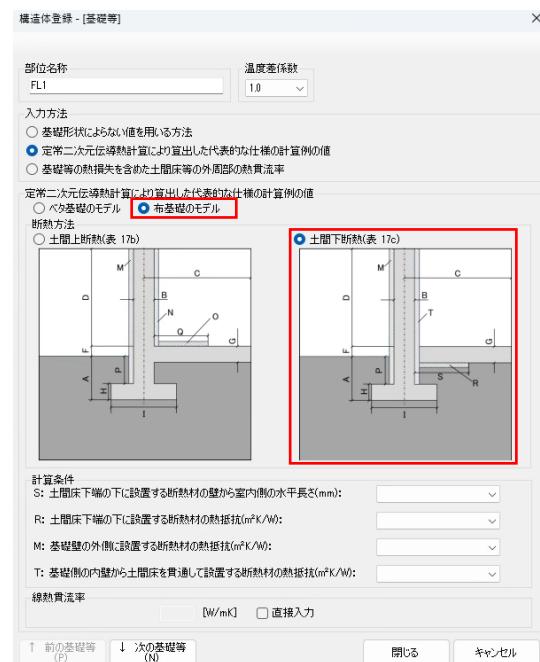
《モデル:ベタ基礎、断熱方法:土間下断熱》



《モデル:布基礎、断熱方法:土間上断熱》



《モデル:布基礎、断熱方法:土間下断熱》



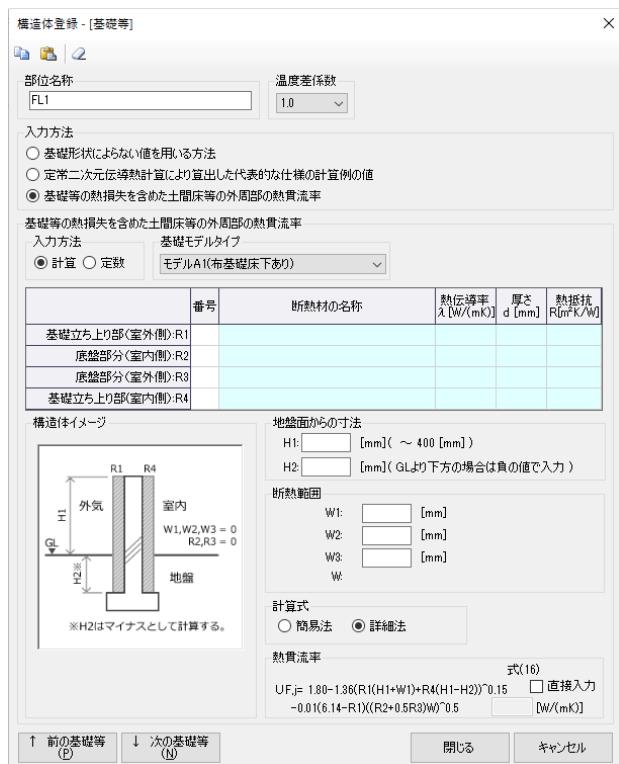
### 項目の説明

項目	説明
定常二次元伝導熱計算により算出した代表的な仕様の計算例の値	
モデル	ベタ基礎のモデルまたは布基礎のモデルのいずれかを選択します。
断熱方法	土間上断熱または土間下断熱のいずれかを選択します。

## 計算条件

<b>Q 土間床上端の上に設置する断熱材の壁から室内側の水平長さ(mm):</b>	(断熱方法：土間上断熱の場合のみ) 画面の図を参考に Q 部分の長さをリストから選択します。
<b>O 土間床上端の上に設置する断熱材の熱抵抗(<math>m^2 K/W</math>):</b>	(断熱方法：土間上断熱の場合のみ) 画面の図を参考に O 部分の熱抵抗をリストから選択します。
<b>S 土間床下端の下に設置する断熱材の壁から室内側の水平長さ(mm):</b>	(断熱方法：土間下断熱の場合のみ) 画面の図を参考に S 部分の長さをリストから選択します。
<b>R 土間床下端の下に設置する断熱材の熱抵抗(<math>m^2 K/W</math>):</b>	(断熱方法：土間下断熱の場合のみ) 画面の図を参考に R 部分の熱抵抗をリストから選択します。
<b>M 基礎壁の外側に設置する断熱材の熱抵抗(<math>m^2 K/W</math>):</b>	画面の図を参考に M 部分の熱抵抗をリストから選択します。
<b>N 基礎壁の内側に設置する断熱材の熱抵抗(<math>m^2 K/W</math>):</b>	(ベタ基礎のモデルまたは、布基礎のモデルかつ断熱方法：土間上断熱の場合) 画面の図を参考に N 部分の熱抵抗をリストから選択します。
<b>T 基礎側の内壁から土間床を貫通して設置する断熱材の熱抵抗(<math>m^2 K/W</math>):</b>	(布基礎のモデルかつ、断熱方法：土間下断熱の場合のみ) 画面の図を参考に T 部分の熱抵抗をリストから選択します。
<b>熱貫流率</b>	計算結果が表示されます。
<b>直接入力</b>	線熱貫流率を直接入力したい場合にチェックします。

### ③ 基礎等の熱損失を含めた土間床等の外周部の熱貫流率



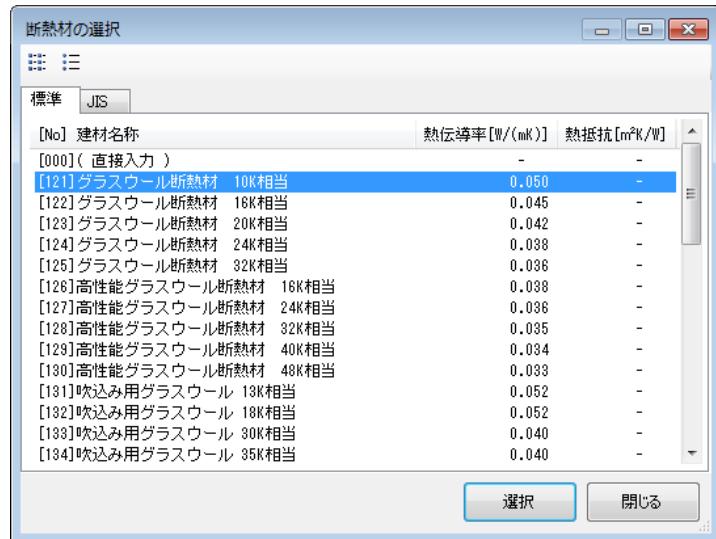
#### 項目の説明

項目	説明
<b>基礎等の熱損失を含めた土間床等の外周部の熱貫流率</b>	
入力方法	熱貫流率を計算式により算出する場合は「計算」、定数（1.80[W/(mK)])とする場合は「定数」を選択します。
基礎モデルタイプ	基礎のモデルタイプを選択します。 選択したタイプにより、熱貫流率の計算式が変更されます。 <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 2px; display: inline-block;">         モデルA1(布基礎床下あり)          モデルA1(布基礎床下なし)          モデルA2(布基礎床下なし)          モデルB(べた基礎タイプ)       </div>
<b>断熱材</b>	
番号	入力欄をダブルクリックして一覧から選択するか、直接入力して各部の断熱材を選択します。（断熱材の選択画面については次ページ参照。） [000]直接入力を選択すると、断熱材の名称や熱伝導率直接入力することが可能です。
厚さ d [mm]	各断熱材の厚さを 0.0~9999.9[mm]の範囲で入力します。
構造体イメージ	寸法入力のための参考図が表示されます。
地盤面からの寸法	各寸法を 0~9999[mm]の範囲で入力します。
断熱範囲	/

<b>計算式</b>	熱貫流率の計算方法を選択します。
<b>熱貫流率</b>	計算結果が表示されます。
<b>直接入力</b>	線熱貫流率を直接入力したい場合にチェックします。

<b>↑ 前の基礎等</b>	現在の設定内容を登録して、前の構造体データに移ります。
<b>↓ 次の基礎等</b>	現在の設定内容を登録して、次の構造体データに移ります。
<b>閉じる</b>	現在の設定内容を登録して、画面を閉じます。
<b>キャンセル</b>	何もせずに、この画面を閉じます。

#### 10.1.4.2 [断熱材の選択] ウィンドウ



この画面では、“標準データ”、“JIS データ”および“ユーザーデータ”的うち、断熱材のみが表示されます。

※“標準データ”、“JIS データ”は、構成材料の名称と熱伝導率が登録されています。

※“ユーザー登録データ”は、[ユーザーデータ登録] 画面の[壁体構成材料] タブで登録したデータです。

<b>選択</b>	材料名をクリック指定において、このボタンを押すと前画面に 1 行の材料データが追加されます。材料名をダブルクリックしても同様です。 [閉じる] ボタンを押すまでは連続して選択することができます。 ※前画面で既存の材料名からこのリストを表示した（変更モードの）場合は、選択ボタンを押すと、自動的にこの画面を閉じます。
<b>閉じる</b>	何もせず、この画面を閉じます。

## 10.1.5 熱橋部の登録



この画面は、「構造体登録」画面で[熱橋部]タブを選択した場合に表示されます。

### 10.1.5.1 热橋部 (RC 造 (新)) の登録ウィンドウ

ここで、以下の操作をすると、「10.1.5.2 热橋部 (RC 造 (新)) の登録ウィンドウ」、「10.1.5.3 热橋部 (RC 造) の登録ウィンドウ」、「10.1.5.4 热橋部 (RC 造 (旧)) の登録ウィンドウ」、「10.1.5.7 热橋部 (鉄骨造) の登録ウィンドウ」または「10.1.5.8 热橋部 (木造) の登録ウィンドウ」が表示されます。（最後に登録した热橋部と同じ構法のウィンドウが開きます）

※Ver.4.0.60 で新規作成時から「热橋部 RC 造(旧)」は表示されません。

- ...ボタンをクリックする。
- 明細行でダブルクリックする。

#### 項目の説明

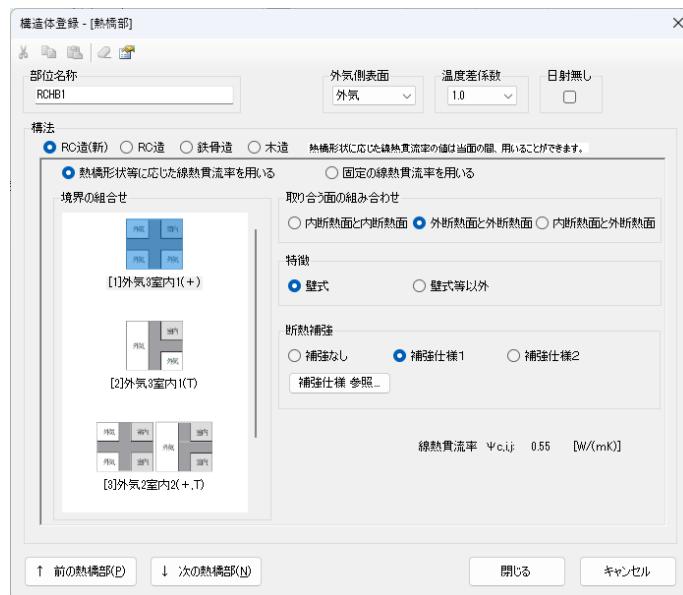
項目	説明
部位名称	部位名称を入力します。
熱貫流率 U	登録ウィンドウにおける計算結果が表示されます。
日射熱取得率 η	〃
補強仕様	補強仕様なし、または補強仕様1、補強仕様2が表示されます。
外気側表面	設定内容が表示されます。
温度差係数	〃

日射無し	設定内容が表示されます。編集はできません。
部位使用	[部位面積等入力] 画面で使用されている場合に「○」が表示されます。
印刷	チェックすると、出力帳票「熱橋部リスト」に、構造体の詳細情報が印刷されます。
構造体イメージ	現在フォーカスしている行が「RC造」だった場合、作成した熱橋のイメージが表示されます。

また、画面下端のボタンで、登録済みの熱橋部の並び順を変更できます。

↑ 前へ移動	行選択されている熱橋部を、1行前に移動します。複数行まとめて移動が可能です。
↓ 後へ移動	行選択されている熱橋部を、1行後に移動します。複数行まとめて移動が可能です。
部位使用の構造体のみ 「印刷」チェック…	部位面積入力等で、既に使用されている部位の「印刷」チェックを On にし、使用されていない部位のチェックを Off にします。 熱橋部だけではなく、全種類の部位に対して実行されます。
補強仕様一括変更	複数の補強仕様を一括で変更する為の機能です。

#### 10.1.5.2 熱橋部（RC造（新））の登録ウィンドウ



ここでは、RC造（新）の構造熱橋部の詳細について登録します。

## 項目の説明

項目	説明
部位名称	部位名称を入力します。
外気側表面	外気側表面をリストから選択します。 選択内容に応じて、「温度差係数」の値も初期設定されます。 
温度差係数	温度差係数をリストから選択します。外気側表面によってきまる値とは別に、手動で選択しなおすことができます。 
日射無し	日射無しの場合にチェックします。

## 構法

構法	構法を選択します。
熱橋形状等に応じた線熱貫流率を用いる	「熱橋形状等に応じた線熱貫流率を用いる」を選択した場合は、組み合わせに応じて線熱貫流率が表示されます。 「固定の線熱貫流率を用いる」を選択した場合は、固定値 3.35[W/(mk)]が表示されます。
固定の線熱貫流率を用いる	リストからイメージ図を選択します。
取り合う面の組み合わせ、特徴、断熱補強	取り合う面の組み合わせ、特徴、断熱補強 を選択します。
<a href="#">補強仕様 参照</a>	「10.1.5.5 地域区分に応じた断熱補強仕様（補強 1）の参照ウィンドウ」「10.1.5.6 地域区分に応じた断熱補強仕様（補強 2）の参照ウィンドウ」が表示されます。
線熱貫流率	選択した組み合わせに応じて、計算結果が表示されます。また、構造熱橋部が生じない組合せの場合は「-」が表示されます。

<a href="#">↑ 前の構造熱橋部</a>	現在の設定内容を登録して、前の構造体データに移ります。
<a href="#">↓ 次の構造熱橋部</a>	現在の設定内容を登録して、次の構造体データに移ります。
<a href="#">閉じる</a>	現在の設定内容を登録して、画面を閉じます。
<a href="#">キャンセル</a>	何もせずに、この画面を閉じます。

### 10.1.5.3 热橋部 (RC 造) の登録ウィンドウ



ここでは、RC 造の構造熱橋部の詳細について登録します。

#### 項目の説明

項目	説明
部位名称	部位名称を入力します。
外気側表面	外気側表面をリストから選択します。 選択内容に応じて、「温度差係数」の値も初期設定されます。 <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 2px; display: inline-block;">         外気 外気 通気層 小屋裏 床下 隙接住戸 ピット       </div>
温度差係数	温度差係数をリストから選択します。外気側表面によってきまる値とは別に、手動で選択しなおすことができます。 <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 2px; display: inline-block;">         1.0 1.0 0.7 0.15       </div>
日射無し	日射無しの場合にチェックします。
<b>構法</b>	
構法	構法を選択します。
境界の組合せ イメージ	リストからイメージ図を選択します。
取り合う面の組み 合わせ、特徴、断熱 補強	取り合う面の組み合わせ、特徴、断熱補強 を選択します。

<input style="border: 1px solid black; border-radius: 5px; padding: 2px 10px; margin-bottom: 5px;" type="button" value="補強仕様 参照"/>	<p>「10.1.5.5 地域区分に応じた断熱補強仕様（補強 1）の参照ウィンドウ」</p> <p>「10.1.5.6 地域区分に応じた断熱補強仕様（補強 2）の参照ウィンドウ」</p> <p>が表示されます。</p>
<b>線熱貫流率</b>	<p>選択した組み合わせに応じて、計算結果が表示されます。また、構造熱橋部が生じない組合せの場合は「-」が表示されます。</p>

<input style="border: 1px solid black; border-radius: 5px; padding: 2px 10px; margin-bottom: 5px;" type="button" value="↑ 前の構造熱橋部"/>	<p>現在の設定内容を登録して、前の構造体データに移ります。</p>
<input style="border: 1px solid black; border-radius: 5px; padding: 2px 10px; margin-bottom: 5px;" type="button" value="↓ 次の構造熱橋部"/>	<p>現在の設定内容を登録して、次の構造体データに移ります。</p>
<input style="border: 1px solid black; border-radius: 5px; padding: 2px 10px; margin-bottom: 5px;" type="button" value="閉じる"/>	<p>現在の設定内容を登録して、画面を閉じます。</p>
<input style="border: 1px solid black; border-radius: 5px; padding: 2px 10px; margin-bottom: 5px;" type="button" value="キャンセル"/>	<p>何もせずに、この画面を閉じます。</p>

#### 10.1.5.4 热橋部 (RC 造 (旧) ) の登録ウィンドウ



ここでは、RC 造（旧）の構造熱橋部の詳細について登録します。

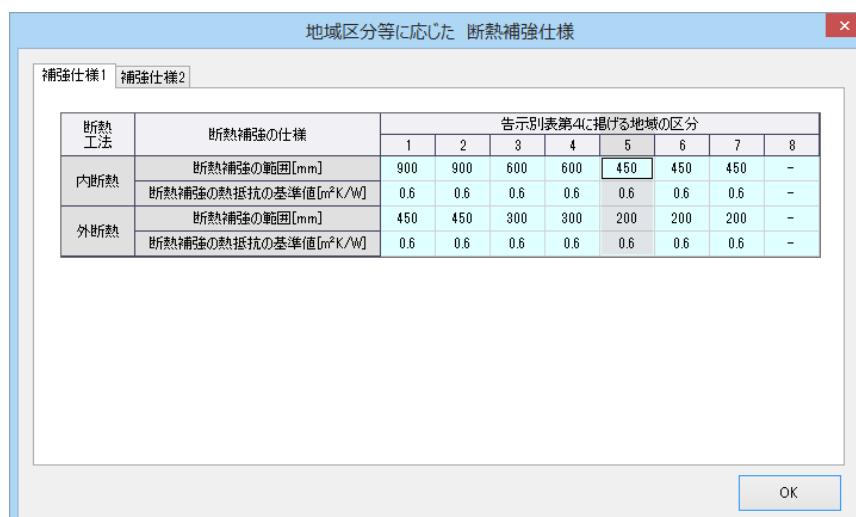
#### 項目の説明

項目	説明
<b>部位名称</b>	<p>部位名称を入力します。</p>
<b>外気側表面</b>	<p>外気側表面をリストから選択します。</p> <p>選択内容に応じて、「温度差係数」の値も初期設定されます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: 0;"> <p>外気</p> <p>外気 通気層</p> <p><b>外壁裏</b></p> <p>床下</p> <p>隣接住戸</p> <p>ピット</p> </div>

温度差係数	温度差係数をリストから選択します。外気側表面によってきまる値とは別に、手動で選択しなおすことができます。 
日射無し	日射無しの場合にチェックします。
<b>構法</b>	
構法	構法を選択します。
断熱、形状、突出形状	断熱工法、形状、および突出形状をリストから選択します。  選択内容により、熱橋部イメージのリスト内容が絞り込まれます。
熱橋部イメージ	リストからイメージ図を選択します。
断熱補強	
<b>補強仕様 参照</b>	「10.1.5.5 地域区分に応じた断熱補強仕様（補強 1）の参照ウィンドウ」 「10.1.5.6 地域区分に応じた断熱補強仕様（補強 2）の参照ウィンドウ」 が表示されます。
線熱貫流率	計算結果が表示されます。

<b>↑ 前の構造熱橋部</b>	現在の設定内容を登録して、前の構造体データに移ります。
<b>↓ 次の構造熱橋部</b>	現在の設定内容を登録して、次の構造体データに移ります。
<b>閉じる</b>	現在の設定内容を登録して、画面を閉じます。
<b>キャンセル</b>	何もせずに、この画面を閉じます。

#### 10.1.5.5 地域区分に応じた断熱補強仕様（補強 1）の参照ウィンドウ



地域区分に応じた断熱補強の範囲と熱抵抗基準値が表示されます。

#### 10.1.5.6 地域区分に応じた断熱補強仕様（補強2）の参照ウィンドウ

熱橋部の形状		断熱補強の部位・範囲・基準値		告示別表第4に掲げる地域の区分				
床面	壁面	断熱補強の範囲[mm]	断熱補強の熱抵抗の基準値[m <sup>2</sup> K/W]	1	2	3	4	5-8
		100	0.1	500	500	200	150	125
床面	壁面	断熱補強の範囲[mm]	断熱補強の熱抵抗の基準値[m <sup>2</sup> K/W]	1	2	3	4	5-8
		200	0.2	200	200	75	50	50
床面	壁面	断熱補強の範囲[mm]	断熱補強の熱抵抗の基準値[m <sup>2</sup> K/W]	1	2	3	4	5-8
		150	0.2	150	150	75	50	50
床面	壁面	断熱補強の範囲[mm]	断熱補強の熱抵抗の基準値[m <sup>2</sup> K/W]	1	2	3	4	5-8
		200	0.2	200	200	100	75	75
床面	壁面	断熱補強の範囲[mm]	断熱補強の熱抵抗の基準値[m <sup>2</sup> K/W]	1	2	3	4	5-8
		200	0.2	200	200	75	75	75

熱橋部の形状ごとに定められた、地域区分に応じた断熱補強の範囲と熱抵抗基準値が表示されます。

#### 10.1.5.7 热橋部（鉄骨造）の登録ウィンドウ

構体登録 - [熱橋部]

部位名称 S-柱	外気側表面 ピット	温度差係数 1.0	日射無し
構法 <input type="radio"/> RC造(新) <input type="radio"/> RC造 <input type="radio"/> RC造(旧) <input checked="" type="radio"/> 鉄骨造 <input type="radio"/> 木造	熱橋形状に応じた線熱貫流率の値は当面の間、用いることができます。		
部位 <input checked="" type="radio"/> 柱 <input type="radio"/> 梁	線熱貫流率表 の参照...		
建材番号	建材名称	熱伝導率 $\lambda$ [W/mK]	厚さd [mm]
外装材	401 軽量気泡コンクリートパネル(ALCパネル)	0.190	100.0
断熱補強材	142 ロックウール断熱材(マット)	0.038	25.0
柱見付け寸法	250 [mm]		
線熱貫流率 $\psi_{s,i,j}$	0.16 [W/(mK)]		
<input type="button" value="↑ 前の熱橋部(1)"/>	<input type="button" value="↓ 次の熱橋部(1)"/>	<input type="button" value="閉じる"/>	<input type="button" value="キャンセル"/>

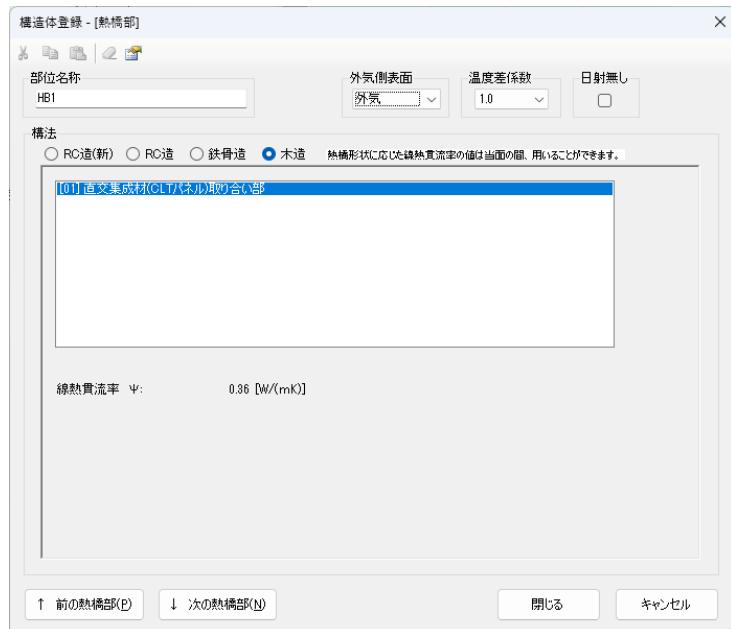
#### 項目の説明

項目	説明
部位名称	部位名称を入力します。

外気側表面	外気側表面をリストから選択します。 選択内容に応じて、「温度差係数」の値も初期設定されます。
温度差係数	温度差係数をリストから選択します。外気側表面によってきまる値とは別に、手動で選択しなおすことができます。
日射無し	日射無しの場合にチェックします。
<b>構法</b>	
構法	構法を選択します。
部位	柱・梁を選択します。
外装材	外装材の材料と厚さを設定します。
断熱補強材	断熱補強材と厚さを選択します。
柱見付け寸法 梁見付け寸法	柱または梁の見付け寸法を 0~99,999[mm]の範囲で入力します。
<a href="#">線熱貫流率表 の参照</a>	「鉄骨造等住宅の熱橋形状等に応じた線熱貫流率」が表示されます。
線熱貫流率	計算結果が表示されます。

<a href="#">↑ 前の構造熱橋部</a>	現在の設定内容を登録して、前の構造体データに移ります。
<a href="#">↓ 次の構造熱橋部</a>	現在の設定内容を登録して、次の構造体データに移ります。
<a href="#">閉じる</a>	現在の設定内容を登録して、画面を閉じます。
<a href="#">キャンセル</a>	何もせずに、この画面を閉じます。

### 10.1.5.8 熱橋部（木造）の登録ウィンドウ



#### 項目の説明

項目	説明
部位名称	部位名称を入力します。
外気側表面	外気側表面をリストから選択します。 選択内容に応じて、「温度差係数」の値も初期設定されます。 
温度差係数	温度差係数をリストから選択します。外気側表面によってきまる値とは別に、手動で選択しなおすことができます。 
日射無し	日射無しの場合にチェックします。
構法	
構法	構法を選択します。
熱橋部種類	リストから選択します。
線熱貫流率	計算結果が表示されます。

[↑ 前の構造熱橋部]	現在の設定内容を登録して、前の構造体データに移ります。
[↓ 次の構造熱橋部]	現在の設定内容を登録して、次の構造体データに移ります。
[閉じる]	現在の設定内容を登録して、画面を閉じます。
[キャンセル]	何もせずに、この画面を閉じます。

## 日除けの登録（日除け）

日除け名称	Web 取得	サイドфин	寸法								日除け効果係数														
			$x_1^1$ [m]	$x_2^1$ [m]	$x_3^1$ [m]	$y_1^1$ [m]	$y_2^1$ [m]	$z_{x+}^1$ [m]	$z_{y+}^1$ [m]	$z_{x+}^2$ [m]	$z_{y+}^2$ [m]	N方位	NE方位	E方位	SE方位	S方位	SW方位	W方位							
1 FL1	<input type="checkbox"/>	無	1.00	2.00	3.00	1.00	1.00			0.50	0.949	0.955	0.941	0.955	0.946	0.982	0.930	0.975	0.846	0.982	0.931	0.965	0.949	0.953	
2	<input type="checkbox"/>																								
3	<input type="checkbox"/>																								
4	<input type="checkbox"/>																								
5	<input type="checkbox"/>																								
6	<input type="checkbox"/>																								
7	<input type="checkbox"/>																								
8	<input type="checkbox"/>																								
9	<input type="checkbox"/>																								
10	<input type="checkbox"/>																								
11	<input type="checkbox"/>																								
12	<input type="checkbox"/>																								
13	<input type="checkbox"/>																								
14	<input type="checkbox"/>																								
15	<input type="checkbox"/>																								
16	<input type="checkbox"/>																								
17	<input type="checkbox"/>																								
18	<input type="checkbox"/>																								
19	<input type="checkbox"/>																								
20	<input type="checkbox"/>																								
21	<input type="checkbox"/>																								
22	<input type="checkbox"/>																								
23	<input type="checkbox"/>																								
24	<input type="checkbox"/>																								

この画面は、「構造体登録」画面で[日除け]タブを選択した場合に表示されます。

窓の日除けについて登録します。最大300行まで登録できます。

ここで登録した一覧は「10.1.1.1 開口部詳細ウィンドウ（使用データ：計算）」画面の「日除け」で「詳細法」を選択した場合に使用できます。

※Ver4.0.20以前のバージョンで作成された物件ファイルをVer4.0.21以降のバージョンのA-repoで開いた場合は、[日除け効果係数 Web 取得]を実行し日除け効果係数を計算しなおしてください。

### 項目の説明

項目	説明
日除け名称	名称（登録記号）を半角60文字以内で入力します。 英数字の組み合わせで入力した後、次の行で数値のみを入力すると、英文字部分が先頭に自動的に挿入されます。
Web 取得	日除け効果係数を自動取得する場合にチェックを入れます。
サイドфин	リストから有無を選択します。
寸法(x1~zy+)	それぞれの寸法を、0～999.99 (m) の範囲で入力します。 ※zx+～zy+は形状により入力項目が変わります。 ※y3、zy-は入力不可項目です。
日除け効果係数 (各方位の冷房・暖房)	日除け効果係数を、0.001～1.000の範囲で入力します。 または、「日除け効果係数 Web 取得」ボタン押下で自動取得します。

画面下端のボタンで、登録済みの窓の並び順を変更できます。

↑ 前へ移動

行選択されている日除けを、1行前に移動します。複数行まとめて移動が可能です。

↓ 後へ移動

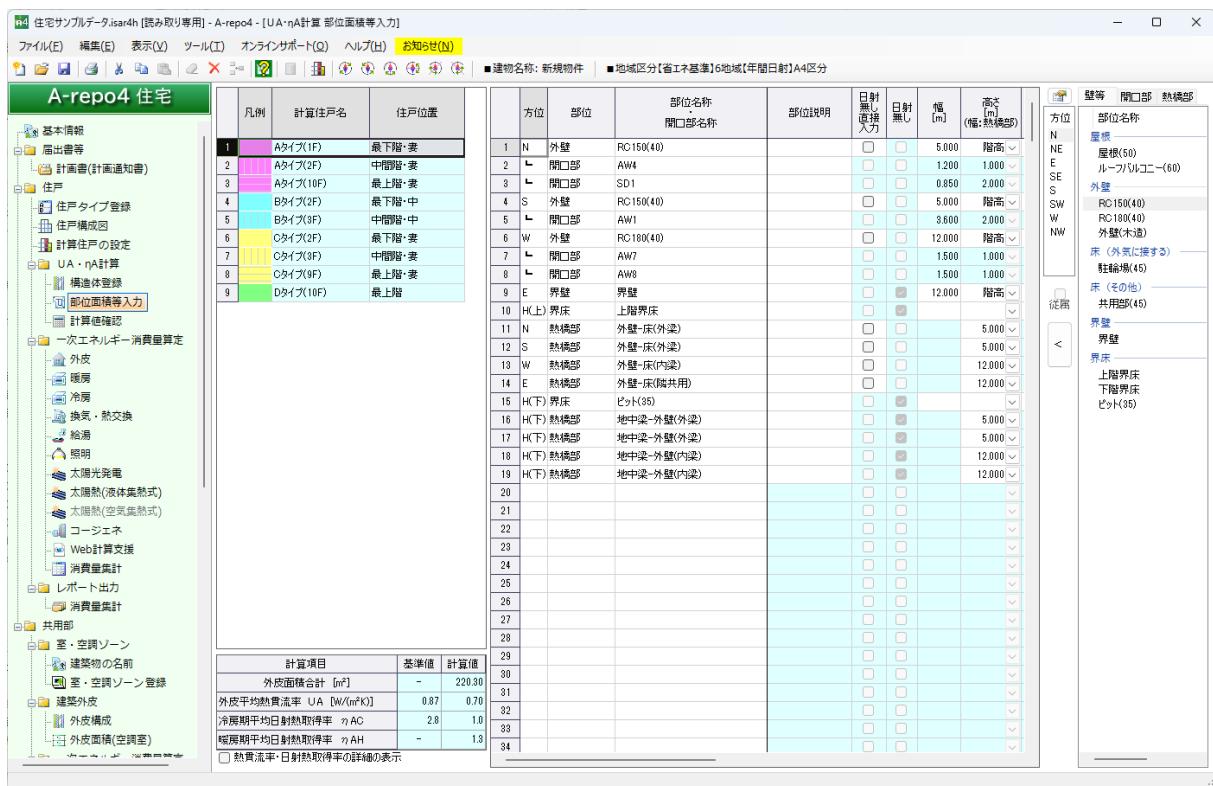
行選択されている日除けを、1行後に移動します。複数行まとめて移動が可能です。

また、右下側の「日除け効果係数 Web 取得」ボタンを押すことにより、「Web 取得」チェックボックスにチェックを入れた日除けの日除け効果係数を自動取得できます。

更に「計算結果 PDF を取得」をチェックした状態で「日除け効果係数 Web 取得」ボタンを押すことで、計算結果 PDF を保存できます。

尚、中央右側の「日除け効果係数算出ツール」リンクを押す事により、当該ツールサイトが表示されます。

## 10.2 部位面積等登録



計算に用いる代表室について、部位面積を入力します。

### 項目の説明

項目	説明
凡例	「9.7 計算住戸の設定」で登録した計算住戸のグループの色が表示されます。
計算住戸名	〃 計算住戸名が表示されます。
住戸位置	〃 住戸位置が表示されます。

以下は、タイプ名と住戸位置により指定された1住戸の計算結果を表示します。

項目	説明
計算項目	計算・表示を行う項目を示します。項目には以下のものがあります。 外皮面積合計 外皮平均熱貫流率 冷房期平均日射熱取得率 暖房期平均日射熱取得率
基準値	各適合判定の基準値を表示します。
計算値	入力された各部位と面積から計算した、各値を表示します。 基準不適合の場合、赤色で表示されます。 地域区分により、計算不要の場合 “-” が表示されることがあります。

以下は、タイプ名と住戸位置により指定された1住戸の設計内容について入力します。

<b>方位</b>	画面右側の方位リストから、部位とともに選択した結果が表示されますが、このセルをダブルクリックすると、方位を変更することができます。 
<b>部位～部位記号</b>	画面右側のリストから選択した内容が表示されます。
<b>部位説明</b>	判別のため、自由にメモ入力します。
<b>日射無し直接入力</b>	外壁や熱橋部の「日射無し」を直接入力するときにチェックします。 構造体登録側で「日射無し」をチェックしている場合は操作できません。
<b>日射無し</b>	まったく日の当たらない外気に接する床などではチェックします。
<b>幅</b>	部位の幅を 0.001～999.999[m] の範囲で入力します。
<b>高さ</b>	開口部では「サッシの高さ」が表示されます。 外壁では「階高」が表示されますが数値や数式の入力も可能です。
<b>基準面積</b>	開口部では「サッシの面積」、外壁では「幅×高さ」が表示されますが、数値や数式での入力も可能です。※外壁では開口部を含まない部分の面積を対象とします。 基礎や床では面積を 0～999.99 [m <sup>2</sup> ] の範囲で直接入力します。
<b>基礎等外周長</b>	土間床の場合は、外周の周長を 0～999.999[m] の範囲で入力します。 数式での入力も可能です。
<b>熱橋按分数</b>	熱橋を上下階等で按分する際の按分数を設定します。  ※ 2を選択した場合は、UA値 / q値 を計算する際に、求めた値の 1/2 が合計に加算されます。
<b>温度差係数直接入力</b>	温度差係数を‘1.00’以外の数値で入力する場合はチェックします。
<b>温度差係数</b>	温度差係数 0.1～1.00 の範囲で入力します。 ※一般的には、隣接空間が「屋外同等と見なす部位」は 1.0、「半屋外と見なす部位」は 0.7、界壁・界床では地域区分により 0.15／0.05 とします。
<b>数量</b>	開口部の場合、同一方向に同じサッシがある場合に数量を入力します。
<b>差引開口面積</b>	外壁の場合に、同一方位に開口部を複数入力すると、その合計面積が自動的に差し引かれます。

部位面積	以降の計算に用いられる最終的な面積が表示されます。 ※開口部の場合は基準面積に数量を掛けた値が表示されます。 ※外壁では、同一方位の開口部面積を差し引いた値が表示されます。
屋根勾配	傾斜している屋根、および天井の場合に、 $\tan \theta$ を 0~9.99 の範囲で入力します。 ※屋根または天井のみ入力可能です。 熱貫流率・日射熱取得の計算に使用する面積は $\text{部位面積(水平投影面積)} \times \sqrt{1 + (\tan \theta)^2}$ の計算結果が使用されます。

## ツールバー

	<p>計算住戸をグループ図で確認しながら入力することができます。</p> <p><b>計算住戸割当図</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="3">10F ▼</th> </tr> <tr> <th>Aタイプ ★1001</th> <th>Dタイプ ★1002</th> <th>Cタイプ ★903</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>Aタイプ 901</td><td>Bタイプ 902</td><td>Cタイプ 803</td></tr> <tr><td>Aタイプ 801</td><td>Bタイプ 802</td><td>Cタイプ 703</td></tr> <tr><td>Aタイプ 701</td><td>Bタイプ 702</td><td>Cタイプ 603</td></tr> <tr><td>Aタイプ 601</td><td>Bタイプ 602</td><td>Cタイプ 503</td></tr> <tr><td>Aタイプ 501</td><td>Bタイプ 502</td><td>Cタイプ 403</td></tr> <tr><td>Aタイプ 401</td><td>Bタイプ 402</td><td>Cタイプ 303</td></tr> <tr><td>Aタイプ 301</td><td>Bタイプ ★302</td><td>Cタイプ ★303</td></tr> <tr><td>Aタイプ ★201</td><td>Bタイプ ★202</td><td>Cタイプ ★203</td></tr> <tr><td>Aタイプ ★101</td><td>駐輪場</td><td>エントランス</td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;"><b>閉じる</b></p>	10F ▼			Aタイプ ★1001	Dタイプ ★1002	Cタイプ ★903	Aタイプ 901	Bタイプ 902	Cタイプ 803	Aタイプ 801	Bタイプ 802	Cタイプ 703	Aタイプ 701	Bタイプ 702	Cタイプ 603	Aタイプ 601	Bタイプ 602	Cタイプ 503	Aタイプ 501	Bタイプ 502	Cタイプ 403	Aタイプ 401	Bタイプ 402	Cタイプ 303	Aタイプ 301	Bタイプ ★302	Cタイプ ★303	Aタイプ ★201	Bタイプ ★202	Cタイプ ★203	Aタイプ ★101	駐輪場	エントランス
10F ▼																																		
Aタイプ ★1001	Dタイプ ★1002	Cタイプ ★903																																
Aタイプ 901	Bタイプ 902	Cタイプ 803																																
Aタイプ 801	Bタイプ 802	Cタイプ 703																																
Aタイプ 701	Bタイプ 702	Cタイプ 603																																
Aタイプ 601	Bタイプ 602	Cタイプ 503																																
Aタイプ 501	Bタイプ 502	Cタイプ 403																																
Aタイプ 401	Bタイプ 402	Cタイプ 303																																
Aタイプ 301	Bタイプ ★302	Cタイプ ★303																																
Aタイプ ★201	Bタイプ ★202	Cタイプ ★203																																
Aタイプ ★101	駐輪場	エントランス																																
  	<p>このボタンをクリックすると、入力中の計算住戸の壁面の方位を、回転/反転させることができます。 屋根や床等の水平部位については、方位は変わりません。</p>																																	

	<p>このボタンをクリックすると、カレント行の構造体の詳細を確認することができます。</p> <p><b>構造体確認 - [屋根(50)]</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;"> <b>壁体詳細</b>            分区 屋根 [RC造]         </td> <td style="width: 50%;"> <b>壁体イメージ</b>  </td> </tr> <tr> <td colspan="2">           建材名称            アスファルト類            硬質ウレタンフォーム(保温板A種2種1号)            コンクリート         </td> </tr> <tr> <td colspan="2">           厚さ[mm] 热伝導率[W/(m<sup>2</sup>K)] d/λ [m<sup>2</sup>K/W]            10.0 0.110 0.090            50.0 0.023 2.173            200.0 1.600 0.125         </td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <b>計算値</b>            热貫流率 = 0.40 [W/m<sup>2</sup>·K] 日射熱取得率 = 0.014 [-]         </td> </tr> </table> <p><b>構造体確認 - [AW1]</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;"> <b>開口部詳細</b>            建具の構成            (一重)金属性            ガラスの仕様:            複層(A4以上A10未満)            複層ガラス、単板ガラス2枚         </td> <td style="width: 50%;">           日除け            オーバーハング            面積[m<sup>2</sup>] 7.20              サイズ[m] x2=3.6 y1=0.5 y2=2.0 z=2.0         </td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <b>計算値</b>            热貫流率 = 4.65 [W/m<sup>2</sup>·K] 日射熱取得率 = 0.790 [-]         </td> </tr> </table>	<b>壁体詳細</b> 分区 屋根 [RC造]	<b>壁体イメージ</b> 	建材名称 アスファルト類 硬質ウレタンフォーム(保温板A種2種1号) コンクリート		厚さ[mm] 热伝導率[W/(m <sup>2</sup> K)] d/λ [m <sup>2</sup> K/W] 10.0 0.110 0.090 50.0 0.023 2.173 200.0 1.600 0.125		<b>計算値</b> 热貫流率 = 0.40 [W/m <sup>2</sup> ·K] 日射熱取得率 = 0.014 [-]		<b>開口部詳細</b> 建具の構成 (一重)金属性 ガラスの仕様: 複層(A4以上A10未満) 複層ガラス、単板ガラス2枚	日除け オーバーハング 面積[m <sup>2</sup> ] 7.20  サイズ[m] x2=3.6 y1=0.5 y2=2.0 z=2.0	<b>計算値</b> 热貫流率 = 4.65 [W/m <sup>2</sup> ·K] 日射熱取得率 = 0.790 [-]	
<b>壁体詳細</b> 分区 屋根 [RC造]	<b>壁体イメージ</b> 												
建材名称 アスファルト類 硬質ウレタンフォーム(保温板A種2種1号) コンクリート													
厚さ[mm] 热伝導率[W/(m <sup>2</sup> K)] d/λ [m <sup>2</sup> K/W] 10.0 0.110 0.090 50.0 0.023 2.173 200.0 1.600 0.125													
<b>計算値</b> 热貫流率 = 0.40 [W/m <sup>2</sup> ·K] 日射熱取得率 = 0.014 [-]													
<b>開口部詳細</b> 建具の構成 (一重)金属性 ガラスの仕様: 複層(A4以上A10未満) 複層ガラス、単板ガラス2枚	日除け オーバーハング 面積[m <sup>2</sup> ] 7.20  サイズ[m] x2=3.6 y1=0.5 y2=2.0 z=2.0												
<b>計算値</b> 热貫流率 = 4.65 [W/m <sup>2</sup> ·K] 日射熱取得率 = 0.790 [-]													
<b>方位</b> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>方位</td></tr> <tr><td>N</td></tr> <tr><td>NE</td></tr> <tr><td>E</td></tr> <tr><td>SE</td></tr> <tr><td>S</td></tr> <tr><td>SW</td></tr> <tr><td>W</td></tr> <tr><td>NW</td></tr> </table>	方位	N	NE	E	SE	S	SW	W	NW	<p>外壁や構造熱橋部については、リストから方位を選択します。</p> <p>屋根や床など、部位の区分によっては、方位が固定となり、選択できないことがあります。</p>			
方位													
N													
NE													
E													
SE													
S													
SW													
W													
NW													

### 従属

熱橋を入力する際、壁や床などの部位に附属する形で計算を行う場合には、チェックをしてから部材を追加します。

従属で追加した場合には、「方位」列の表示が“L”のように表示されます。

また、その際には各部位の工法が考慮されます。

### 部位選択リスト

壁等	開口部	熱橋部	壁等	開口部	熱橋部	壁等	開口部	熱橋部
部位名称	開口部名称	部位名称	部位名称	開口部	熱橋部	部位名称	部位名称	部位名称
屋根	SD1	屋根-外壁(内染)	屋根	AW1	屋根-外壁(外染)	屋根	AW2	屋根-外壁(梁無)
屋根(50)		屋根-外壁(内染)	屋根	AW3	屋根-外壁(内染)	屋根	AW4	屋根-外壁(外染)
ルーフバルコニー(60)		屋根-外壁(内染)	屋根	AW5	屋根-外壁(内染)	屋根	AW6	屋根-外壁(外染)
外壁		屋根-外壁(内染)	屋根	AW7	屋根-外壁(内染)	屋根	AW8	屋根-外壁(外染)
RC150(40)		屋根-外壁(内染)	屋根	AW9	屋根-外壁(内染)	屋根	AW10	屋根-外壁(外染)
RC180(40)		屋根-外壁(内染)	屋根	AW11	屋根-外壁(内染)	屋根	AW12	屋根-外壁(外染)
床(外気に接する)		屋根-外壁(内染)	屋根	AW13	屋根-上階壁	屋根	AW14	屋根-戸境壁
駐輪場(45)		屋根-外壁(内染)	屋根	AW15	屋根-上階壁	屋根		その他床-下階壁
床(その他)		屋根-外壁(内染)						地中梁-戸境壁
共用部(45)		屋根-外壁(内染)						
界壁		屋根-外壁(内染)						
界壁		屋根-外壁(内染)						
上階階床		屋根-外壁(内染)						
下階階床		屋根-外壁(内染)						
ピット(35)		屋根-外壁(内染)						

該当するタブを選んでから、部位を選択します。



ボタンを押すと左側の入力画面の選択行に、部位が登録されます。

ただし、部位により登録できなことがあります。

例)

- ・床面には開口部を配置できません。
- ・熱橋部を従属で登録する場合には、RC造の熱橋はRC造の壁体にしか・鉄骨造の熱橋は鉄骨造の壁体にしか登録できません。また、木造の壁体には熱橋を従属登録できません。

## 10.3 計算値確認

The screenshot shows a software window titled 'A-repo4 住宅' with a sidebar containing navigation links like '基本情報', '届出書等', '住戸', '計算住戸の設定', 'UA・nA計算', and '計算結果'. The main area displays a table with 9 rows of data, each representing a household (住戸). The columns include '凡例' (Household Type), '計算住戸名' (Household Name), '住戸位置' (House Location), '住戸数' (Number of houses), '計算面積 [m²]' (Calculated Area [m²]), '住戸の床面積 [m²]' (Floor Area of house [m²]), '玄底の床面積 [m²]' (Floor Area of entrance [m²]), 'その他居室の床面積 [m²]' (Other room floor area [m²]), '非居室面積 [m²]' (Non-residential area [m²]), '外皮仕様基準' (External wall specification standard), '外皮面積合計 [m²]' (Total external wall area [m²]), '誘導' (Guidance), '外皮平均熱貫流率 UA [W/m²K]' (Average heat transfer coefficient UA [W/m²K]), '冷房期平均日射熱取得率 [W/m²]/(W/m²)' (Average daily solar heat gain coefficient ηA [W/m²]/(W/m²)), '暖房期平均日射熱取得率 [W/m²]/(W/m²)' (Average daily solar heat gain coefficient ηAH [W/m²]/(W/m²)), and '備考' (Remarks).

凡例	計算住戸名	住戸位置	住戸数	計算面積 [m <sup>2</sup> ]	住戸の床面積 [m <sup>2</sup> ]	玄底の床面積 [m <sup>2</sup> ]	その他居室の床面積 [m <sup>2</sup> ]	非居室面積 [m <sup>2</sup> ]	外皮仕様基準	外皮面積合計 [m <sup>2</sup> ]	誘導	外皮平均熱貫流率 UA [W/m <sup>2</sup> K]		冷房期平均日射熱取得率 [W/m <sup>2</sup> ]/(W/m <sup>2</sup> )		暖房期平均日射熱取得率 [W/m <sup>2</sup> ]/(W/m <sup>2</sup> )		備考
												基準値	計算値	判定	基準値	計算値	判定	
1 Aタイプ(1F)	Aタイプ-妻	1	2950	60.00	21.00	24.00	15.00	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	-	-	-	-	-	-	-	
2 Aタイプ(2F)	中間階-妻	8	2950	60.00	21.00	24.00	15.00	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	-	-	-	-	-	-	-	
3 Aタイプ(10F)	最上階-妻	1	2950	60.00	21.00	24.00	15.00	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	229.30	0.87	0.76	○	2.8	1.5	○	
4 Bタイプ(2F)	最下階-中	1	2950	72.00	25.20	28.80	18.00	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	250.20	0.87	0.76	○	2.8	0.6	○	
5 Bタイプ(3F)	中間階-中	7	2950	72.00	25.20	28.80	18.00	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	250.20	0.87	0.66	○	2.8	0.6	○	
6 Cタイプ(2F)	最下階-妻	1	2950	84.00	29.40	33.60	21.00	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	280.10	0.87	0.77	○	2.8	0.9	○	
7 Cタイプ(3F)	中間階-妻	6	2950	84.00	29.40	33.60	21.00	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	280.10	0.87	0.75	○	2.8	1.0	○	
8 Cタイプ(4F)	最上階-妻	1	2950	84.00	29.40	33.60	21.00	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	280.10	0.87	0.75	○	2.8	1.3	○	
9 Dタイプ(10F)	最上階	1	2950	108.00	37.80	43.20	27.00	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	348.76	0.87	0.75	○	2.8	1.5	○	

UA 値、 $\eta$  AC 値および $\eta$  AH 値について計算住戸ごとの計算結果を確認します。

### 項目の説明

項目	説明
凡例	計算住戸のグループの色が表示されます。
計算住戸名	ノータイプ名が表示されます。
住戸位置 ~ 非居室面積	計算住戸の入力内容が表示されます。
外皮仕様基準 省エネ	計算住戸の仕様基準の指定内容が表示されます。 戸建住宅で、仕様基準により外皮性能を評価する場合にチェックします。
外皮仕様基準 誘導	計算住戸の誘導仕様基準の指定内容が表示されます。 戸建住宅で、仕様基準により外皮性能を評価する場合にチェックします。
外皮面積合計	計算住戸の入力内容が表示されます。 仕様基準適用住戸の場合は“-”表示となります。
外皮平均熱貫流率	計算結果の UA 値の基準値、計算結果、適否判定 が表示されます。 仕様基準適用住戸の場合は“-”表示となります。
冷房期平均日射熱取得率	計算結果の $\eta$ A 値の基準値、計算結果、適否判定 が表示されます。 地域区分の設定によっては、“-”表示となることがあります。 仕様基準適用住戸の場合は“-”表示となります。
暖房期平均日射熱取得率	計算結果の $\eta$ AH 値が表示されます。 $\eta$ AH 値には、基準値がありません。 地域区分の設定によっては、“-”表示となることがあります。 仕様基準適用住戸の場合は“-”表示となります。
備考	計算住戸に対する備考を自由に記入します。

# 11 『住宅』一次エネルギー消費量算定

---

- 11.1 外皮
- 11.2 暖房設備
- 11.3 冷房設備
- 11.4 換気・熱交換設備
- 11.5 給湯設備
- 11.6 照明設備
- 11.7 太陽光発電設備
- 11.8 太陽熱（液体集熱式）設備
- 11.9 太陽熱（空気集熱式）設備
- 11.10 コージェネレーション設備
- 11.11 Web 計算支援（住宅用）
- 11.12 入力エラー一覧（住宅用）
- 11.13 一次エネルギー消費量集計
- 11.14 レポート出力

## 11.1 外皮

住宅サンプルデータ:isardh - A-repo4 - [一次エネルギー 暖冷房設備 外皮]

ファイル(F) フォルダ(D) 表示(V) ツール(T) オンライナサポート(O) ヘルプ(H)

■建物名称:新規物件 ■地区区分【省エネ基準】地域[年間日射]A4区分

凡例	計算住戸名	住戸位置	個別設定	外皮仕様基準		外皮面積 合計 [m <sup>2</sup> ]	外気平均熱貫流率 UA [W/(m <sup>2</sup> ·K)]	暖房期平均 日射熱取得率 η AH [-]	冷房期平均 日射熱取得率 η AC [-]	自然風の利用		蓄熱利用	床下空間を経由して外気を導入する換気方式の採用	外気が経由する床下の面積の割合 [%]
				省エネ	誘導					主なる居室の換気回数	他の居室の換気回数			
-	--共通設定--	--タイプ共通--		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	-	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/> 利用しない	<input checked="" type="checkbox"/> 利用しない	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 利用しない	<input type="checkbox"/>
1	Aタイプ(1F)	最下階・妻	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	-	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/> 利用しない	<input checked="" type="checkbox"/> 利用しない	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 利用しない	<input type="checkbox"/>
2	Aタイプ(2F)	中階階・妻	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	-	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/> 利用しない	<input checked="" type="checkbox"/> 利用しない	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 利用しない	<input type="checkbox"/>
3	Aタイプ(10F)	最上階・妻	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	220.30	0.76	1.8	1.5	<input checked="" type="checkbox"/> 利用しない	<input checked="" type="checkbox"/> 利用しない	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 利用しない	<input type="checkbox"/>
4	Bタイプ(2F)	最下階・中	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	250.20	0.76	0.9	0.6	<input checked="" type="checkbox"/> 利用しない	<input checked="" type="checkbox"/> 利用しない	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 利用しない	<input type="checkbox"/>
5	Bタイプ(3F)	中階階・中	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	250.20	0.66	0.9	0.6	<input checked="" type="checkbox"/> 利用しない	<input checked="" type="checkbox"/> 利用しない	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 利用しない	<input type="checkbox"/>
6	Cタイプ(2F)	最下階・妻	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	280.10	0.77	1.2	0.9	<input checked="" type="checkbox"/> 利用しない	<input checked="" type="checkbox"/> 利用しない	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 利用しない	<input type="checkbox"/>
7	Cタイプ(3F)	中階階・妻	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	280.10	0.75	1.2	1.0	<input checked="" type="checkbox"/> 利用しない	<input checked="" type="checkbox"/> 利用しない	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 利用しない	<input type="checkbox"/>
8	Cタイプ(9F)	最上階・妻	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	280.10	0.75	1.6	1.8	<input checked="" type="checkbox"/> 利用しない	<input checked="" type="checkbox"/> 利用しない	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 利用しない	<input type="checkbox"/>
9	Dタイプ(10F)	最上階	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	348.76	0.75	2.0	1.6	<input checked="" type="checkbox"/> 利用しない	<input checked="" type="checkbox"/> 利用しない	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 利用しない	<input type="checkbox"/>

\* 主なる居室 の、冷房期に換気を利用する程度を換気回数に応じて選択します。

暖冷房設備の一次エネルギー消費量を計算するためのデータを入力します。

計算住戸の外皮について入力します。

### 項目の説明

項目	説明
凡例	計算住戸のグループの色が表示されます。
計算住戸名	計算住戸のタイプ名が表示されます。
住戸位置	計算住戸の住戸位置が表示されます。
個別設定	共通設定と異なる内容を設定する場合はチェックします。
外皮仕様基準 省エネ	計算住戸の仕様基準の指定内容が表示されます。
外皮仕様基準 誘導	計算住戸の誘導仕様基準の指定内容が表示されます。
外皮面積合計[m <sup>2</sup> ]	外皮面積合計が表示されます。 仕様基準適用住戸の場合は“-”表示となります。
外気平均熱貫流率 UA [W/(m <sup>2</sup> ·K)]	外気平均熱貫流率 UA・値が表示されます。 仕様基準適用住戸の場合は“-”表示となります。
暖房期平均日射熱取 得率 η AH [-]	暖房期平均日射熱取得率 η AH 値が表示されます。 仕様基準適用住戸の場合は“-”表示となります。
冷房期平均日射熱取 得率 η AC [-]	冷房期平均日射熱取得率 η AC 値が表示されます。 仕様基準適用住戸の場合は“-”表示となります。
自然風の利用	
主なる居室の換気回 数	主なる居室において冷房期に自然風を利用する程度（換気回数）を選択します。
その他の居室の換気 回数	その他の居室において冷房機に自然風を利用する程度（換気回数）を選択します。

蓄熱利用	蓄熱方式を採用している場合はチェックします。
床下空間を経由して外気を導入する換気方式の採用	床下空間を経由して外気を導入する換気方式の利用状況を選択します。 
外気が経由する床下の面積の割合	床下空間を経由して外気を導入する換気方式を利用している場合に、外気が経由する床下の面積の割合を1~100[%]の範囲で入力します。
床下空間の断熱	床下の空間が熱的境界に囲まれた空間である場合は「断熱区画内」、そうでない場合は「断熱区画外」を選択します。

## 11.2 暖房設備

64 住宅サンプルデータ.iسان4h - A-repo4 - [一次エネルギー 暖冷房設備 暖房]

ファイル(F) 報告(E) 表示(V) インポート(I) ツール(T) オンラインサポート(O) ヘルプ(H)

■建物名称: 新規物件 | ■地域区分【省エネ基準】5地域【年間日射】A4区分

凡例	計算住戸名	住戸位置	個別設定	暖房方式	主たる居室							
					暖房設備機器または放熱器の種類	省エネ対策	能力と消費電力を入力	エネルギー消費効率の区分	小エネルギー消費率型コンプレッサー			
-	--共通設定--	--タイプ共通--	<input type="checkbox"/>	居室ごとに設置する	ルームエアコンディショナー	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	区分(△)	<input type="checkbox"/>	...	搭載しない
1	Aタイプ(1F)	最下階・妻	<input type="checkbox"/>	居室ごとに設置する	ルームエアコンディショナー	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	区分(△)	<input type="checkbox"/>	...	搭載しない
2	Aタイプ(2F)	中間階・妻	<input type="checkbox"/>	居室ごとに設置する	ルームエアコンディショナー	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	区分(△)	<input type="checkbox"/>	...	搭載しない
3	Aタイプ(10F)	最上階・妻	<input type="checkbox"/>	居室ごとに設置する	ルームエアコンディショナー	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	区分(△)	<input type="checkbox"/>	...	搭載しない
4	Bタイプ(2F)	最下階・中	<input type="checkbox"/>	居室ごとに設置する	ルームエアコンディショナー	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	区分(△)	<input type="checkbox"/>	...	搭載しない
5	Bタイプ(3F)	中間階・中	<input type="checkbox"/>	居室ごとに設置する	ルームエアコンディショナー	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	区分(△)	<input type="checkbox"/>	...	搭載しない
6	Cタイプ(2F)	最下階・妻	<input type="checkbox"/>	居室ごとに設置する	ルームエアコンディショナー	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	区分(△)	<input type="checkbox"/>	...	搭載しない
7	Cタイプ(3F)	中間階・妻	<input type="checkbox"/>	居室ごとに設置する	ルームエアコンディショナー	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	区分(△)	<input type="checkbox"/>	...	搭載しない
8	Cタイプ(9F)	最上階・妻	<input type="checkbox"/>	居室ごとに設置する	ルームエアコンディショナー	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	区分(△)	<input type="checkbox"/>	...	搭載しない
9	Dタイプ(10F)	最上階	<input checked="" type="checkbox"/>	居室ごとに設置する	温水床暖房	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	...	

計算住戸の暖房設備について入力します。

### 項目の説明

項目	説明
凡例	計算住戸のグループの色が表示されます。
計算住戸名	計算住戸のタイプ名が表示されます。
住戸位置	計算住戸の住戸位置が表示されます。
個別設定	共通設定と異なる内容を設定する場合はチェックします。
暖房方式	リストから暖房方式を選択します。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">     居室ごとに設置する <input type="button" value="▼"/> <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 居室ごとに設置する</li> <li><input type="checkbox"/> ダクト式セントラル空調</li> <li><input type="checkbox"/> 暖房設備を設置しない</li> </ul> </div>

### 主たる居室 / その他の居室

暖房設備機器または放熱器の種類	リストから暖房機器種類を選択します。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> <input type="checkbox"/> ルームエアコンディショナー  <input checked="" type="checkbox"/> ルームエアコンディショナー  <input type="checkbox"/> FF式暖房設備  <input type="checkbox"/> 温水バッフルブリッジャー  <input type="checkbox"/> 温水床暖房  <input type="checkbox"/> 温水ファンコロバクター  <input type="checkbox"/> 電気ヒーター式床暖房  <input type="checkbox"/> 電気蓄熱式暖房  <input type="checkbox"/> ルームエアコンディショナー付温水床暖房機  <input type="checkbox"/> ベレットストーブ  <input type="checkbox"/> その他の暖房設備機器設置しない     </div>
その他の設備機器の名称	リストからその他の機器を選択した場合は、名称を直接入力します。
省エネ対策	省エネ対策ありの場合はチェックします。
能力と消費電力を入力	定格能力および定格消費電力を入力し、エネルギー消費効率の区分を算定する場合はチェックします。

定格冷房能力[kW]	「能力と消費電力を入力」をチェックした場合、定格冷房能力を入力します。(0.0~99.9kW)																																																			
定格冷房消費電力[kW]	「能力と消費電力を入力」をチェックした場合、定格冷房消費電力を入力します。(0.000~99.999kW)																																																			
エネルギー消費効率の区分	<p>「能力と消費電力を入力」がチェックオフの場合、区分をリストから選択します。</p> <p>区分(ろ) ▾</p> <p>区分(い) 区分(ろ) 区分(は)</p> <p>「能力と消費電力を入力」をチェックし、「定格冷房能力」と「定格冷房消費電力」を入力するとエネルギー消費効率の区分を自動設定、表示します。</p> <p>… ボタン押下時に、「定格冷房エネルギー消費効率の区分(い)、(ろ)、(は)の条件」画面を表示します。</p> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>定格冷房エネルギー消費効率の区分(い)、(ろ)、(は)の条件</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">定格冷房能力の区分</th> <th colspan="3">定格冷房エネルギー消費効率の区分を満たす条件</th> </tr> <tr> <th>区分(い)</th> <th>区分(ろ)</th> <th>区分(は)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2.2kW 以下</td><td>5.13 以上</td><td>4.78 以上((い)未満)</td><td>4.78 未満</td></tr> <tr><td>2.2kW を超え 2.5kW 以下</td><td>4.96 以上</td><td>4.62 以上(同上)</td><td>4.62 未満</td></tr> <tr><td>2.5kW を超え 2.8kW 以下</td><td>4.80 以上</td><td>4.47 以上(同上)</td><td>4.47 未満</td></tr> <tr><td>2.8kW を超え 3.2kW 以下</td><td>4.58 以上</td><td>4.27 以上(同上)</td><td>4.27 未満</td></tr> <tr><td>3.2kW を超え 3.6kW 以下</td><td>4.35 以上</td><td>4.07 以上(同上)</td><td>4.07 未満</td></tr> <tr><td>3.6kW を超え 4.0kW 以下</td><td>4.13 以上</td><td>3.87 以上(同上)</td><td>3.87 未満</td></tr> <tr><td>4.0kW を超え 4.5kW 以下</td><td>3.86 以上</td><td>3.62 以上(同上)</td><td>3.62 未満</td></tr> <tr><td>4.5kW を超え 5.0kW 以下</td><td>3.58 以上</td><td>3.36 以上(同上)</td><td>3.36 未満</td></tr> <tr><td>5.0kW を超え 5.6kW 以下</td><td>3.25 以上</td><td>3.06 以上(同上)</td><td>3.06 未満</td></tr> <tr><td>5.6kW を超え 6.3kW 以下</td><td>2.86 以上</td><td>2.71 以上(同上)</td><td>2.71 未満</td></tr> <tr><td>6.3kW を超える</td><td>2.42 以上</td><td>2.31 以上(同上)</td><td>2.31 未満</td></tr> </tbody> </table> </div>	定格冷房能力の区分	定格冷房エネルギー消費効率の区分を満たす条件			区分(い)	区分(ろ)	区分(は)	2.2kW 以下	5.13 以上	4.78 以上((い)未満)	4.78 未満	2.2kW を超え 2.5kW 以下	4.96 以上	4.62 以上(同上)	4.62 未満	2.5kW を超え 2.8kW 以下	4.80 以上	4.47 以上(同上)	4.47 未満	2.8kW を超え 3.2kW 以下	4.58 以上	4.27 以上(同上)	4.27 未満	3.2kW を超え 3.6kW 以下	4.35 以上	4.07 以上(同上)	4.07 未満	3.6kW を超え 4.0kW 以下	4.13 以上	3.87 以上(同上)	3.87 未満	4.0kW を超え 4.5kW 以下	3.86 以上	3.62 以上(同上)	3.62 未満	4.5kW を超え 5.0kW 以下	3.58 以上	3.36 以上(同上)	3.36 未満	5.0kW を超え 5.6kW 以下	3.25 以上	3.06 以上(同上)	3.06 未満	5.6kW を超え 6.3kW 以下	2.86 以上	2.71 以上(同上)	2.71 未満	6.3kW を超える	2.42 以上	2.31 以上(同上)	2.31 未満
定格冷房能力の区分	定格冷房エネルギー消費効率の区分を満たす条件																																																			
	区分(い)	区分(ろ)	区分(は)																																																	
2.2kW 以下	5.13 以上	4.78 以上((い)未満)	4.78 未満																																																	
2.2kW を超え 2.5kW 以下	4.96 以上	4.62 以上(同上)	4.62 未満																																																	
2.5kW を超え 2.8kW 以下	4.80 以上	4.47 以上(同上)	4.47 未満																																																	
2.8kW を超え 3.2kW 以下	4.58 以上	4.27 以上(同上)	4.27 未満																																																	
3.2kW を超え 3.6kW 以下	4.35 以上	4.07 以上(同上)	4.07 未満																																																	
3.6kW を超え 4.0kW 以下	4.13 以上	3.87 以上(同上)	3.87 未満																																																	
4.0kW を超え 4.5kW 以下	3.86 以上	3.62 以上(同上)	3.62 未満																																																	
4.5kW を超え 5.0kW 以下	3.58 以上	3.36 以上(同上)	3.36 未満																																																	
5.0kW を超え 5.6kW 以下	3.25 以上	3.06 以上(同上)	3.06 未満																																																	
5.6kW を超え 6.3kW 以下	2.86 以上	2.71 以上(同上)	2.71 未満																																																	
6.3kW を超える	2.42 以上	2.31 以上(同上)	2.31 未満																																																	
小能力時高効率型コンプレッサー	小能力時高効率型コンプレッサーの有無をリストから選択します。 搭載しない ▾ 搭載しない 搭載する																																																			
定格能力におけるエネルギー消費効率[%]	エネルギー消費効率を 0.1~100.0[%]の範囲で入力します。																																																			
床暖房敷設率を入力	床暖房敷設率を入力する場合はチェックします。																																																			
床暖房敷設率[%]	床暖房の敷設率を 0.1~100.0[%]の範囲で入力します。																																																			
仮想床の床面積を除いた敷設率を入力	仮想床の床面積を除いた敷設率を入力する場合はチェックします。																																																			
仮想床の床面積を除いた敷設率[%]	仮想床の床面積を除いた敷設率を 0.1~100.0[%]の範囲で入力します。																																																			

床の部位で上面放熱率を算定	床の部位で上面放熱率を算定し、放熱率を床の断熱(上面放熱率)に自動表示する場合はチェックします。
床の部位	床の部位で上面放熱率を算定する場合の床の部位をリストから選択します。
床の断熱(上面放熱率)[%]	床の上面放熱率を1~100[%]の範囲で入力します。
低出力モード	低出力モードの場合はチェックします。
断熱配管の採用	断熱配管を採用する場合はチェックします。
熱出力[kW]	熱出力を0.1~100.0[kW]の範囲で入力します。 初期値は「12.5kW」です。
熱効率[%]	熱効率を0.1~100.0[%]の範囲で入力します。 初期値は「63.7%」です。
点火時消費電力量[Wh]	点火時消費電力量を1~1000[Wh]の範囲で入力します。 初期値は「155Wh」です。
定常時消費電力[W]	定常時消費電力を1~1000[W]の範囲で入力します。 初期値は「134W」です。

#### 温水式暖房を設置する場合

温水暖房機の種類	温水式暖房を設置する場合は、熱源機の種類をリストから選択します。
その他の温水暖房機の名称	リストからその他の機器を選択した場合は、名称を直接入力します。
省エネ対策	省エネ対策ありの場合はチェックします。
定格能力における エネルギー消費効率	エネルギー消費効率を0.1~100.0[%]の範囲で入力します。
熱交換器タイプを入力	温水暖房機の種類で「地中熱ヒートポンプ温水暖房機」を選択した場合で熱交換器タイプを入力する場合にチェックします。
熱交換器タイプ(相当最大 熱交換能力の範囲)	リストから選択します。初期値は「5:90W/m以上」です。
断熱配管	断熱配管を使用する場合にチェックします。
配管が通過する空間	温水暖房機の種類で「温水暖房機を設置しない」以外を選択した場合は、配管が通過する空間をリストから選択します。

#### ダクト式セントラル空調器

ダクトが通過する空間	ダクトが通過する空間をリストから選択します。
VAV方式の採用	VAV方式を採用する場合はチェックします。
全般換気機能の有無	全般換気機能有りの場合はチェックします。

<b>機器の仕様の入力</b>	機器の仕様の入力について、リストから選択します。
<b>定格暖房能力試験の値</b>	
<b>能力</b>	機器の仕様の入力で「定格能力試験の値を入力」または「定格能力試験と中間能力試験の値を入力」を選択した場合、定格暖房能力試験の能力の値を 1000[W]～30000[W]の範囲で入力します。
<b>消費電力</b>	機器の仕様の入力で「定格能力試験の値を入力」または「定格能力試験と中間能力試験の値を入力」を選択した場合、定格暖房能力試験の消費電力の値を 100[W]～15000[W]の範囲で入力します。
<b>風量</b>	機器の仕様の入力で「定格能力試験の値を入力」または「定格能力試験と中間能力試験の値を入力」を選択した場合、定格暖房能力試験の風量の値を 100.0[m <sup>3</sup> /h]～10000.0[m <sup>3</sup> /h]の範囲で入力します。
<b>室内側送風機の消費電力</b>	機器の仕様の入力で「定格能力試験の値を入力」または「定格能力試験と中間能力試験の値を入力」を選択した場合、定格暖房能力試験の室内側送風機の消費電力の値を 1[W]～15000[W]の範囲で入力します。
<b>中間暖房能力試験の値</b>	
<b>能力</b>	機器の仕様の入力で「定格能力試験と中間能力試験の値を入力」を選択した場合、中間暖房能力試験の能力の値を 1000[W]～30000[W]の範囲で入力します。
<b>消費電力</b>	機器の仕様の入力で「定格能力試験と中間能力試験の値を入力」を選択した場合、中間暖房能力試験の消費電力の値を 100[W]～15000[W]の範囲で入力します。
<b>風量</b>	機器の仕様の入力で「定格能力試験と中間能力試験の値を入力」を選択した場合、中間暖房能力試験の風量の値を 100.0[m <sup>3</sup> /h]～10000.0[m <sup>3</sup> /h]の範囲で入力します。
<b>室内側送風機の消費電力</b>	機器の仕様の入力で「定格能力試験と中間能力試験の値を入力」を選択した場合、中間暖房能力試験の室内側送風機の消費電力の値を 1[W]～15000[W]の範囲で入力します。
<b>設計風量の入力</b>	設計風量を手入力する場合は、チェックします。
<b>設計風量</b>	設計風量を 100.0[m <sup>3</sup> /h]～10000.0[m <sup>3</sup> /h]の範囲で入力します。

## 11.3 冷房設備

【住宅サンプルデータ.isar4h - A-repo4 - [一次エネルギー・暖冷房設備: 冷房]】

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) イポート(I) ツール(T) オンラインサポート(O) ヘルプ(H)

■建物名称: 新規物件 | ■地区区分【省エネ基準】5地域【年間日射】A4区分

凡例	計算住戸名	住戸位置	個別設定	冷房方式	主たる居室						冷房設備機器の種類	省エネ対策		
					冷房設備機器の種類	省エネ対策	能力と消費電力を入力	エネルギー消費効率の区分	小能力時高効率型コプレッサー	冷房設備機器の種類			省エネ対策	
-	--共通設定--	--タイプ共通--		居室ごとに設置する	ルームエアコンディショナー	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	区分(△)	<input checked="" type="checkbox"/>	…	搭載しない	<input checked="" type="checkbox"/>	冷房設備を使用しない	<input checked="" type="checkbox"/>
1	Aタイプ(1F)	最下階・妻		居室ごとに設置する	ルームエアコンディショナー	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	区分(△)	<input checked="" type="checkbox"/>	…	搭載しない	<input checked="" type="checkbox"/>	冷房設備を使用しない	<input checked="" type="checkbox"/>
2	Aタイプ(DF)	中間階・妻		居室ごとに設置する	ルームエアコンディショナー	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	区分(△)	<input checked="" type="checkbox"/>	…	搭載しない	<input checked="" type="checkbox"/>	冷房設備を使用しない	<input checked="" type="checkbox"/>
3	Aタイプ(10F)	最上階・妻		居室ごとに設置する	ルームエアコンディショナー	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	区分(△)	<input checked="" type="checkbox"/>	…	搭載しない	<input checked="" type="checkbox"/>	冷房設備を使用しない	<input checked="" type="checkbox"/>
4	Bタイプ(2F)	最下階・中		居室ごとに設置する	ルームエアコンディショナー	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	区分(△)	<input checked="" type="checkbox"/>	…	搭載しない	<input checked="" type="checkbox"/>	冷房設備を使用しない	<input checked="" type="checkbox"/>
5	Bタイプ(3F)	中間階・中		居室ごとに設置する	ルームエアコンディショナー	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	区分(△)	<input checked="" type="checkbox"/>	…	搭載しない	<input checked="" type="checkbox"/>	冷房設備を使用しない	<input checked="" type="checkbox"/>
6	Cタイプ(2F)	最下階・妻		居室ごとに設置する	ルームエアコンディショナー	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	区分(△)	<input checked="" type="checkbox"/>	…	搭載しない	<input checked="" type="checkbox"/>	冷房設備を使用しない	<input checked="" type="checkbox"/>
7	Cタイプ(3F)	中間階・妻		居室ごとに設置する	ルームエアコンディショナー	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	区分(△)	<input checked="" type="checkbox"/>	…	搭載しない	<input checked="" type="checkbox"/>	冷房設備を使用しない	<input checked="" type="checkbox"/>
8	Cタイプ(9F)	最上階・妻		居室ごとに設置する	ルームエアコンディショナー	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	区分(△)	<input checked="" type="checkbox"/>	…	搭載しない	<input checked="" type="checkbox"/>	冷房設備を使用しない	<input checked="" type="checkbox"/>
9	Dタイプ(10F)	最上階	<input checked="" type="checkbox"/>	居室ごとに設置する	ルームエアコンディショナー	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	区分(△)	<input checked="" type="checkbox"/>	…	搭載しない	<input checked="" type="checkbox"/>	ルームエアコンディショナー	<input checked="" type="checkbox"/>

計算住戸の冷房設備について入力します。

### 項目の説明

項目	説明
凡例	計算住戸のグループの色が表示されます。
計算住戸名	計算住戸のタイプ名が表示されます。
住戸位置	計算住戸の住戸位置が表示されます。
個別設定	共通設定と異なる内容を設定する場合はチェックします。
冷房方式	冷房方式をリストから選択します。 [居室ごとに設置する] [居室ごとに設置する] [ダクト式セントラル空調] [冷房設備を設置しない]

### 主たる居室 / その他の居室

冷房設備機器の種類	冷房設備の種類をリストから選択します。 ルームエアコンディショナー ルームエアコンディショナー その他の冷房設備機器 冷房設備を使用しない
その他の設備機器の名称	リストからその他の機器を選択した場合は、名称を直接入力します。
省エネ対策	省エネ対策ありの場合はチェックします。
能力と消費電力を入力	定格能力および定格消費電力を入力し、エネルギー消費効率の区分を算定する場合はチェックします。
定格冷房能力[kW]	「能力と消費電力を入力」をチェックした場合、定格冷房能力を入力します。(0.0~99.9kW)

定格冷房消費電力[kW]	「能力と消費電力を入力」をチェックした場合、定格冷房消費電力を入力します。(0.000~99.999kW)																																																			
エネルギー消費効率の区分	<p>「能力と消費電力を入力」がチェックオフの場合、区分をリストから選択します。</p> <p><input type="button" value="区分(ろ)"/>▼</p> <p><input type="radio" value="区分(い)"/>区分(い) <input checked="" type="radio" value="区分(ろ)"/>区分(ろ) <input type="radio" value="区分(は)"/>区分(は)</p> <p>「能力と消費電力を入力」をチェックし、「定格冷房能力」と「定格冷房消費電力」を入力するとエネルギー消費効率の区分を自動設定、表示します。</p> <p>… ボタン押下時に、「定格冷房エネルギー消費効率の区分（い）、（ろ）、（は）の条件」画面を表示します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">定格冷房能力の区分</th> <th colspan="3">定格冷房エネルギー消費効率の区分を満たす条件</th> </tr> <tr> <th>区分(い)</th> <th>区分(ろ)</th> <th>区分(は)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2.2kW 以下</td><td>5.13 以上</td><td>4.78 以上((い)未満)</td><td>4.78 未満</td></tr> <tr><td>2.2kW を超え 2.5kW 以下</td><td>4.96 以上</td><td>4.62 以上(同上)</td><td>4.62 未満</td></tr> <tr><td>2.5kW を超え 2.8kW 以下</td><td>4.80 以上</td><td>4.47 以上(同上)</td><td>4.47 未満</td></tr> <tr><td>2.8kW を超え 3.2kW 以下</td><td>4.58 以上</td><td>4.27 以上(同上)</td><td>4.27 未満</td></tr> <tr><td>3.2kW を超え 3.6kW 以下</td><td>4.35 以上</td><td>4.07 以上(同上)</td><td>4.07 未満</td></tr> <tr><td>3.6kW を超え 4.0kW 以下</td><td>4.13 以上</td><td>3.87 以上(同上)</td><td>3.87 未満</td></tr> <tr><td>4.0kW を超え 4.5kW 以下</td><td>3.86 以上</td><td>3.62 以上(同上)</td><td>3.62 未満</td></tr> <tr><td>4.5kW を超え 5.0kW 以下</td><td>3.58 以上</td><td>3.36 以上(同上)</td><td>3.36 未満</td></tr> <tr><td>5.0kW を超え 5.6kW 以下</td><td>3.25 以上</td><td>3.06 以上(同上)</td><td>3.06 未満</td></tr> <tr><td>5.6kW を超え 6.3kW 以下</td><td>2.86 以上</td><td>2.71 以上(同上)</td><td>2.71 未満</td></tr> <tr><td>6.3kW を超える</td><td>2.42 以上</td><td>2.31 以上(同上)</td><td>2.31 未満</td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">キャンセル</p>	定格冷房能力の区分	定格冷房エネルギー消費効率の区分を満たす条件			区分(い)	区分(ろ)	区分(は)	2.2kW 以下	5.13 以上	4.78 以上((い)未満)	4.78 未満	2.2kW を超え 2.5kW 以下	4.96 以上	4.62 以上(同上)	4.62 未満	2.5kW を超え 2.8kW 以下	4.80 以上	4.47 以上(同上)	4.47 未満	2.8kW を超え 3.2kW 以下	4.58 以上	4.27 以上(同上)	4.27 未満	3.2kW を超え 3.6kW 以下	4.35 以上	4.07 以上(同上)	4.07 未満	3.6kW を超え 4.0kW 以下	4.13 以上	3.87 以上(同上)	3.87 未満	4.0kW を超え 4.5kW 以下	3.86 以上	3.62 以上(同上)	3.62 未満	4.5kW を超え 5.0kW 以下	3.58 以上	3.36 以上(同上)	3.36 未満	5.0kW を超え 5.6kW 以下	3.25 以上	3.06 以上(同上)	3.06 未満	5.6kW を超え 6.3kW 以下	2.86 以上	2.71 以上(同上)	2.71 未満	6.3kW を超える	2.42 以上	2.31 以上(同上)	2.31 未満
定格冷房能力の区分	定格冷房エネルギー消費効率の区分を満たす条件																																																			
	区分(い)	区分(ろ)	区分(は)																																																	
2.2kW 以下	5.13 以上	4.78 以上((い)未満)	4.78 未満																																																	
2.2kW を超え 2.5kW 以下	4.96 以上	4.62 以上(同上)	4.62 未満																																																	
2.5kW を超え 2.8kW 以下	4.80 以上	4.47 以上(同上)	4.47 未満																																																	
2.8kW を超え 3.2kW 以下	4.58 以上	4.27 以上(同上)	4.27 未満																																																	
3.2kW を超え 3.6kW 以下	4.35 以上	4.07 以上(同上)	4.07 未満																																																	
3.6kW を超え 4.0kW 以下	4.13 以上	3.87 以上(同上)	3.87 未満																																																	
4.0kW を超え 4.5kW 以下	3.86 以上	3.62 以上(同上)	3.62 未満																																																	
4.5kW を超え 5.0kW 以下	3.58 以上	3.36 以上(同上)	3.36 未満																																																	
5.0kW を超え 5.6kW 以下	3.25 以上	3.06 以上(同上)	3.06 未満																																																	
5.6kW を超え 6.3kW 以下	2.86 以上	2.71 以上(同上)	2.71 未満																																																	
6.3kW を超える	2.42 以上	2.31 以上(同上)	2.31 未満																																																	
小能力時高効率型コンプレッサー	小能力時高効率型コンプレッサーの有無をリストから選択します。																																																			
ダクト式セントラル空調器																																																				
ダクトが通過する空間	ダクトが通過する空間をリストから選択します。																																																			
VAV 方式の採用	VAV 方式を採用する場合はチェックします。																																																			
全般換気機能の有無	全般換気機能有りの場合はチェックします。																																																			
機器の仕様の入力	機器の仕様の入力について、リストから選択します。																																																			
定格冷房能力試験の値																																																				
能力	機器の仕様の入力で「定格能力試験の値を入力」または「定格能力試験と中間能力試験の値を入力」を選択した場合、定格冷房能力試験の能力の値を 1000[W]~30000[W]の範囲で入力します。																																																			

<b>消費電力</b>	機器の仕様の入力で「定格能力試験の値を入力」または「定格能力試験と中間能力試験の値を入力」を選択した場合、定格冷房能力試験の消費電力の値を 100[W]～15000[W]の範囲で入力します。
<b>風量</b>	機器の仕様の入力で「定格能力試験の値を入力」または「定格能力試験と中間能力試験の値を入力」を選択した場合、定格冷房能力試験の風量の値を 100.0[m³/h]～10000.0[m³/h]の範囲で入力します。
<b>室内側送風機の消費電力</b>	機器の仕様の入力で「定格能力試験の値を入力」または「定格能力試験と中間能力試験の値を入力」を選択した場合、定格冷房能力試験の室内側送風機の消費電力の値を 1[W]～15000[W]の範囲で入力します。
<b>中間冷房能力試験の値</b>	
<b>能力</b>	機器の仕様の入力で「定格能力試験と中間能力試験の値を入力」を選択した場合、中間冷房能力試験の能力の値を 1000[W]～30000[W]の範囲で入力します。
<b>消費電力</b>	機器の仕様の入力で「定格能力試験と中間能力試験の値を入力」を選択した場合、中間冷房能力試験の消費電力の値を 100[W]～15000[W]の範囲で入力します。
<b>風量</b>	機器の仕様の入力で「定格能力試験と中間能力試験の値を入力」を選択した場合、中間冷房能力試験の風量の値を 100.0[m³/h]～10000.0[m³/h]の範囲で入力します。
<b>室内側送風機の消費電力</b>	機器の仕様の入力で「定格能力試験と中間能力試験の値を入力」を選択した場合、中間冷房能力試験の室内側送風機の消費電力の値を 1[W]～15000[W]の範囲で入力します。
<b>設計風量の入力</b>	設計風量を手入力する場合は、チェックします。
<b>設計風量</b>	設計風量を 100.0[m³/h]～10000.0[m³/h]の範囲で入力します。

## 11.4 換気・熱交換設備



計算住戸の換気設備について入力します。

### 項目の説明

項目	説明
凡例	計算住戸のグループの色が表示されます。
計算住戸名	計算住戸のタイプ名が表示されます。
住戸位置	計算住戸の住戸位置が表示されます。
個別設定	共通設定と異なる内容を設定する場合はチェックします。
換気設備の方式	換気設備の方式をリストから選択します。 ダクト式第2種または第3種 ダクト式第1種 ダクト式第2種または第3種 壁付け式第1種 壁付け式第2種または第3種

### 省エネルギー対策

対策の有無と採用した手法の選択	対策の有無と採用した手法をリストから選択します。 なし なし 比消費電力を入力 設計風量及び消費電力を入力 太窓ダクト使用 太窓ダクト+DCモーター使用
設計風量[m³]	「対策の有無と採用した手法の選択」で「設計風量及び消費電力を入力」を選択した場合に設計風量を入力 (0~99999 m³/h)
消費電力[W]	「対策の有無と採用した手法の選択」で「設計風量及び消費電力を入力」を選択した場合に消費電力を入力 (0.0~99999.9W)
比消費電力[W/(m³/h)]	単位風量比の消費電力を 0.01~2.00[W/m³/h] の範囲で入力します。
換気回数[回/h]	換気回数をリストから選択します。 0.5 0.5 0.7 0.0

第一種設備有効換気量率	換気設備方式で「第1種」を選択した場合は、0.1～1.00の範囲で入力します。
熱交換型換気	熱交換型の換気設備の場合はチェックします。
温度交換効率[%]	温度交換効率を40～95[%]の範囲で入力します。
給気と排気の比率による温度交換効率の補正係数	給気と排気の比率による温度交換効率の補正係数を0.01～1.00の範囲で入力します。
排気過多時における住宅外皮経由の漏気による温度交換効率の補正係数	排気過多時における住宅外皮経由の漏気による温度交換効率の補正係数を0.01～1.00の範囲で入力します。

## 11.5 給湯設備



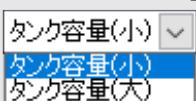
計算住戸の給湯設備について入力します。

### 項目の説明

項目	説明
凡例	計算住戸のグループの色が表示されます。
計算住戸名	計算住戸のタイプ名が表示されます。
住戸位置	計算住戸の住戸位置が表示されます。
個別設定	共通設定と異なる内容を設定する場合はチェックします。
給湯設備有無	給湯設備の有無、およびふろ機能の有無を選択します。 <input type="checkbox"/> あり(浴室あり) <input type="checkbox"/> なし

### 給湯熱源機

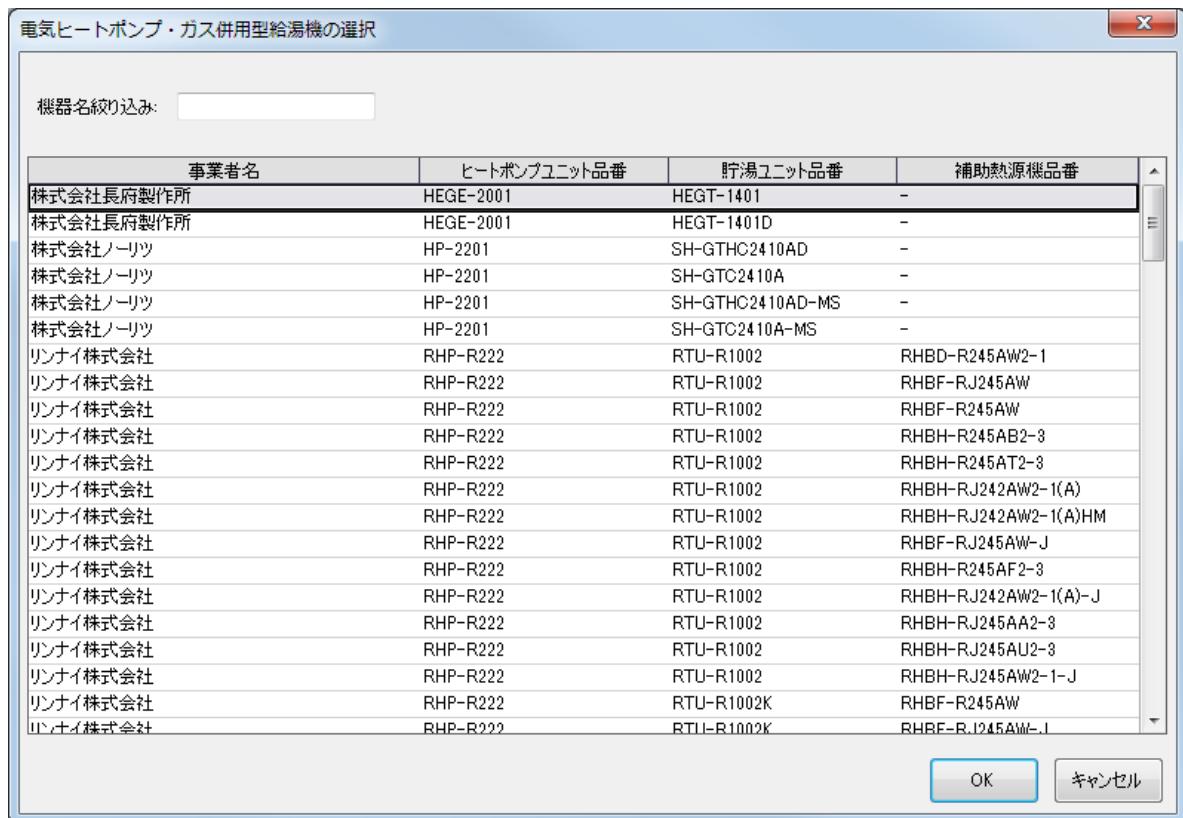
熱源機の分類	熱源機の分類をリストから選択します。 <input type="button" value="給湯専用型"/> <input type="button" value="給湯・温水暖房一体型"/> <input type="button" value="コーナーレーション使用"/> <input type="button" value="その他の給湯設備機器"/> <input type="button" value="給湯機器を設置しない"/>
熱源機(給湯専用型)の種類	熱源機の分類で給湯専用型を選択した場合は、リストから選択します。
熱源機(給湯・温水暖房一体型)の種類	熱源機の分類で給湯・温水暖房一体型を選択した場合は、リストから選択します。
熱源構成	熱源機(給湯・温水暖房一体型)の種類で電気ヒートポンプ・ガス併用型給湯温水暖房機を選択した場合は、リストから選択します。

電気ヒートポンプ・ガス併用型給湯機/電気ヒートポンプ給湯機 品番入力	電気ヒートポンプ・ガス併用型給湯機又は電気ヒートポンプ給湯機の品番を直接入力する場合はチェックします。電気ヒートポンプ・ガス併用型給湯機は熱源機(給湯専用型)の種類で「電気ヒートポンプ・ガス併用型給湯機」、又は熱源構成で「暖房部：ガス、給湯部：電気ヒートポンプ・ガスを選択した場合にチェック可能です。電気ヒートポンプ給湯機は熱源機(給湯専用型)の種類で「電気ヒートポンプ給湯機(CO2冷媒またはR32冷媒)」を選択した場合にチェック可能です。
電気ヒートポンプ・ガス併用型給湯機 ヒートポンプユニット品番	ヒートポンプユニット品番を入力します。参照ボタンより機器を選択し、電気ヒートポンプ・ガス併用型給湯機の品番を一括設定することも可能です。
電気ヒートポンプ・ガス併用型給湯機 貯湯ユニット品番	貯湯ユニット品番を入力します。参照ボタンより機器を選択し、電気ヒートポンプ・ガス併用型給湯機の品番を一括設定することも可能です。
電気ヒートポンプ・ガス併用型給湯機 補助熱源機品番	補助熱源機品番を入力します。参照ボタンより機器を選択し、電気ヒートポンプ・ガス併用型給湯機の品番を一括設定することも可能です。
電気ヒートポンプ給湯機 ヒートポンプユニット形式	ヒートポンプユニット形式を入力します。参照ボタンより機器を選択し、電気ヒートポンプ・ガス併用型給湯機の品番を一括設定することも可能です。
電気ヒートポンプ給湯機 貯湯ユニット形式	貯湯ユニット形式を入力します。参照ボタンより機器を選択し、電気ヒートポンプ給湯機の品番を一括設定することも可能です。
電気ヒートポンプ給湯機 システム形式	システム形式を入力します。参照ボタンより機器を選択し、電気ヒートポンプ給湯機の品番を一括設定することも可能です。
電気ヒートポンプ・ガス併用型給湯機/電気ヒートポンプ給湯機 参照	ボタンを押下すると、電気ヒートポンプ・ガス併用型給湯機又は電気ヒートポンプ給湯機の品番の参照画面が開きます。設定したい機器を選択します。
冷媒の種類	熱源機(給湯専用型)の種類で「電気ヒートポンプ・ガス併用型給湯機」又は熱源構成で「暖房部：ガス、給湯部：電気ヒートポンプ・ガス」で、品番入力にチェックがない場合は、選択します。
タンクユニットの設置場所	熱源構成で暖房部：電気ヒートポンプ・ガス、給湯部：ガスを選択した場合は、リストから選択します。
タンク容量	熱源機(給湯専用型)の種類で電気ヒートポンプ・ガス併用型給湯機を選択した場合、又は熱源構成で暖房部：ガス、給湯部：電気ヒートポンプ・ガスを選択した場合で品番入力にチェックがなく、冷媒の種類で「フロン系冷媒」を選択した場合にリストから選択します。 

電気ヒートポンプ・ガス瞬間式併用型給湯温水暖房機の区分	タンク容量 160L 未満のものは区分 1、タンク容量 160L 以上のものは区分 2 を選択します。 <input type="button" value="区分1"/> <input type="button" value="区分2"/>
その他機器名称	熱源機の分類でその他の機器を選択した場合は、名称を直接入力します。
効率の入力	機器の効率を手入力したい場合はチェックします。
暖房部 JIS 効率[%]	J IS 効率を 0.1~100.0[%] の範囲で入力します。
給湯部 入力効率	給湯部の効率として、どの値を設定するかを選択します。 <input type="button" value="モード熱効率"/> <input type="button" value="エネルギー消費効率"/> <input type="button" value="モード熱効率"/> <p>熱源機の種類（給湯専用型の各種類、および給湯・温水暖房一体型の各種類）により、選択肢の内容が熱効率・JIS 効率などに変わります。</p>
給湯部 機種名	入力効率が「M1 スタンダード」の場合に機種名を入力します。
給湯部 効率	給湯部の エネルギー消費効率、またはモード熱効率、熱効率、JIS 効率を入力します。 J IS 効率は 0.1~5.0 の範囲で、M1 スタンダードは 0.01~5.00 の範囲で、その他の各効率値は 0.1~100.0[%] の範囲で入力します。
給湯部 昼間沸上げ	入力効率が「JIS 効率」の場合に昼間沸上げの有無を指定します。
昼間沸上げ 仕様の入力	昼間沸上げが「有」で、仕様の入力をする場合にチェックします。
昼間沸上げ 時間帯の制御	仕様の入力をする場合に時間帯の制御をリストから選択します。 <input type="button" value="開始時刻制御"/> <input type="button" value="開始時刻制御"/> <input type="button" value="中心時刻制御"/> <input type="button" value="終了時刻制御"/>
昼間沸上げ 昼間消費電力量比率[%]	昼間消費電力量比率を 50~100[%] の範囲で入力します。
ふろ機能	風呂機能についてリストから選択します。 <input type="button" value="給湯単機能"/> <input type="button" value="給湯単機能"/> <input type="button" value="ふろ(追焚なし)"/> <input type="button" value="ふろ(追焚あり)"/>
配管	
配管方式	配管方式についてリストから選択します。 <input type="button" value="先分岐"/> <input type="button" value="先分岐"/> <input type="button" value="ヘッダー"/>
ヘッダ一分岐後配管径	配管方式でヘッダー方式を選択した場合は、リストからサイズを選択します。 <input type="button" value="全て13A以下"/> <input type="button" value="全て13A以下"/> <input type="button" value="一部が13A超"/>
水栓	

台所水栓～洗面水栓	水栓の種類をリストから選択及び、該当する項目をチェックします。 その他 ▼ 2バルブ その他
高断熱浴槽	高断熱浴槽を使用している場合はチェックします。

### 11.5.1 ヒートポンプ・ガス併用型給湯機選択



ヒートポンプ・ガス併用型給湯機を一覧から選択します。行を選択して OK ボタン、または行をダブルクリックで、選択した行に対応するヒートポンプ・ガス併用型給湯機が選択されます。

#### 項目の説明

項目	説明
機器名絞り込み	ヒートポンプ・ガス併用型給湯機の品番の一部を入力すると表示が絞り込まれます。1文字毎に、そこまでに入力した文字列が含まれる行のみが表示されます。
事業者名	機器を提供している事業者名
ヒートポンプユニット 品番	ヒートポンプユニット番号
貯湯ユニット品番	貯湯ユニット番号
補助熱源機品番	補助熱源ユニット番号

## 11.5.2 電気ヒートポンプ給湯機選択

電気ヒートポンプ給湯機の選択

機器名絞り込み:

事業者名	システム形式	ヒートポンプユニット形式	貯湯ユニット形式
株式会社コロナ	CHP-HXE37AX4	CHP-H4516	CTU-HXE37AX4
株式会社コロナ	CHP-HXE37AX5	CHP-H4516	CTU-HXE37AX5
株式会社コロナ	CHP-HXE37AY1	CHP-H4516	CTU-HXE37AY1
株式会社コロナ	CHP-HXE37AY2	CHP-H4516	CTU-HXE37AY2
株式会社コロナ	CHP-HXE37AY3	CHP-H4516	CTU-HXE37AY3
株式会社コロナ	CHP-HXE46AY1	CHP-H6016	CTU-HXE46AY1
株式会社コロナ	CHP-HXE46AY2	CHP-H6016	CTU-HXE46AY2
株式会社コロナ	CHP-HXE46AY3	CHP-H6016	CTU-HXE46AY3
積水ホームテクノ株式会社	CUF-E37S3	CFH-H4516	CFT-E37S3
積水ホームテクノ株式会社	CUF-E37T3	CFH-H4516	CFT-E37T3
積水ホームテクノ株式会社	CUF-E37V3	CFH-H4516	CFT-E37V3
積水ホームテクノ株式会社	CUF-E37X3	CFH-H4516	CFT-E37X3
積水ホームテクノ株式会社	CUF-E37C3	CFH-H4516	CFT-E37C3
積水ホームテクノ株式会社	CUF-E46V3	CFH-H6016	CFT-E46V3
積水ホームテクノ株式会社	CUF-E46X3	CFH-H6016	CFT-E46X3
積水ホームテクノ株式会社	CUF-E46C3	CFH-H6016	CFT-E46C3
株式会社コロナ	CHP-HXE37AY4	CHP-YH453	CTU-HXE37AY4
積水ホームテクノ株式会社	CUF-E37F3	CFH-YH453	CFT-E37F3
株式会社コロナ	CHP-HXE46AY4	CHP-YH603	CTU-HXE46AY4
積水ホームテクノ株式会社	CUF-E46F3	CFH-YH603	CFT-E46F3
三菱電機株式会社	SRT-P375UB	SRT-LU415-P	SRT-PT375UB
三菱電機株式会社	SRT-P375B	SRT-LU415-P	SRT-PT375B
三菱電機株式会社	SRT-P375UIRD-F109	SRT-LU415-P	SRT-PT375UIRD-F109

電気ヒートポンプ給湯機を一覧から選択します。行を選択して OK ボタン、または行をダブルクリックで、選択した行に対応する電気ヒートポンプ給湯機が選択されます。

### 項目の説明

項目	説明
機器名絞り込み	電気ヒートポンプ給湯機の品番の一部を入力すると表示が絞り込まれます。1文字毎に、そこまでに入力した文字列が含まれる行のみが表示されます。
事業者名	機器を提供している事業者名
システム形式	システム形式番号
ヒートポンプユニット形式	ヒートポンプユニット形式番号
貯湯ユニット形式	貯湯ユニット形式番号

## 11.6 照明設備

凡例	計算住戸名	住戸位置	個別設定	主たる居室				その他の居室				非居室		
				照明設置	照明器具種類	多灯分散照明	調光制御	照明設置	照明器具種類	調光制御	照明器具種類	人感センサ		
-	--共通設定--	-	<input checked="" type="checkbox"/>	全てLED	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	全てLED	<input type="checkbox"/>	
1	Aタイプ(1F)	最下階・妻	<input type="checkbox"/>	全てLED	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	全てLED	<input type="checkbox"/>	
2	Aタイプ(2F)	中間階・妻	<input type="checkbox"/>	全てLED	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	全てLED	<input type="checkbox"/>	
3	Aタイプ(10F)	最上階・妻	<input type="checkbox"/>	全てLED	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	全てLED	<input type="checkbox"/>	
4	Bタイプ(2F)	最下階・中	<input type="checkbox"/>	全てLED	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	全てLED	<input type="checkbox"/>	
5	Bタイプ(5F)	中間階・中	<input type="checkbox"/>	全てLED	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	全てLED	<input type="checkbox"/>	
6	Cタイプ(2F)	最下階・妻	<input type="checkbox"/>	全てLED	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	全てLED	<input type="checkbox"/>	
7	Cタイプ(5F)	中間階・妻	<input type="checkbox"/>	全てLED	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	全てLED	<input type="checkbox"/>	
8	Cタイプ(9F)	最上階・妻	<input type="checkbox"/>	全てLED	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	全てLED	<input type="checkbox"/>	
9	Dタイプ(10F)	最上階	<input checked="" type="checkbox"/>	全てLED	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	全てLED	<input type="checkbox"/>					

計算住戸の照明設備について入力します。

### 項目の説明

項目	説明
凡例	計算住戸のグループの色が表示されます。
計算住戸名	計算住戸のタイプ名が表示されます。
住戸位置	計算住戸の住戸位置が表示されます。
個別設定	共通設定と異なる内容を設定する場合はチェックします。

### 主たる居室／その他の居室

照明設置	照明設備があればチェックします。
照明器具種類	全ての照明機器が、LED 照明ならば「全て LED」を、1 灯でも白熱灯を使用していれば「白熱灯を含む」を、白熱灯を使用していなければ「全て白熱灯以外」を選択します。
多灯分散照明	分散照明を制御していればチェックします。
調光制御	調光制御を行っていればチェックします。

### 非居室

照明設置	照明設備があればチェックします。
照明器具種類	全ての照明機器が、LED 照明ならば「全て LED」を、1 灯でも白熱灯を使用していれば「白熱灯を含む」を、白熱灯を使用していなければ「全て白熱灯以外」を選択します。
人感センサ	人感センサーを使用していればチェックします。

## 11.7 太陽光発電設備

凡例	計算住戸名	住戸位置	個別設定	太陽光発電設備設置	発電の評価	方位の異なるパネル	パワーコンディショナ定格負荷効率[%]	パワーコンディショナ定格負荷効率[%]	パネルその1				
									太陽電池アレイ容量 [kW]	太陽電池アレイ種類	方位角	傾斜角	
-	--共通設定--	--タイプ共通--		<input checked="" type="checkbox"/>	評価する	1面	<input checked="" type="checkbox"/>	92.8	2.00	結晶シリコン系	屋根置き	南	30度
1	Aタイプ(1F)	最下階・妻		<input type="checkbox"/>	評価する	1面	<input checked="" type="checkbox"/>	92.8	2.00	結晶シリコン系	屋根置き	南	30度
2	Aタイプ(2F)	中階部・妻		<input type="checkbox"/>	評価する	1面	<input checked="" type="checkbox"/>	92.8	2.00	結晶シリコン系	屋根置き	南	30度
3	Aタイプ(10F)	最上階・妻		<input type="checkbox"/>	評価する	1面	<input checked="" type="checkbox"/>	92.8	2.00	結晶シリコン系	屋根置き	南	30度
4	Bタイプ(2F)	最下階・中		<input type="checkbox"/>	評価する	1面	<input checked="" type="checkbox"/>	92.8	2.00	結晶シリコン系	屋根置き	南	30度
5	Bタイプ(2F)	中階部・中		<input type="checkbox"/>	評価する	1面	<input checked="" type="checkbox"/>	92.8	2.00	結晶シリコン系	屋根置き	南	30度
6	Cタイプ(2F)	最下階・妻		<input type="checkbox"/>	評価する	1面	<input checked="" type="checkbox"/>	92.8	2.00	結晶シリコン系	屋根置き	南	30度
7	Cタイプ(2F)	中階部・妻		<input type="checkbox"/>	評価する	1面	<input checked="" type="checkbox"/>	92.8	2.00	結晶シリコン系	屋根置き	南	30度
8	Cタイプ(10F)	最上階・妻		<input type="checkbox"/>	評価する	1面	<input checked="" type="checkbox"/>	92.8	2.00	結晶シリコン系	屋根置き	南	30度
9	Dタイプ(10F)	最上階		<input checked="" type="checkbox"/>	評価しない	1面	<input type="checkbox"/>						

複数パネル表示時 各「パネル名」又は「太陽電池アレイ容量」の列見出しをダブルクリックすると、パネル毎に「全表示 / アレイ容量のみ表示」が切り替えられます。

計算住戸の太陽光発電設備について入力します。

### 項目の説明

項目	説明
凡例	計算住戸のグループの色が表示されます。
計算住戸名	計算住戸のタイプ名が表示されます。
住戸位置	計算住戸の住戸位置が表示されます。
個別設定	共通設定と異なる内容を設定する場合はチェックします。
太陽光発電設備設置	太陽光発電設備があればチェックします。
発電の評価	発電の評価をリストから選択します。 評価する 評価しない 評価する
	※評価するを選択すると、入力欄が表示されます。
方位の異なるパネル	複数の方位にパネルが設置してある場合は、リストから選択します。 2面 1面 2面 3面 4面
	※2面以上を選択すると、入力欄が必要な範囲で拡張されます。
パワーコンディショナの定格負荷効率の入力	パワーコンディショナの定格負荷効率を入力する場合はチェックします。
パワーコンディショナの定格負荷効率[%]	パワーコンディショナの定格負荷効率の入力がチェックされている場合に、パワーコンディショナの定格負荷効率を0.0~99.9[%]の範囲で入力します。
パネルその1 / 2 ...	
太陽電池アレイ容量	アレイの容量を0.01~99.99[kW]の範囲で入力します。

太陽電池アレイ種類	アレイの種類をリストから選択します。 結晶シリコン系 ▼ 結晶シリコン系 その他
太陽電池アレイ設置方式	アレイの種類をリストから選択します。 架台設置 ▼ 架台設置 屋根置き その他
方位角	パネルの方位角をリストから選択します。 南 ▼ 南 南東 東南東 東 東北東 北北東 北 北北西 西北西 西 西南西 南西
方位角選択ボタン	方位角選択ダイアログを開き、グラフィカルに方位を選択することができます。 

## 傾斜角

太陽光パネルの設置傾斜角ダイアログを開き、傾斜角を選択することができます。

傾斜角		X
尺貫法	換算値(度)	選択肢
0寸(水平)	0	0度(水平)
0.5寸	2.86	
1寸	5.71	
1.5寸	8.53	
2寸	11.30	
2.5寸	14.03	
3寸	16.70	
3.5寸	19.29	
4寸	21.80	
4.5寸	24.22	
5寸	26.57	
5.5寸	28.81	
6寸	30.96	30度
6.5寸	33.02	
7寸	34.99	
7.5寸	36.86	
8寸	38.65	
8.5寸	40.36	
9寸	41.98	
9.5寸	43.53	
10寸(矩勾配)	45.00	50度

\*1度単位で四捨五入

\*一覧にない場合は直接指定する

OK

キャンセル

## 11.8 太陽熱（液体集熱式）設備

凡例	計算住戸名	住戸位置	個別設定	太陽熱給湯設備		給湯接続方式	品番入力	集熱面積 [m <sup>2</sup> ]	集熱部の設置方位角	集熱部の設置傾斜角	貯湯タンク容量[L]
				採用しない	採用する						
-	--共通設定--	--タイプ共通--		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>						
1	Aタイプ(1F)	最下階・妻		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>						
2	Aタイプ(2F)	中間階・妻		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>						
3	Aタイプ(10F)	最上階・妻		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>						
4	Bタイプ(2F)	最下階・中		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>						
5	Bタイプ(3F)	中間階・中		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>						
6	Cタイプ(2F)	最下階・妻		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>						
7	Cタイプ(3F)	中間階・妻		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>						
8	Cタイプ(9F)	最上階・妻		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>						
9	Dタイプ(10F)	最上階		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>						

計算住戸の太陽熱（液体集熱式）設備について入力します。

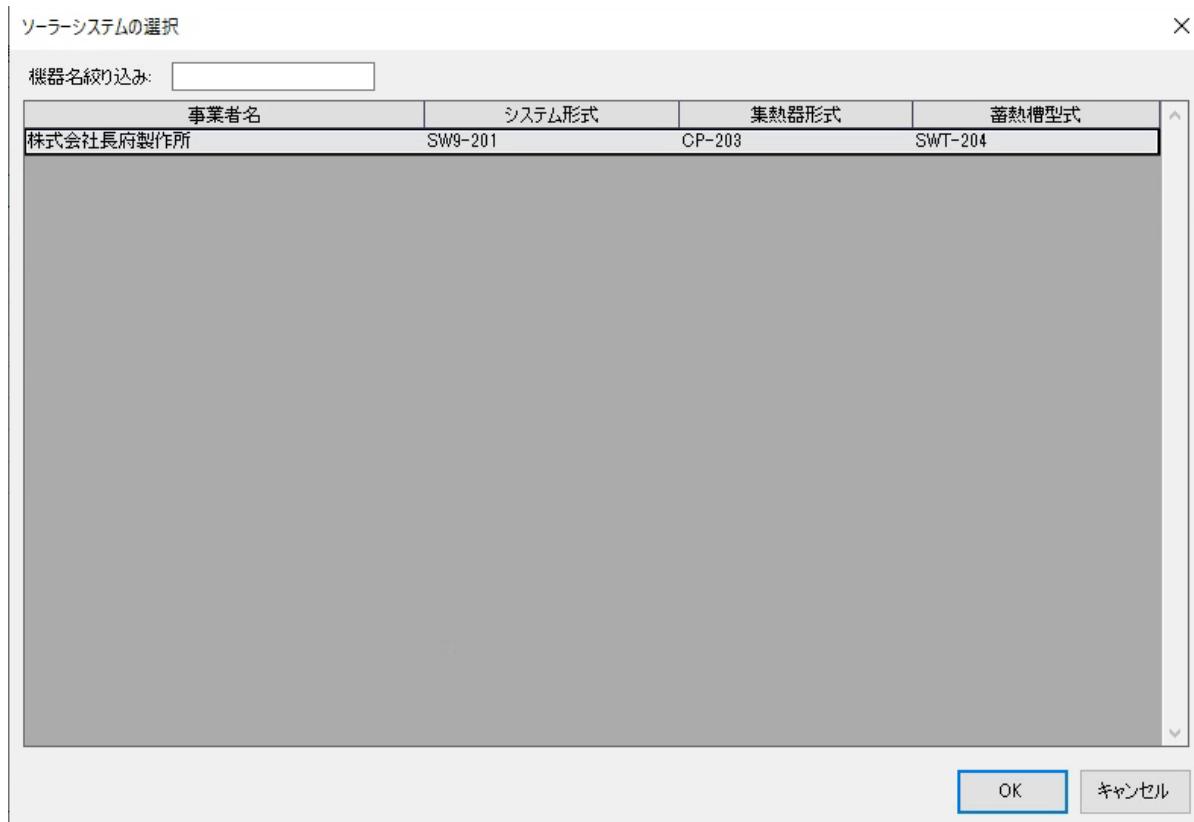
### 項目の説明

項目	説明
凡例	計算住戸のグループの色が表示されます。
計算住戸名	計算住戸のタイプ名が表示されます。
住戸位置	計算住戸の住戸位置が表示されます。
個別設定	共通設定と異なる内容を設定する場合はチェックします。
太陽熱給湯設備	太陽熱給湯設備の種類をリストから選択します。 <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; width: fit-content;"> <input type="checkbox"/> 採用しない  <input checked="" type="checkbox"/> 採用する  <input type="checkbox"/> 密閉形太陽熱温水器(直圧式)  <input type="checkbox"/> ソーラーシステム  <input type="checkbox"/> 開放形太陽熱温水器       </div>

給湯接続方式	<p>給湯接続方式をリストから選択します。</p> <p>太陽熱給湯設備が密封形太陽熱温水器（直圧式）の場合</p> <p>太陽熱給湯設備がソーラーシステムの場合</p> <p>太陽熱給湯設備が開放形太陽熱温水器の場合</p>
太陽熱用水栓	<p>太陽熱用水栓をリストから選択します。</p> <p>太陽熱給湯設備が開放形太陽熱温水器の場合</p>
太陽熱給湯設備詳細	
品番入力	太陽熱給湯設備の品番を直接入力する場合はチェックします。
集熱面積[m <sup>2</sup> ]	パネルの集熱面積を 0.01~50.00[m <sup>2</sup> ]の範囲で入力します。
集熱部の設置方位角	<p>パネルの方位角をリストから選択します。</p>
方位角選択ボタン	<p>方位角選択ダイアログを開き、グラフィカルに方位を選択することができます。</p>

集熱部の設置傾斜角	パネルの傾斜角をリストから選択します。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;"> <span style="margin-right: 5px;">20度</span> <span style="font-size: small;">▼</span> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 2px;"> <span style="margin-right: 5px;">0度</span> <span style="margin-right: 5px;">10度</span> <span style="margin-right: 5px;">20度</span> <span style="margin-right: 5px;">30度</span> <span style="margin-right: 5px;">40度</span> <span style="margin-right: 5px;">50度</span> <span style="margin-right: 5px;">60度</span> <span style="margin-right: 5px;">70度</span> <span style="margin-right: 5px;">80度</span> <span style="margin-right: 5px;">90度</span> </div>
貯湯タンク容量	貯湯タンクの容量を1~1000[L]の範囲で入力します。
品番による詳細パラメータ	
システム形式	システム形式を入力します。参照ボタンより機器を選択し、機器の品番を一括設定することも可能です。
集熱器形式	集熱器形式を入力します。参照ボタンより機器を選択し、機器の品番を一括設定することも可能です。
蓄熱槽形式	蓄熱槽形式を入力します。参照ボタンより機器を選択し、機器の品番を一括設定することも可能です。
参照	ボタンを押下すると、機器の品番の参照画面が開きます。設定したい機器を選択します。

## 11.8.1 ソーラーシステム選択



ソーラーシステムを一覧から選択します。行を選択してOKボタン、または行をダブルクリックで、選択した行に対応するソーラーシステムが選択されます。

### 項目の説明

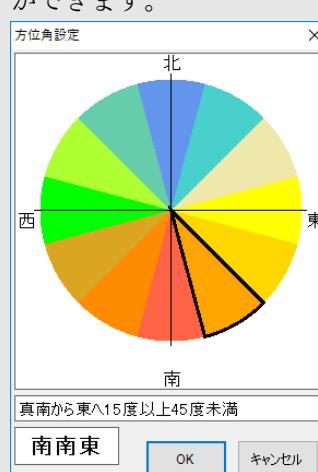
項目	説明
機器名絞り込み	ソーラーシステムの品番の一部を入力すると表示が絞り込まれます。 1文字毎に、そこまでに入力した文字列が含まれる行のみが表示されます。
事業者名	機器を提供している事業者名
システム形式	システム形式番号
集熱器形式	集熱器形式番号
蓄熱槽形式	蓄熱槽形式番号

## 11.9 太陽熱（空気集熱式）設備

11.9 太陽熱（空気集熱式）設備

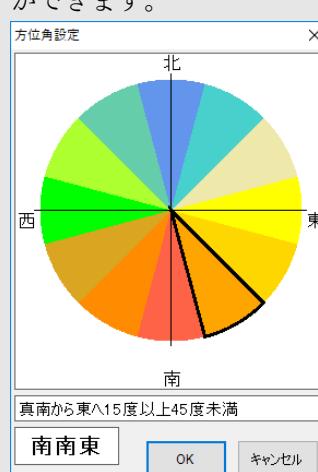
11.9.1 計算住戸の太陽熱（空気集熱式）設備について

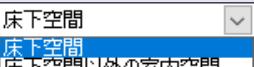
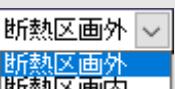
11.9.2 項目の説明

項目	説明	
凡例	計算住戸のグループの色が表示されます。	
計算住戸名	計算住戸のタイプ名が表示されます。	
住戸位置	計算住戸の住戸位置が表示されます。	
個別設定	共通設定と異なる内容を設定する場合はチェックします。	
空気集熱設備設置	空気集熱設備の設置があればチェックします。	
集熱器群の数	集熱器群の数をリストから選択します。 <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 2px; display: inline-block;">2面</div> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 2px; display: inline-block;">1面</div> <div style="border: 1px solid #0070C0; background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px; display: inline-block;">2面</div> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 2px; display: inline-block;">3面</div> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 2px; display: inline-block;">4面</div>	※2面以上を選択すると、入力欄が必要な範囲で拡張されます。
集熱部の方位角	集熱部の方位角をリストから選択します。	
方位角選択ボタン	方位角選択ダイアログを開き、グラフィカルに方位を選択することができます。 	

計算住戸の太陽熱（空気集熱式）設備について入力します。

### 項目の説明

項目	説明	
凡例	計算住戸のグループの色が表示されます。	
計算住戸名	計算住戸のタイプ名が表示されます。	
住戸位置	計算住戸の住戸位置が表示されます。	
個別設定	共通設定と異なる内容を設定する場合はチェックします。	
空気集熱設備設置	空気集熱設備の設置があればチェックします。	
集熱器群の数	集熱器群の数をリストから選択します。 <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 2px; display: inline-block;">2面</div> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 2px; display: inline-block;">1面</div> <div style="border: 1px solid #0070C0; background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px; display: inline-block;">2面</div> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 2px; display: inline-block;">3面</div> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 2px; display: inline-block;">4面</div>	※2面以上を選択すると、入力欄が必要な範囲で拡張されます。
集熱部の方位角	集熱部の方位角をリストから選択します。	
方位角選択ボタン	方位角選択ダイアログを開き、グラフィカルに方位を選択することができます。 	

空気搬送ファンの自立運転用太陽光発電装置の採用	空気搬送ファンの自立運転用太陽光発電装置を採用している場合はチェックします。
空気搬送ファンの種別	空気搬送ファンの種別をリストから選択します。 
機外静圧をゼロとした時の空気搬送ファンの風量[m³/h]	空気搬送ファンの送風機特性曲線において機外静圧をゼロとした時の空気搬送ファンの風量を 0.1~1000.0 [m³/h] の範囲で入力します。
集熱した熱の給湯への利用	集熱した熱を給湯へ利用する場合にチェックします。
循環ポンプの自立運転用太陽光発電装置の採用	循環ポンプの自立運転用太陽光発電装置を採用している場合はチェックします。
給湯部のタンク容量[L]	給湯部のタンク容量を 1~1000 [L] の範囲で入力します。
集熱後の空気を供給する空間	集熱後の空気を供給する空間をリストから選択します。 
集熱後の空気を供給する床下の面積の割合[%]	集熱後の空気を供給する床下の面積の割合を 1~100 [%] の範囲で入力します。 ※「集熱後の空気を供給する空間」が「床下空間」の場合に入力可能です。
床下空間の断熱	床下空間の断熱種別をリストから選択します。  ※「集熱後の空気を供給する空間」が「床下空間」の場合に入力可能です。
集熱器群その 1 / 2 ...	
面積[m²]	面積を 0.5~99.9 [m²] の範囲で入力します。
傾斜角	傾斜角をリストから選択します。 
仕様の入力	集熱器群の仕様の入力をする場合はチェックします。
集熱器の集熱効率特性線図一次近似式の切片	集熱効率特性線図一次近似式の切片を 0.1~1.0 の範囲で入力します。
集熱器の集熱効率特性線図一次近似式の傾き[W/(m²·K)]	集熱効率特性線図一次近似式の傾きを 0.1~10.0 [W/(m² · K)] の範囲で入力します。

集熱器の集熱性能試験時  
における単位面積当たりの  
空気の質量流量[ $\text{kg}/(\text{s} \cdot \text{m}^2)$ ]

集熱性能試験時における単位面積当たりの空気の質量流量を 0.0100  
～0.1000 [ $\text{kg}/(\text{s} \cdot \text{m}^2)$ ] の範囲で入力します。

## 11.10 コージェネレーション設備



計算住戸のコージェネレーション設備について入力します。

### 項目の説明

項目	説明
凡例	計算住戸のグループの色が表示されます。
計算住戸名	計算住戸のタイプ名が表示されます。
住戸位置	計算住戸の住戸位置が表示されます。
個別設定	共通設定と異なる内容を設定する場合はチェックします。
コージェネレーションの採用	コージェネレーション機器があればチェックします。
コージェネレーションの種類	コージェネレーションシステムの種類をリストから選択します。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">         PEFC          PEFC          SOFC          BEFORE2015       </div>
コージェネレーション機器 (PowerUnit)	コージェネレーション機器(PowerUnit)を選択・表示します。コージェネレーション種類選択時に、デフォルト値が設定されます。 直接入力も可能です。
コージェネレーション機器 (TankUnit)	コージェネレーション機器(TankUnit)を選択・表示します。 直接入力も可能です。
コージェネレーション機器 (BackupBoiler)	コージェネレーション機器(BackupBoiler)を選択・表示します。 直接入力も可能です。
逆潮流の評価	逆潮流の評価をする場合はチェックします。

## 11.10.1 コージェネレーション機器選択

コージェネレーション機器選択

コージェネレーションの種類  
 PEFC  SOFC  2015年以前 機器名絞り込み:  絞り込み

事業者名	PowerUnit	TankUnit	BackupBoiler
品番を入力しない			
東邦ガス株式会社	NQ-0716ARS-K	NQZT-C16ARS-AWC	-
東京ガス株式会社	NQ-0716ARS-KGB	NQZT-C16ARS-AWC	-
東京ガス株式会社	NQ-0716ARS-KB	NQZT-C16ARS-AWC	-
東芝燃料電池システム株式会社	TM1-AG-NC	SF-GTHC2413AD	-
東芝燃料電池システム株式会社	TM1-AG-NC	FCG-204-D	-
東芝燃料電池システム株式会社	TM1-AG-NB	SF-GTHC2413AD	-
東芝燃料電池システム株式会社	TM1-AG-NB	FCG-204-D	-
東芝燃料電池システム株式会社	TM1-AG-MC	SF-GTHC2413AD	-
東芝燃料電池システム株式会社	TM1-AG-MC	FCG-204-D	-
東芝燃料電池システム株式会社	TM1-AG-LF	FCG-204-D	-
東芝燃料電池システム株式会社	TM1-AG-LO	SF-GTHC2413AD	-
東芝燃料電池システム株式会社	TM1-AG-LO	FCG-204-D	-
東芝燃料電池システム株式会社	TM1-AG-LB	SF-GTHC2413AD	-
東芝燃料電池システム株式会社	TM1-AG-LB	FCG-204-D	-
東芝燃料電池システム株式会社	TM1-AG-DC	SF-GTHC2413AD	-
東芝燃料電池システム株式会社	TM1-AG-DC	FCG-204-D	-
東芝燃料電池システム株式会社	TM1-AG-DB	SF-GTHC2413AD	-
東芝燃料電池システム株式会社	TM1-AG-DR	FCG-204-D	-

OK キャンセル

コージェネレーション機器を一覧から選択します。行を選択して OK ボタン、または行をダブルクリックで、選択した行に対応するコージェネレーション機器が選択されます。

PEFC/SOFC の種別のみを入力し、具体的な機種は選択しない場合には、1 行目の「品番を入力しない」を選択します。

### 項目の説明

項目	説明
コージェネレーションの種類	コージェネレーション機器の種類を、PEFC、SOFC、および 2015 年以前の機器から選択します。
機器名絞り込み	コージェネレーション機器の品番の一部を入力し、「絞り込み」ボタンを押すと表示が絞り込まれます。
事業者名	機器を提供している事業者名
PowerUnit	パワーユニットの機種番号
TankUnit	タンクユニットに機種番号
BackupBoiler	バックアップボイラーの機種番号

## 11.11 Web 計算支援（住宅用）



入力した物件データを使用し、Web プログラムで一次エネルギー消費量を算定する手順を説明します。

## 11.11.1 アップロード方法の選択



エネルギー消費性能計算を行う、Web プログラムのバージョンを選択することができます。

### 項目の説明

項目	説明
Ver.3.2.0	<ul style="list-style-type: none"><li>Ver.3.2.0 は現在ご利用になれません。</li><li>Ver.3.2.0 を選択して計算を行われても“最新”で計算が行われますのでご注意ください。</li></ul>
最新 Ver.	<ul style="list-style-type: none"><li>日除けが設定されている、A-repo のバージョン 4.0.57 以前の物件ファイルを計算する場合は、[構造体登録]の[日除け]のタブから日除けの効果係数を再取得してから計算を開始してください。</li></ul>

## 11.11.2 アップロード方法の選択



アップロード方法を選択します。

### 項目の説明

項目	説明
自動	自動でアップロードする場合に選択します。クリックすると STEP2 以降に自動アップロードの手順が表示されます。
手動	手動でアップロードする場合に選択します。クリックすると STEP2 以降に手動アップロードの手順が表示されます。

### 11.11.3 自動計算



アップロード方法の選択で、自動を選択した場合に表示されます。

#### 項目の説明

項目	説明
凡例	計算住戸のグループの色が表示されます。
計算住戸名	計算住戸のタイプ名が表示されます。
住戸位置	計算住戸の住戸位置が表示されます。
出力	自動アップロードを行う計算住戸の場合、チェックします。
アップロード・PDF 取得	XML ファイルの出力・アップロード、PDF ファイルを取得した住戸に○が表示されます。
アップロードエラーが出ても最後まで実行する	自動アップロード実行時にエラーが出ても、最後までアップロード処理を継続する場合、チェックします。

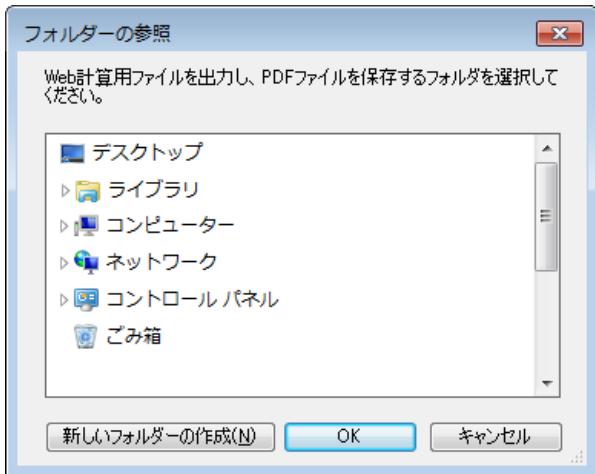
自動アップロードする計算住戸を選択します。

「全て選択」ボタンで、全ての計算住戸のチェックをOnにすることができ、「全て解除」ボタンで全ての計算住戸のチェックをOffにすることができます。

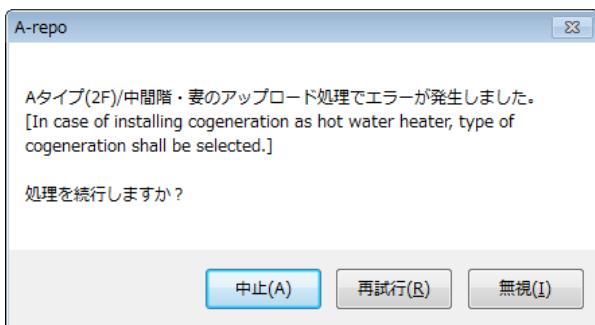
また、それぞれの計算住戸のチェックを個別に On/Off することができます。

**自動計算開始...** ボタンを押すと、XML ファイルを出力し、計算結果 PDF ファイルを保存するフ

オルダを選択するウィンドウが表示されます。



保存先フォルダを指定して **OK** ボタンを押すと、チェックした各計算住戸の自動アップロードが開始されます。対象住戸の数により数分～数10分間要する場合があります。取得した計算結果は指定したフォルダに保存される他に、11.13 一次エネルギー消費量集計の一戸当たりの基準値、設計値に自動で反映されます。



『住宅』一次エネルギー消費量算定で設定に誤りがあると、上記の様な「住宅・住戸の省エネルギー性能の判定プログラム API」のエラーメッセージまたは、A-repo での XML 出力エラーメッセージが表示されます。このような場合には、対象住戸の入力内容に誤りがないか見直してください。

## XML ファイルの出力



## 項目の説明

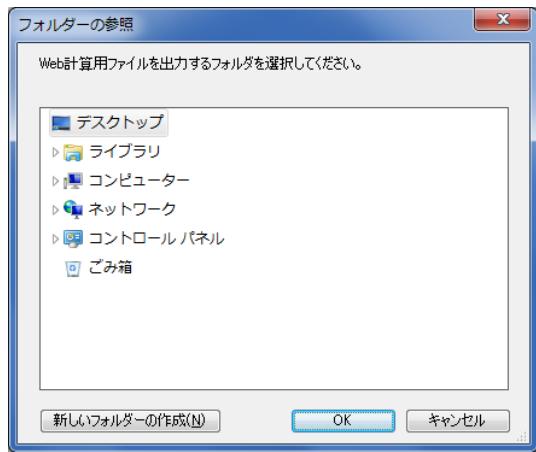
項目	説明
凡例	計算住戸のグループの色が表示されます。
計算住戸名	計算住戸のタイプ名が表示されます。
住戸位置	計算住戸の住戸位置が表示されます。
出力	XML 出力を行う計算住戸の場合、チェックします。

XML ファイルを出力する計算住戸を選択します。

「全て選択」ボタンで、全ての計算住戸のチェックをOnにすることができ、「全て解除」ボタンで全ての計算住戸のチェックをOffにすることができます。

また、それぞれの計算住戸のチェックを個別に On/Off することができます。

**計算住戸別のデータファイル出力...** ボタンを押すと、XML ファイルの出力先を選択するウィンドウが表示されます。



保存先フォルダを指定して **OK** ボタンを押すと、チェックした各計算住戸の設備データを出力して保存することができます。

## 11.11.4 XML ファイルのアップロード

以下は、XML ファイルのアップロード手順を示すスクリーンショットです。

**STEP3 XML ファイルのアップロード**

次の「エネルギー消費性能計算プログラム(住宅版)」サイトの「詰込」ボタンを押し、出力したファイルを指定します。  
その後、1つの住戸毎にサイトの手順に従って計算し、計算結果様式を取得します。

[エネルギー消費性能計算プログラム\(住宅版\)  
\[リンク\]](#)

**STEP4 計算結果の反映**

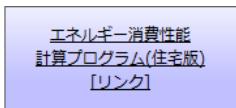
STEP 3 で取得した計算値を、「消費量集計」に入力します。

**STEP5 手順の繰り返し**

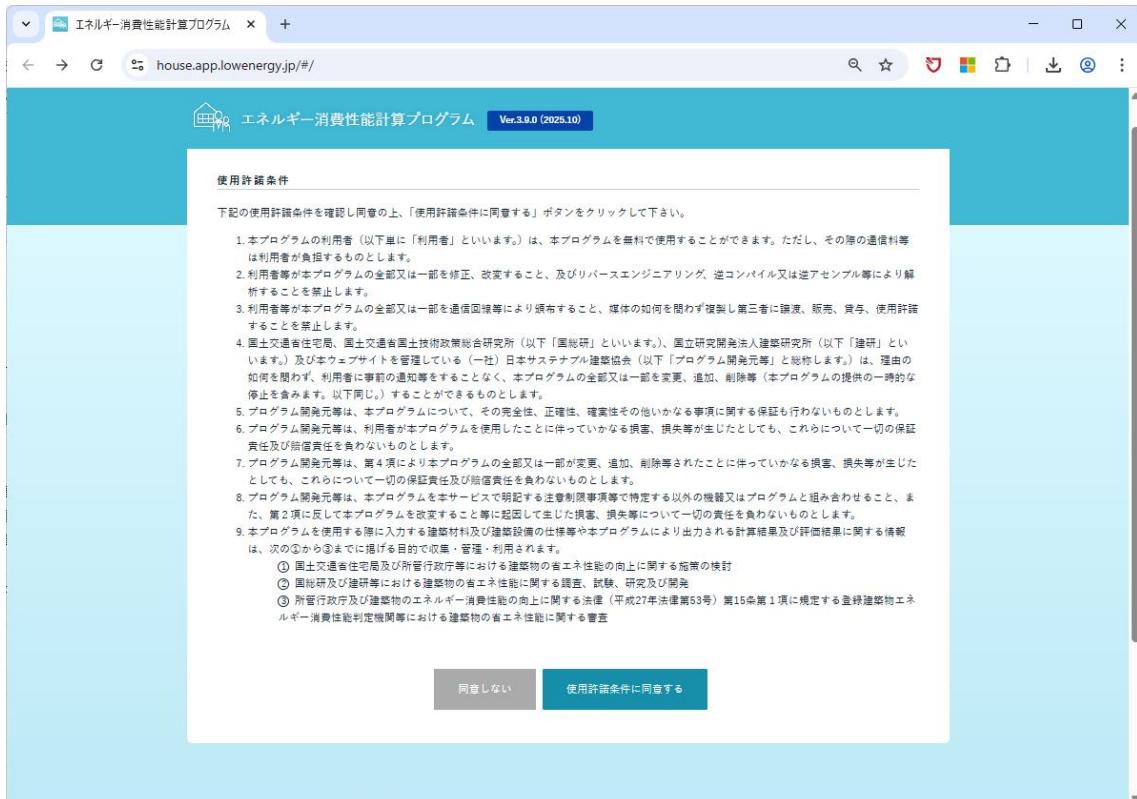
出力したファイル分、STEP 3、STEP 4 を繰り返します。

凡例	計算住戸名	住戸位置	出力
1	Aタイプ(1F)	最下階・妻	<input checked="" type="checkbox"/>
2	Aタイプ(2F)	中階階・妻	<input checked="" type="checkbox"/>
3	Aタイプ(10F)	最上階・妻	<input checked="" type="checkbox"/>
4	Bタイプ(2F)	最下階・中	<input checked="" type="checkbox"/>
5	Bタイプ(2F)	中階階・中	<input checked="" type="checkbox"/>
6	Cタイプ(2F)	最下階・妻	<input checked="" type="checkbox"/>
7	Cタイプ(3F)	中階階・妻	<input checked="" type="checkbox"/>
8	Cタイプ(9F)	最上階・妻	<input checked="" type="checkbox"/>
9	Dタイプ(10F)	最上階	<input checked="" type="checkbox"/>

#### 11.11.4.1 使用許諾条件



上記アイコンをクリックすると、「使用許諾条件」画面が表示されます。



#### 11.11.4.2 入力画面

使用許諾条件で 使用許諾条件に同意する をクリックすると、計算条件の入力画面が表示されます。

エネルギー消費性能計算プログラム 住宅版 Ver3.9.0 (2025.10)

計算条件の入力 読込 保存 計算結果の確認

基本情報 | 外皮 | 暖房 | 冷房 | 換気 | 熱交換 | 給湯 | 照明 | 太陽光 | 太陽熱 | コージェネ

**1 基本情報**

1 基本情報を入力して下さい。

住宅タイプの名称 <small>?</small>	○○○○邸									
入力責任者										
住宅の建て方 <small>?</small>	<input checked="" type="radio"/> 戸建住宅 <input type="checkbox"/> 共同住宅									
住戸の評価方法	<input checked="" type="radio"/> 住戸全体を対象に評価する <input type="checkbox"/> 増改築部分を対象に評価する									
居室の構成 <small>?</small>	<input checked="" type="radio"/> 主たる居室とその他の居室、非居室で構成される <input type="checkbox"/> 上記以外の構成									
床面積 <small>?</small>	<table border="1"> <tr> <td>主たる居室</td> <td>29.81</td> <td>m<sup>2</sup> (小数点以下2桁)</td> </tr> <tr> <td>その他の居室</td> <td>51.34</td> <td>m<sup>2</sup> (小数点以下2桁)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>120.08</td> <td>m<sup>2</sup> (小数点以下2桁)</td> </tr> </table>	主たる居室	29.81	m <sup>2</sup> (小数点以下2桁)	その他の居室	51.34	m <sup>2</sup> (小数点以下2桁)	合計	120.08	m <sup>2</sup> (小数点以下2桁)
主たる居室	29.81	m <sup>2</sup> (小数点以下2桁)								
その他の居室	51.34	m <sup>2</sup> (小数点以下2桁)								
合計	120.08	m <sup>2</sup> (小数点以下2桁)								

## メニュー

基本情報 | 外皮 | 暖房 | 冷房 | 換気 | 熱交換 | 給湯 | 照明 | 太陽光 | 太陽熱 | コージェネ

基本情報	基本情報が表示されます。
外皮 ~ コージェネ	各設備の計算処理画面が表示されます。

## ツール

<b>保存</b>	<p>中断ファイルが生成されパソコンに保存できる機能ですが、A-repo4 のユーザーは使用する必要がありません。</p> <p>保存</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>後日入力作業を再開することができます。</li> <li>保存を行うとXMLファイルが生成されます。パソコン等に保存して下さい。</li> <li>計算結果は保存されません。</li> </ul> <p><b>キャンセル</b> <b>保存</b></p>
<b>読み込み</b>	<p>中断時に保存したファイルを選択し計算させる機能ですが、A-repo4 の手動計算では、A-repo4 から出力した XML ファイルを計算させるために使用します。</p> <p>(「11.11.4.3 読込み」)</p>
<b>計算</b>	エネルギー消費性能の計算結果が表示されます。
<b>PDFを出力する</b>	計算結果表示後の画面の最下部までスクロールすると表示されます。計算結果に基づく PDF を出力し、ダウンロードします。

#### 11.11.4.3 読込



ファイルを選択	A-repo4 で出力した住戸タイプ別 XML ファイルを指定します。
読み込	選択した XML ファイルを確定します。
キャンセル	入力内容をキャンセルし、直前の画面に戻ります。

#### 11.11.4.4 基本情報入力画面

HOME 画面を開いた直後は、この画面が表示されます。

計算条件の入力 読込 保存 計算結果の確認 計算

Ver.3.9.0 (2025.10)

基本情報 戸建住宅 共同住宅

1 基本情報を入力して下さい。

住宅タイプの名称	○○○○邸
入力責任者	
住宅の建て方	<input checked="" type="radio"/> 戸建住宅 <input type="checkbox"/> 共同住宅
住戸の評価方法	<input checked="" type="radio"/> 住戸全体を対象に評価する <input type="checkbox"/> 増改築部分を対象に評価する
居室の構成	<input checked="" type="radio"/> 主たる居室とその他の居室、非居室で構成される <input type="checkbox"/> 上記以外の構成
床面積	主たる居室 29.81 m <sup>2</sup> (小数点以下2桁) その他の居室 51.34 m <sup>2</sup> (小数点以下2桁) 合計 120.08 m <sup>2</sup> (小数点以下2桁)

ボタンから A-repo4 で出力した住戸タイプ別 XML ファイルを読み込むと、A-repo4 で設定した内容がこちらの Web プログラム画面上に表示されます。

#### 11.11.4.5 設備データ処理画面

【手順 1】 それぞれのタブをクリックすると、各設備データ表示画面が表示されます。

The screenshot shows the 'House Edition' energy consumption calculation program interface. The main title bar reads 'エネルギー消費性能計算プログラム 住宅版 Ver.3.9.0 (2025.10)'. Below it, a navigation bar includes tabs for '計算条件の入力' (Calculation Condition Input), '読み込み' (Import), '保存' (Save), '計算結果の確認' (Check Calculation Result), and a large blue '計算' (Calculate) button. The current tab is '外皮' (Outer Wall). A step-by-step guide on the left says '1 外皮性能の評価方法を入力して下さい。' (Input the evaluation method for outer wall performance). It lists several options for evaluating outer wall performance, with the first one checked: '当該住戸の外皮面積を用いて外皮性能を評価する' (Evaluate outer wall performance using the area of the outer wall of the target household). Below this, there are input fields for '外皮面積の合計' (Total outer wall area) set to 307.51 m<sup>2</sup>, '外皮平均熱貫流率 (U<sub>A</sub>)' (Average thermal transmittance of outer wall) set to 0.87 W/m<sup>2</sup>K, and '冷房期の平均日射熱取得率 (η<sub>AC</sub>)' (Average daily solar heat gain coefficient during cooling season) set to 2.8. The right side of the interface is mostly blank.

「外皮」～「コージェネ」までのタブ画面には、A-repo4 で出力した XML ファイルの内容が表示されます。

【手順 2】 各条件の入力完了後、ボタンを押すと計算結果が表示されます。

・・・￥[社内開発 2 等、対象のブランチパス]￥A\_repo.Kernel￥My Project の中にある  
licenses.licx ファイルの中を削除する。（※ファイル自体は削除しない！中の記述を削除して、空のファイルとして存在させる）

The screenshot shows the 'House Edition' energy consumption calculation program interface. The main title bar reads 'エネルギー消費性能計算プログラム 住宅版 Ver.3.9.0 (2025.10)'. Below it, a navigation bar includes tabs for '計算条件の入力' (Calculation Condition Input), '読み込み' (Import), '保存' (Save), '計算結果の確認' (Check Calculation Result), and a large blue '計算' (Calculate) button. The current tab is '基本情報' (Basic Information). A step-by-step guide on the left says '1 基本情報を入力して下さい。' (Input basic information). It lists fields for '住宅タイプの名称' (Name of dwelling type), '入力責任者' (Responsible person for input), '住宅の建て方' (Type of dwelling construction), '住戸の評価方法' (Evaluation method for dwelling), '居室の構成' (Composition of rooms), and '床面積' (Floor area). In the center, a white rectangular box with a gray arrow pointing upwards contains the text '計算中' (Calculating). The right side of the interface is mostly blank.

【手順3】「計算結果の確認」タブに計算結果が表示されます。

The screenshot shows the software interface with the following details:

Top navigation bar: エネルギー消費性能計算プログラム x + house.app.lowenergy.jp/#/result

Header: エネルギー消費性能計算プログラム 住宅版 Ver.3.9.0 (2025.10)

Left sidebar: 計算条件の入力 (Calculation Condition Input) with tabs: 認証 (Authentication), 保存 (Save), 計算 (Calculate).

Right sidebar: 計算結果の確認 (Calculation Result Confirmation) with a button: 住戸全体を対象とした評価結果 (Evaluate all households as the target).

Main content area:

- 一次エネルギー消費量 (Primary Energy Consumption):**

内訳項目	設計一次	基準一次
暖房設備	13,935 MJ	13,383 MJ
冷房設備	6,036 MJ	5,634 MJ
換気設備	5,939 MJ	4,542 MJ
給湯設備	27,637 MJ	25,091 MJ
照明設備	5,212 MJ	10,763 MJ
その他設備	21,241 MJ	21,241 MJ
太陽光発電設備 (PV)	-- MJ	-- MJ
自家消費分	-- MJ	-- MJ
コージェネレーション設備 (CGS)	-- MJ	-- MJ
コージェネレーション設備の発電量に係る控除量	-- MJ	-- MJ
<b>合計</b>	<b>PVおよびCGSを対象とする場合 79,999 MJ</b>	<b>CGSを対象とする場合 79,999 MJ</b>
	<b>80,653 MJ</b>	
- 判定 (Assessment):**

適用する基準	一次エネルギー消費量		結果
	設計一次	基準一次	
建築物エネルギー消費性能基準 (H28年4月以降)	80.0 MJ	80.7 MJ	達成
建築物エネルギー消費性能基準 (H28年4月現存)		86.6 MJ	達成
建築物エネルギー消費性能指導基準 (R04年10月以降)	80.0 MJ	68.8 MJ	非達成
建築物エネルギー消費性能指導基準 (R04年10月現存)		80.7 MJ	達成
エネルギーの使用の合理化の一環の促進のために該当すべき基準 (R04年10月以降)	80.0 MJ	68.8 MJ	非達成
エネルギーの使用の合理化の一環の促進のために該当すべき基準 (R04年10月現存)		74.8 MJ	非達成
低炭素化の促進のために該当すべき他の基準	80.0 MJ	51.0 MJ	非達成

※各設備データの編集後も同様に処理することができます。

【手順4】 計算結果を最下部までスクロールし、

PDFを出力する

をクリックすると、PDF ファイルがダウンロードされます。

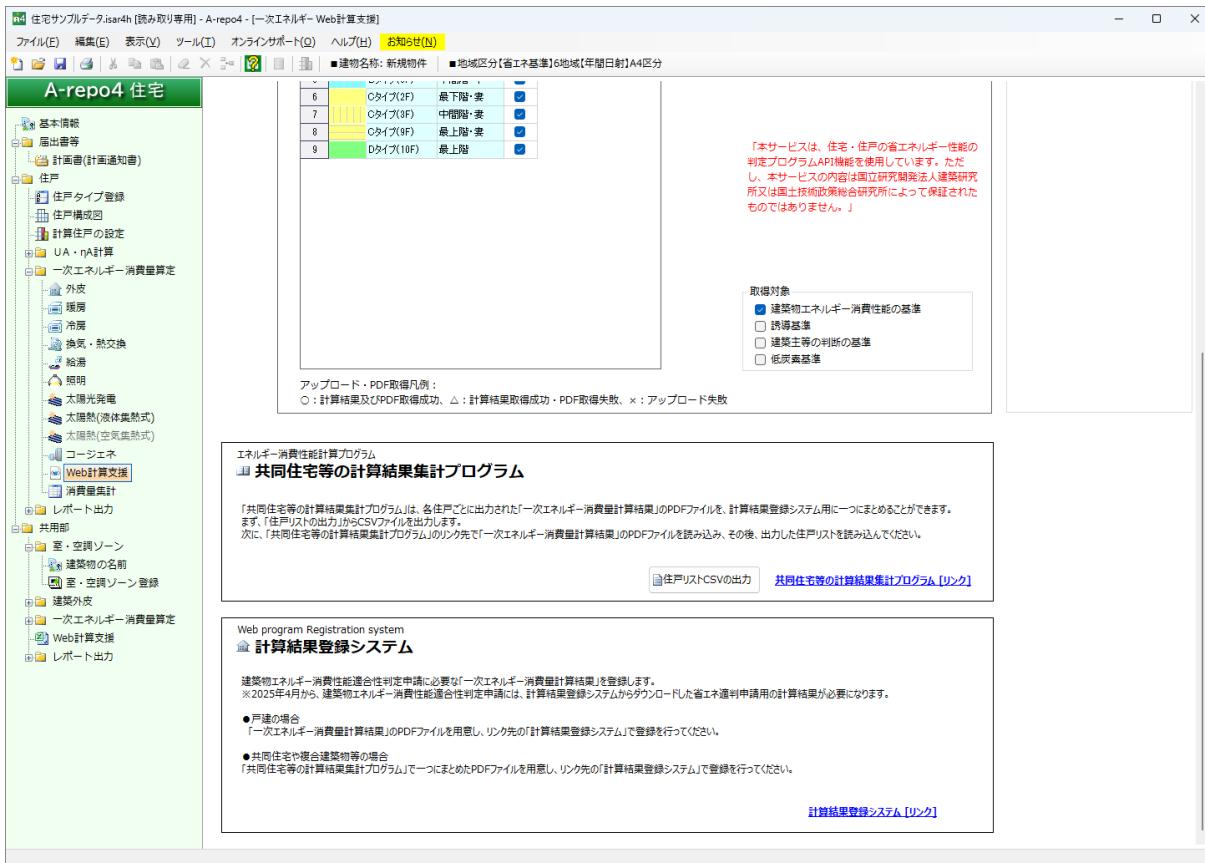
The PDF document contains the following information:

1. 住宅タイプの設計一次エネルギー消費量等

(1) 住宅タイプの名称(建てる方)	○○○○邸(戸建住宅)
(2) 入力責任者	
(3) 住戸の評価方法	住戸全体を対象に評価する
(4) 床面積	主たる居室 51.34m <sup>2</sup> 非居室 38.93m <sup>2</sup> 合計 120.08m <sup>2</sup>
(5) 地域の区分/年間の日射地域区分	6地域
(6) 一次エネルギー消費量(1戸当たり)	設計一次[MJ] 基準一次[MJ]
暖房設備	13935 13383
冷房設備	6036 5634
換気設備	5939 4542
給湯設備	27637 25091
照明設備	5212 10763
その他の設備	21241 21241
発電設備の発電量 のうち自家消費分	-- --
コージェネレーション設備の発電量に係る控除量*1	-- --
<b>(7) 合計</b>	<b>PVおよびCGSを対象とする場合 79999</b>
	<b>CGSを対象とする場合 79999</b>
	<b>80653</b>

本計算結果は、当該住戸が建設される地域区分及び設計内容に、一定の生活スケジュールに基づく設備機器の運転条件等を想定し計算されたもので、実際の運用に伴うエネルギー消費量とは異なります。  
(6)の各用語の意味を記した様と合わせて四捨五入の誤差で一致しないことがあります。  
\*1: コージェネレーション設備が発電した電力を発電するために要した一次エネルギー消費量相当量です。

## 11.11.5 共同住宅等の計算結果集計プログラム



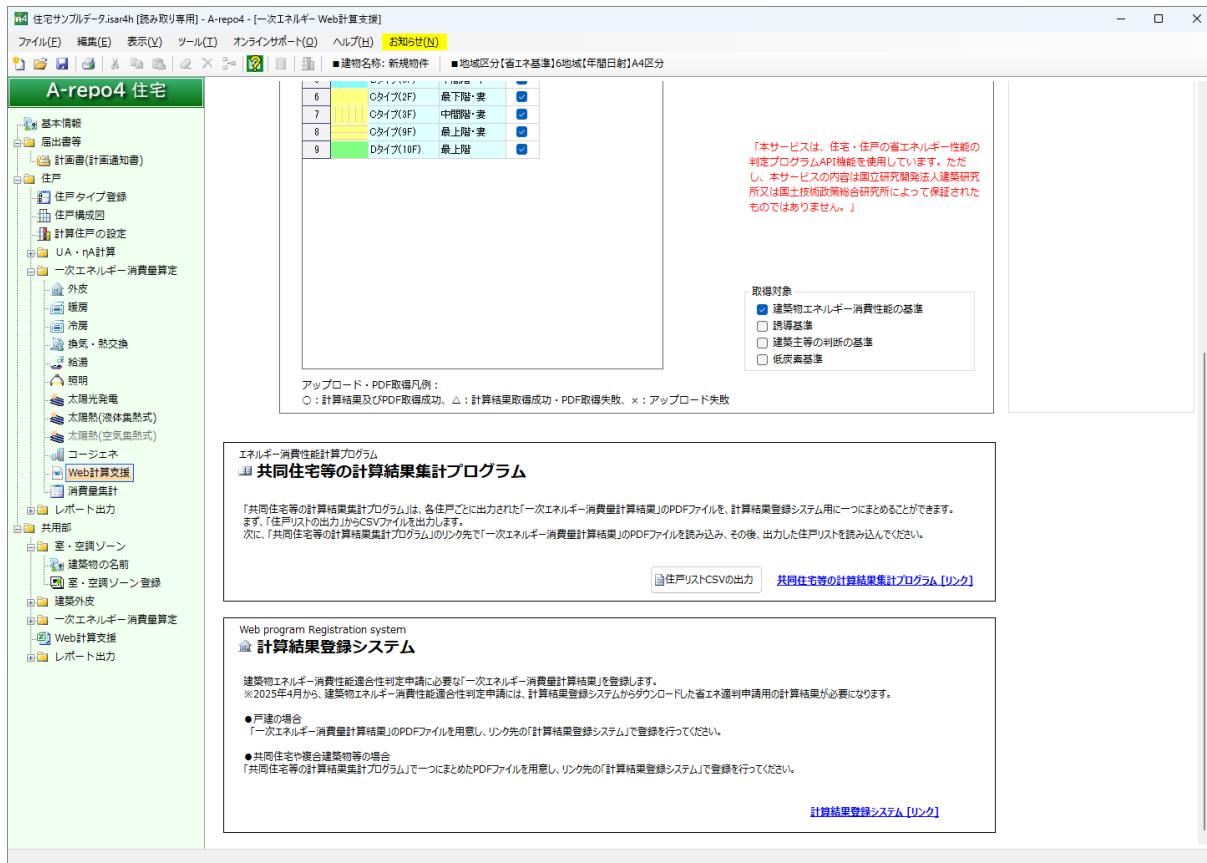
### 項目の説明

項目	説明
住戸リストCSVの出力	共同住宅等の計算結果プログラムへ読み込む住戸リストCSVが出力されます。
共同住宅等の計算結果集計プログラム[リンク]	計算結果登録システムが表示されます。

2025年4月から、建築物エネルギー消費性能適合性判定申請には計算結果登録システムからダウンロードした省エネ適判申請用の計算結果が必要になります。運用の詳細については提出先の審査機関へご確認ください。

※共同住宅の場合のみ表示されます。

## 11.11.6 計算結果登録システム

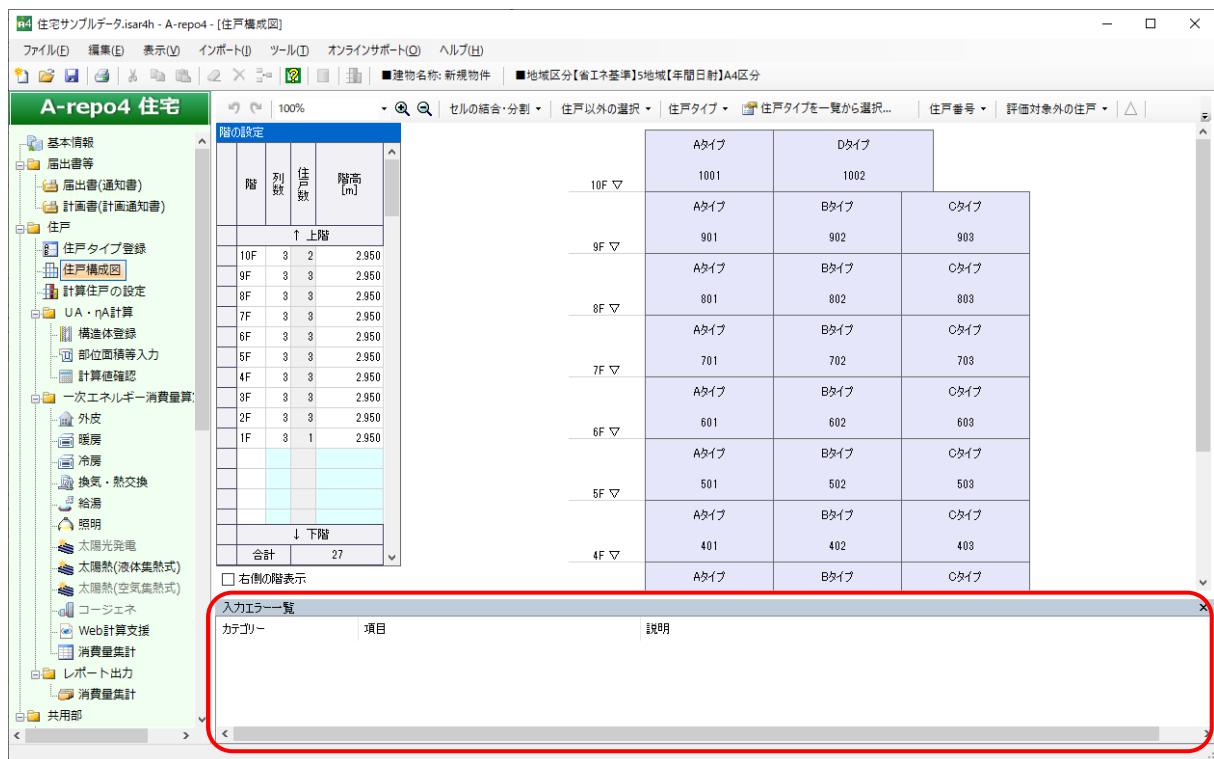


### 項目の説明

項目	説明
計算結果登録システムへ[リンク]	計算結果登録システムが表示されます。

2025年4月から、建築物エネルギー消費性能適合性判定申請には計算結果登録システムからダウンロードした省エネ適判申請用の計算結果が必要になります。運用の詳細については提出先の審査機関へご確認ください。

## 11.12 入力エラー一覧（住宅用）



住宅の一次エネルギー消費量計算に用いる入力データに、不足や不整合があるかを確認することができます。

非表示になっている場合は、メニューの「表示 (V)」→「エラー一覧ウインドウ (E)」をクリックすると表示されます。

### 項目の説明

項目	説明
カテゴリー	エラーを発生したデータのカテゴリーが表示されます。
項目	エラーを発生したデータの入力項目名が表示されます。
説明	エラーの内容が表示されます。

## 11.13 一次エネルギー消費量集計

【A-repo4 住宅】 [表示(△) ツール(□) オンラインサポート(○) ヘルプ(□) お知らせ(△)] ■建物名: 新規物件 ■地域区分: 都エネ基準6地域[年間日射] A4区分

凡例	計算住戸名	住戸位置	住戸数 (戸)	一次エネルギー消費量						その他を除く値						
				設計値			基準値			誘導基準			設計値 [GJ/(戸・年)]	基準値 [GJ/(戸・年)]	BEI (再エネ含まず)	BELS☆数
				[MJ/(戸・年)]	[GJ/(戸・年)]	[MJ/(戸・年)]	[MJ/(戸・年)]	[GJ/(戸・年)]	判定	[MJ/(戸・年)]	[GJ/(戸・年)]	判定				
1 Aタイプ(1F) 最下階・妻	1 40,227 8 41,384	40.3 54,312 41.4 54,312	54.4 ○ 54.4 ○	46,411 46,411	46.5 ○ 46.5 ○	25.5 26.6	39.6 39.6	0.65 0.68	0.65 0.68	☆☆☆☆☆						
2 Aタイプ(2F) 中間階・妻	1 40,517 7 45,938	40.6 54,312 46.0 68,145	54.4 ○ 68.2 ○	46,411 63,878	46.5 ○ 53.9 ○	25.8 30.5	39.6 46.4	0.66 0.66	0.66 0.66	☆☆☆☆☆						
3 Aタイプ(10F) 最上階・妻	1 47,255 6 53,353	47.3 68,145 53.4 71,315	54.4 ○ 71.4 ○	46,411 60,815	46.5 ○ 60.9 ○	29.2 34.6	46.4 52.6	0.65 0.66	0.65 0.66	☆☆☆☆☆						
4 Bタイプ(2F) 最下階・中	1 53,133 6 52,408	53.2 71,315 62.5 71,315	53.2 ○ 71.4 ○	60,815 60,815	60.9 ○ 60.9 ○	34.4 33.6	52.6 52.6	0.66 0.64	0.66 0.64	☆☆☆☆☆						
5 Bタイプ(3F) 中間階・中	7 62,419	62.5 85,211	62.5 ○	72,303	72.4 ○	41.8	64.6	0.65	0.84	☆☆☆☆☆						
		(住戸部分合計)	27													
		ガストリー合計	0													

※一次エネルギー消費量の値は、計算住戸の床面積、外皮面積、UA値、△AG値、△AH値等の変更に応じて、クリアされます。

項目	一次エネルギー消費量			その他を除く値						
	設計値 [GJ/年]			基準値 [GJ/年]			設計値 [GJ/年]	基準値 [GJ/年]	BEI (再エネ含まず)	BELS☆数
	[省エネ [GJ/年]]	[誘導 [GJ/年]]	[BELS☆数]	[省エネ [GJ/年]]	[誘導 [GJ/年]]	[BELS☆数]				
①住戸部分合計	1,269.0	1,706.1	1,455.8	815.4	1,252.6	0.66	0.67			
②共用部(ゲストルーム等)	0	0	0	0.0	0.0					
③共用部	290.5	392.6	314.1	290.5	392.6	0.74	—			
④非住戸部分						—				
合計(①～④)	1,559.5	2,098.7	1,769.9	1,105.9	1,645.2	0.68	0.67			
判定	—	適合	適合	BELS☆数	☆☆☆☆☆					

住戸ごとの集計を表示

### 項目の説明

項目	説明
凡例	計算住戸のグループの色が表示されます。
計算住戸名	計算住戸のタイプ名が表示されます。
住戸位置	計算住戸の位置が表示されます。
住戸数	同一グループ内の住戸数が表示されます。

### 一次エネルギー消費量

設計値	Web プログラムの計算結果を入力します。
基準値	省エネ法および低炭素法の基準値を入力します。
判定	省エネ法および低炭素法の計算住戸ごとの適合判定が表示されます。

### その他を除く値

設計値	Web プログラムの計算結果(その他除く)を入力します。
基準値	省エネ法の基準値(その他除く)を入力します。
BEI	計算住戸毎の BEI 値を入力します。
誘導 BEI(再エネ 含まず)	計算住戸毎の誘導 BEI を入力します。
BELS☆数	BEI に応じた「☆」マークを表示します。

#### ④ ①住戸部分合計

##### 一次エネルギー消費量

設計値	住戸部分の設計値（合計値）が表示されます。
基準値	住戸部分の基準値（合計値）が表示されます。

##### その他を除く値

設計値	住戸部分のその他を除く設計値（合計値）が表示されます。
基準値	住戸部分のその他を除く基準値（合計値）が表示されます。
BEI	BEI 値が表示されます。
誘導 BEI(再エネ含まず)	誘導 BEI（再エネ含まず）値が表示されます。

#### ②共用部(ゲストルーム等)

##### 一次エネルギー消費量

設計値	ゲストルームの設計値（合計値）が表示されます。
基準値	ゲストルームの基準値（合計値）が表示されます。

##### その他を除く値

設計値	ゲストルームのその他を除く設計値（合計値）が表示されます。
基準値	ゲストルームのその他を除く基準値（合計値）が表示されます。
BEI	BEI 値が表示されます。
誘導 BEI(再エネ含まず)	誘導 BEI（再エネ含まず）値が表示されます。

#### ③共用部

##### 一次エネルギー消費量

設計値	別途「A_repo 建築」または「A_repo 住宅(共用部)」で入力し、Web プログラムで計算した、共用部の一次エネルギー消費量の設計値合計を入力します。
基準値	別途「A_repo 建築」または「A_repo 住宅(共用部)」で入力し、Web プログラムで計算した、共用部の一次エネルギー消費量の基準値合計を入力します。

##### その他を除く値

設計値	別途「A_repo 建築」または「A_repo 住宅(共用部)」で入力し、Web プログラムで計算した、共用部のその他を除く一次エネルギー消費量の設計値合計を入力します。
-----	---

基準値	別途「A_repo 建築」または「A_repo 住宅(共用部)」で入力し、Web プログラムで計算した、共用部の <b>その他を除く一次エネルギー消費量</b> の基準値合計を入力します。
BEI	BEI 値が表示されます。
誘導 BEI(再エネ含まず)	「—」が表示されます。
<b>④非住宅部分</b>	
<b>一次エネルギー消費量</b>	
設計値	別途「A_repo 建築」または「A_repo 住宅(共用部)」で入力し、Web プログラムで計算した、非住宅部の <b>一次エネルギー消費量</b> の設計値合計を入力します。
基準値	別途「A_repo 建築」または「A_repo 住宅(共用部)」で入力し、Web プログラムで計算した、非住宅部の <b>一次エネルギー消費量</b> の基準値合計を入力します。
<b>その他を除く値</b>	
設計値	別途「A_repo 建築」または「A_repo 住宅(共用部)」で入力し、Web プログラムで計算した、非住宅部の <b>その他を除く一次エネルギー消費量</b> の設計値合計を入力します。
基準値	別途「A_repo 建築」または「A_repo 住宅(共用部)」で入力し、Web プログラムで計算した、非住宅部の <b>その他を除く一次エネルギー消費量</b> の基準値合計を入力します。
BEI	BEI 値が表示されます。
誘導 BEI(再エネ含まず)	「—」が表示されます。
<b>合計(①~④)</b>	
<b>一次エネルギー消費量</b>	
設計値	建物全体の <b>一次エネルギー消費量</b> の設計値が表示されます。
基準値	建物全体の <b>一次エネルギー消費量</b> の基準値が表示されます。
<b>その他を除く値</b>	
設計値	建物全体の <b>その他を除く一次エネルギー消費量</b> の設計値が表示されます。
基準値	建物全体の <b>その他を除く一次エネルギー消費量</b> の基準値が表示されます。
BEI	BEI 値が表示されます。
誘導 BEI(再エネ含まず)	誘導 BEI (再エネ含まず) 値が表示されます。

## 判定

	建物全体の一次エネルギー消費量基準の適・不適の判定結果が表示されます。
BELS☆数	BEI 値の水準に応じて、☆による 5 段階のマークが表示されます。

## 11.14 レポート出力

計算結果をレポート形式でまとめた Excel ファイルを出力することができます

### 11.14.1 消費量集計

The screenshot shows the A-repo4 software interface for residential energy consumption analysis. The left sidebar contains a navigation tree with categories like 計画書(計画通知書), 住戸, UA・nA計算, 一次エネルギー消費量算定, and various sub-options for building types and equipment types. The main area displays two tables: '出力計算住戸リスト' (Output Calculation Household List) and '設備別設計一次エネルギー消費量' (Equipment-wise Design Primary Energy Consumption). The first table lists 9 households with columns for Example, Calculation Household Name, Household Position, and Output. The second table shows consumption by equipment type with columns for Equipment Type, Design Value (省エネ基準値), Estimated Value (説明基準値), and Design Value (設計値). A note at the bottom states that design values change based on changes in floor area, exterior wall area, UA value, nA value, and AH value. There are also buttons for BEI (0.65), energy level selection (6等級判定), and Excel output.

#### 項目の説明

項目	説明
出力計算住戸リスト:	
凡例	計算住戸のグループの色が表示されます。
計算住戸名	計算住戸のタイプ名が表示されます。
住戸位置	計算住戸の住戸位置が表示されます。
出力	レポート出力を行う計算住戸の場合、チェックします。

レポートを出力する計算住戸を選択します。

「全て選択」ボタンで、全ての計算住戸のチェックを On にすることができ、「全て削除」ボタンで全ての計算住戸のチェックを Off にすることができます。

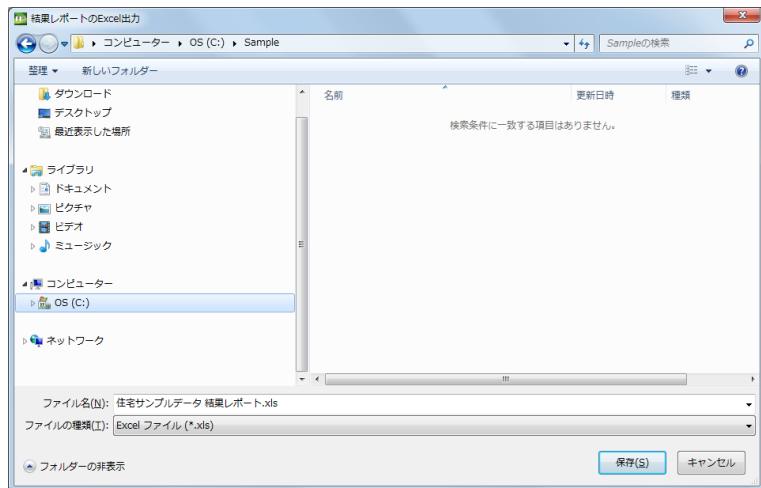
また、それぞれの計算住戸のチェックを個別に On/Off することができます。

項目	説明
設備別設計一次エネルギー消費量:	

暖房設備、冷房設備、換気設備、給湯設備、照明設備、その他	
省エネ基準値[MJ/(戸・年)]	省エネ法の基準値を入力します。
低炭素基準値[MJ/(戸・年)]	低炭素法の基準値を入力します。
設計値[MJ/(戸・年)]	Web プログラムの計算結果を入力します。
太陽光発電等発電量 評価量	
設計値[MJ/(戸・年)]	Web プログラムの計算結果を入力します。
合計	
省エネ基準値[MJ/(戸・年)]	省エネ法の基準値の合計値を入力します。
低炭素基準値[MJ/(戸・年)]	低炭素法の基準値の合計値を入力します。
設計値[MJ/(戸・年)]	Web プログラムの計算結果の合計値を入力します。
合計	
省エネ基準値[GJ/(戸・年)]	省エネ法の基準値を入力します。
低炭素基準値[GJ/(戸・年)]	低炭素法の基準値を入力します。
設計値[GJ/(戸・年)]	Web プログラムの計算結果を入力します。
BEI	Web プログラムの計算結果の BEI 値を入力します。

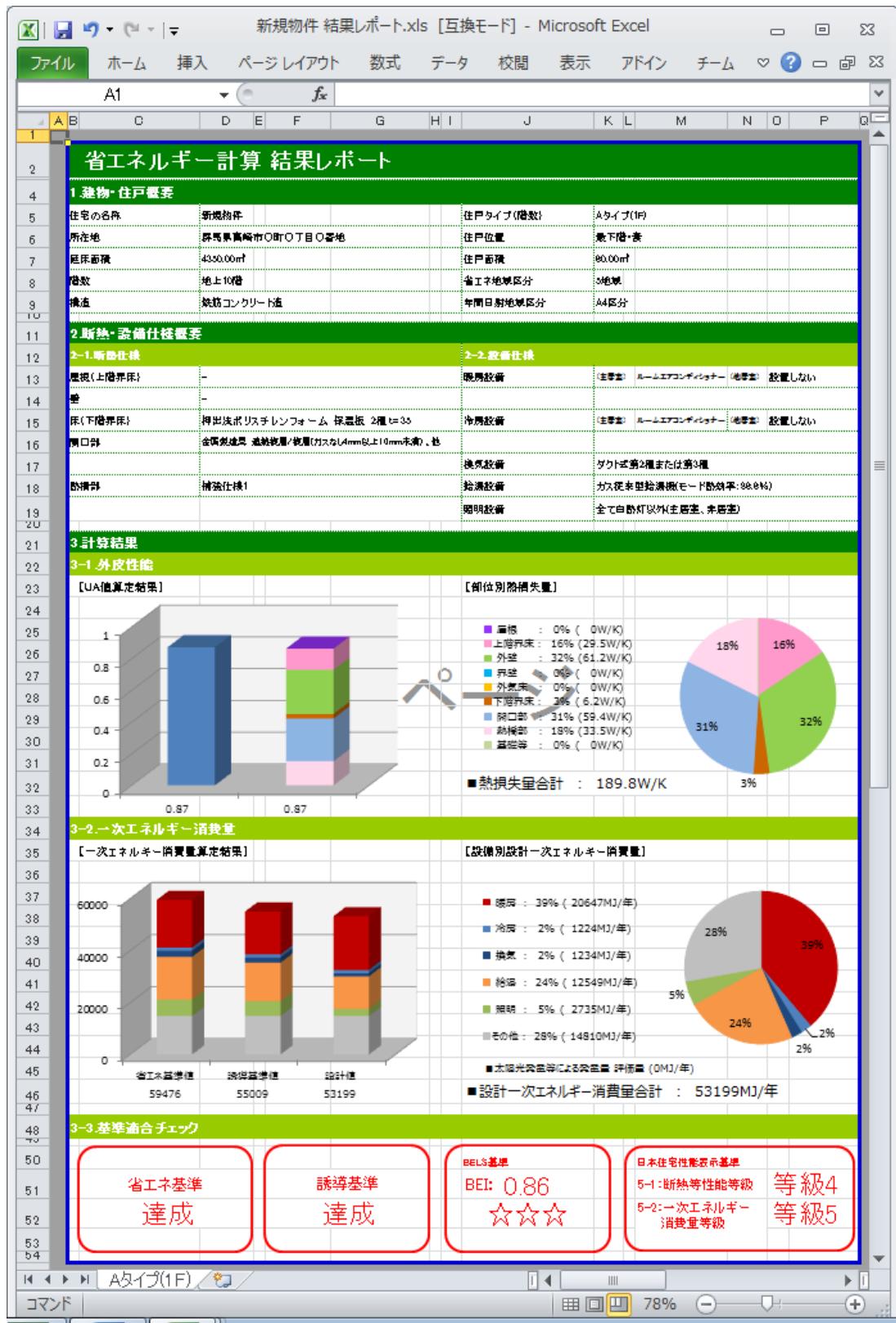
レポートの作成は、以下の手順で行います。

1. 出力計算住戸リストより、レポートを出力する計算住戸を選択
2. レポートを出力する計算住戸の設備別設計一次エネルギー消費量を入力  
尚、設備別設計一次エネルギー消費量の各値は、 11.11.3 自動計算 を行った場合、取得した結果が自動で入力されます。
3. 出力する一次エネルギー消費量等級の判定条件を選択
4. **Excel出力** ボタンを押すと、Excel ファイルの出力先を選択するウィンドウが表示されます。



4. 保存先フォルダとファイル名を指定して **保存(S)** ボタンを押すと、Excel ファイルを出力します。  
選択した計算住戸分の結果レポートシートが作成されます。

#### 結果レポート



## 12 『住宅』印刷・Excel 出力

住宅の印刷および Excel 出力処理について説明します。

---

- 12.1 届出書/計画書（通知書/計画通知書）出力
- 12.2 UA・ηAC 計算書印刷
- 12.3 その他計算書の出力
- 12.4 入力チェックシート・補足資料印刷

## 12.1 届出書/計画書（通知書/計画通知書）出力

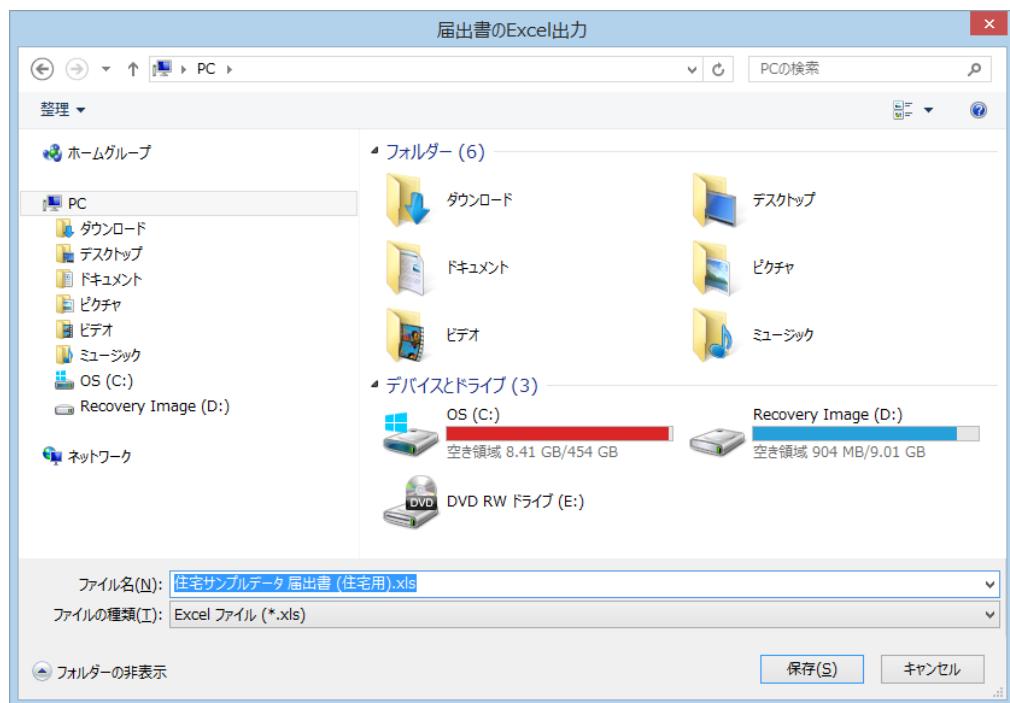


### 項目の説明

項目		説明
出力様式	旧様式 令和6年3月31日以前	届出書、計画書の出力様式を旧様式に設定します。
	新様式 令和6年4月1日以降	届出書、計画書の出力様式を新様式に設定します。
届出書（通知書）のExcelファイル出力		A-repoで入力した届出書の内容をExcelファイルに出力します。
計画書（計画通知書）のExcelファイル出力		A-repoで入力した計画書の内容をExcelファイルに出力します。

## 【届出書（通知書）の Excel ファイル出力】

ボタンを押すと、ファイルの保存画面が表示されます。



ファイルのパスを指定して [保存] をクリックすると、届出書(通知書)の第一面から第四面までが  
出力されます。

## 【計画書（通知書）の Excel ファイル出力】

ボタンを押すと、計画書(計画通知書)のファイルの保存画面が表示さ  
れます。

ファイルのパスを指定して [保存] をクリックすると、計画書(計画通知書)の第一面から第五面ま  
でがまとめて出力されます。

別紙のファイル名は、本体のファイル名に 「\_別紙」 を付加したものとなります。

## 12.2 UA・ $\eta$ AC 計算書印刷

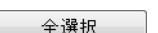
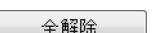
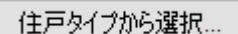
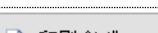
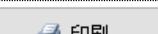
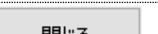


本プログラムで入力した UA・ $\eta$  AC 関連の帳票を出力します。

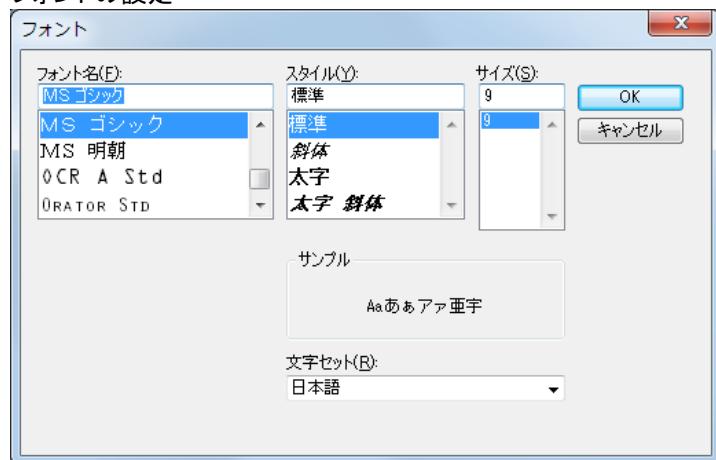
### 項目の説明

項目	説明
プリンタ	印刷に用いるプリンタをプルダウンリストから選択します。
<b>印刷項目</b>	
物件全体	物件全体を対象とした印刷帳票から、印刷したい項目をチェックします。
計算住戸別	計算住戸を対象とした印刷帳票から、印刷したい項目をチェックします。 次に、印刷する計算住戸を指定します。
フォント	印刷に用いるフォントが表示されます。
ページ余白	用紙の余白（上下左右）を設定します。
各種印刷設定	グループの色の網掛けやページ番号についてチェックします。
住戸構成図の設定	用紙の向きや構成図以外のデータの出力方法についてチェックします。

## ツール

 フォントの設定...	印刷に用いるフォントを変更することができます。
 全選択	印刷項目のすべてを選択します。
 全解除	印刷項目のすべてを選択解除します。
 住戸タイプから選択...	住戸タイプの選択画面が表示されます。（「12.2.2 住戸タイプから選択」を参照）
 印刷プレビュー...	印刷プレビュー画面が表示されます。（「12.2.1 印刷プレビュー」を参照）
 印刷	印刷を開始します。
 閉じる	この画面を閉じます。

## フォントの設定



フォントの設定を変更することができます。

詳しくは、Windows添付の操作マニュアルをお読みください。

## 12.2.1 印刷プレビュー

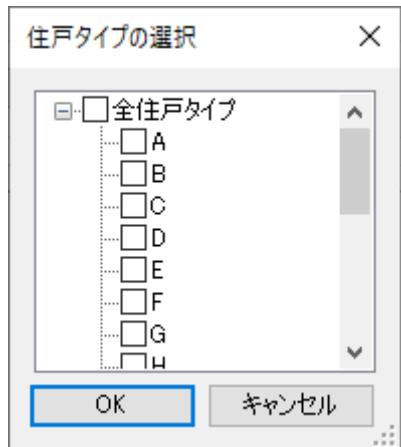


印刷項目を選択してからこの処理を選ぶと、印刷イメージを画面で確認することができます。

### 項目の説明

項目	説明	
<b>①Ua・ηAC計算結果一覧</b>		
[印刷項目]	印刷項目名が表示されます。 リストから選択すると、別の印刷項目に切り替えることができます。	
ページ 1 / 1	[頁]	現在表示中の頁名が表示されます。 リストから選択すると、別の頁に切り替えることができます。
[前頁・次頁]		印刷項目または頁が複数ある場合、これにより順を追って表示頁を切り替えることができます。
[最初の頁・最後の頁]		最初の頁または最後の頁が表示されます。
[拡大・縮小]		表示倍率をリストから選択することができます。 このリストによらず、画面を左クリックすると拡大表示され、右クリックするたびに縮小表示されます。
[表示ページの印刷]		現在表示中の1頁のみ印刷します。

## 12.2.2 住戸タイプから選択



印刷したいタイプにチェックを入れ、閉じるボタンを押下します。

「印刷・Excel出力画面の計算住戸に、選択内容が反映されます。

※仕様基準適用住戸には反映されません。

### 項目の説明

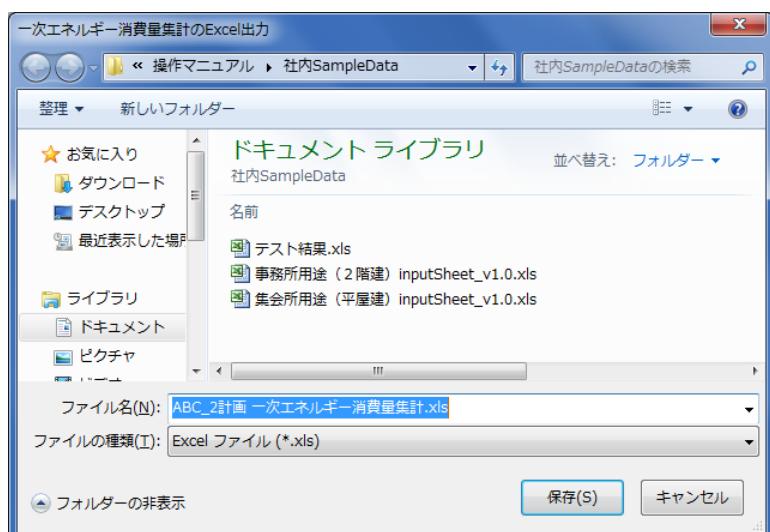
項目	説明
OK	印刷画面の計算住戸に、選択したタイプを反映します。
キャンセル	何もせず、この画面を閉じます。

## 12.3 その他計算書の出力



各種計算書の Excel 出力を行います。

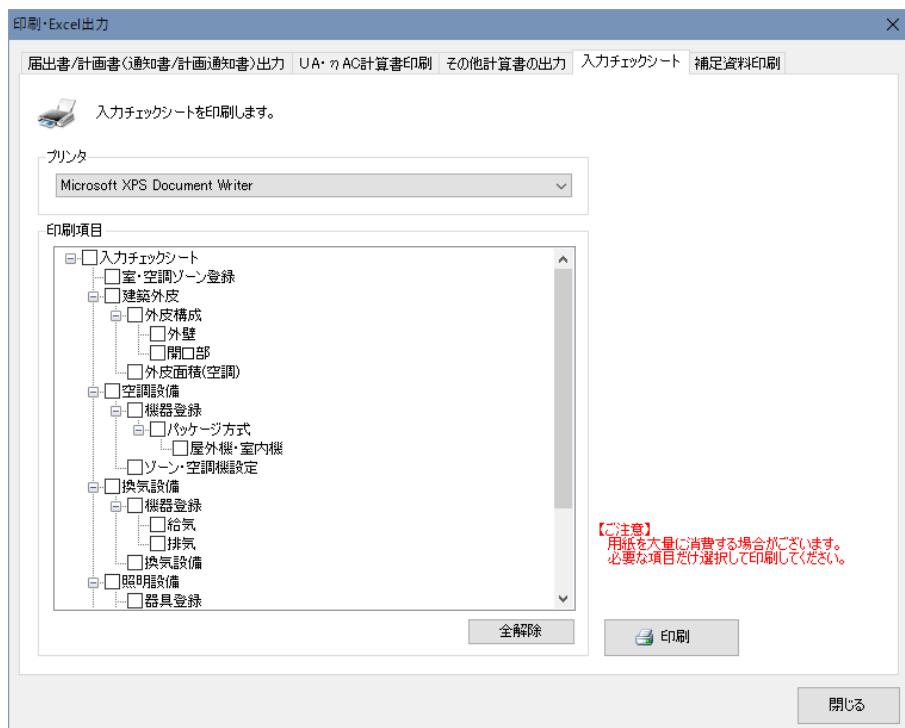
ボタンを押すとファイルの出力先を指定する画面が表示されます。



ファイル名には判別のため帳票名が自動的に付加されますが、編集も可能です。

<b>保存(S)</b>	指定したフォルダに Excel ファイルが出力されます。
<b>キャンセル</b>	何もせずにこの画面を閉じます。

## 12.4 入力チェックシート・補足資料印刷



共用部について、非住宅の計算方法に基づく資料を印刷します。

詳細は 8 『建築』印刷・Excel 出力』を参照してください。

# 省エネルギー計算サポートソフトウェア

A-repo4

操作マニュアル

2025 年 11 月作成

制作者 株式会社イズミコンサルティング

[東京オフィス]

〒162-0822 東京都新宿区下宮比町 2-1

第一勧銀飯田橋稻垣ビル 6 階

ホームページ URL: <https://izmc.co.jp/>

お問い合わせフォーム：

<https://izmc.co.jp/it/software/>

↑ [操作サポート・不具合] 027-384-2356

↓ [ご契約・購入] 03-3868-3126

©Izumi Consulting Inc. All Rights Reserved.

- 
- (1) 本書に記載されている事柄は、将来予告なしに変更することがあります。
  - (2) このソフトウェアの仕様は、将来予告なしに変更することがあります。
  - (3) 製品の内容については万全を期していますが、ご不審な点や誤り、マニュアルの記載もれなどお気づきの点がありましたら、弊社までご連絡ください。

MS-Windows は米国 Microsoft 社の登録商標です。

その他、会社名、製品名は、一般に各社の登録商標、商標です。